多可町令和７年度在宅ケアとくらしの調査業務委託

在宅ケアとくらしの調査
報告書

令和８年３月

多可町

一般社団法人日本老年学的評価研究機構

目　次

第１章　調査の概要 ･･･ 1
１．調査の目的 ･･･ 1
２．調査の実施方法と回収状況 ･･･ 1
３．調査結果を見る上での留意点 ･･･ 2
４．用語の定義 ･･･ 2

第２章　単純集計 ･･･ 5
１．基本調査項目（Ａ票） ･･･ 7
２．主な介護者様用の調査項目（Ｂ票） ･･･ 17
３．要介護認定データ ･･･ 22

第３章　クロス集計 ･･･ 29

１．在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 ･･･ 31
１．１　集計・分析の狙い ･･･ 31
１．２　集計結果と着目すべきポイント ･･･ 32
（１）基礎集計 ･･･ 32
（２）要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化 ･･･ 35
（３）要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化 ･･･ 40
（４）「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係 ･･･ 45
（５）「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 ･･･ 49
（６）「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係 ･･･ 54
（７）「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 ･･･ 58

２．仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 ･･･ 70
２．１　集計・分析の狙い ･･･ 70
２．２　集計結果と着目すべきポイント ･･･ 71
（１）基本集計 ･･･ 71
（２）就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み ･･･ 76
（３）「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係 ･･･ 80

（４）「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係 ･････････････････････････････ 84
（５）就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況 ･････････････････ 87
（６）就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援 ･････････････････････ 91

３．保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 ･････････････････････････････ 96
３．１　集計・分析の狙い ･･･ 96
３．２　集計結果と着目すべきポイント ･･･ 97
（１）基礎集計 ･･･ 97
（２）世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス ･････････････････99
（３）「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」 ･････････････････････ 102
（４）「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」] ･････････････････････････ 107

４．将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 ･････････････････････････ 112
４．１　集計・分析の狙い ･･･ 112
４．２　集計結果と着目すべきポイント ･･･ 113
（１）基礎集計 ･･･ 113
（２）「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」 ･････････････････････････････ 115
（３）「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」 ･････････････ 118
（４）「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」 ･････････････････････ 124

５．医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 ･････････････････････ 129
５．１　集計・分析の狙い ･･･ 129
５．２　集計結果と着目すべきポイント ･･･ 130
（１）基礎集計 ･･･ 130
（２）訪問診療の利用割合 ･･･ 134
（３）訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ ･････････････････････････････････ 137
（４）訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無 ･････････････････ 138

６．サービス未利用の理由など ･･･ 140
６．１　集計・分析の狙い ･･･ 140
６．２　集計結果（参考） ･･･ 141
（１）要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由 ･････････････････････････････････････ 141
（２）認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由 ･････････････････････････････････ 145
（３）認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス ･････････････････････････ 149
（４）本人の年齢別・主な介護者の年齢 ･･･ 153

（５）要介護度別の抱えている傷病 154
（６）訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病 156

※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。

第４章　指標による分析 159

第５章　保険者独自項目の調査結果 175

（資料）基礎集計表 197

第１章　調査の概要

１．調査の目的

この調査は、多可町の第 10 期介護保険事業計画の策定に向けて、基礎資料とすることを目的に、在宅で生活している要介護者及び介護をしている人を対象に、家族介護の実態、施設入所の検討状況、家族介護就労状況等を調査したものです。

２．調査の実施方法と回収状況

・調査対象者（設計上）：在宅で生活をしている要介護認定を受けている方のうち、「要介護認定の更新申請・区分変更申請」をされた方
・調査対象者（回答者）：上記条件で抽出した後、回答時点で要介護認定（要支援１・２を含む）を受けている方
・対象者抽出日：令和 7 年 10 月 31 日
・調査方法：郵送調査
・調査期間：令和 7 年 12 月 1 日～令和 7 年 12 月 22 日
・対象者数：450 人
・回収結果（回収率）：274 票（60.9%）
・集計数 ※：272 票

※回収された調査票のうち、「施設入所」「入院」などの記載がある調査票、また ID が切り取られた調査票は原則集計対象から除外した。

３．調査結果を見る上での留意点

・図表中の「n」は、設問への回答者数を示しています。
・分析に際して、回答者数が極端に少ない場合は誤差が大きくなるため、分析対象から除外している場合があります。特に、第３章（クロス集計）、第４章指標による分析、第５章保険者独自項目の調査結果においては､様々な分析軸の該当数(n)が非常に少ない場合があります。集計結果の比率を読む際には注意を要します。
・回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
・第２章および第３章において、単一回答の設問については、グラフ全体を１つのクロス集計表として扱って独立性の検定を行い、その結果をグラフタイトルの脇に示しています。複数回答の設問については各選択肢ごとに､「その選択肢を選択したか否か」について集計したクロス集計表として扱い、同様に独立性の検定を行っています。その検定結果は、該当する選択肢の脇に示しています。なお、項目名が長い場合に一部が『…』と省略されて表示されている箇所があります。
検定結果の記号の意味は以下の通りです。

- ✓ 「＊＊＊」: 0.1%水準で有意な差がある
- ✓ 「＊＊」: 1%水準で有意な差がある
- ✓ 「＊」: 5%水準で有意な差がある
- ✓ 「＋」: 10%水準で有意な差がある
- ✓ 「(記号なし)」: 有意な差がない

４．用語の定義

○ 介護保険サービスの種別

本集計・分析では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の３つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

＜サービス利用の分析に用いた用語の定義＞

用 語		定 義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

＜サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義＞

用 語	定 義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

○　障害高齢者の日常生活自立度

生活自立	J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 １．交通機関等を利用して外出する。 ２．隣近所へなら外出する。
準寝たきり	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 １．介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 ２．外出の頻度が少なく、日中に寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。 １．車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 ２．介助により車いすに移乗する。
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着換において介助を要する。 １．自力で寝返りをうつ。 ２．自力では寝返りもうてない。

○　認知症高齢者の日常生活自立度

Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
Ⅱ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
Ⅱa	家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅱb	家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。
Ⅲ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
Ⅲa	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅲb	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる。
Ⅳ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

第２章

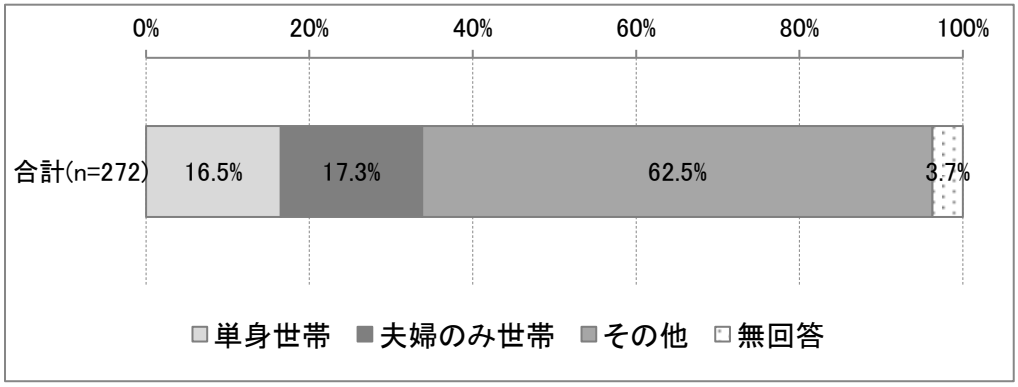
単純集計

1　基本調査項目（Ａ票）

(1)　世帯類型

「その他」の割合が最も高く 62.5%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯（17.3%)」、「単身世帯（16.5%)」となっている。

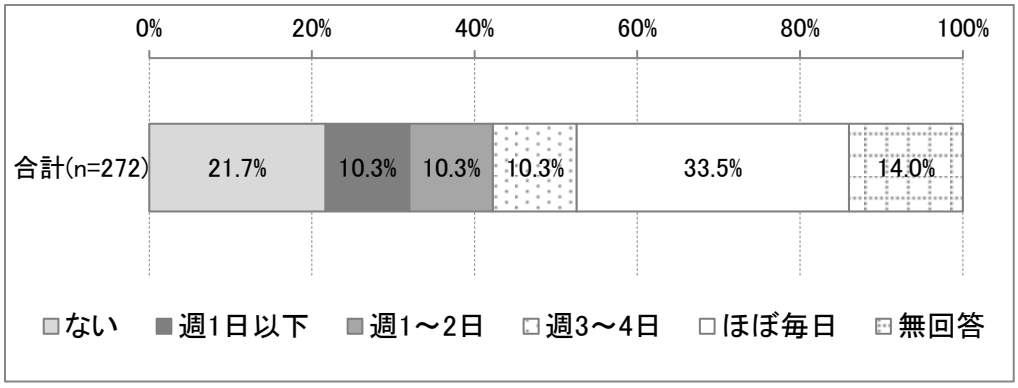
図表 1-1　世帯類型（単数回答）



(2)　家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 33.5%となっている。次いで、「ない（21.7%)」、「週 1 日以下（10.3%)」、「週 1～2 日（10.3%)」、「週 3～4 日（10.3%)」となっている。

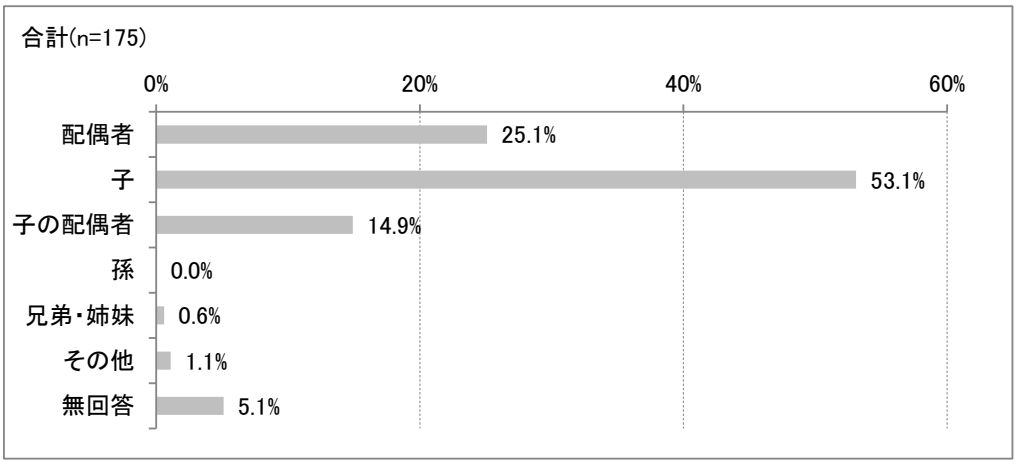
図表 1-2　家族等による介護の頻度（単数回答）



(3)　主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 53.1%となっている。次いで、「配偶者（25.1%)」、「子の配偶者(14.9%)」となっている。

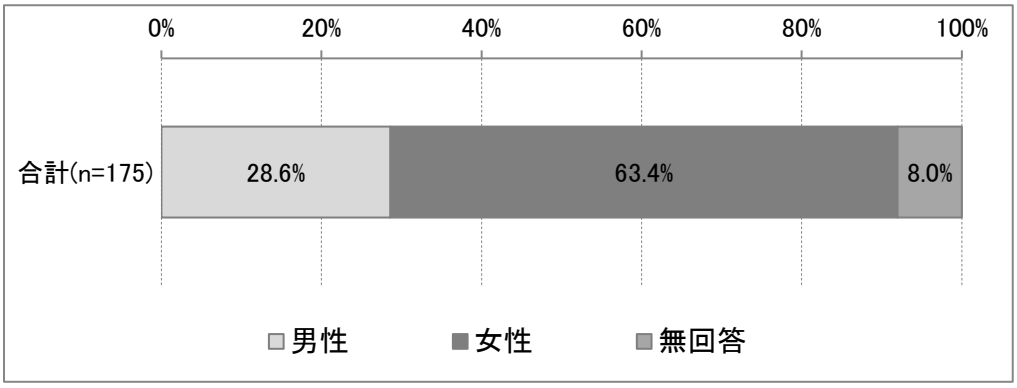
図表 1-3　★主な介護者の本人との関係（単数回答）



(4)　主な介護者の性別

「女性」が 63.4%、「男性」が 28.6%となっている。

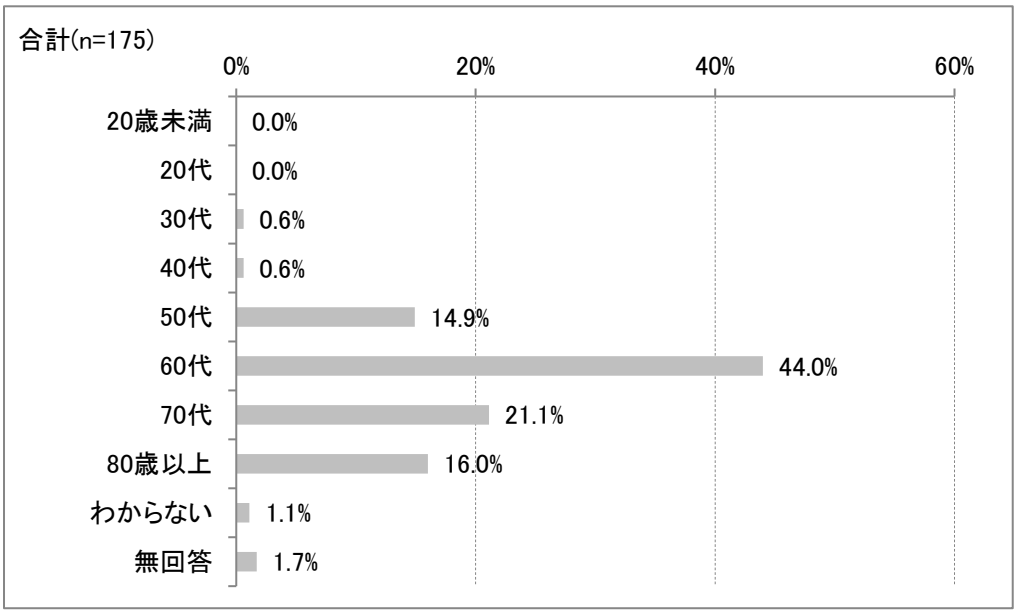
図表 1-4　★主な介護者の性別（単数回答）



(5)　主な介護者の年齢

「60 代」の割合が最も高く 44.0%となっている。次いで、「70 代（21.1%）」、「80 歳以上（16.0%）」となっている。

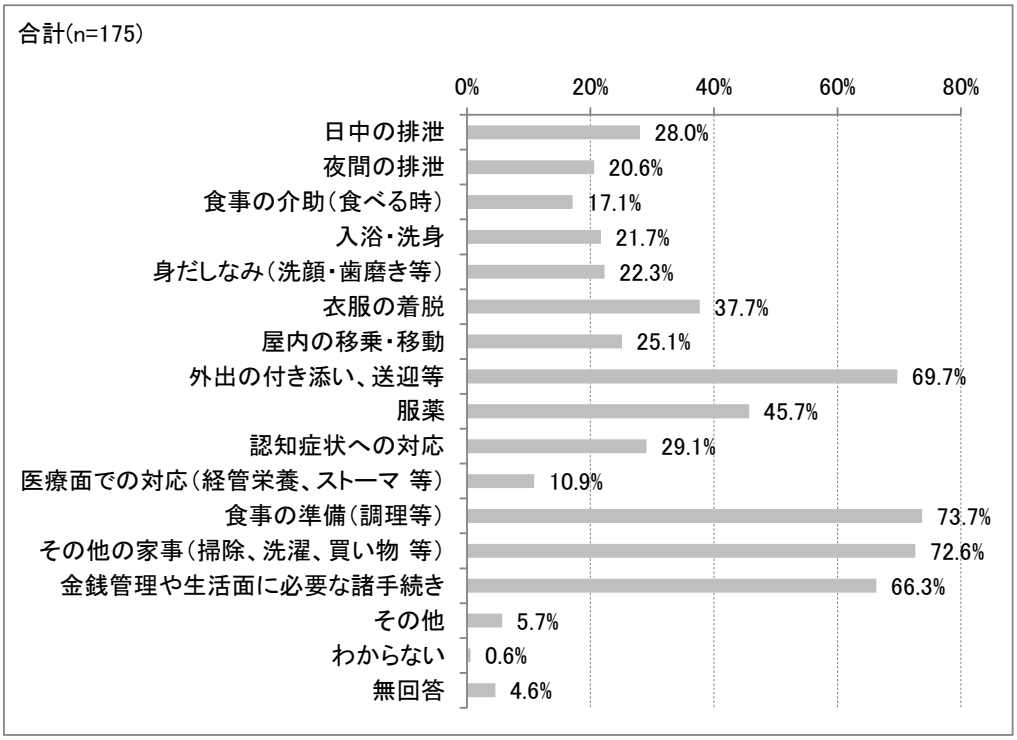
図表 1-5　主な介護者の年齢（単数回答）



(6)　主な介護者が行っている介護

「食事の準備（調理等）」の割合が最も高く 73.7%となっている。次いで、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）（72.6%）」、「外出の付き添い、送迎等（69.7%）」となっている。

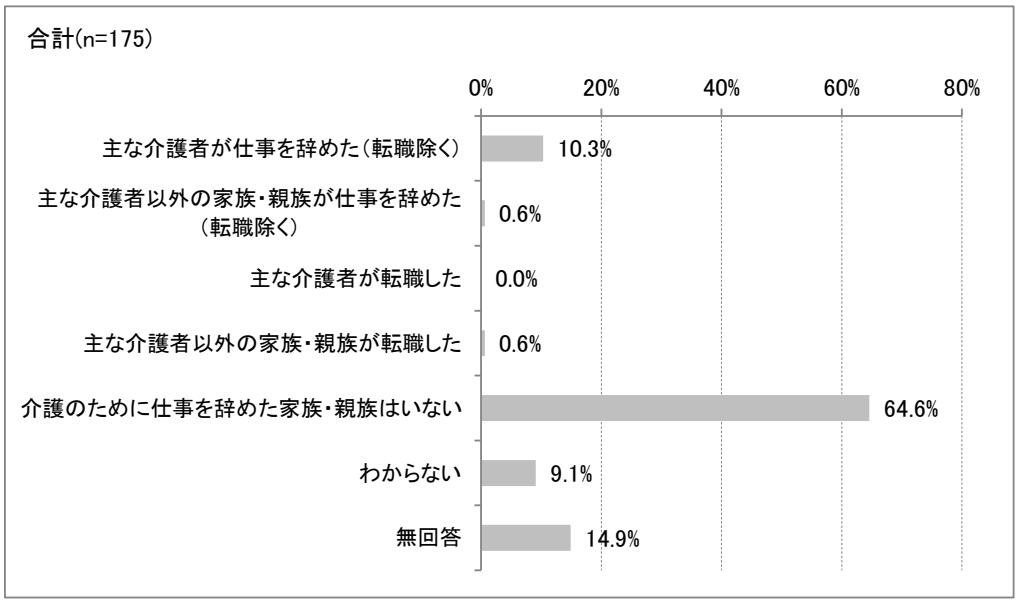
図表 1-6　★主な介護者が行っている介護（複数回答）



(7)　介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 64.6%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（10.3%）」、「わからない（9.1%）」となっている。

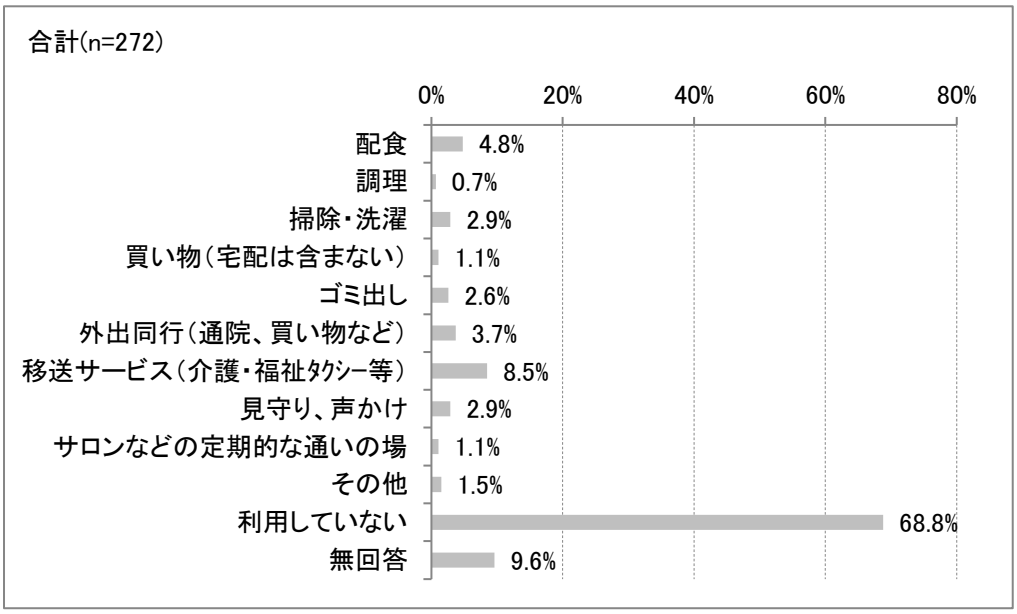
図表 1-7　介護のための離職の有無（複数回答）



(8)　保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 68.8%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（8.5%）」、「配食（4.8%）」となっている。

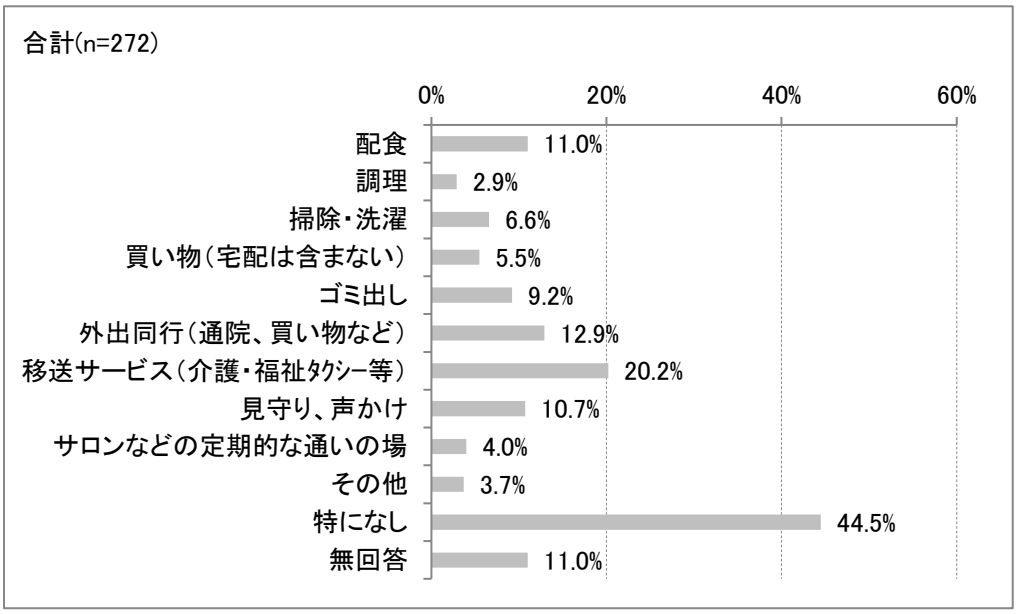
図表 1-8　★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9)　在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「特になし」の割合が最も高く 44.5%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（20.2%）」、「外出同行（通院、買い物など）（12.9%）」となっている。

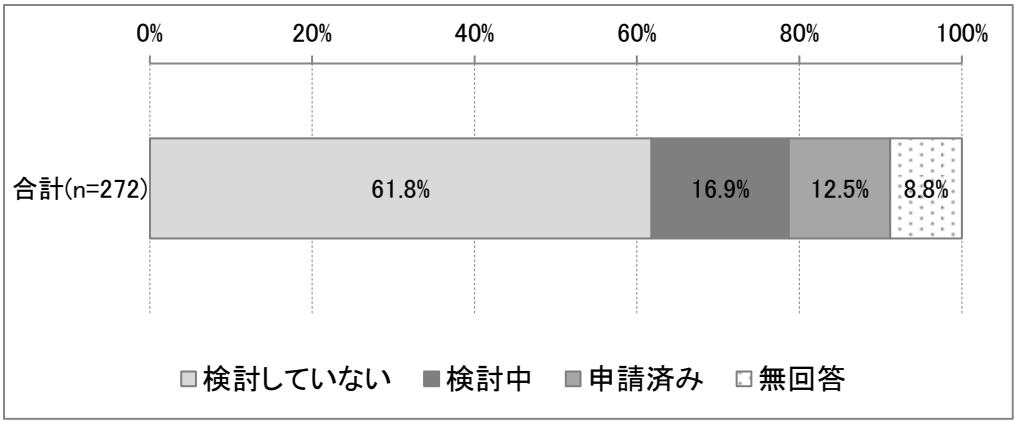
図表 1-9　★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10)　施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 61.8%となっている。次いで、「検討中（16.9%）」、「申請済み（12.5%）」となっている。

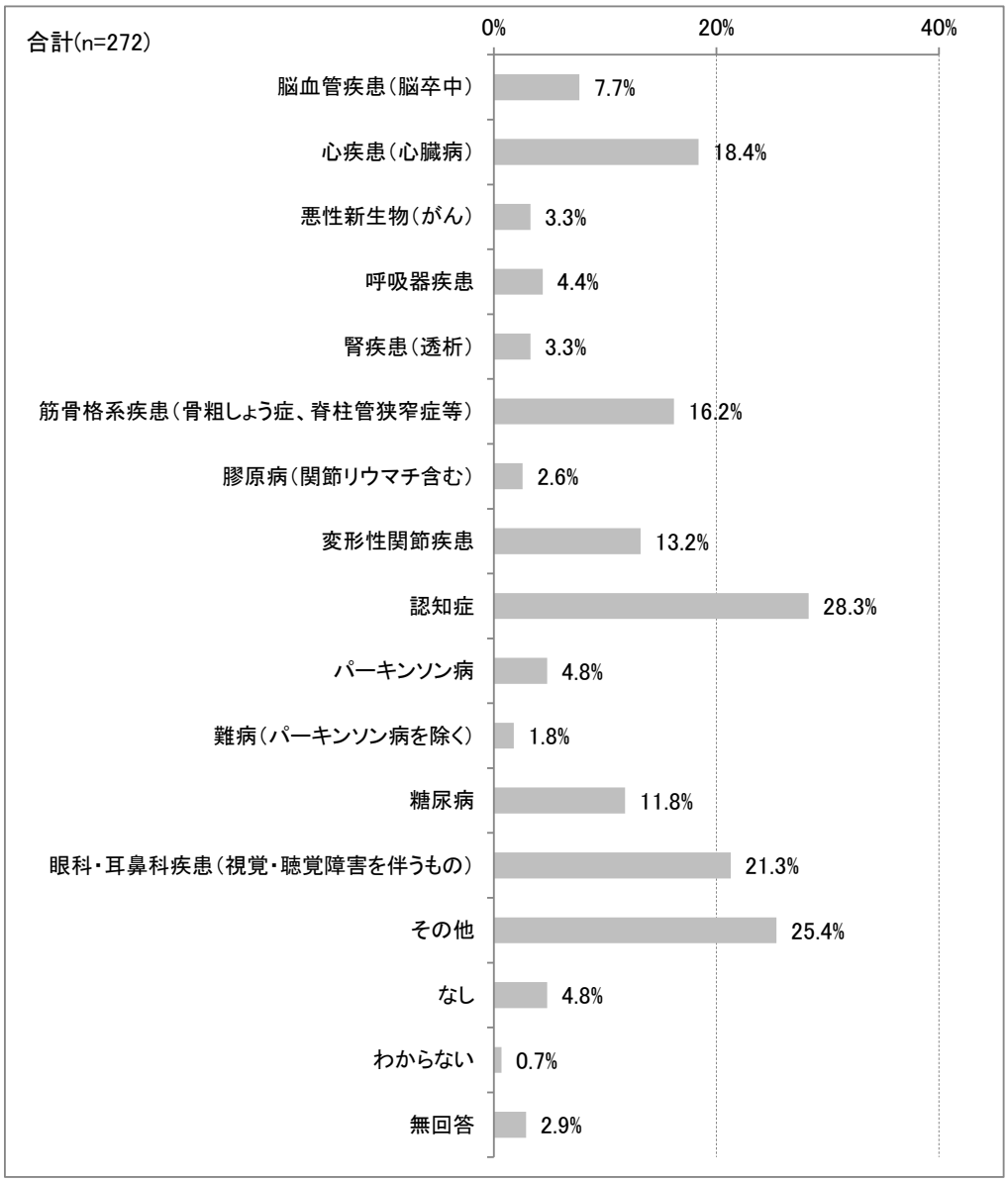
図表 1-10　施設等検討の状況（単数回答）



(11)　本人が抱えている傷病

「認知症」の割合が最も高く 28.3%となっている。次いで、「その他（25.4%)」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）（21.3%)」となっている。

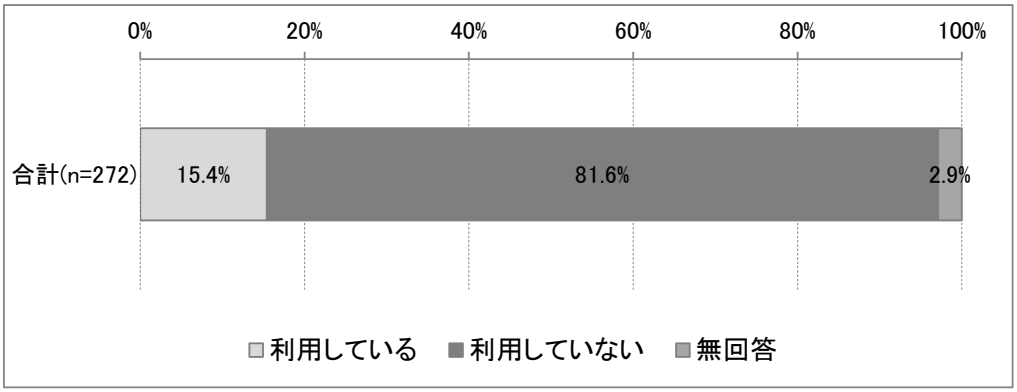
図表 1-11　★本人が抱えている傷病（複数回答）



(12)　訪問診療の利用の有無

「利用していない」が 81.6%、「利用している」が 15.4%となっている。

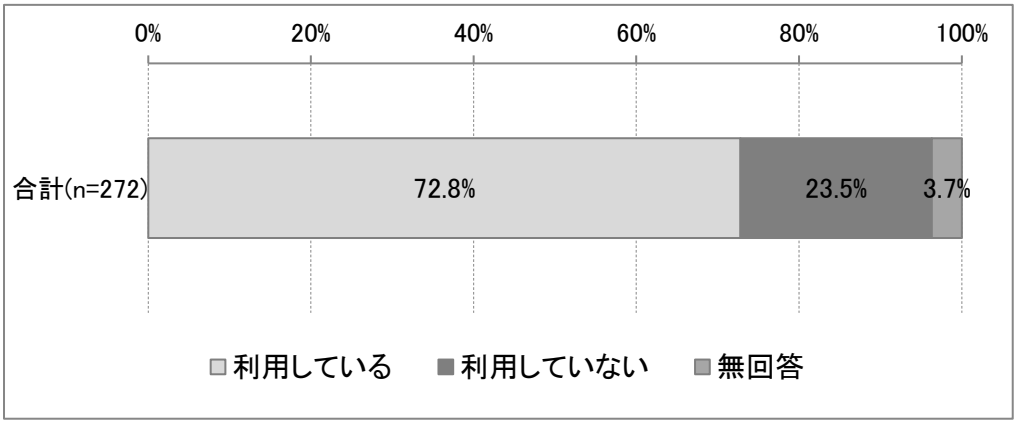
図表 1-12　★訪問診療の利用の有無（単数回答）



(13)　介護保険サービスの利用の有無

「利用している」が 72.8%、「利用していない」が 23.5%となっている。

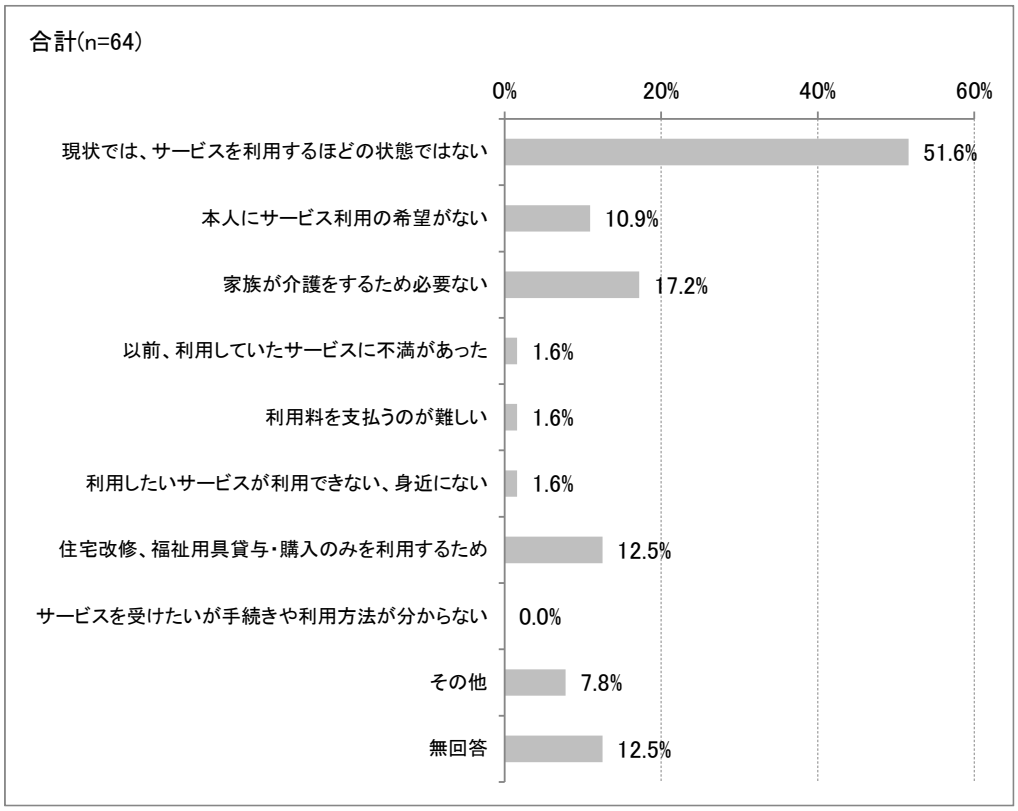
図表 1-13　★介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



(14)　介護保険サービス未利用の理由

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く 51.6%となっている。次いで、「家族が介護をするため必要ない（17.2%)」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため（12.5%)」となっている。

図表 1-14　★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

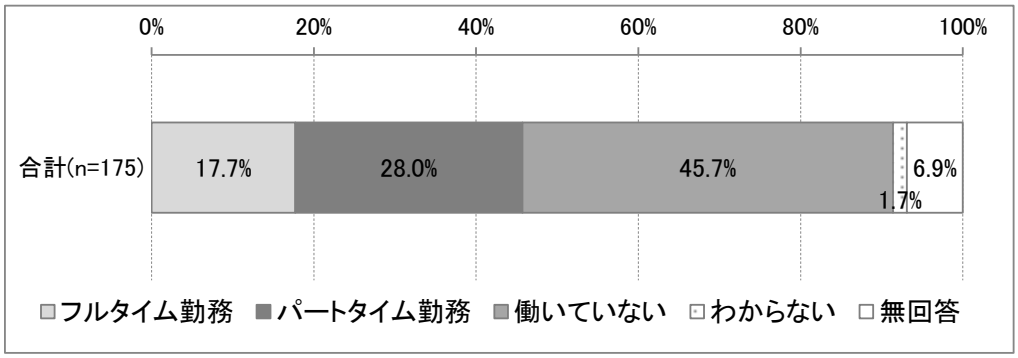


2　主な介護者様用の調査項目（Ｂ票）

(1)　主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 45.7%となっている。次いで、「パートタイム勤務(28.0%)」、「フルタイム勤務（17.7%)」となっている。

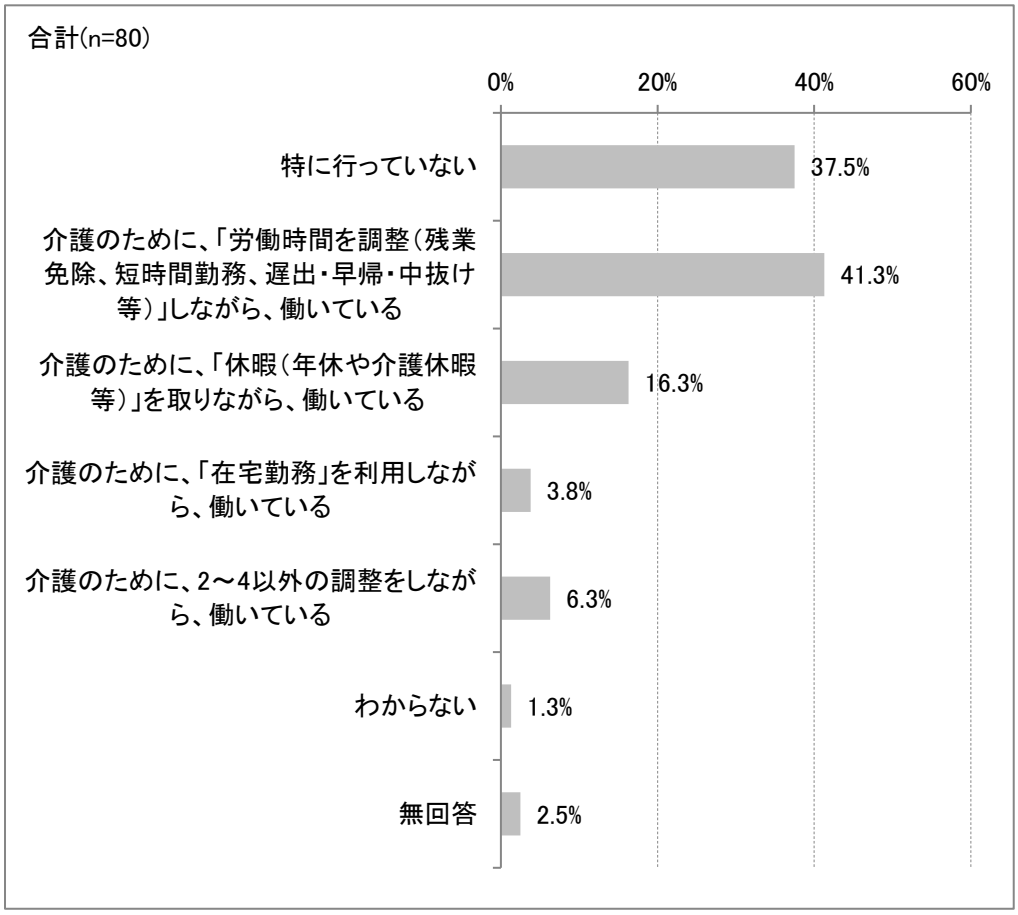
図表 2-1　主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2)　主な介護者の方の働き方の調整の状況

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が最も高く 41.3%となっている。次いで、「特に行っていない（37.5%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（16.3%）」となっている。

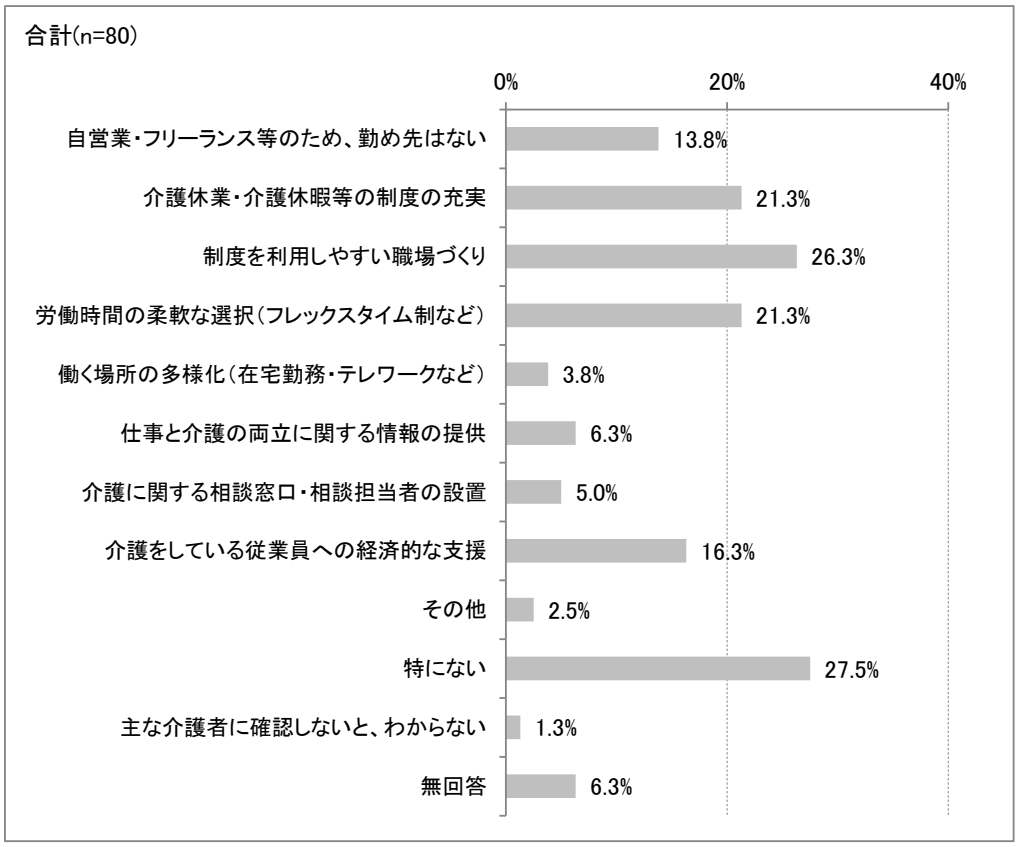
図表 2-2　主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3)　就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「特にない」の割合が最も高く 27.5%となっている。次いで、「制度を利用しやすい職場づくり（26.3%)」、「介護休業・介護休暇等の制度の充実（21.3%)」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）（21.3%)」となっている。

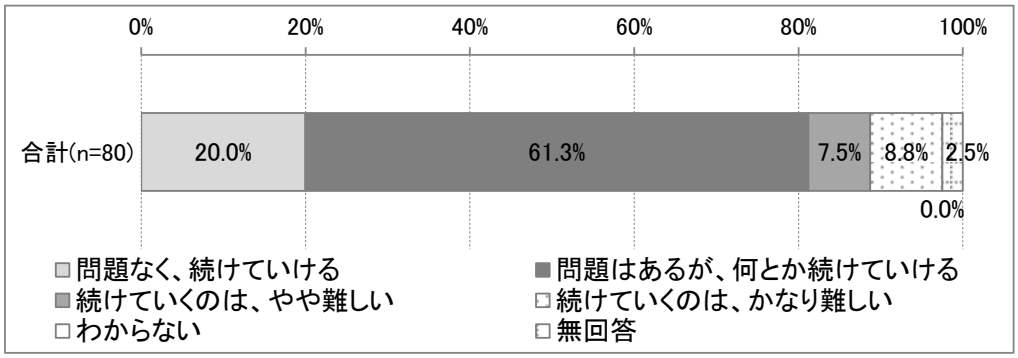
図表 2-3　★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



(4)　主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 61.3%となっている。次いで、「問題なく、続けていける（20.0%)」、「続けていくのは、かなり難しい（8.8%)」となっている。

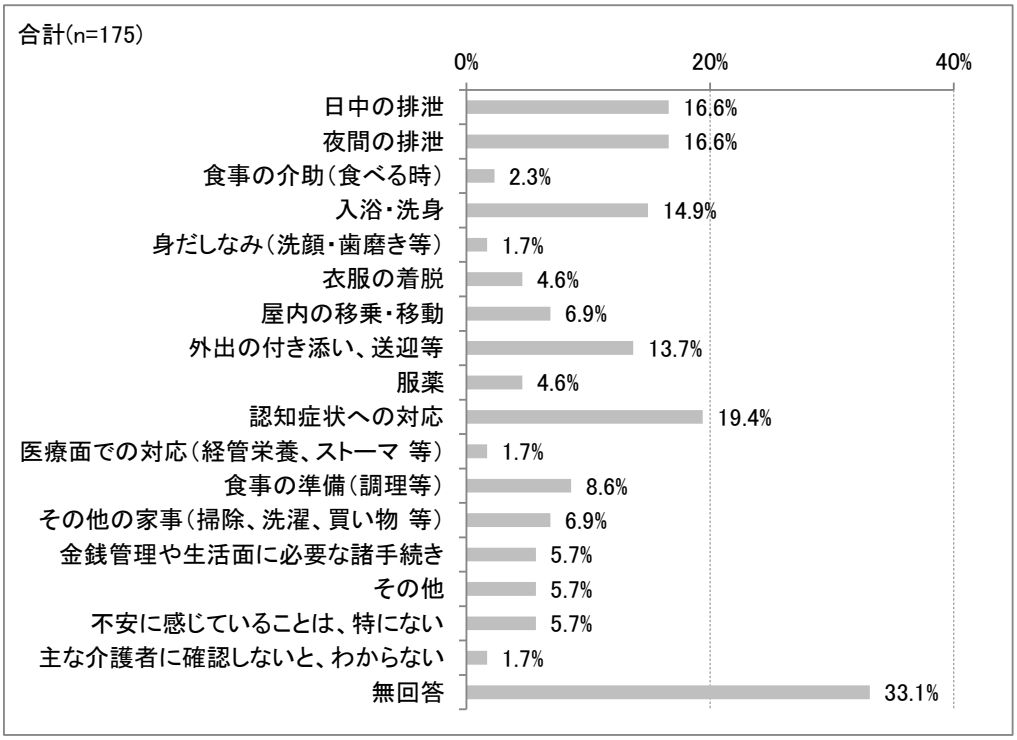
図表 2-4　主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



(5)　今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「認知症状への対応」の割合が最も高く 19.4%となっている。次いで、「日中の排泄（16.6%）」、「夜間の排泄（16.6%）」、「入浴・洗身（14.9%）」となっている。

図表 2-5　今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

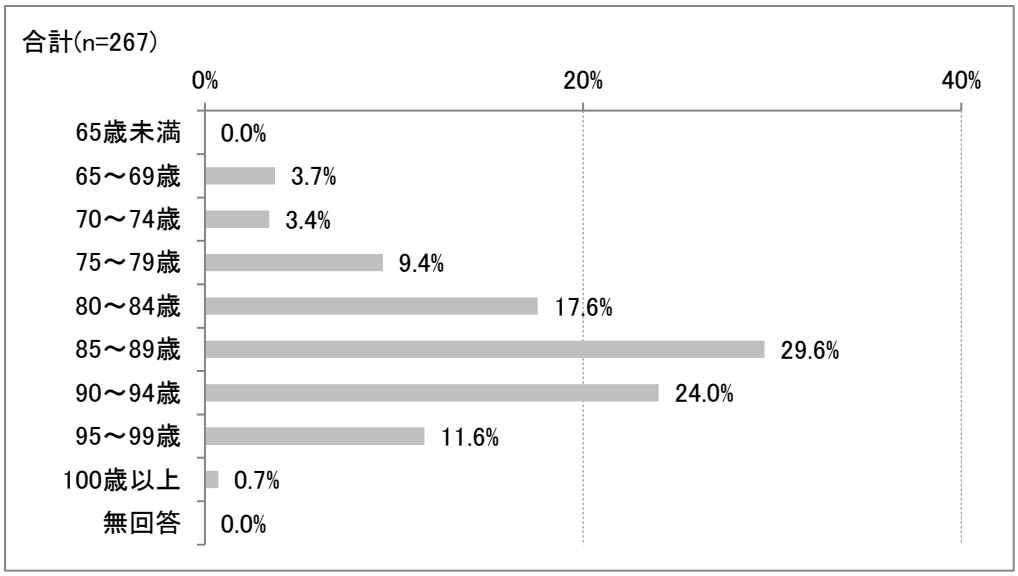


3　要介護認定データ

(1)　年齢

「85～89 歳」の割合が最も高く 29.6%となっている。次いで、「90～94 歳（24.0%）」、「80～84 歳（17.6%）」となっている。

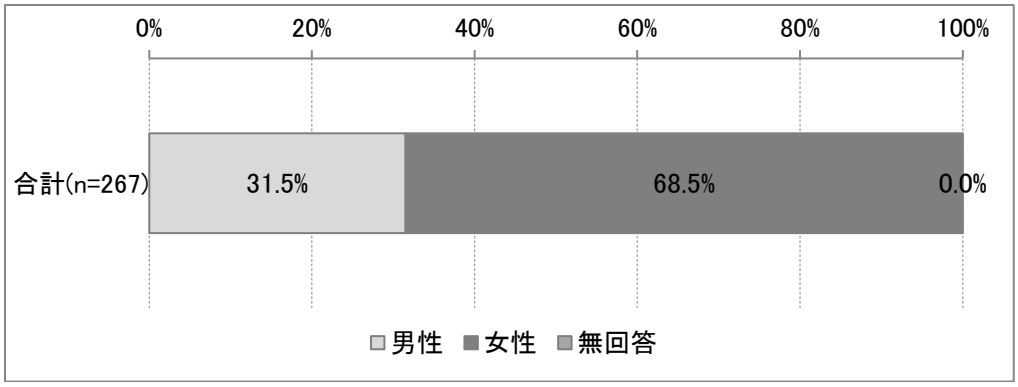
図表 3-1　年齢



(2)　性別

「女性」が 68.5%、「男性」が 31.5%となっている。

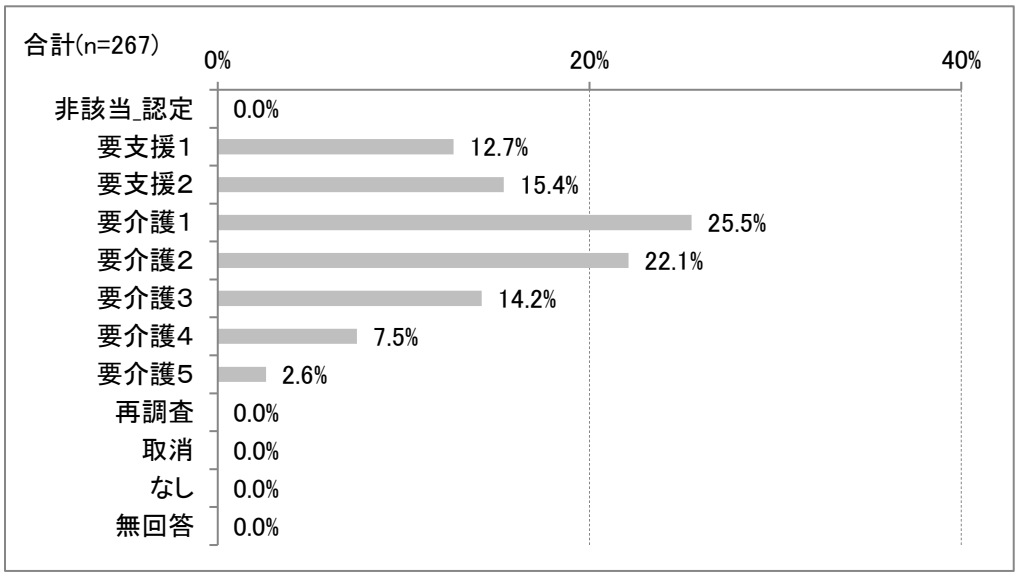
図表 3-2　性別



(3)　二次判定結果（要介護度）

「要介護１」の割合が最も高く 25.5%となっている。次いで、「要介護２（22.1%)」、「要支援２（15.4%)」となっている。

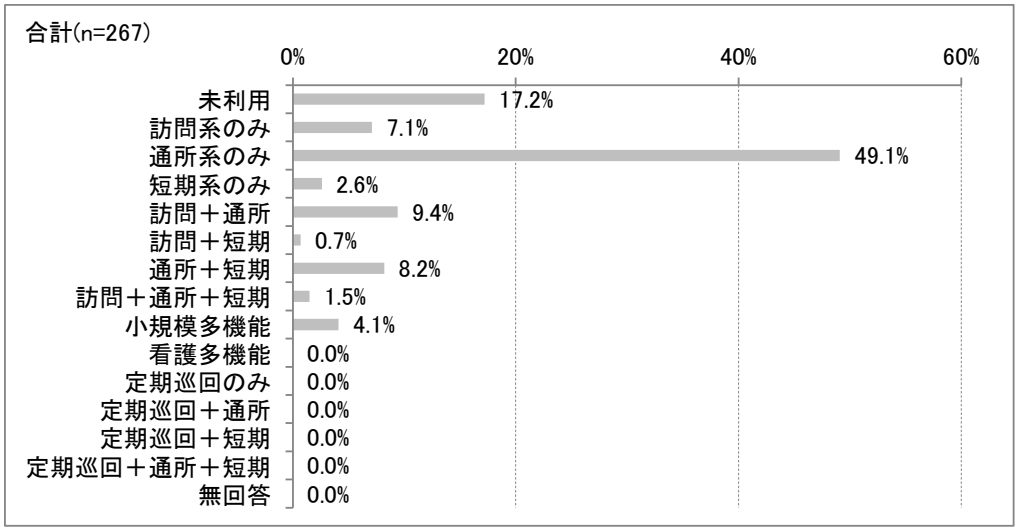
図表 3-3　二次判定結果



(4)　サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く 49.1%となっている。次いで、「未利用（17.2%)」、「訪問＋通所（9.4%)」となっている。

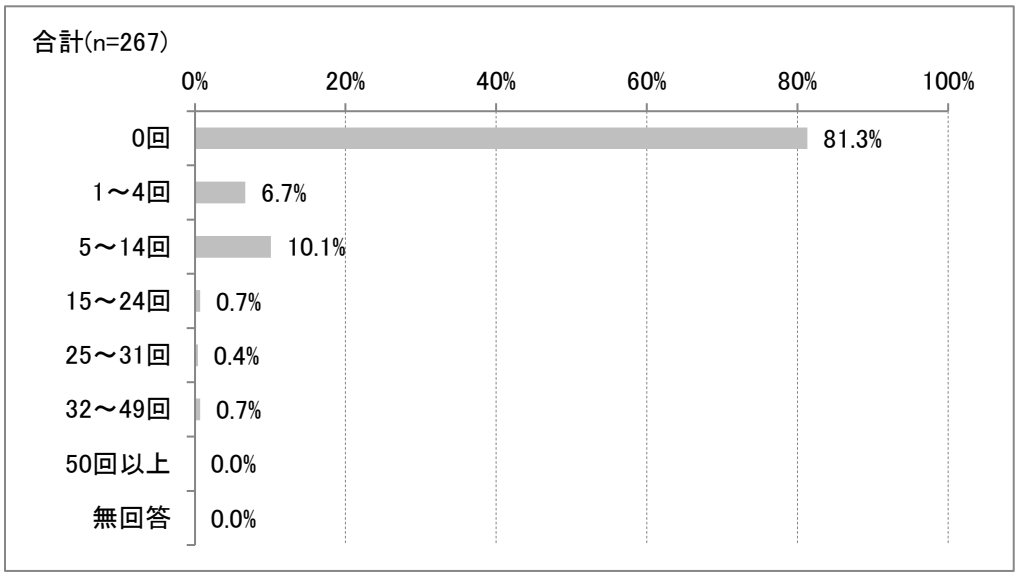
図表 3-4　サービス利用の組み合わせ



(5)　訪問系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 81.3%となっている。次いで、「5～14 回（10.1%)」、「1～4 回(6.7%)」となっている。

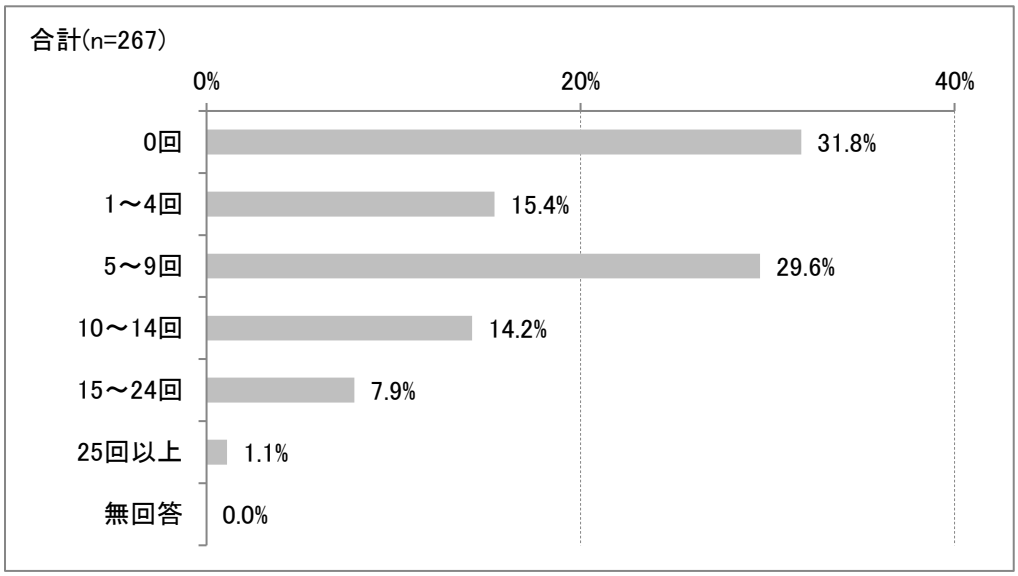
図表 3-5　サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 31.8%となっている。次いで、「5～9 回（29.6%)」、「1～4 回（15.4%)」となっている。

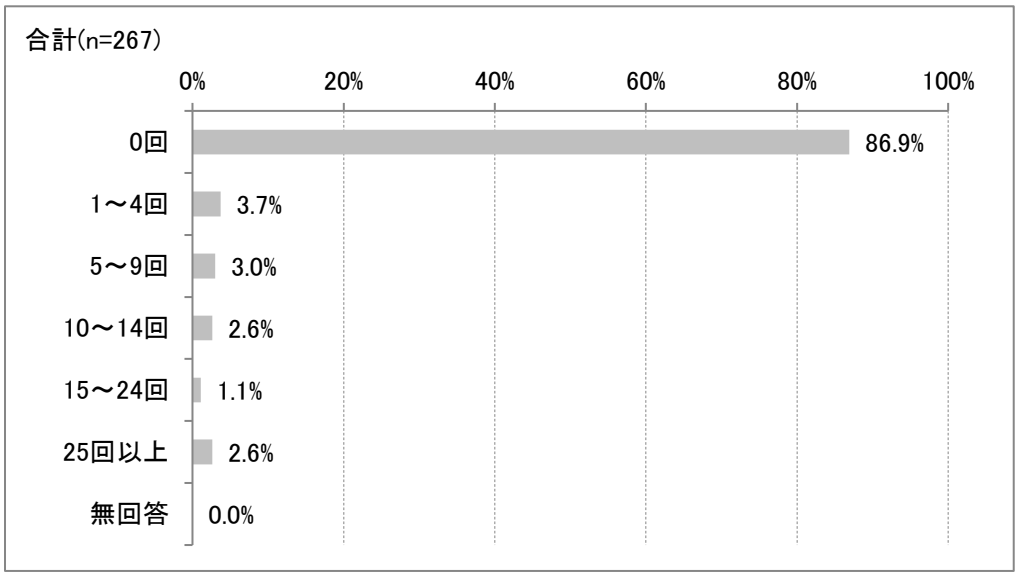
図表 3-6　サービスの利用回数（通所系）



(7)　短期系サービスの合計利用回数

「0 回」の割合が最も高く 86.9%となっている。次いで、「1～4 回（3.7%)」、「5～9 回(3.0%)」となっている。

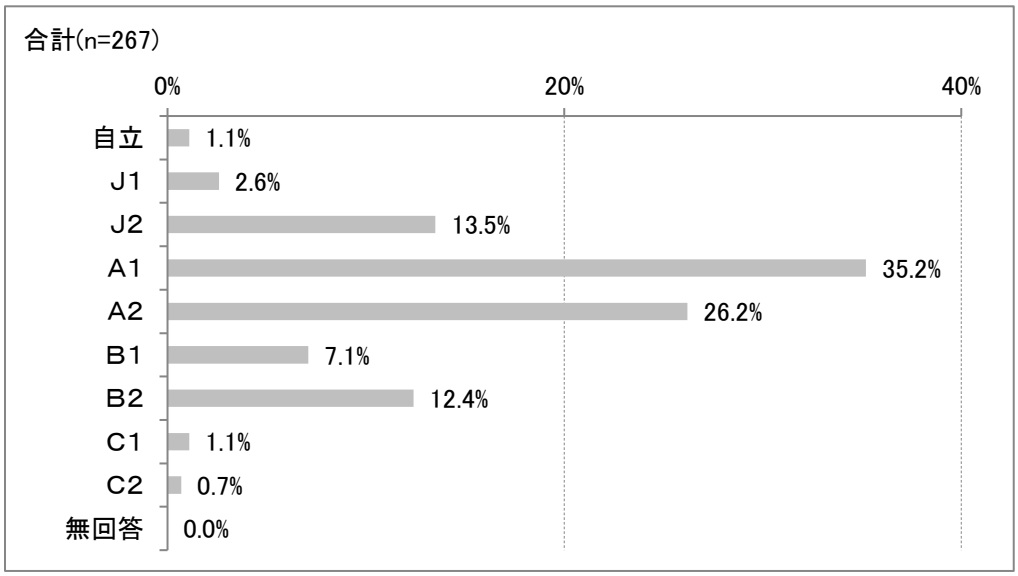
図表 3-7　サービスの利用回数（短期系）



(8)　障害高齢者の日常生活自立度

「Ａ１」の割合が最も高く 35.2%となっている。次いで、「Ａ２（26.2%)」、「Ｊ２(13.5%)」となっている。

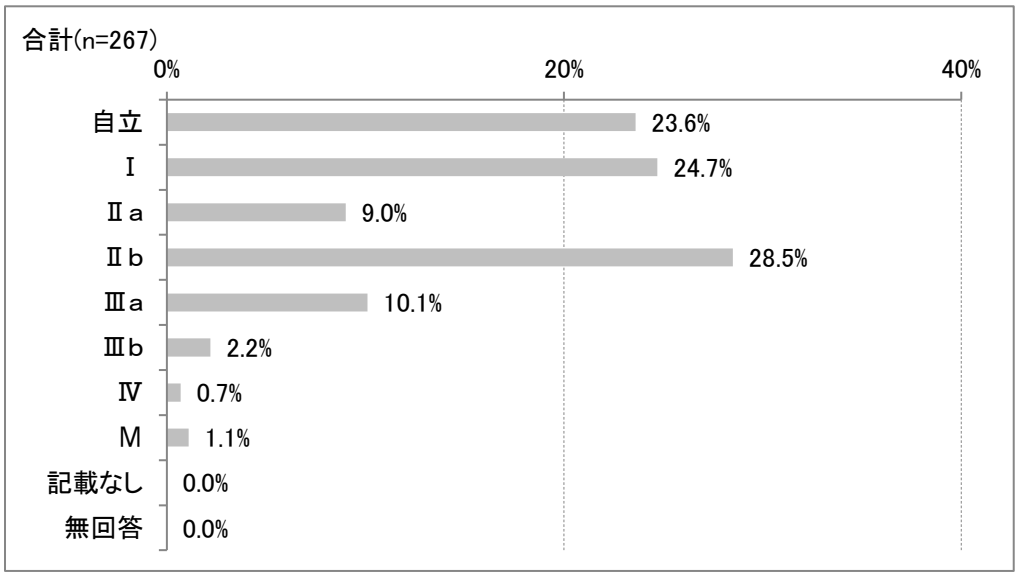
図表 3-8　障害高齢者の日常生活自立度



(9)　認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅱｂ」の割合が最も高く 28.5%となっている。次いで、「Ⅰ (24.7%)」、「自立 (23.6%)」となっている。

図表 3-9　認知症高齢者の日常生活自立度



第３章

クロス集計

1　在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

1.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の２つの視点からの集計を行っています。

○　それぞれ、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができると考えているのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析するために、「サービス利用パターン」とのクロス集計を行っています。

○　なお、「サービス利用パターン」は、「サービス利用の組み合わせ」と「サービス利用の回数」の２つからなります。

○　また、在宅限界点についての分析を行うという主旨から、多くの集計は要介護３以上、もしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方に限定して集計をしています。

1.2　集計結果と着目すべきポイント

(1)　基礎集計

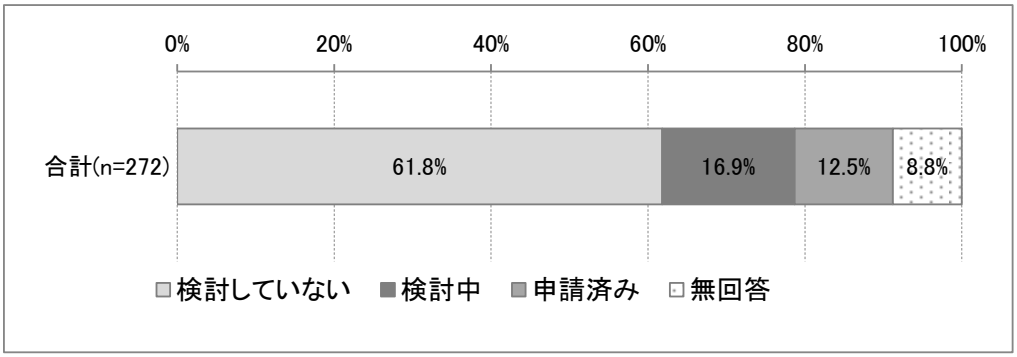
○　施設等の検討状況に係る、基礎的な集計を行っています（図表 1-1～図表 1-3）。

○　要介護度の重度化に伴う、施設等検討状況の変化や世帯類型ごとの施設等検討状況についてその状況を確認してください。

【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く 61.8%となっている。次いで、「検討中（16.9%）」、「申請済み（12.5%）」となっている。

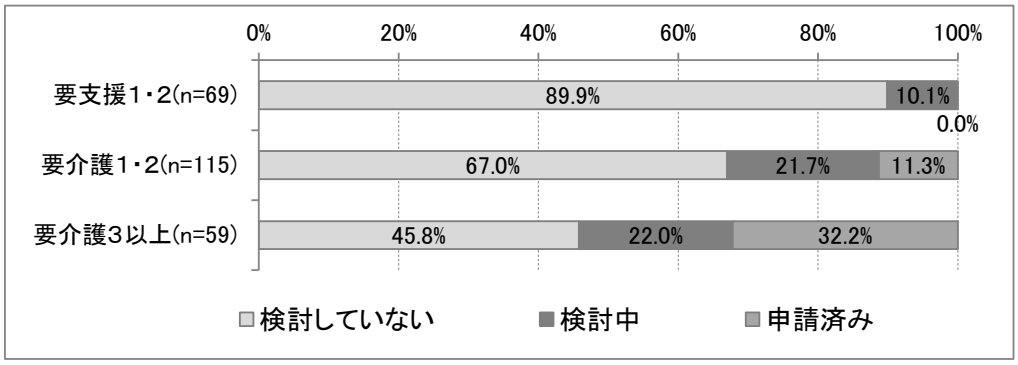
図表 1-1　施設等検討の状況



【要介護度別･施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 89.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 10.1%となっている。「要介護１・２」では「検討していない」が 67.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 21.7%、「申請済み」が 11.3%となっている。「要介護３以上」では「検討していない」が 45.8%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 32.2%、「検討中」が 22.0%となっている。

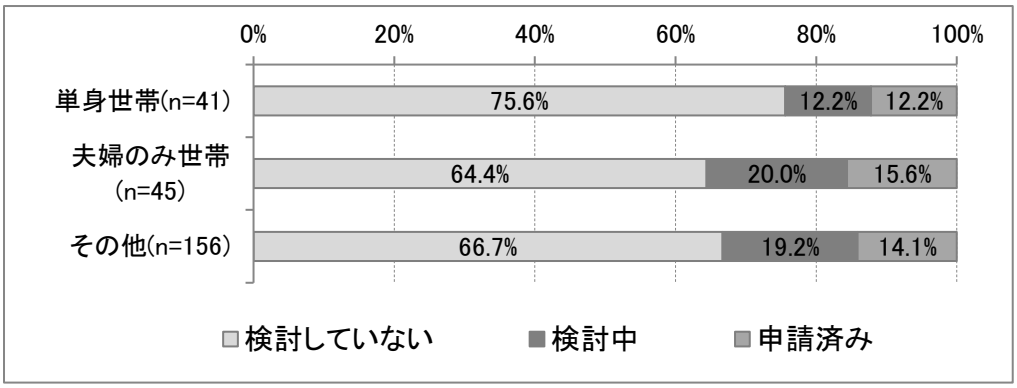
図表 1-2　要介護度別・施設等検討の状況〈***〉



【世帯類型別･施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が 75.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 12.2%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が 64.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 20.0%、「申請済み」が 15.6%となっている。「その他」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 19.2%、「申請済み」が 14.1%となっている。

図表 1-3　世帯類型別・施設等検討の状況



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

【着目すべきポイント】

○ 要介護度と認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化について、集計分析をしています（図表 1-4、図表 1-5）。

○ ここでの「主な介護者が不安に感じる介護」とは、「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等」のことです。なお、ここで選択される介護は、現状で行っている介護であるか否かは問われていません。

○ ここから、要介護度・認知症自立度別の、主な介護者が不安に感じる介護等を把握することができます。

○ また、主な介護者の不安が相対的に大きな介護や、重度化に伴い主な介護者の不安が大きくなる介護等に着目することで、在宅限界点に大きな影響を与えると考えられる「主な介護者が不安に感じる介護」を推測することも可能になります。

【留意事項】

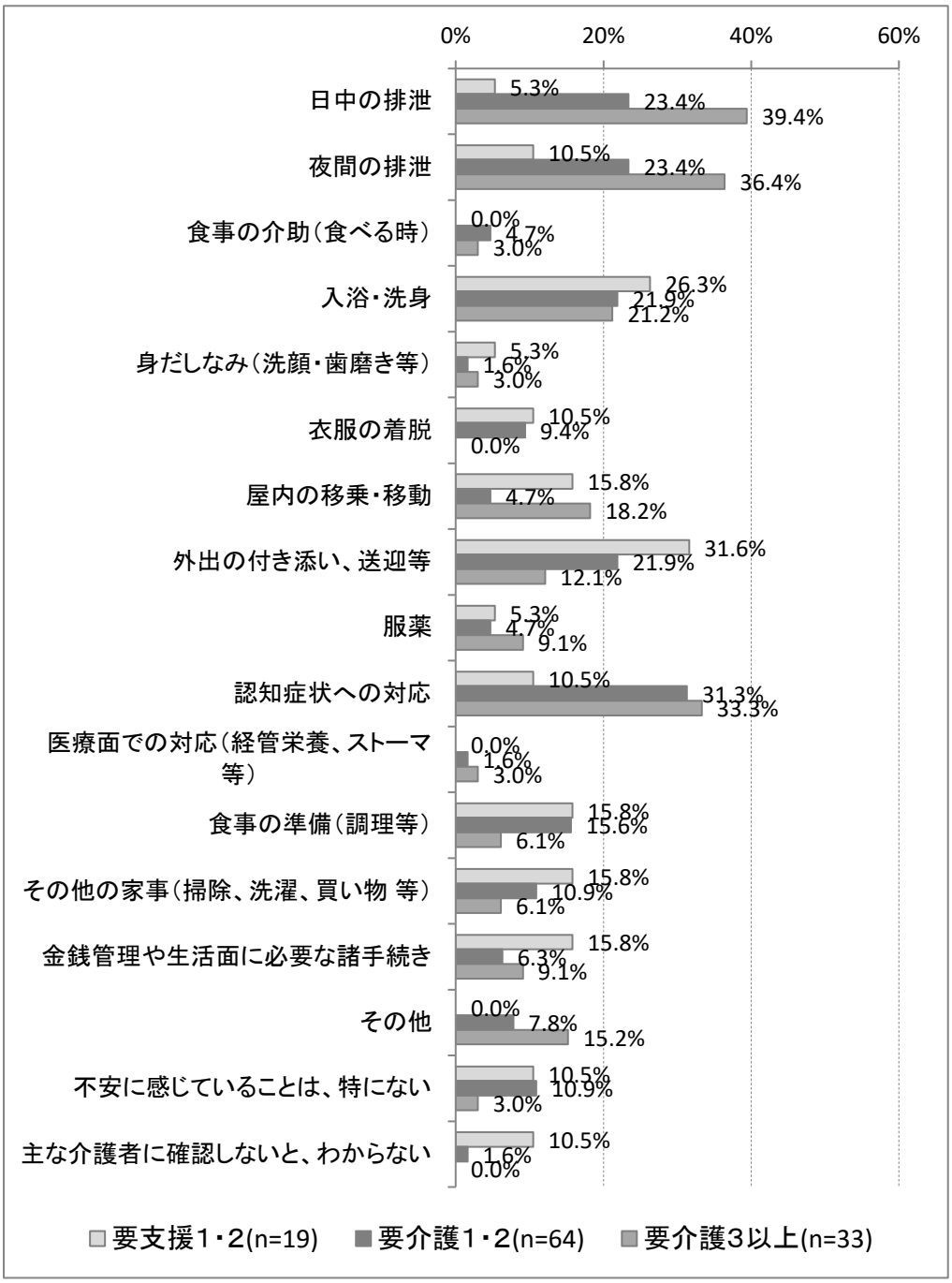
○ なお、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」については、特に、実際に行われている割合が低い可能性が高いと考えられます。したがって、仮に選択した回答者が少ない場合でも、実際に医療ニーズのある要介護者を介護しているケースでは、主な介護者の不安は大きいことも考えられます。

○ そのような観点から、在宅限界点に与える影響が過小評価される項目もあると考えられることから、注意が必要です。

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「外出の付き添い、送迎等」が 31.6%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が 26.3%、「屋内の移乗・移動」、「食事の準備（調理等)」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 15.8%となっている。「要介護１・２」では「認知症状への対応」が 31.3%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が 23.4%、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」が 21.9%となっている。「要介護３以上」では「日中の排泄」が 39.4%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 36.4%、「認知症状への対応」が 33.3%となっている。

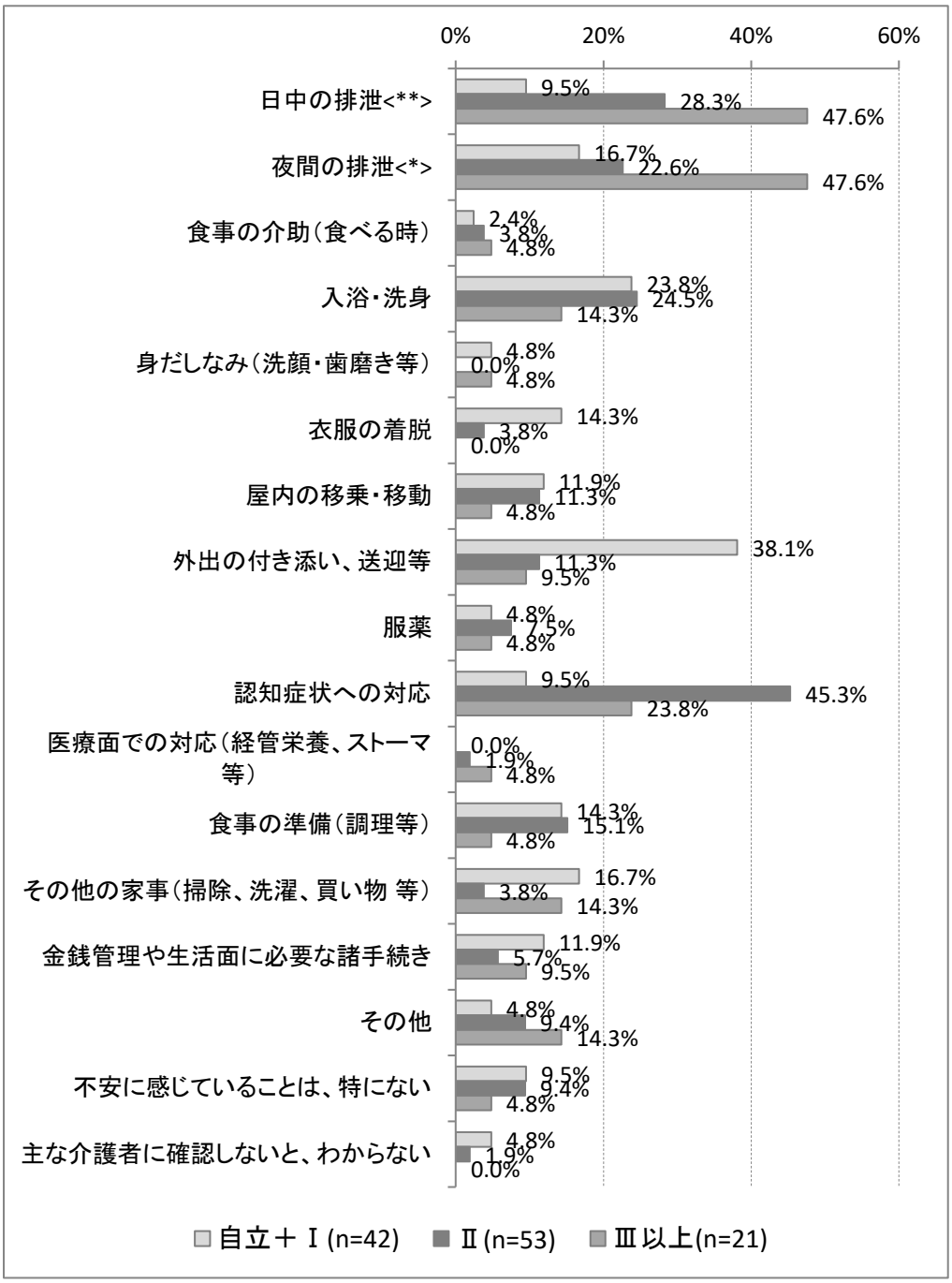
図表 1-4　要介護度別・介護者が不安に感じる介護



【認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が 38.1%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が 23.8%、「夜間の排泄」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が 16.7%となっている。「Ⅱ」では「認知症状への対応」が 45.3%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が 28.3%、「入浴・洗身」が 24.5%となっている。「Ⅲ以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が 47.6%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が 23.8%、「入浴・洗身」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」、「その他」が 14.3%となっている。

図表 1-5　認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護



(3)　要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

【着目すべきポイント】

○　ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 1-6、図表 1-7）。

○　特に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

○　さらに、例えば今後の中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

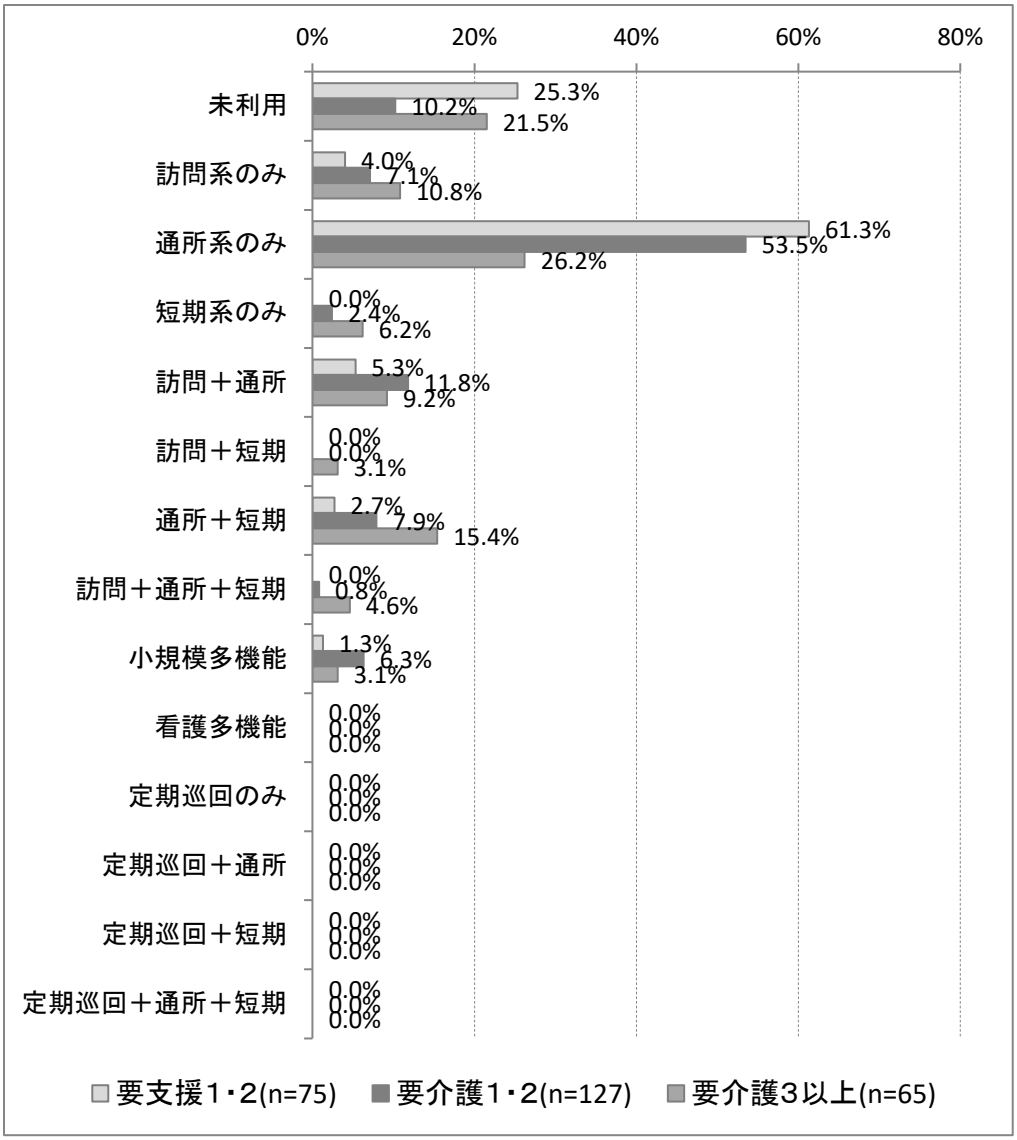
【留意事項】

○　ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

【要介護度別･サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系のみ」が 61.3%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 25.3%、「訪問＋通所」が 5.3%となっている。「要介護１・２」では「通所系のみ」が 53.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問＋通所」が 11.8%、「未利用」が 10.2%となっている。「要介護３以上」では「通所系のみ」が 26.2%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 21.5%、「通所＋短期」が 15.4%となっている。

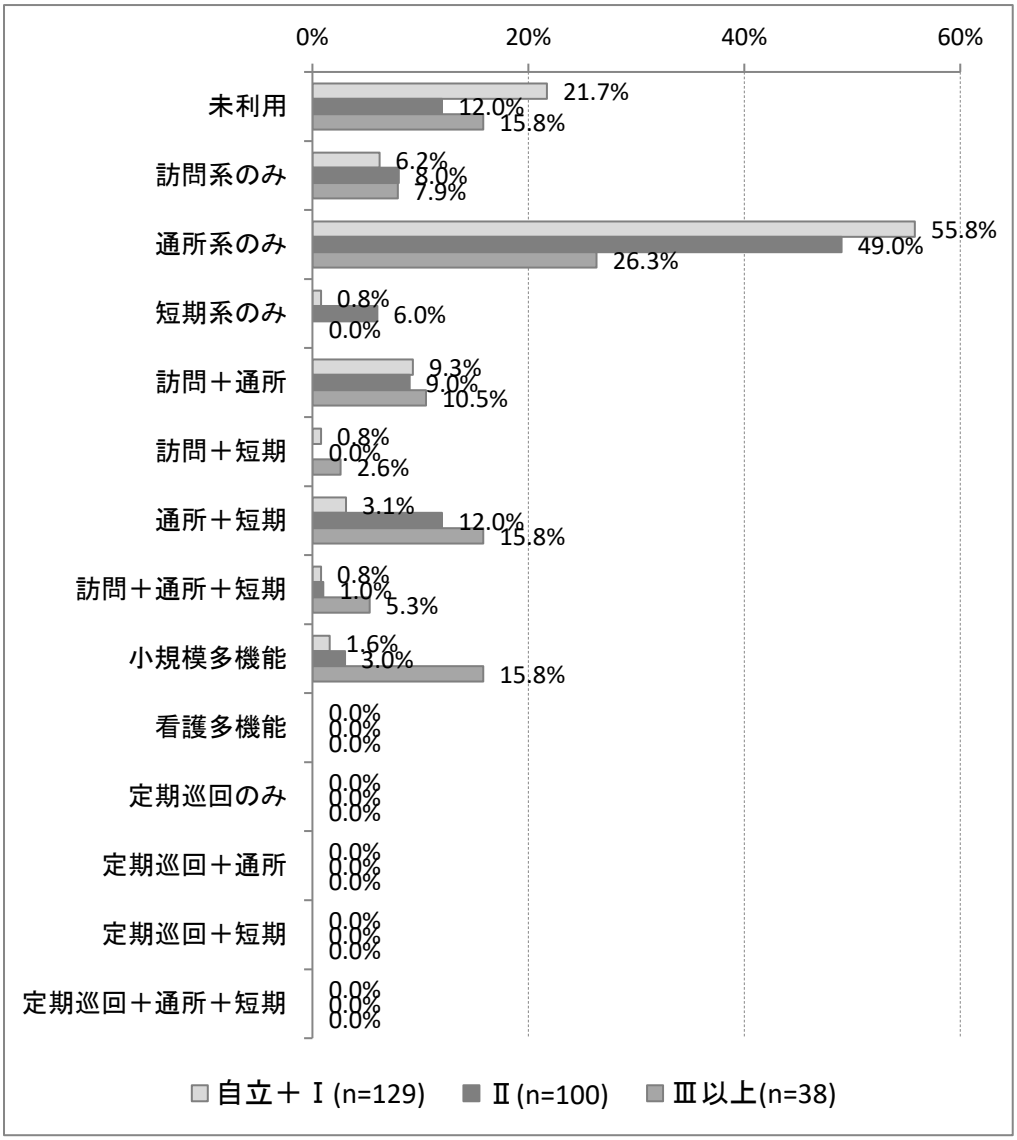
図表 1-6　要介護度別・サービス利用の組み合わせ〈***〉



【認知症自立度別･サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「通所系のみ」が 55.8%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 21.7%、「訪問＋通所」が 9.3%となっている。「Ⅱ」では「通所系のみ」が 49.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「通所＋短期」が 12.0%、「訪問＋通所」が 9.0%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が 26.3%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「通所＋短期」、「小規模多機能」が 15.8%、「訪問＋通所」が 10.5%となっている。

図表 1-7　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ〈***〉



【着目すべきポイント】

○　ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化した集計分析をしています（図表 1-8、図表 1-9）。

○　具体的には、サービス利用の組み合わせを、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその２つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の３種類（未利用除く）に分類したものです。

○　組み合わせのパターンが細分化された集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と比較して、上記のような視点から、重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化の傾向等を分かりやすく示すことを目的としたものです。

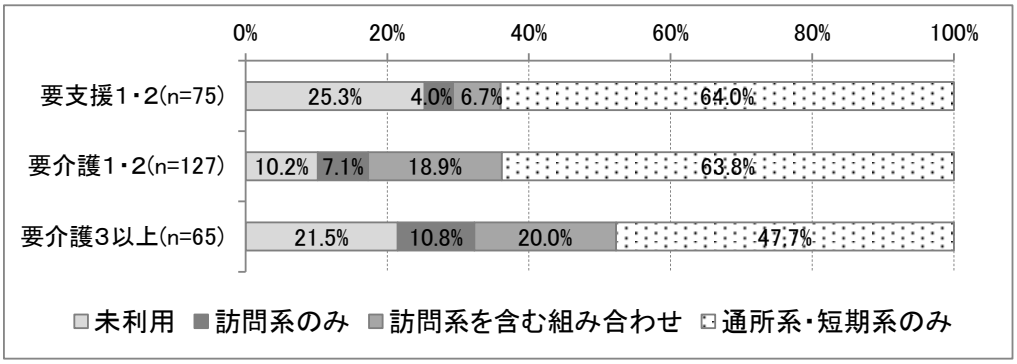
○　前掲の集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と同様に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

○　また、中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系・短期系のみ」が 64.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 25.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が 6.7%となっている。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 63.8%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 18.9%、「未利用」が 10.2%となっている。「要介護３以上」では「通所系・短期系のみ」が 47.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 21.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が 20.0%となっている。

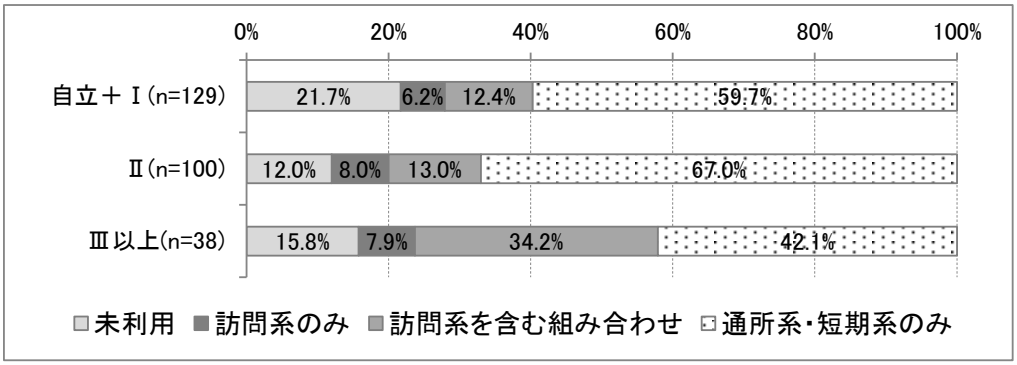
図表 1-8　要介護度別・サービス利用の組み合わせ〈**〉



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が 59.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 21.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 12.4%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が 67.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 13.0%、「未利用」が 12.0%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 42.1%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 34.2%、「未利用」が 15.8%となっている。

図表 1-9　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ〈*〉



(4)　「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係について、集計分析をしています。それぞれ、要介護３以上と要介護４以上、認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

○　「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○　ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

○　図表 1-10～図表 1-12 は、「サービス利用の組み合わせ」別に「施設等検討の状況」の割合を集計分析したもので、特に「サービス利用の組み合わせ」ごとの「施設等検討の状況」の比較が容易です。

○　また、図表 1-13～図表 1-15 は、表側と表頭を逆にして集計したもので、「施設等検討の状況」別の「サービス利用の組み合わせ」をみることができます。これにより、例えば施設等への入所・入居を「検討していない」ケースのような「適切な在宅生活の継続を実現している」と考えられる要介護者について、実際に「どのような組み合わせのサービスを利用しているか」を把握することができます。

○　したがって、例えば「検討中」や「申請済み」と比較して、「検討していない」ケースで多くみられるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながることなどが期待されます。

【留意事項】

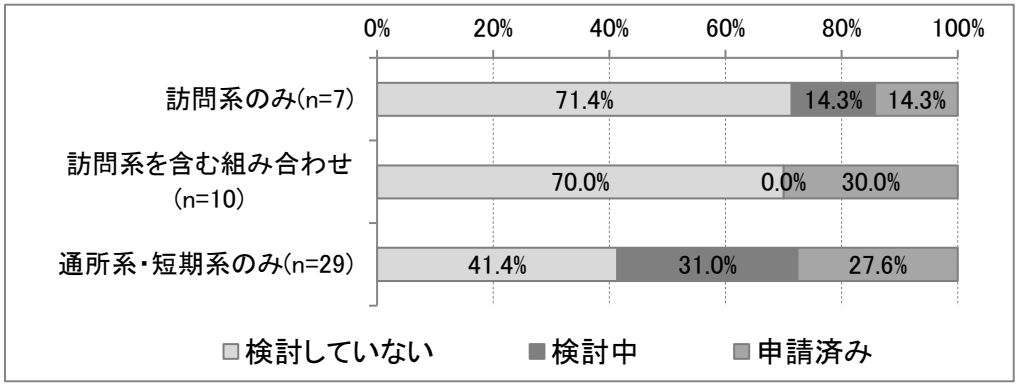
○　ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論を交えながら、地域ごとにその効果等についての考察を深めていくことが重要となります。

○　例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 14.3%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が 70.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 30.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が 41.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 31.0%、「申請済み」が 27.6%となっている。

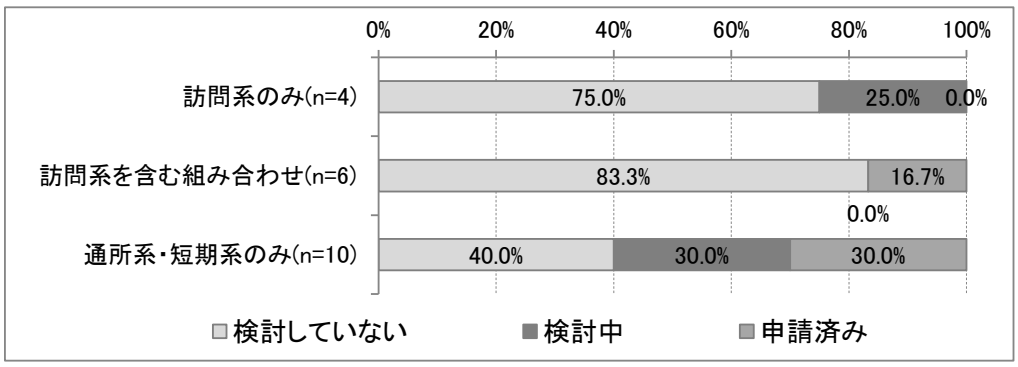
図表 1-10　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護３以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 25.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が 83.3%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 16.7%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 30.0%となっている。

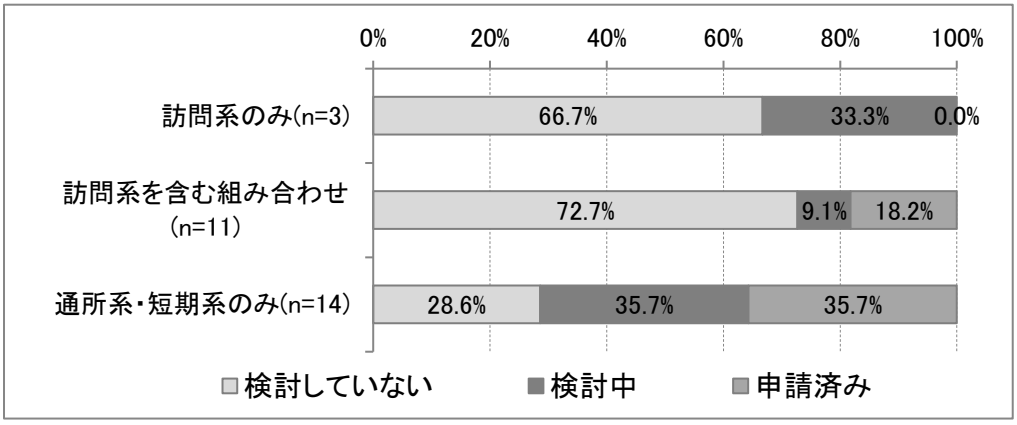
図表 1-11　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護４以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 33.3%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が 72.7%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 18.2%、「検討中」が 9.1%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討中」、「申請済み」が 35.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が 28.6%となっている。

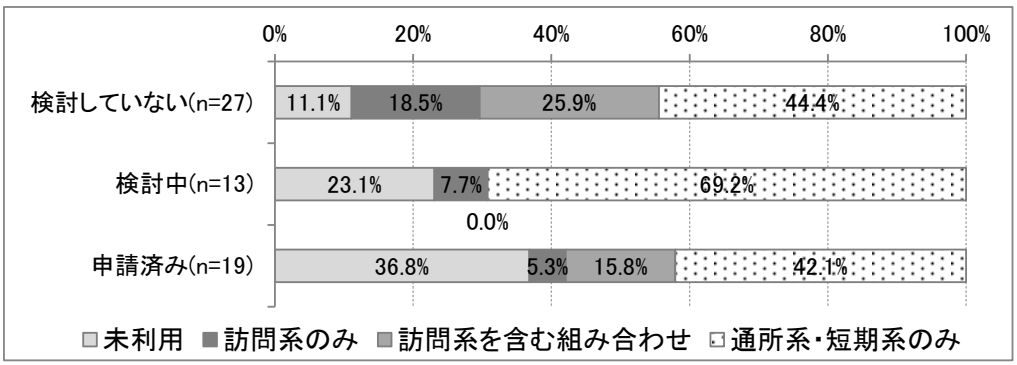
図表 1-12　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が 44.4%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 25.9%、「訪問系のみ」が 18.5%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が 69.2%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 23.1%、「訪問系のみ」が 7.7%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が 42.1%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 36.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が 15.8%となっている。

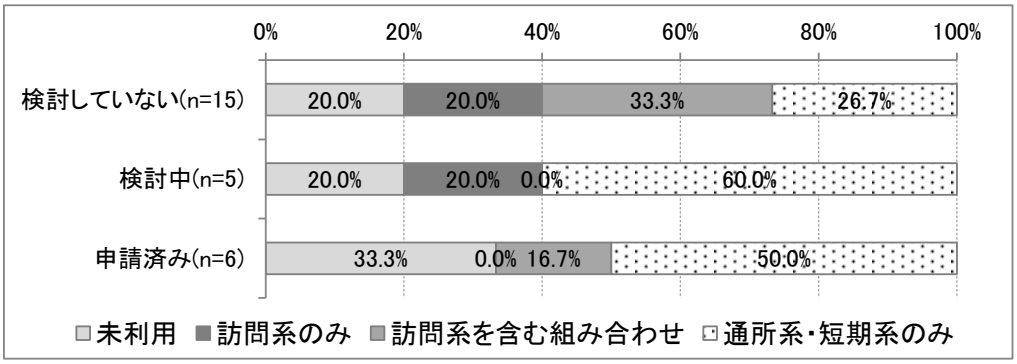
図表 1-13　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護３以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 26.7%、「未利用」、「訪問系のみ」が 20.0%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が 60.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」が 20.0%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 33.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が 16.7%となっている。

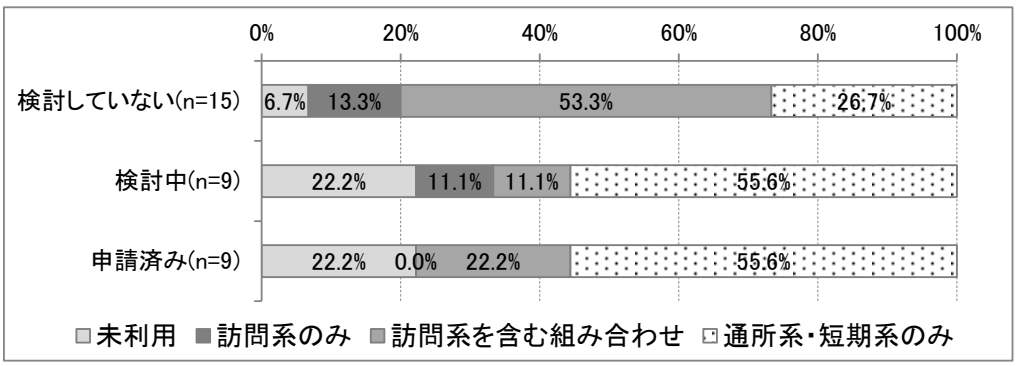
図表 1-14　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護４以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が 53.3%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 26.7%、「訪問系のみ」が 13.3%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が 55.6%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 22.2%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 11.1%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が 55.6%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 22.2%となっている。

図表 1-15　サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



(5)　「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係について、集計分析をしています（図表 1-16、図表 1-17）。それぞれ、要介護３以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

○　「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護 等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○　ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

○　したがって、「主な介護者の不安」が比較的小さくなるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するようなサービス整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながることなどが期待されます。

【留意事項】

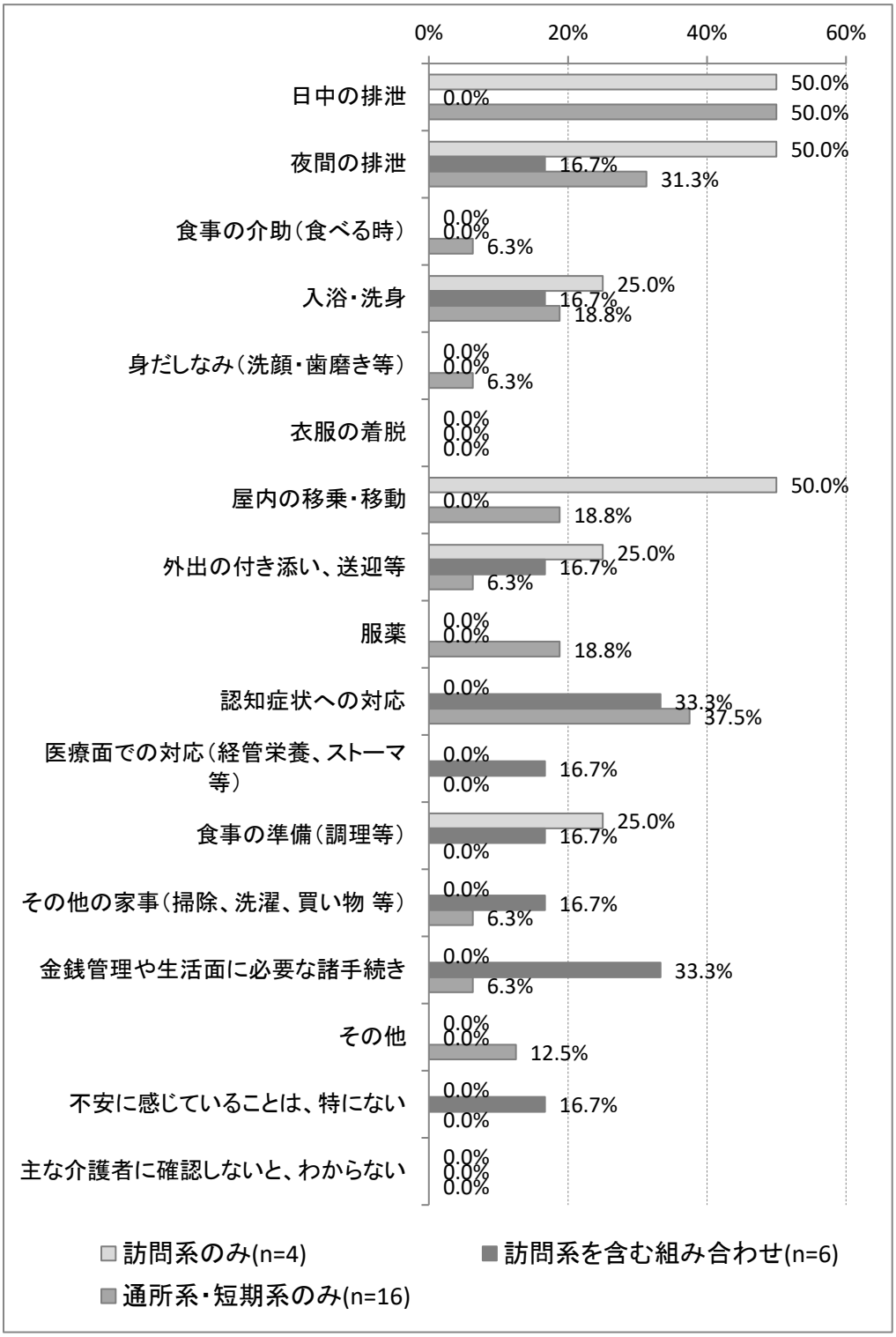
○　ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

○　例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、○○の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、○○の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」が 25.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「不安に感じていることは、特にない」が 16.7%となっている。「通所系・短期系のみ」では「日中の排泄」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が 37.5%、「夜間の排泄」が 31.3%となっている。

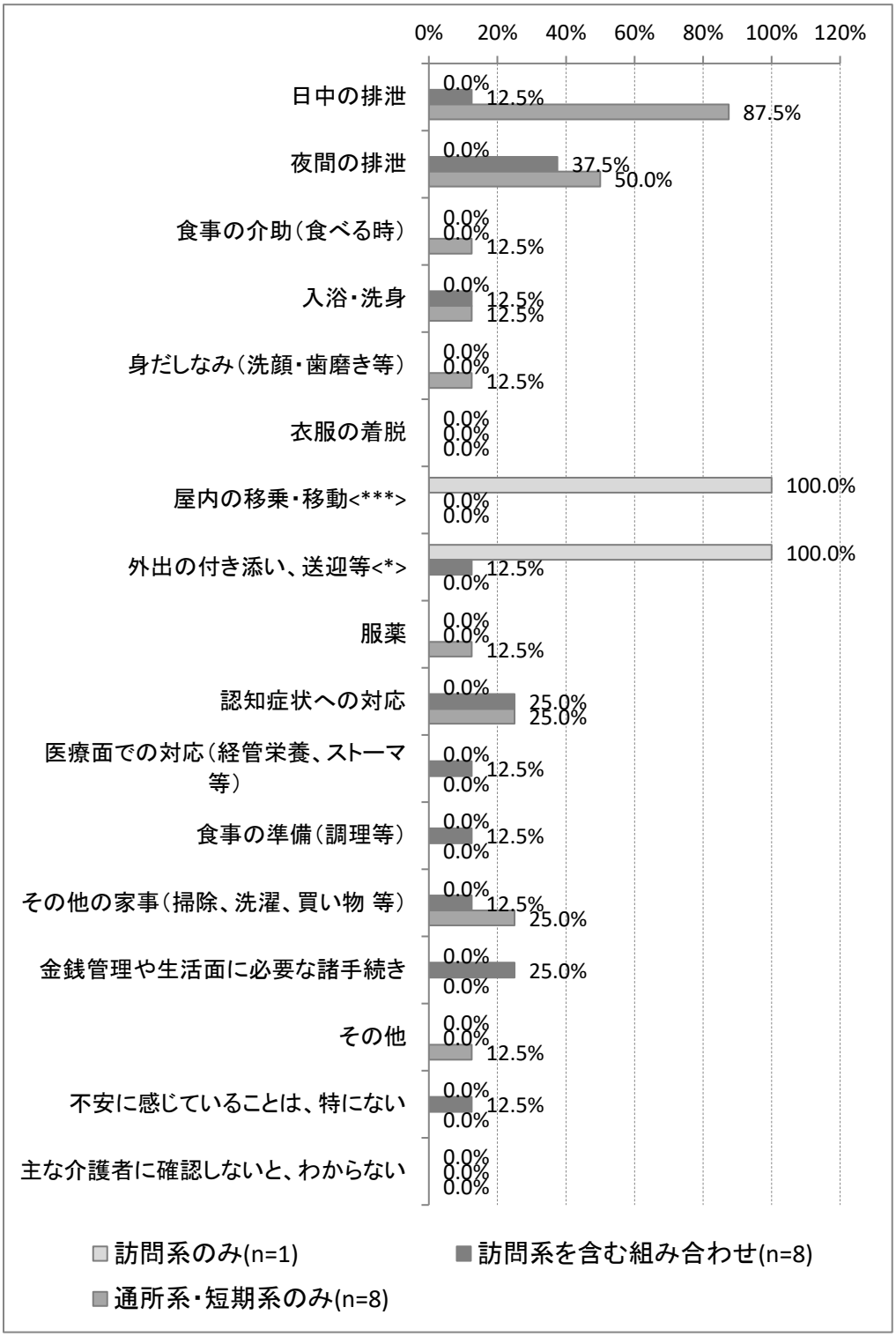
図表 1-16　サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護３以上）



【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系を含む組み合わせ」では「夜間の排泄」が 37.5%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 25.0%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「不安に感じていることは、特にない」が 12.5%となっている。「通所系・短期系のみ」では「日中の排泄」が 87.5%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 50.0%、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 25.0%となっている。

図表 1-17　サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



(6)　「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

【着目すべきポイント】

○　(4)では、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」について、集計分析を行っています。それぞれ、要介護３以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

○　「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○　ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

○　図表 1-18 と図表 1-19 が訪問系、図表 1-20 と図表 1-21 通所系、図表 1-22 と図表 1-23 が短期系について集計分析した結果です。

○　「サービス利用の回数」の増加に伴い、施設等への入所・入居を「検討していない」割合が高くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながることなどが期待されます。

【留意事項】

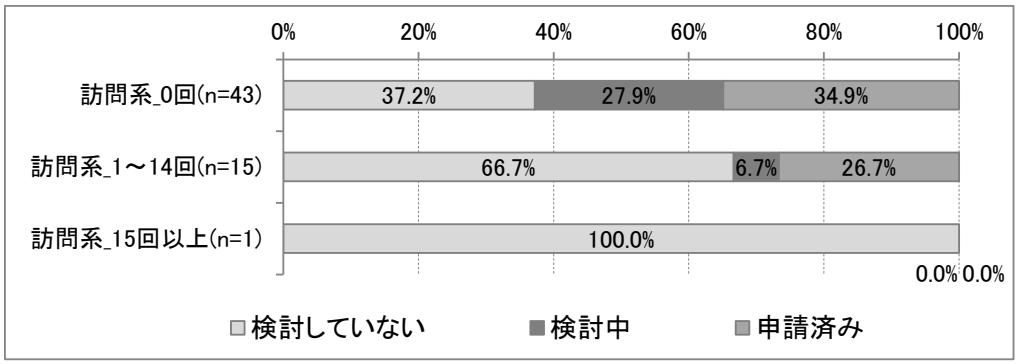
○　(4)の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の２つの分析結果を参考に、在宅限界点の向上に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。

○　(4)の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「検討していない」が 37.2%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 34.9%、「検討中」が 27.9%となっている。「訪問系_1～14 回」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 26.7%、「検討中」が 6.7%となっている。

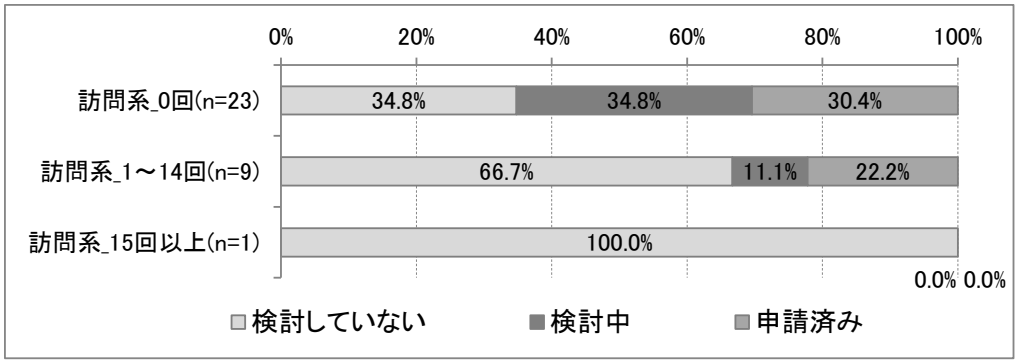
図表 1-18　サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護３以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「検討していない」、「検討中」が 34.8%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 30.4%となっている。「訪問系_1～14 回」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 22.2%、「検討中」が 11.1%となっている。

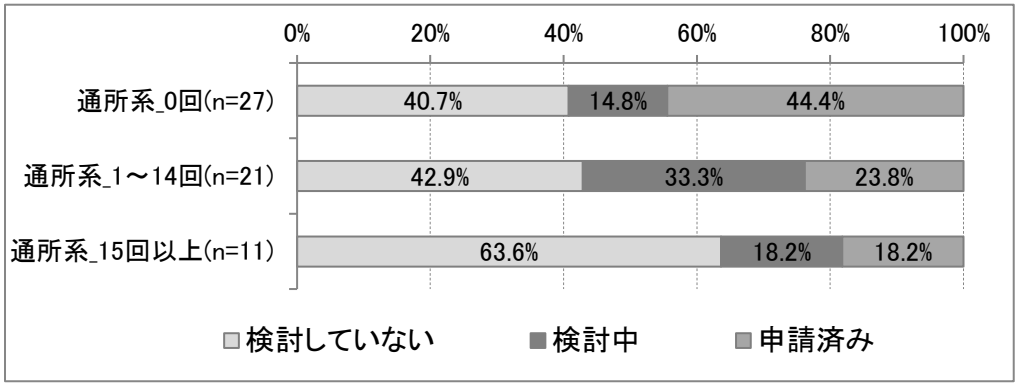
図表 1-19　サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「申請済み」が 44.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が 40.7%、「検討中」が 14.8%となっている。「通所系_1～14 回」では「検討していない」が 42.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 33.3%、「申請済み」が 23.8%となっている。「通所系_15 回以上」では「検討していない」が 63.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 18.2%となっている。

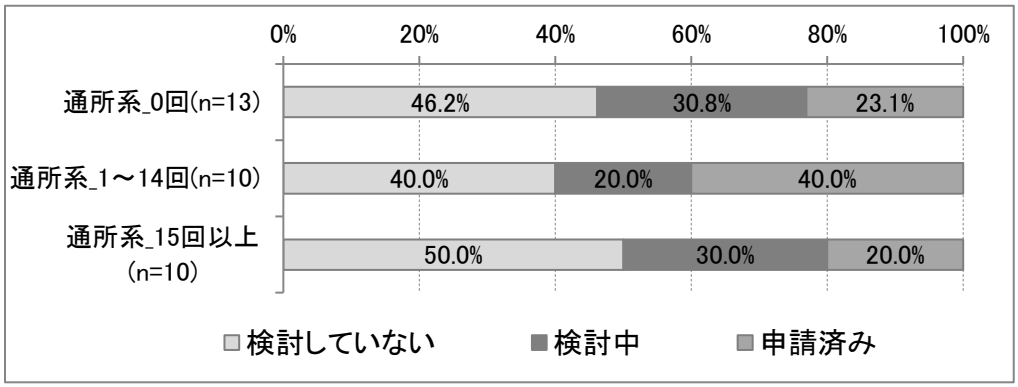
図表 1-20　サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護３以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「検討していない」が 46.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 30.8%、「申請済み」が 23.1%となっている。「通所系_1～14 回」では「検討していない」、「申請済み」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 20.0%となっている。「通所系_15 回以上」では「検討していない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 30.0%、「申請済み」が 20.0%となっている。

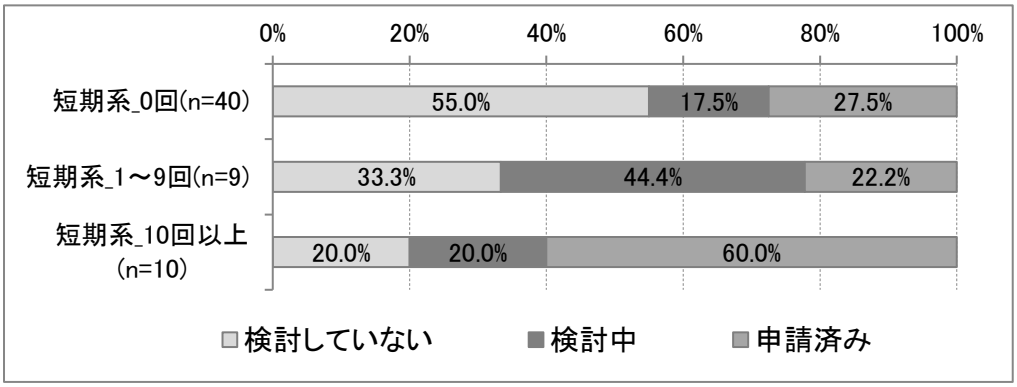
図表 1-21　サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「検討していない」が 55.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 27.5%、「検討中」が 17.5%となっている。「短期系_1～9 回」では「検討中」が 44.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が 33.3%、「申請済み」が 22.2%となっている。「短期系_10 回以上」では「申請済み」が 60.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」、「検討中」が 20.0%となっている。

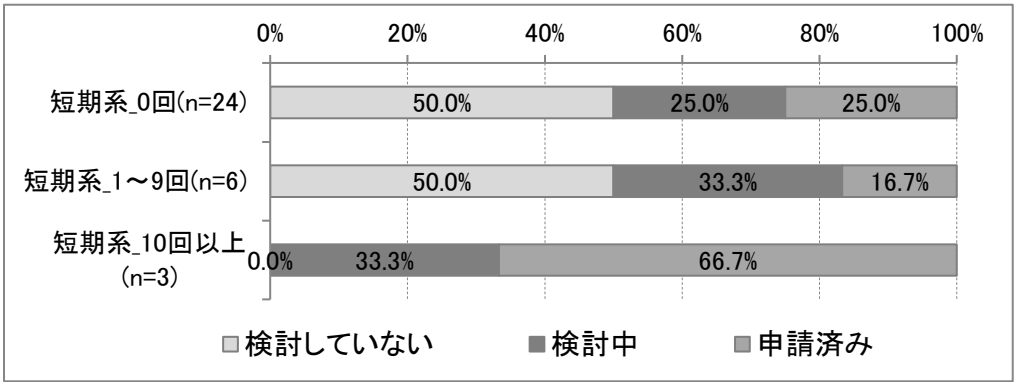
図表 1-22　サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護３以上）<+>



【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「検討していない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 25.0%となっている。「短期系_1～9 回」では「検討していない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 33.3%、「申請済み」が 16.7%となっている。「短期系_10 回以上」では「申請済み」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 33.3%となっている。

図表 1-23　サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



(7)　「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【着目すべきポイント】

○　(5)では、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、集計分析を行っています。

○　「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護 等)」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○　ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

○　図表 1-24 と図表 1-25 が訪問系、図表 1-26 と図表 1-27 が通所系、図表 1-28 と図表 1-29 が短期系について集計分析した結果です。それぞれ、要介護３以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

○　「サービス利用の回数」の増加に伴い、「主な介護者が不安に感じる」割合が低くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながることなどが期待されます。

【留意事項】

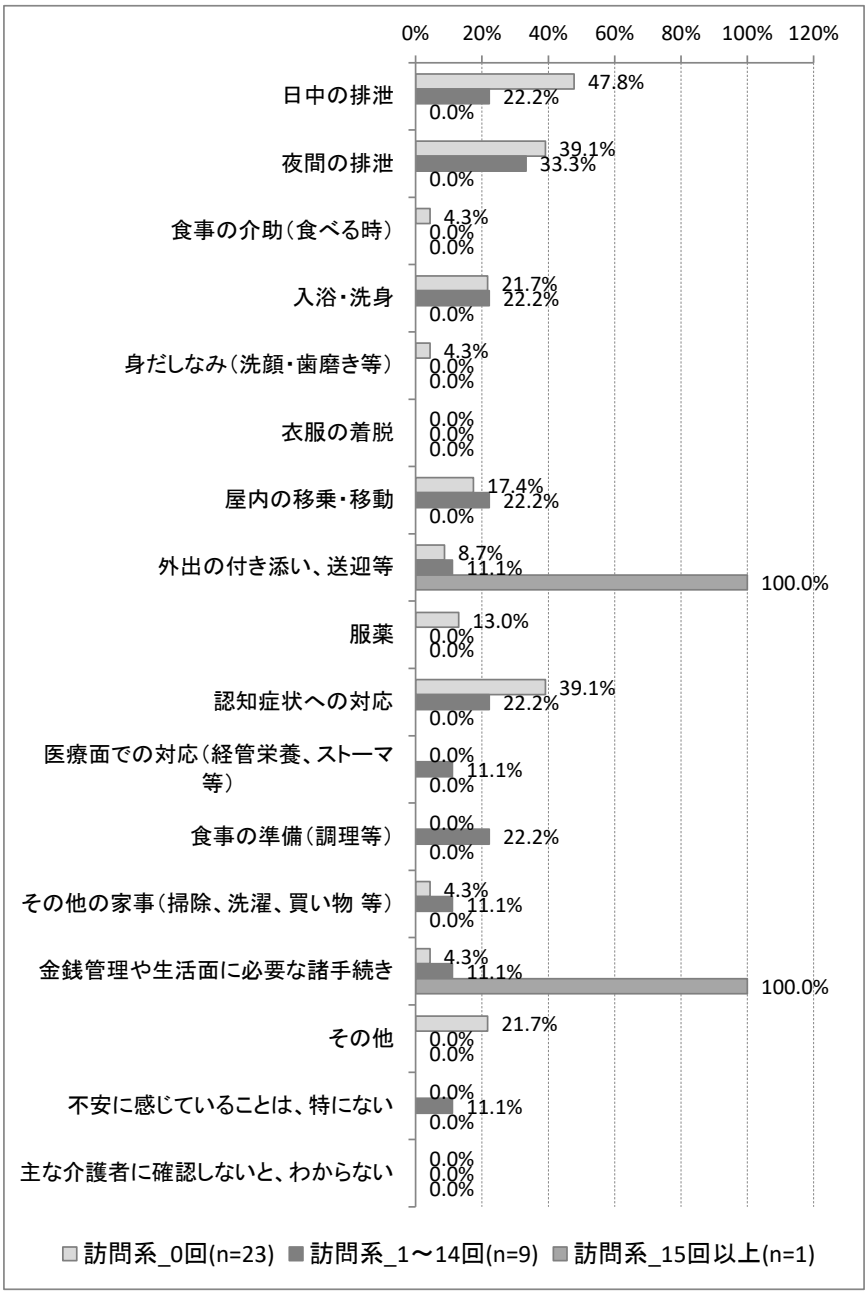
○　(5)の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の２つの分析結果を参考に、介護者不安の軽減に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。

○　(5)の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「日中の排泄」が 47.8%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が 39.1%、「入浴・洗身」、「その他」が 21.7%となっている。「訪問系_1～14 回」では「夜間の排泄」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が 22.2%、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安に感じていることは、特にない」が 11.1%となっている。

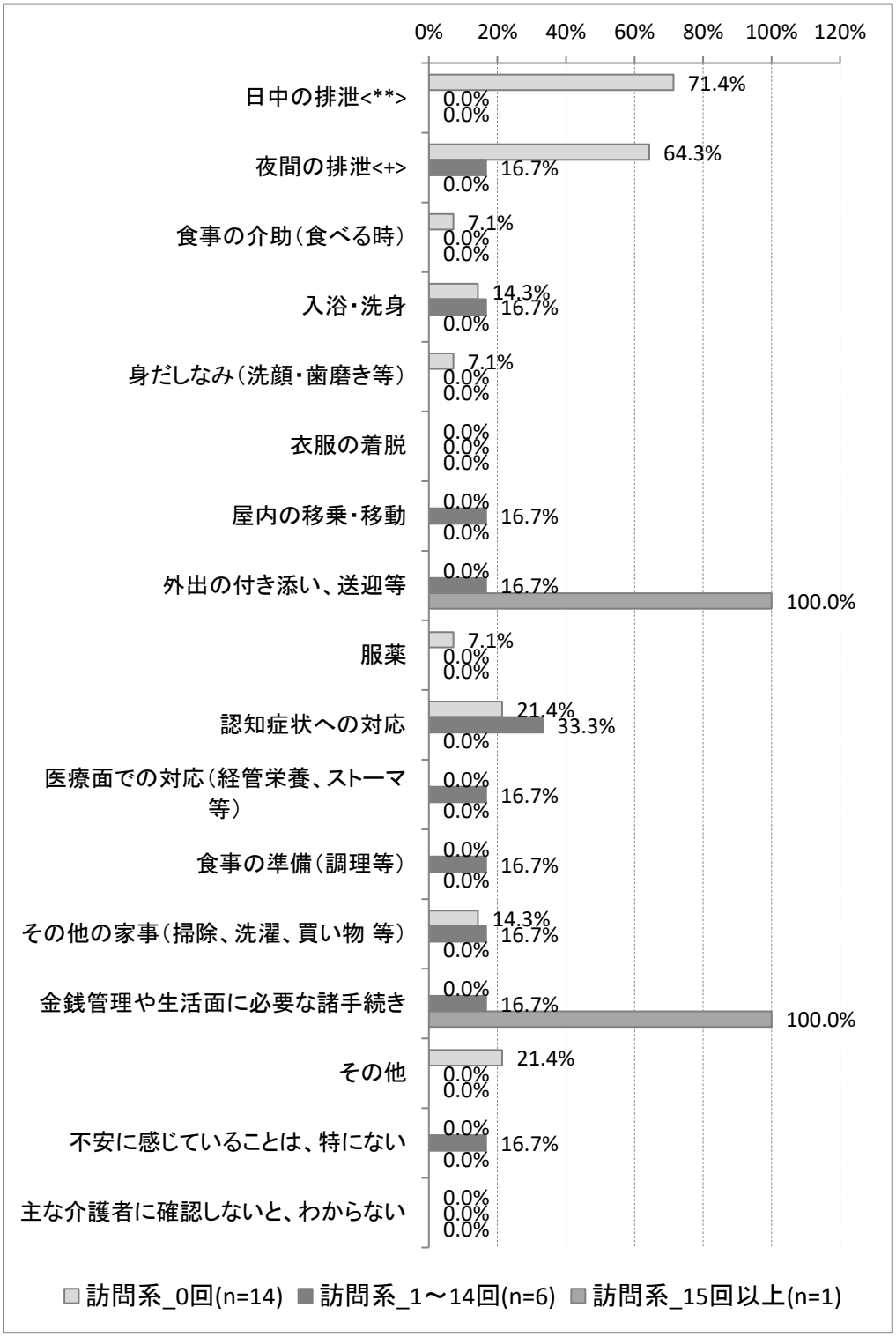
図表 1-24　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護３以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0 回」では「日中の排泄」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 64.3%、「認知症状への対応」、「その他」が 21.4%となっている。「訪問系_1～14 回」では「認知症状への対応」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安に感じていることは、特にない」が 16.7%となっている。

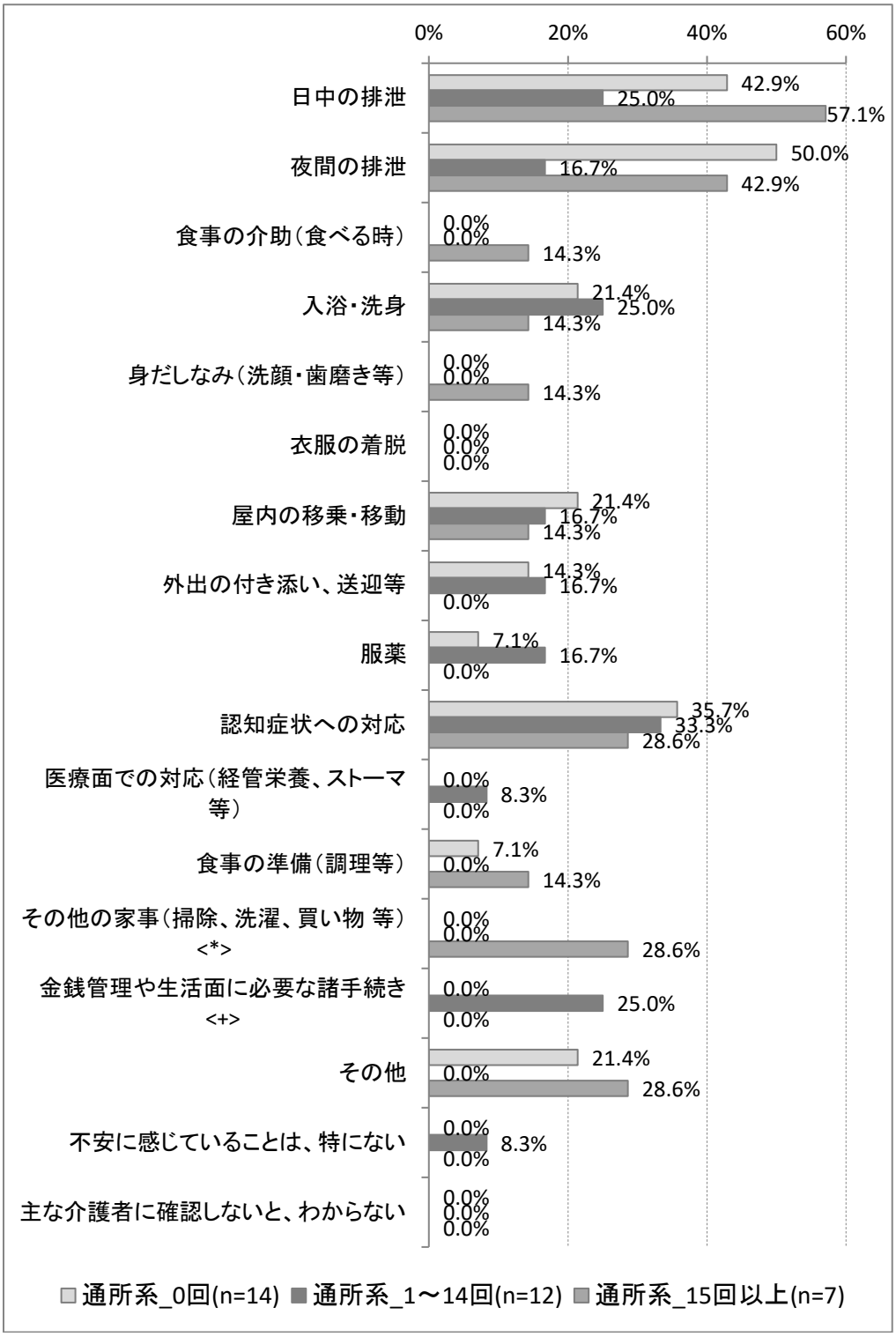
図表 1-25　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「夜間の排泄」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が 42.9%、「認知症状への対応」が 35.7%となっている。「通所系_1～14 回」では「認知症状への対応」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 25.0%、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」が 16.7%となっている。「通所系_15 回以上」では「日中の排泄」が 57.1%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 42.9%、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」、「その他」が 28.6%となっている。

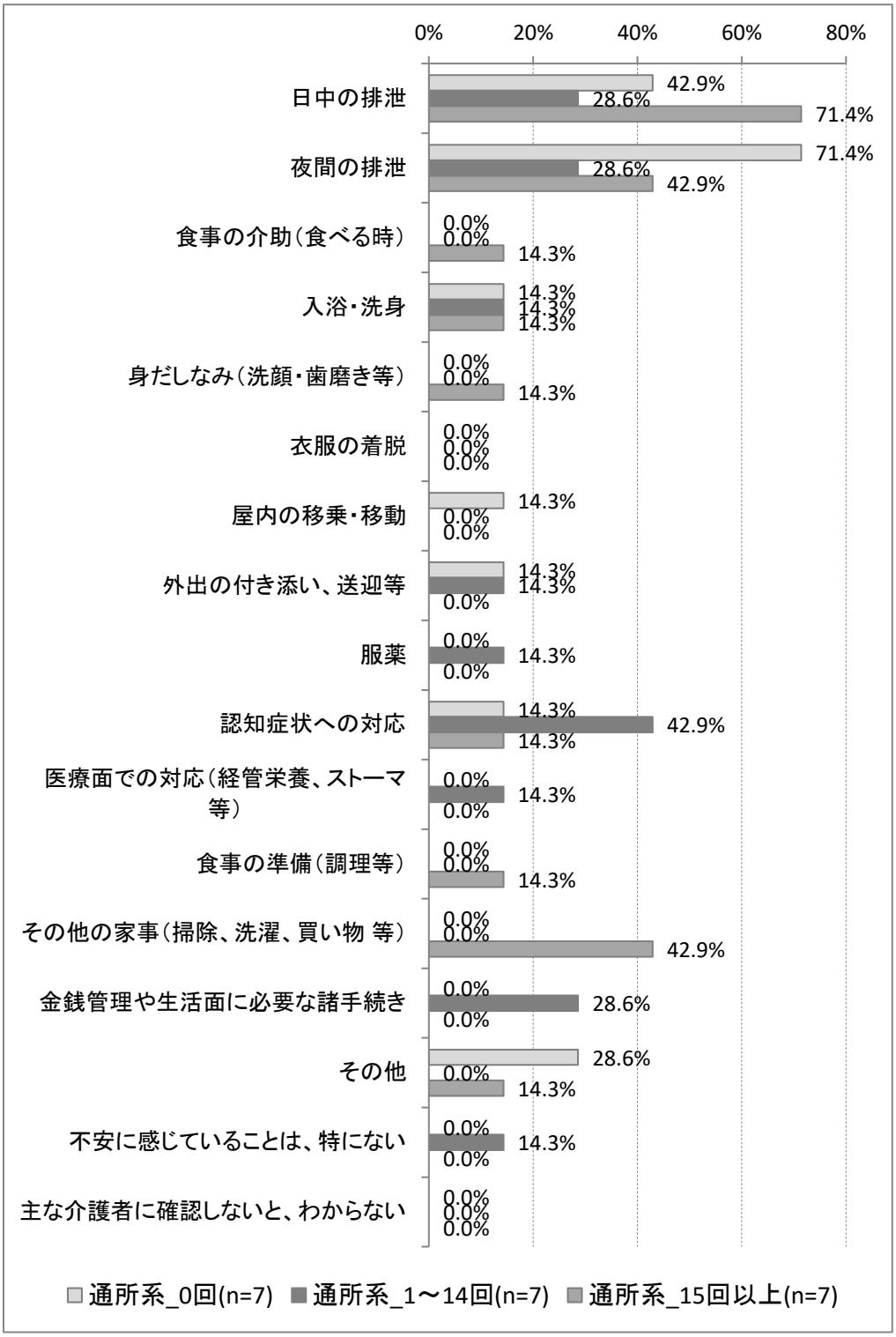
図表 1-26　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護３以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0 回」では「夜間の排泄」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が 42.9%、「その他」が 28.6%となっている。「通所系_1～14 回」では「認知症状への対応」が 42.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 28.6%、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等)」、「不安に感じていることは、特にない」が 14.3%となっている。「通所系_15 回以上」では「日中の排泄」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が 42.9%、「食事の介助（食べる時)」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等)」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等)」、「その他」が 14.3%となっている。

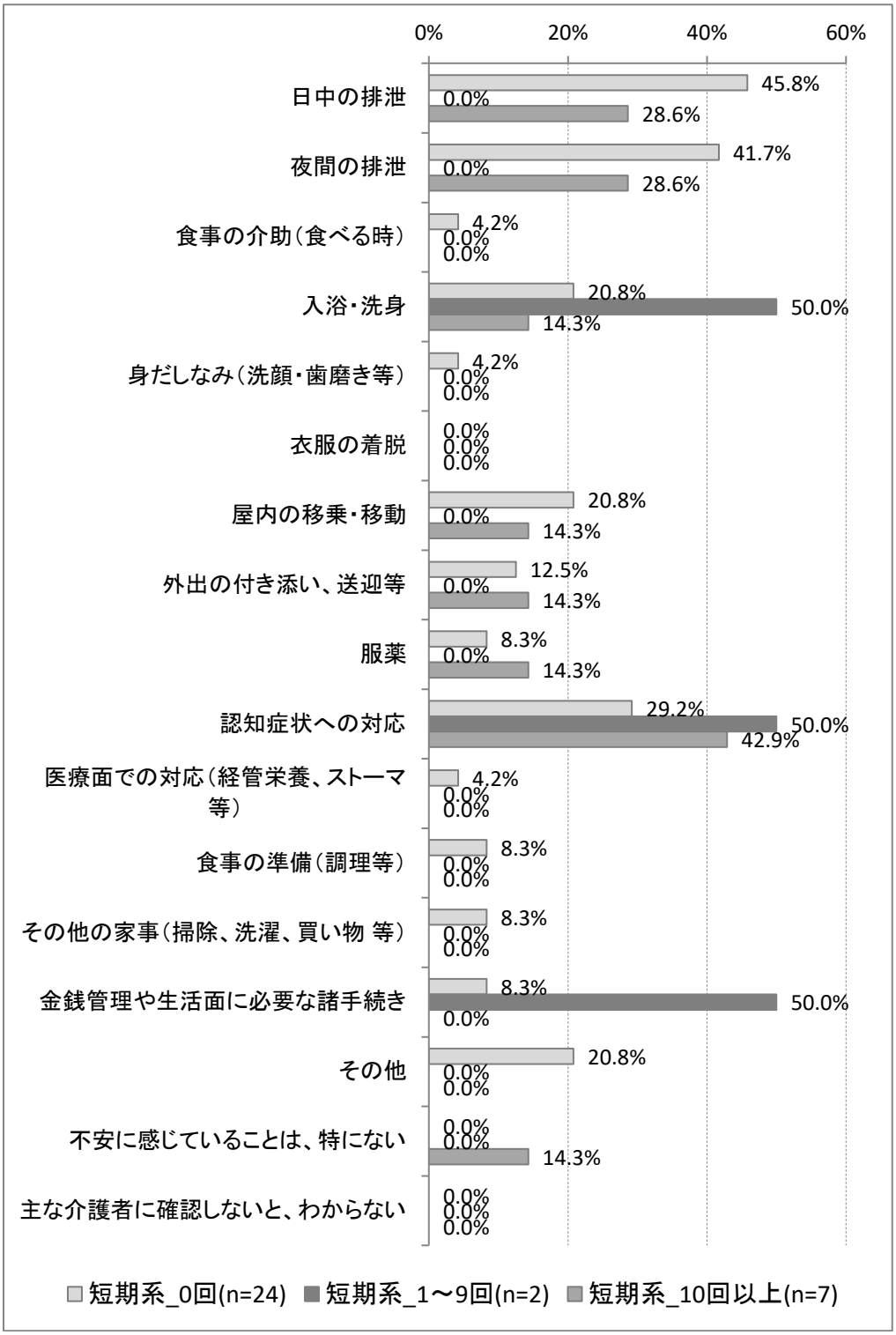
図表 1-27　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「日中の排泄」が 45.8%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 41.7%、「認知症状への対応」が 29.2%となっている。「短期系_1～9 回」では「入浴・洗身」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 50.0%となっている。「短期系_10 回以上」では「認知症状への対応」が 42.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が 28.6%、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「不安に感じていることは、特にない」が 14.3%となっている。

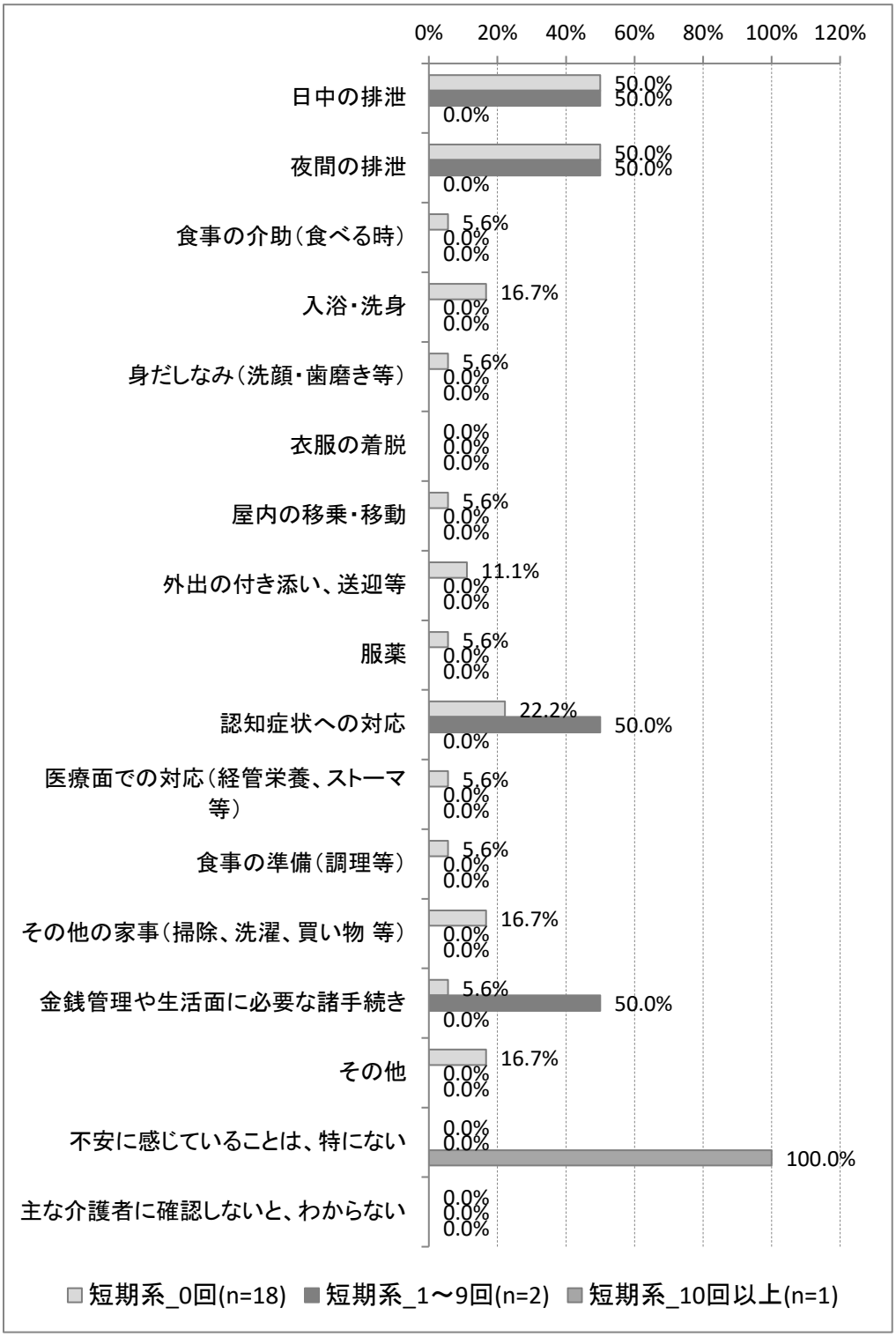
図表 1-28　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護３以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安に感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0 回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が 22.2%、「入浴・洗身」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「その他」が 16.7%となっている。「短期系_1～9 回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 50.0%となっている。

図表 1-29　サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



2　仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

2.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の２つの視点からの集計を行っています。

○　具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。

○　さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などとのクロス集計を行っています。

○　上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

2.2　集計結果と着目すべきポイント

(1)　基本集計

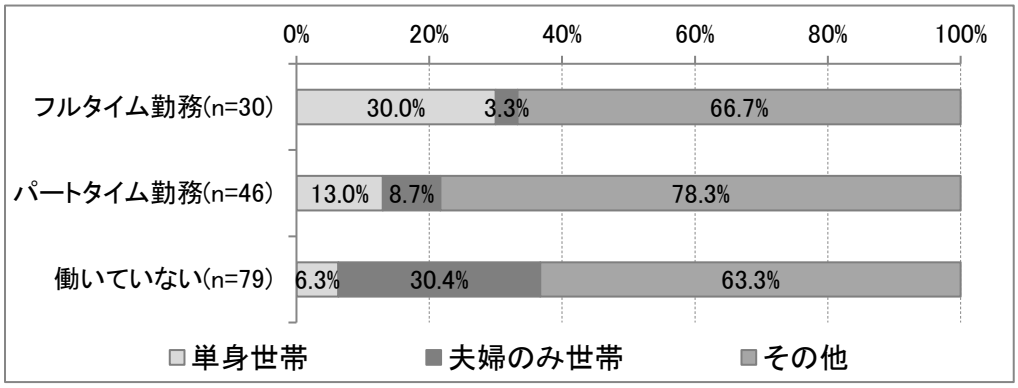
○　主な介護者の就労状況（フルタイム勤務・パートタイム勤務・働いていない）別に、世帯や介護者の特徴などの基礎的な集計を行っています。

○　主な介護者の属性や、要介護者の要介護度・認知症自立度について、就労状況別にその状況を確認してください。

【就労状況別･世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が 30.0%、「夫婦のみ世帯」が 3.3%となっている。「パートタイム勤務」では「その他」が 78.3%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が 13.0%、「夫婦のみ世帯」が 8.7%となっている。「働いていない」では「その他」が 63.3%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 30.4%、「単身世帯」が 6.3%となっている。

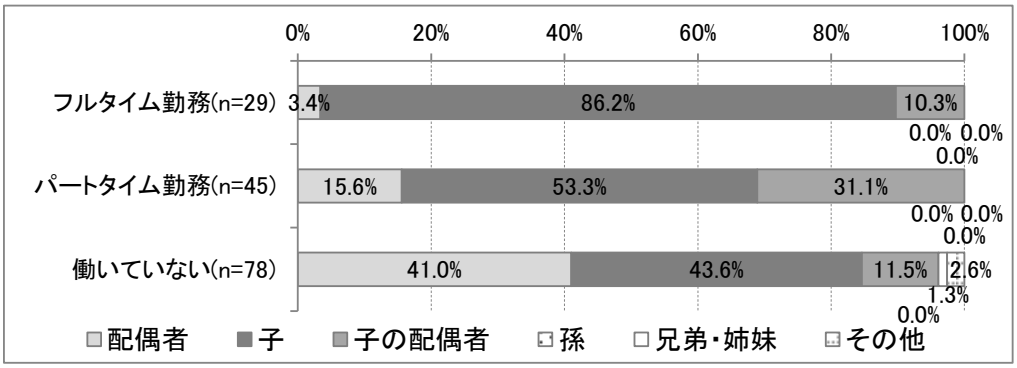
図表 2-1　就労状況別・世帯類型<***>



【就労状況別・★主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が 86.2%ともっとも割合が高く、次いで「子の配偶者」が 10.3%、「配偶者」が 3.4%となっている。「パートタイム勤務」では「子」が 53.3%ともっとも割合が高く、次いで「子の配偶者」が 31.1%、「配偶者」が 15.6%となっている。「働いていない」では「子」が 43.6%ともっとも割合が高く、次いで「配偶者」が 41.0%、「子の配偶者」が 11.5%となっている。

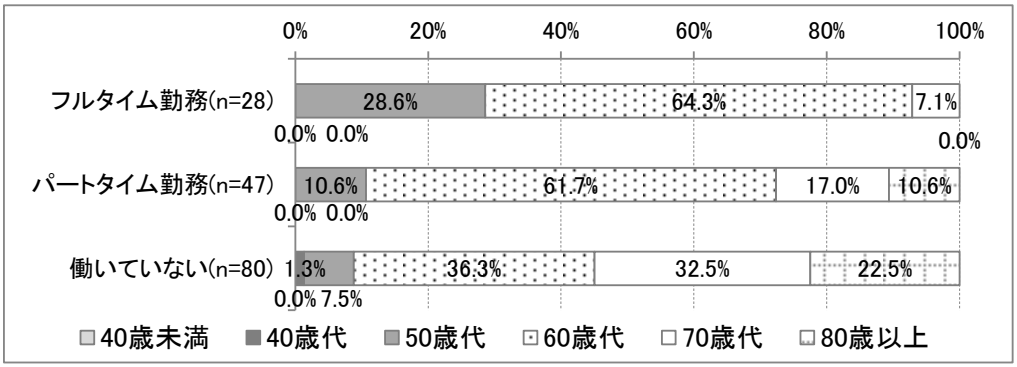
図表 2-2　就労状況別・★主な介護者の本人との関係〈***〉



【就労状況別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「60 歳代」が 64.3%ともっとも割合が高く、次いで「50 歳代」が 28.6%、「70 歳代」が 7.1%となっている。「パートタイム勤務」では「60 歳代」が 61.7%ともっとも割合が高く、次いで「70 歳代」が 17.0%、「50 歳代」、「80 歳以上」が 10.6%となっている。「働いていない」では「60 歳代」が 36.3%ともっとも割合が高く、次いで「70 歳代」が 32.5%、「80 歳以上」が 22.5%となっている。

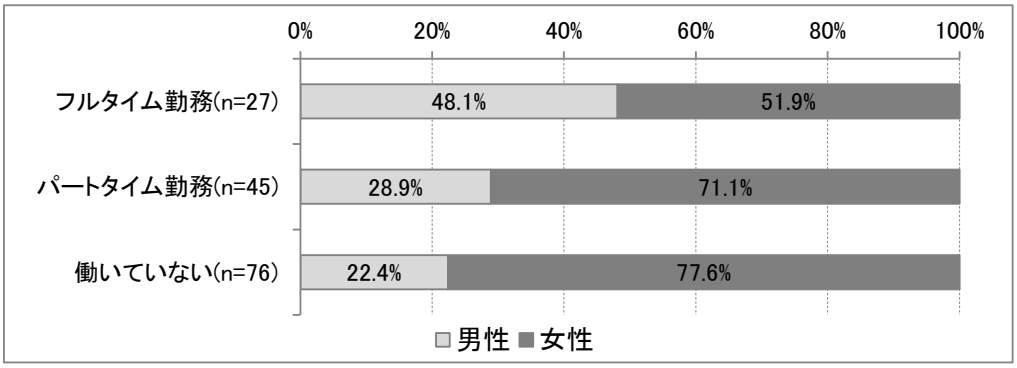
図表 2-3　就労状況別・主な介護者の年齢〈***〉



【就労状況別・主な介護者の性別】

介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「女性」が 51.9%、「男性」が 48.1%となっている。「パートタイム勤務」では「女性」が 71.1%、「男性」が 28.9%となっている。「働いていない」では「女性」が 77.6%、「男性」が 22.4%となっている。

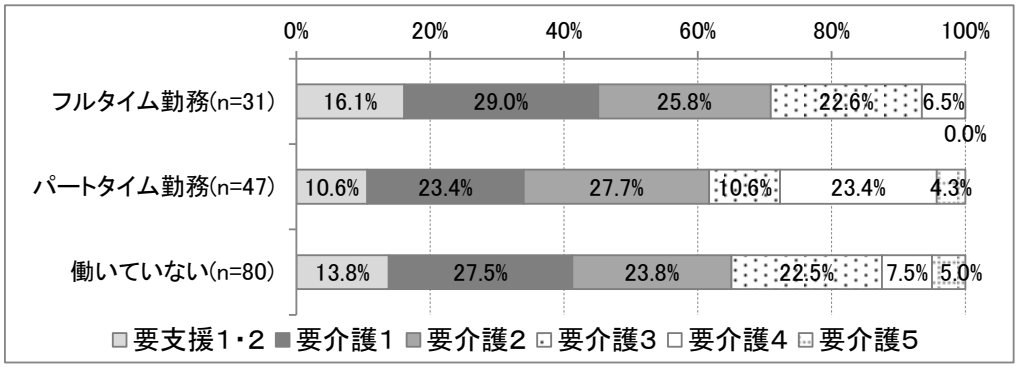
図表 2-4　就労状況別・主な介護者の性別〈*〉



【就労状況別・要介護度】

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要介護１」が29.0%ともっとも割合が高く、次いで「要介護２」が25.8%、「要介護３」が22.6%となっている。「パートタイム勤務」では「要介護２」が27.7%ともっとも割合が高く、次いで「要介護１」、「要介護４」が23.4%、「要支援１・２」、「要介護３」が10.6%となっている。「働いていない」では「要介護１」が27.5%ともっとも割合が高く、次いで「要介護２」が23.8%、「要介護３」が22.5%となっている。

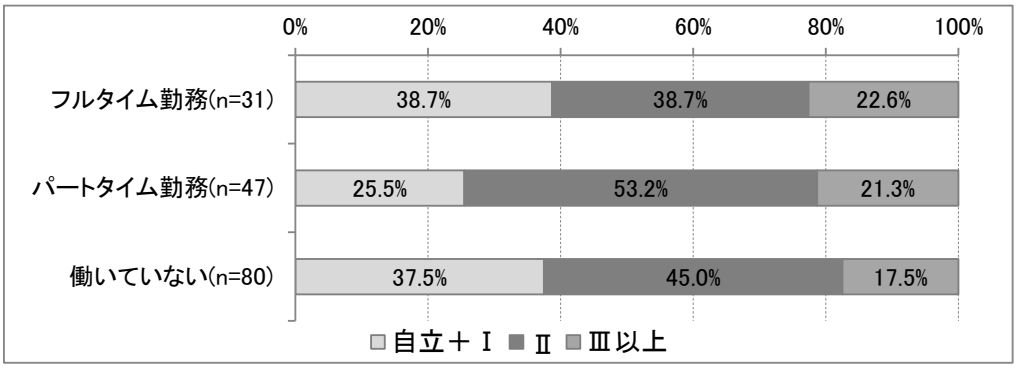
図表 2-5　就労状況別・要介護度



【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立＋Ⅰ」、「Ⅱ」が 38.7%ともっとも割合が高く、次いで「Ⅲ以上」が 22.6%となっている。「パートタイム勤務」では「Ⅱ」が 53.2%ともっとも割合が高く、次いで「自立＋Ⅰ」が 25.5%、「Ⅲ以上」が 21.3%となっている。「働いていない」では「Ⅱ」が 45.0%ともっとも割合が高く、次いで「自立＋Ⅰ」が 37.5%、「Ⅲ以上」が 17.5%となっている。

図表 2-6　就労状況別・認知症自立度



(2)　就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「主な介護者が行っている介護」と「今後の就労継続見込み」について、主な介護者の就労状況別に集計分析をしています（図表 2-8、図表 2-9）。

○　「主な介護者が行っている介護」について、例えば、「働いていない」人と比較して、「フルタイム勤務」や「パートタイム勤務」で少ない介護は、働いている介護者が、他の介護者や介護サービスの支援を必要としているものと考えられます。

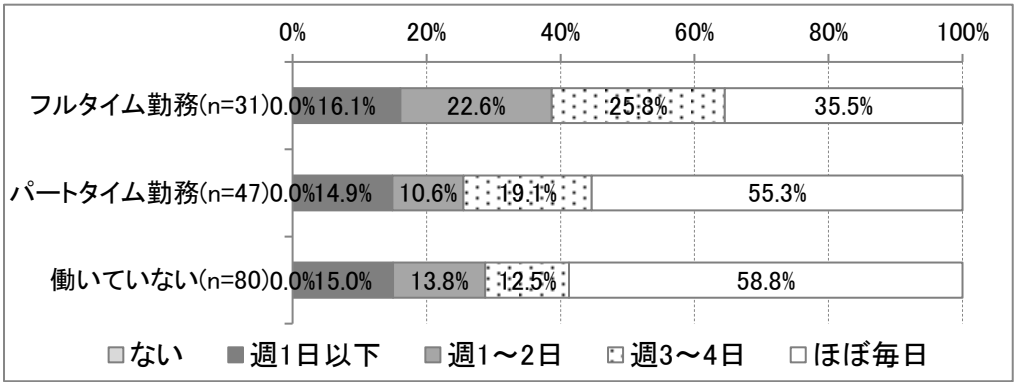
○　「今後の就労継続見込み」については、「就労状況」との関係に加え、「要介護度」や「認知症自立度」別についても、集計分析を行っています。これにより、要介護者の重度化に伴って就労継続見込みを困難と考える人が増加するかどうかを把握することができます。

○　なお、就労継続見込みの分析においては、「問題なく、続けていける」の割合と、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」をあわせた「続けていける」と考えている人の割合の２つの指標に着目しています（図表 2-10、図表 2-11）。

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 35.5%ともっとも割合が高く、次いで「週 3～4 日」が 25.8%、「週 1～2 日」が 22.6%となっている。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 55.3%ともっとも割合が高く、次いで「週 3～4 日」が 19.1%、「週 1 日以下」が 14.9%となっている。「働いていない」では「ほぼ毎日」が 58.8%ともっとも割合が高く、次いで「週 1 日以下」が 15.0%、「週 1～2 日」が 13.8%となっている。

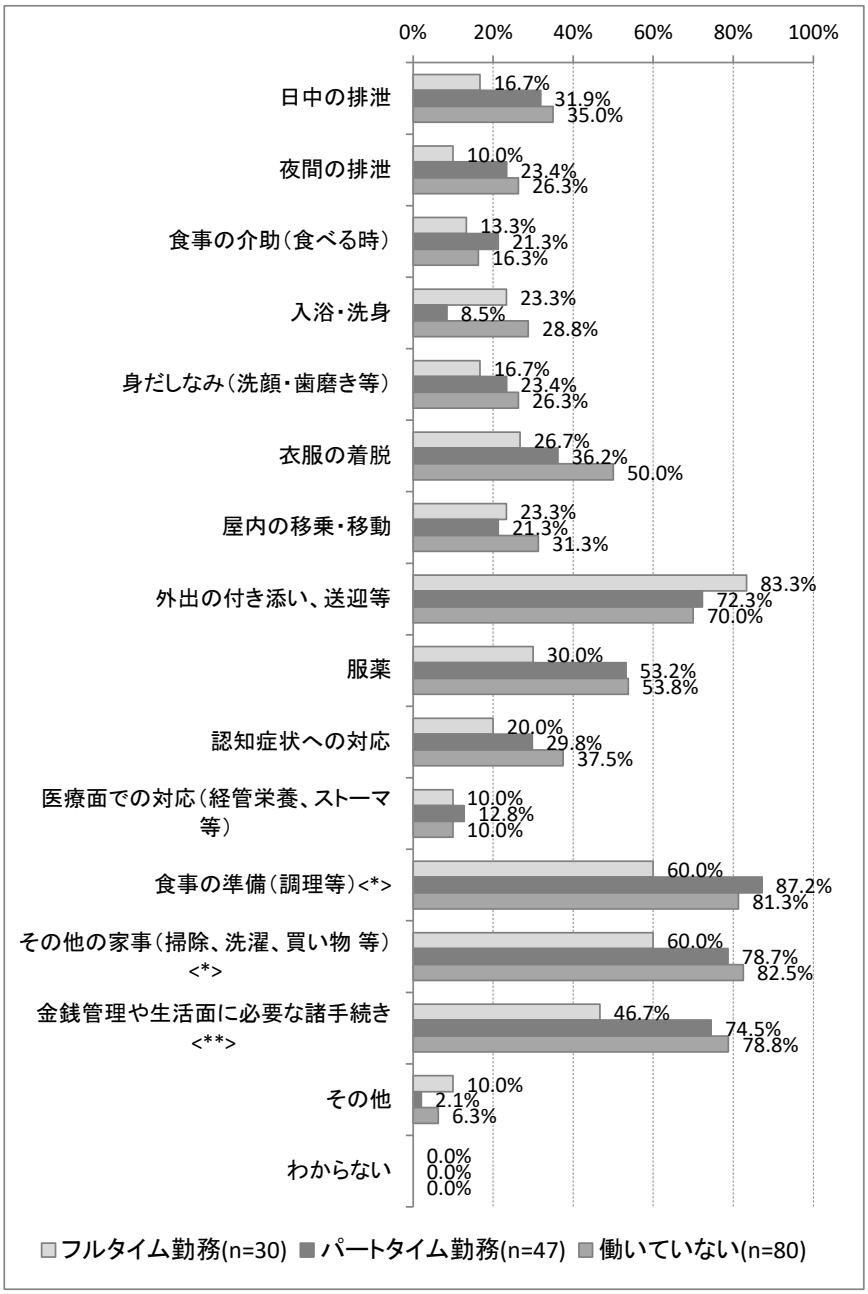
図表 2-7　就労状況別・家族等による介護の頻度



【就労状況別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「外出の付き添い、送迎等」が 83.3%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 60.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 46.7%となっている。「パートタイム勤務」では「食事の準備（調理等）」が 87.2%ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 78.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 74.5%となっている。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 82.5%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 81.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 78.8%となっている。

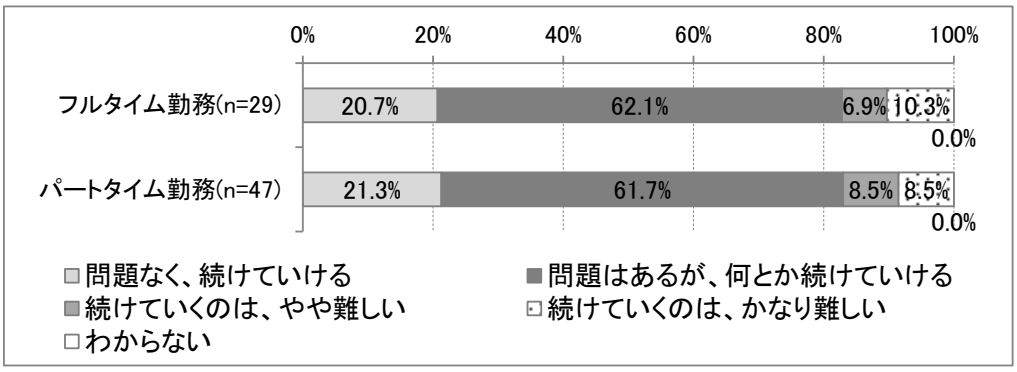
図表 2-8　就労状況別・★主な介護者が行っている介護



【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 62.1%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 20.7%、「続けていくのは、かなり難しい」が 10.3%となっている。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 61.7%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 21.3%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が 8.5%となっている。

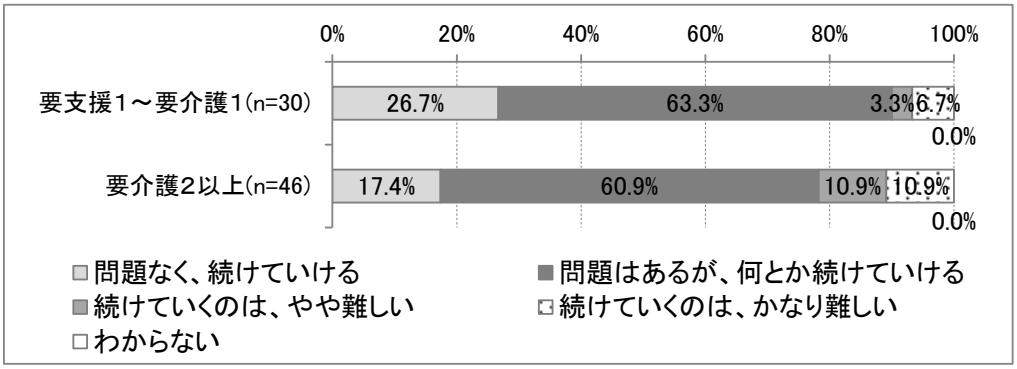
図表 2-9　就労状況別・就労継続見込み



【要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援１～要介護１」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 63.3%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 26.7%、「続けていくのは、かなり難しい」が 6.7%となっている。「要介護２以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 60.9%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 17.4%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が 10.9%となっている。

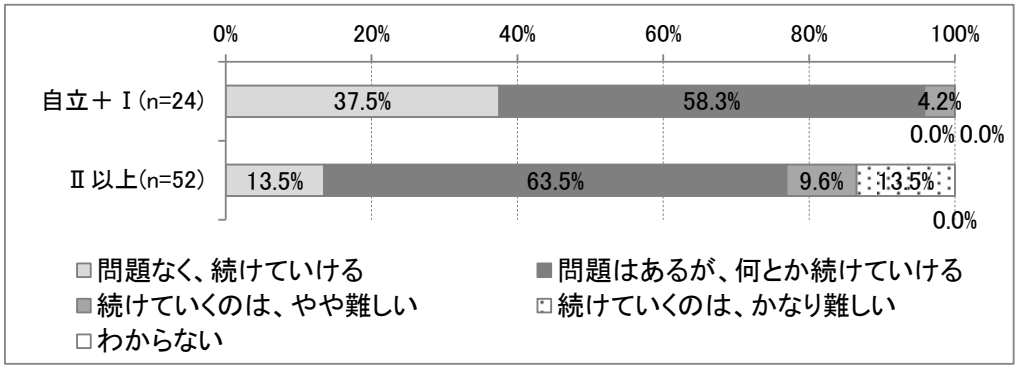
図表 2-10　要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 58.3%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 37.5%、「続けていくのは、やや難しい」が 4.2%となっている。「Ⅱ以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 63.5%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、かなり難しい」が 13.5%、「続けていくのは、やや難しい」が 9.6%となっている。

図表 2-11　認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）〈*〉



(3)　「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「介護保険サービスの利用状況」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-12～図表 2-15）。

○　「介護保険サービスの利用状況」と「就労継続見込み」の関係についての集計分析から、サービス利用による就労継続見込みへの影響を把握することができます。さらに、サービスを利用していない人の「サービス未利用の理由」について、就労継続が困難と考える人が、そうでない人と比較して特徴がみられる理由に着目することで、必要なサービス利用がなされているかどうかを推測することができます。

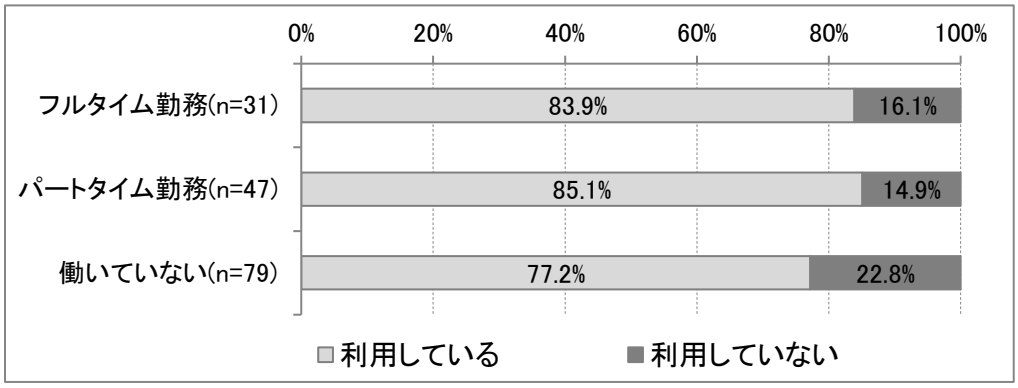
○　例えば、就労継続が困難と考える人において、サービスを「利用していない」割合が高く、かつサービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が低い割合にとどまっている場合には、サービス利用の必要性が低くないにも関わらず、サービスの利用がなされていないことになります（図表 2-13、図表 2-14）。

○　「主な介護者が不安に感じる介護」については、就労継続見込みの困難化に伴い、どのような介護等で不安が増加しているかに着目することで、在宅生活を継続しながらの就労継続について、介護者がその可否を判断するポイントとなる可能性がある介護等を把握することができます。

【就労状況別・★介護保険サービス利用の有無】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が 83.9%、「利用していない」が 16.1%となっている。「パートタイム勤務」では「利用している」が 85.1%、「利用していない」が 14.9%となっている。「働いていない」では「利用している」が 77.2%、「利用していない」が 22.8%となっている。

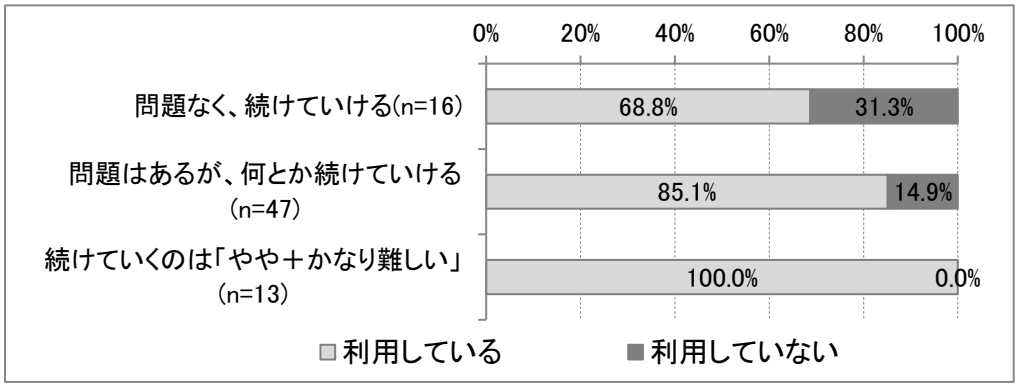
図表 2-12　就労状況別・★介護保険サービス利用の有無



【就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が 68.8%、「利用していない」が 31.3%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が 85.1%、「利用していない」が 14.9%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「利用している」が 100.0%となっている。

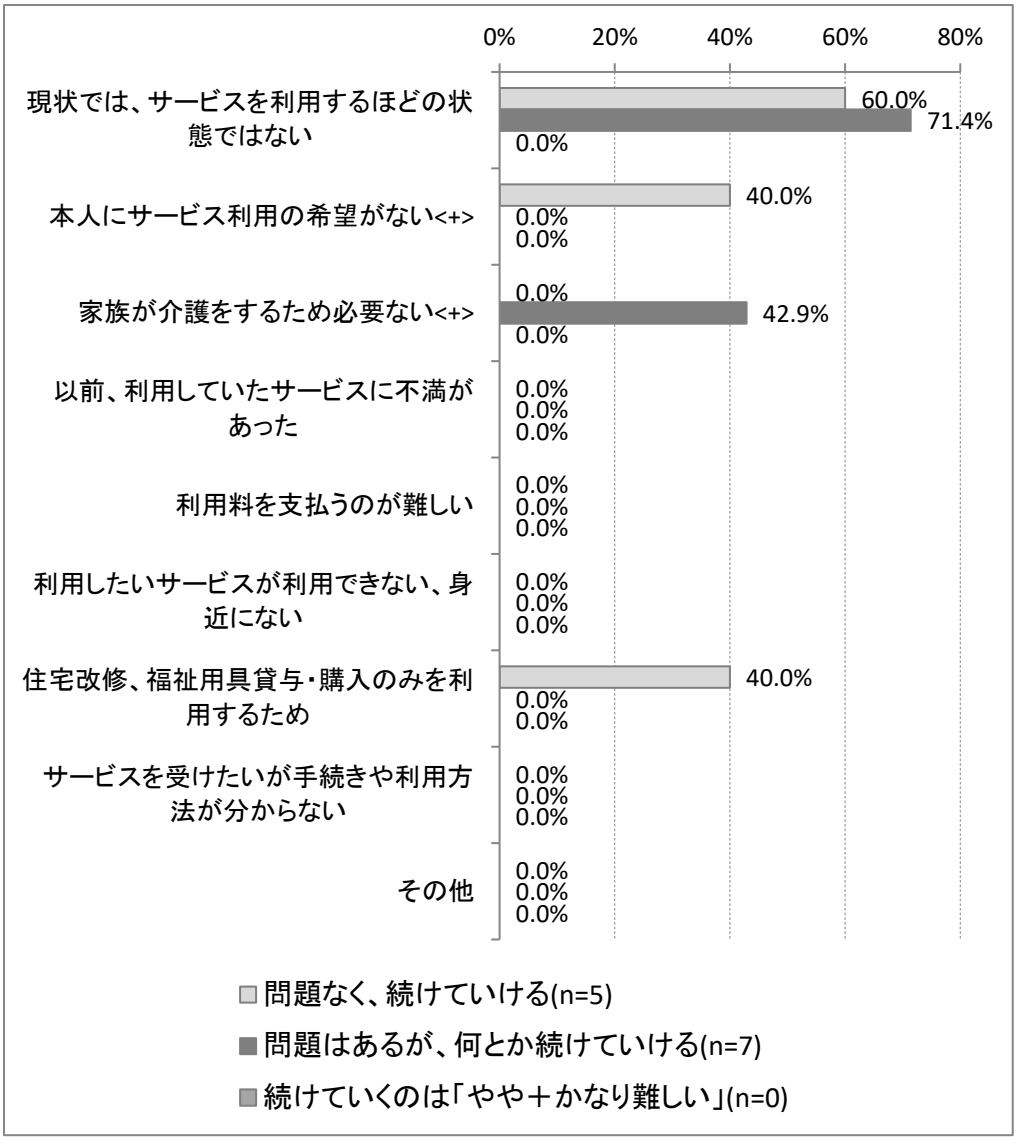
図表 2-13　就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無
（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）〈+〉



【就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）】

未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 60.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 40.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 71.4%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 42.9%となっている。

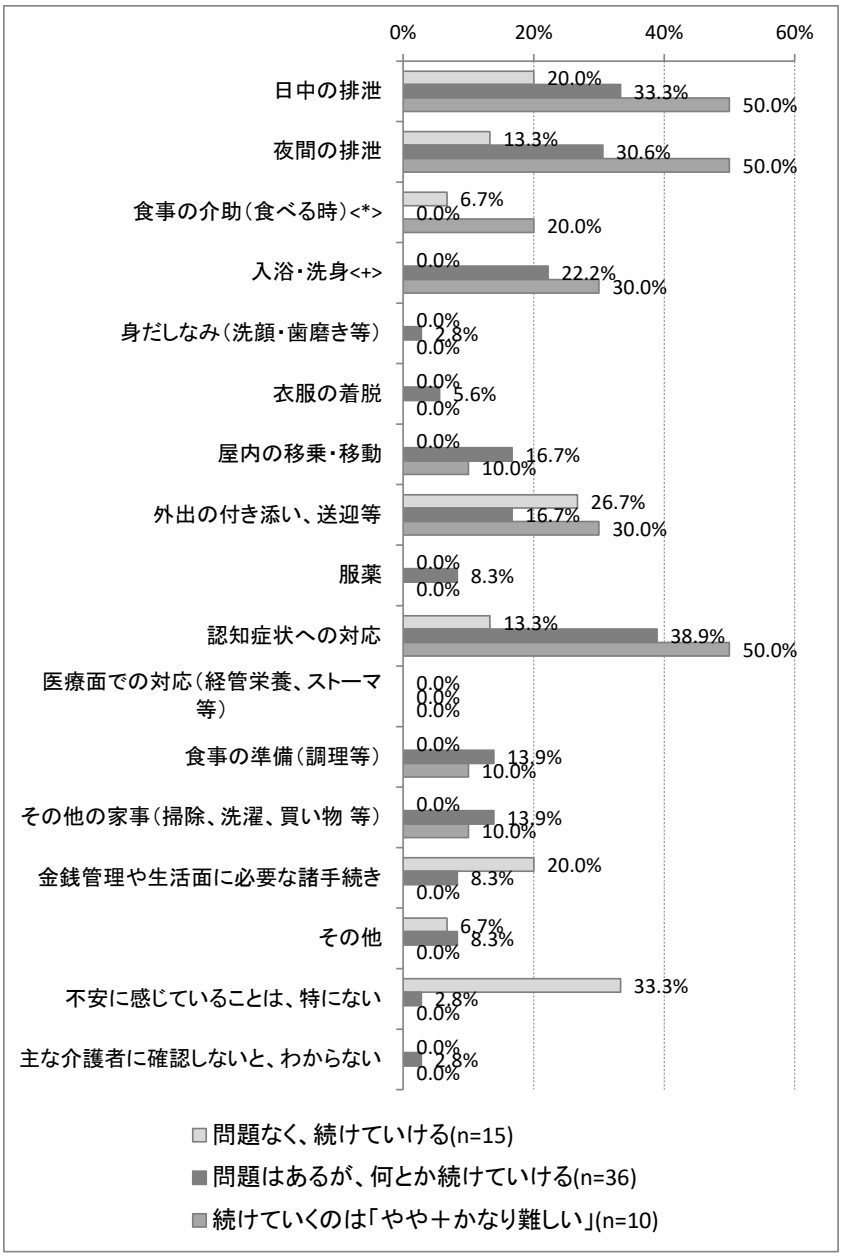
図表 2-14　就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）



【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「不安に感じていることは、特にない」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 26.7%、「日中の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 20.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が 38.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が 33.3%、「夜間の排泄」が 30.6%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」が 30.0%、「食事の介助（食べる時）」が 20.0%となっている。

図表 2-15　就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護
（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



(4)　「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化し、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています。さらに、訪問系サービスについては、要介護２以上、認知症自立度Ⅱ以上に分けて集計分析を行っています（図表 2-16～図表 2-18）。

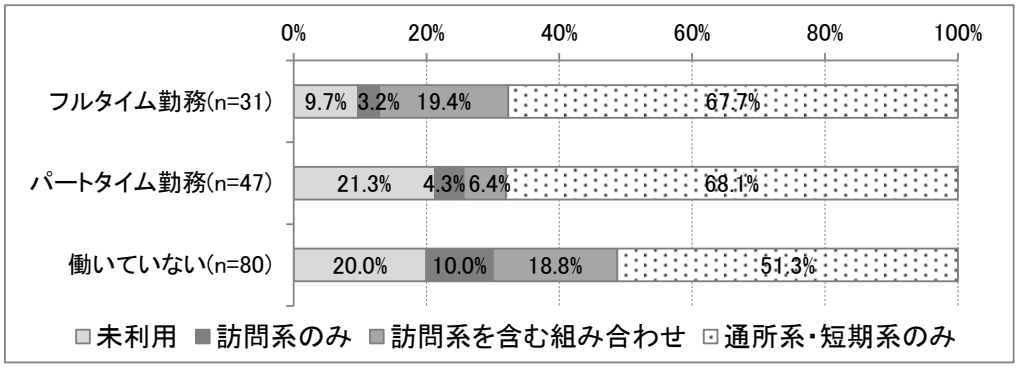
○　ここから、主な介護者の就労状況によって、「サービス利用の組み合わせ」に差がみられるかどうかを把握することができます。

○　また、「訪問系サービスの利用の有無」と「就労継続見込み」の関係を集計分析することで、訪問系サービスの利用が、就労継続見込みの「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合に影響を与えているかどうかを推測することが可能です。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 67.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 19.4%、「未利用」が 9.7%となっている。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 68.1%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 21.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が 6.4%となっている。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が 51.3%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 20.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が 18.8%となっている。

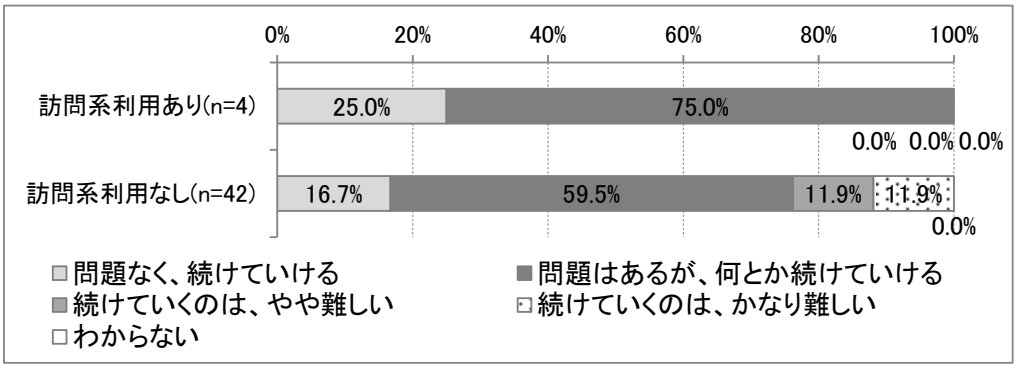
図表 2-16　就労状況別・サービス利用の組み合わせ



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 25.0%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 59.5%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 16.7%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が 11.9%となっている。

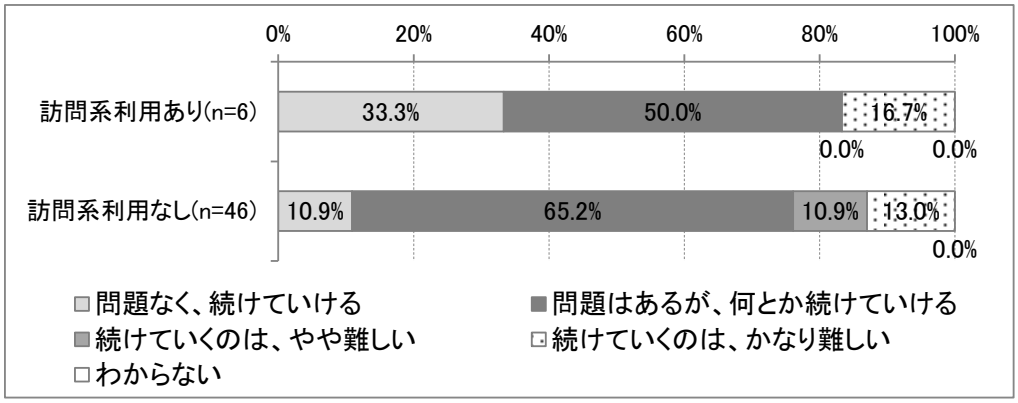
図表 2-17　サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 33.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が 16.7%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 65.2%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が 13.0%、「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」が 10.9%となっている。

図表 2-18　サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



(5)　就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「保険外の支援・サービスの利用状況」、「訪問診療の利用の有無」、「施設等検討の状況」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-19～図表 2-22）。

○　「利用している保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差をみることにより、働いている介護者が必要と感じているが、実際には利用されていない生活支援サービスを把握することができます。

○　また、「訪問診療の利用の有無」と就労状況との関係を集計分析することで、訪問診療の利用が就労状況により異なるかどうかを把握することができます。

○　「施設等検討の状況」については、働いていない介護者に比べて、働いている介護者では、施設入所を必要と感じているかどうか分析することを目的としています。

○　さらに、要介護２以上の中重度者については、就労継続見込みについて「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と考える人のうち、どの程度の人が施設を検討しているかに着目しています。これにより、在宅での仕事と介護の両立が困難となった場合の対応として、施設対応の必要性と、在宅サービスや働き方の調整による対応の必要性のそれぞれについて、把握することができます。

【留意事項】

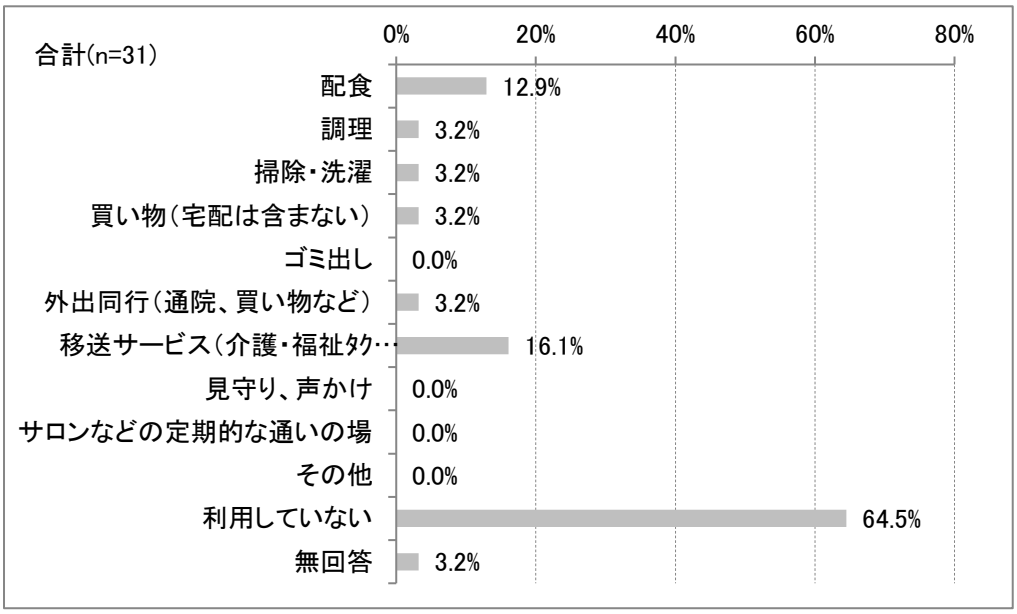
○　ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。

○　アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。

【★利用している保険外の支援・サービス(フルタイム勤務)】

「利用していない」の割合が最も高く 64.5%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（16.1%)」、「配食（12.9%)」となっている。

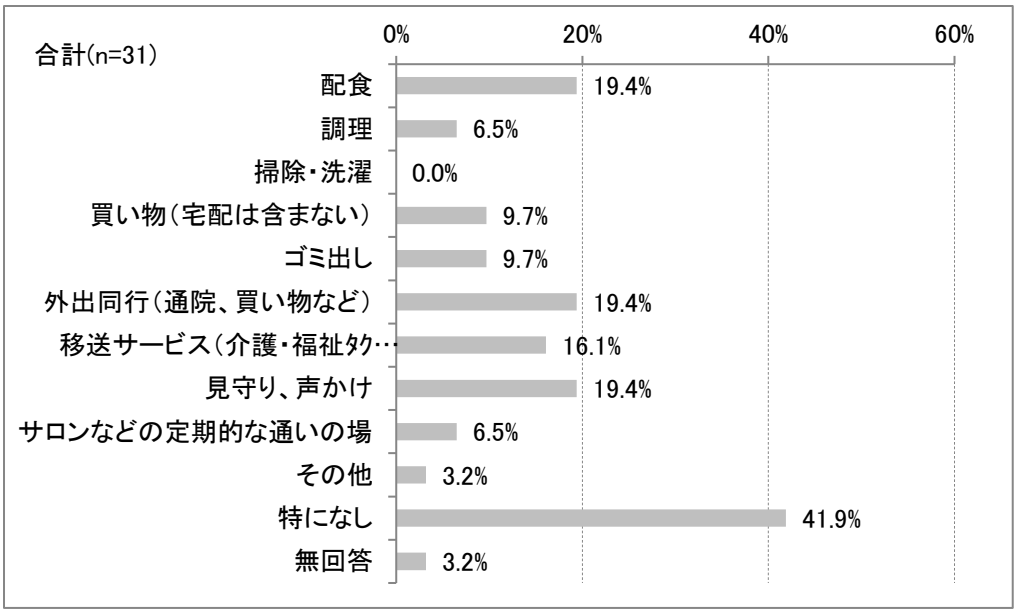
図表 2-19_1　★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)】

「特になし」の割合が最も高く 41.9%となっている。次いで、「配食（19.4%)」、「外出同行（通院、買い物など）（19.4%)」、「見守り、声かけ（19.4%)」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（16.1%)」となっている。

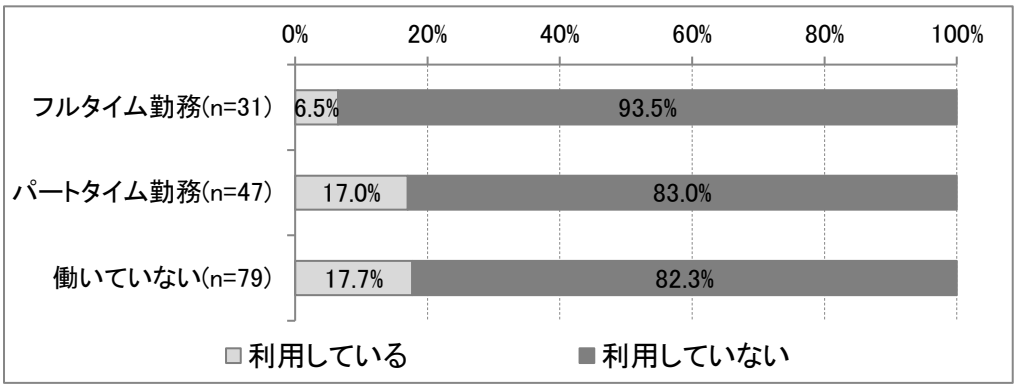
図表 2-19_2　★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



【就労状況別・★訪問診療の利用の有無】

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が 93.5%、「利用している」が 6.5%となっている。「パートタイム勤務」では「利用していない」が 83.0%、「利用している」が 17.0%となっている。「働いていない」では「利用していない」が 82.3%、「利用している」が 17.7%となっている。

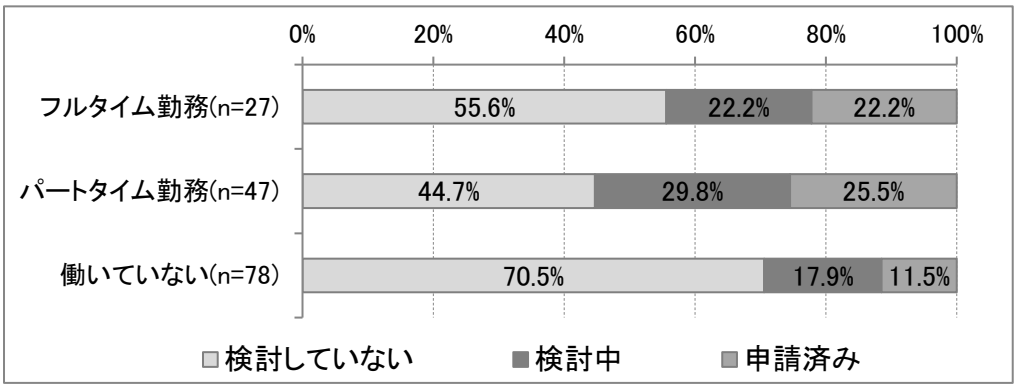
図表 2-20　就労状況別・★訪問診療の利用の有無



【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が 55.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 22.2%となっている。「パートタイム勤務」では「検討していない」が 44.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 29.8%、「申請済み」が 25.5%となっている。「働いていない」では「検討していない」が 70.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 17.9%、「申請済み」が 11.5%となっている。

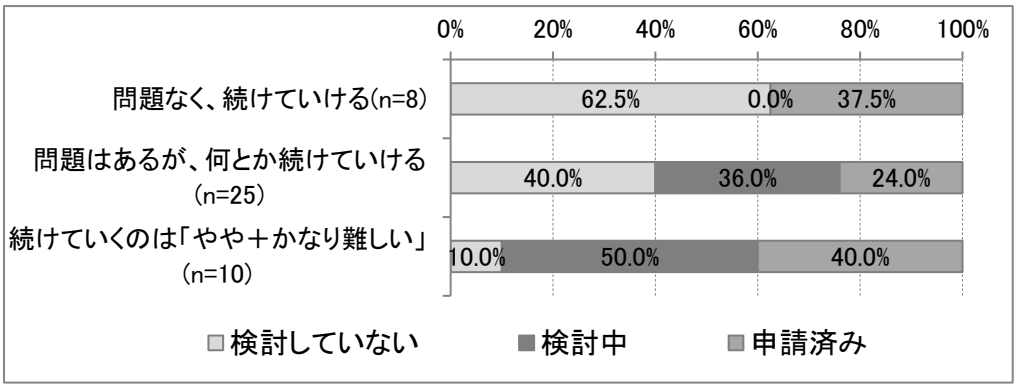
図表 2-21　就労状況別・施設等検討の状況<+>



【就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が 62.5%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 37.5%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 36.0%、「申請済み」が 24.0%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「検討中」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 40.0%、「検討していない」が 10.0%となっている。

図表 2-22　就労継続見込み別・施設等検討の状況
（要介護２以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）〈+〉



(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

【着目すべきポイント】

○ ここでは、「介護のための働き方の調整」と、「効果的な勤め先からの支援」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-23～図表 2-26)。

○ 就労継続見込みによって、介護のために働き方を調整している割合や、効果的と考える勤め先の支援内容がどのように変化するかに着目して集計分析をしています。

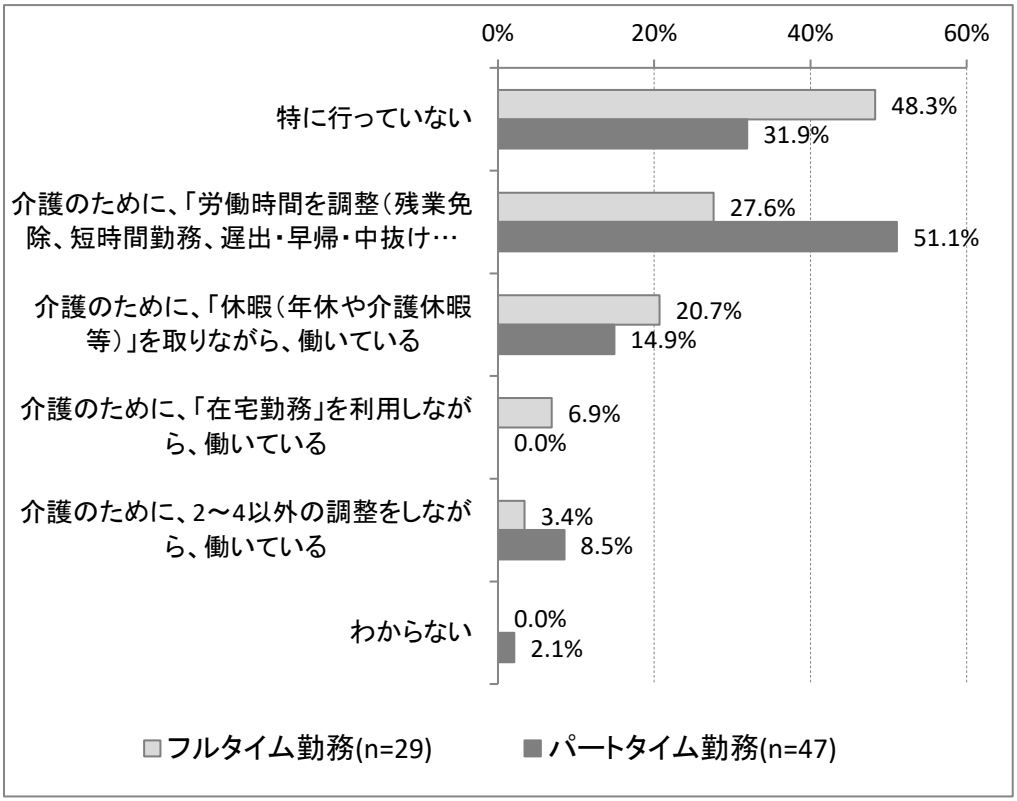
○ ただし、「問題なく、続けていける」とする人において、働き方の調整を「特に行っていない」割合、もしくは効果的な勤め先の支援として「特にない」が高いケースは、職場が恒常的な長時間労働や、休暇取得が困難といった状況にはなく、介護のために特段働き方の調整や勤め先からの支援を行わなくても、両立可能な職場であることが考えられます。

○ このように、職場の状況や業務の内容によっても、必要な調整や支援の内容が異なることに留意することが必要です。

【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が 48.3%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 27.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が 20.7%となっている。「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 51.1%ともっとも割合が高く、次いで「特に行っていない」が 31.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が 14.9%となっている。

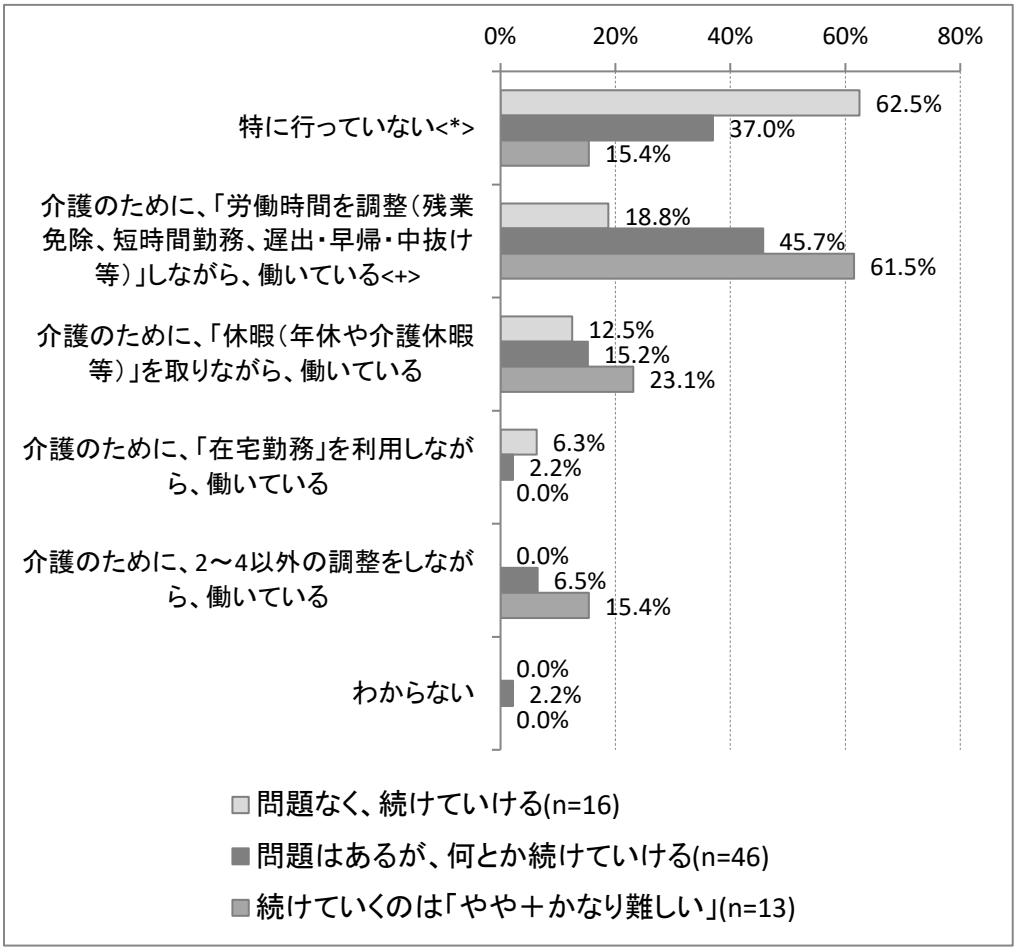
図表 2-23　就労状況別・介護のための働き方の調整



【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が 62.5%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 18.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 12.5%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 45.7%ともっとも割合が高く、次いで「特に行っていない」が 37.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 15.2%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 61.5%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 23.1%、「特に行っていない」、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 15.4%となっている。

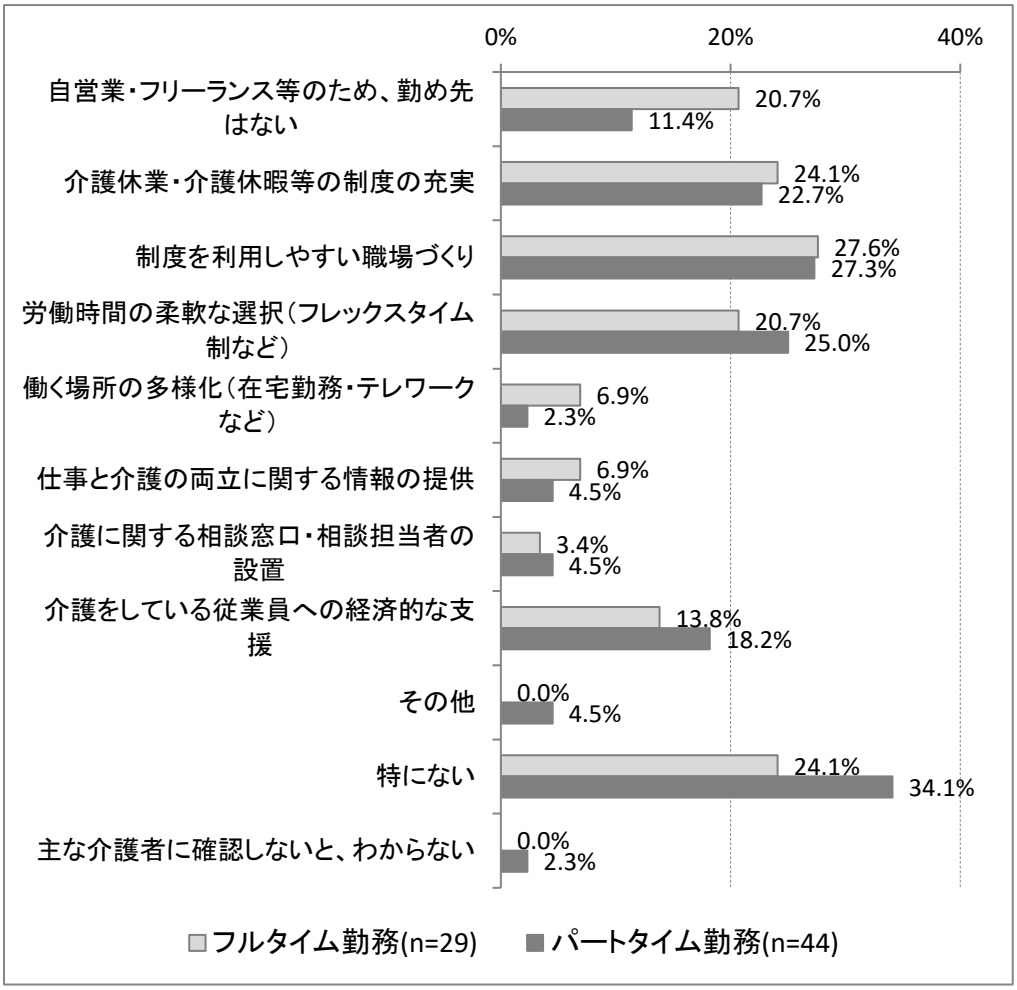
図表 2-24　就労継続見込み別・介護のための働き方の調整
（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【就労状況別・★効果的な勤め先からの支援】

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「制度を利用しやすい職場づくり」が 27.6%ともっとも割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「特にない」が 24.1%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 20.7%となっている。「パートタイム勤務」では「特にない」が 34.1%ともっとも割合が高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 27.3%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 25.0%となっている。

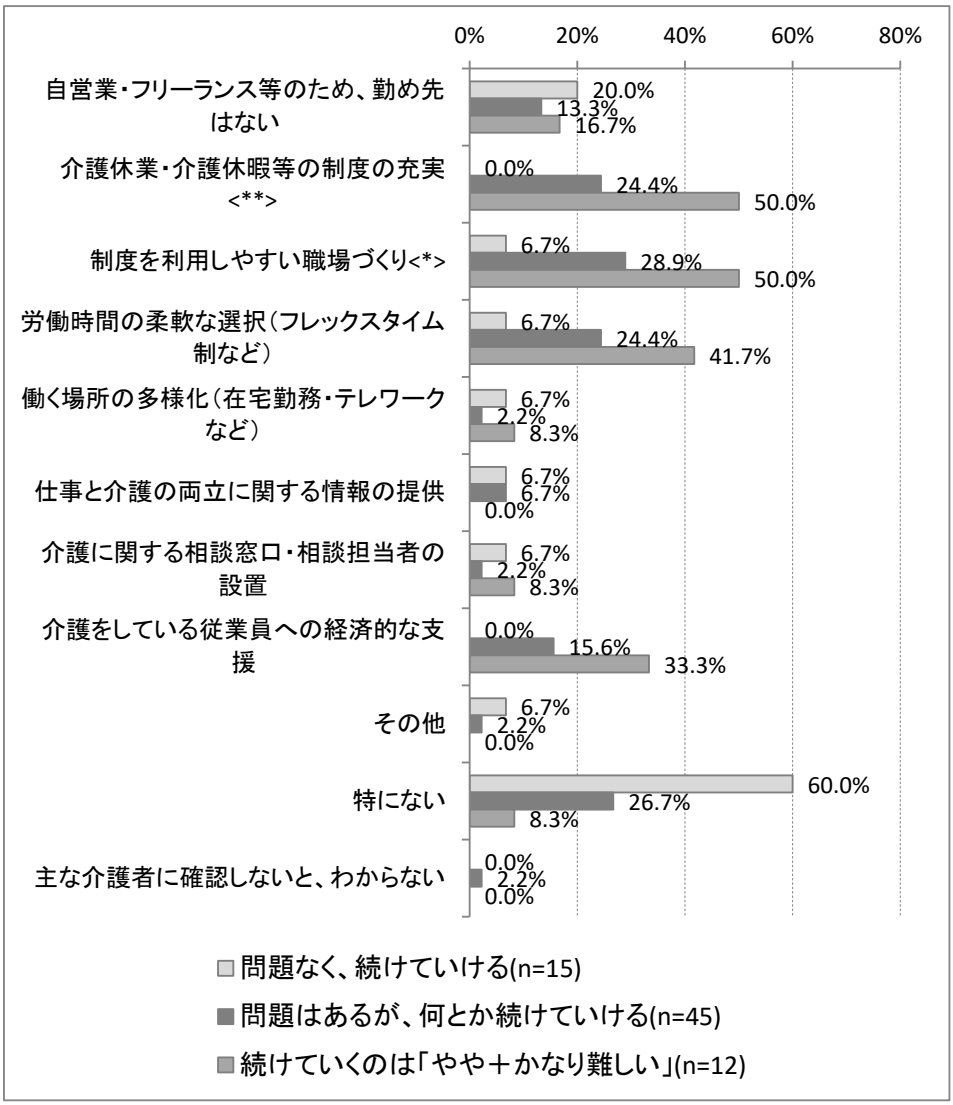
図表 2-25　就労状況別・★効果的な勤め先からの支援



【就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が 60.0%ともっとも割合が高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 20.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」、「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」、「その他」が 6.7%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「制度を利用しやすい職場づくり」が 28.9%ともっとも割合が高く、次いで「特にない」が 26.7%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 24.4%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 41.7%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 33.3%となっている。

図表 2-26　就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援
（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



3　保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

3.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。

○　具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。

○　なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。

3.2　集計結果と着目すべきポイント

(1)　基礎集計

【着目すべきポイント】

○　「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-1、図表 3-2）。

○　例えば、「保険外の支援・サービスの利用状況」については、現状の把握のみでなく、保険外の支援・サービスの利用促進の取組に係るアウトプットとして、その「利用割合」を設定することで、経年的にその成果をモニタリングしていくことも可能になると考えられます。

○　さらに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」からは、在宅限界点の向上という地域目標の達成に向けて、その地域において特に重要となる支援・サービスの種類を把握することができます。

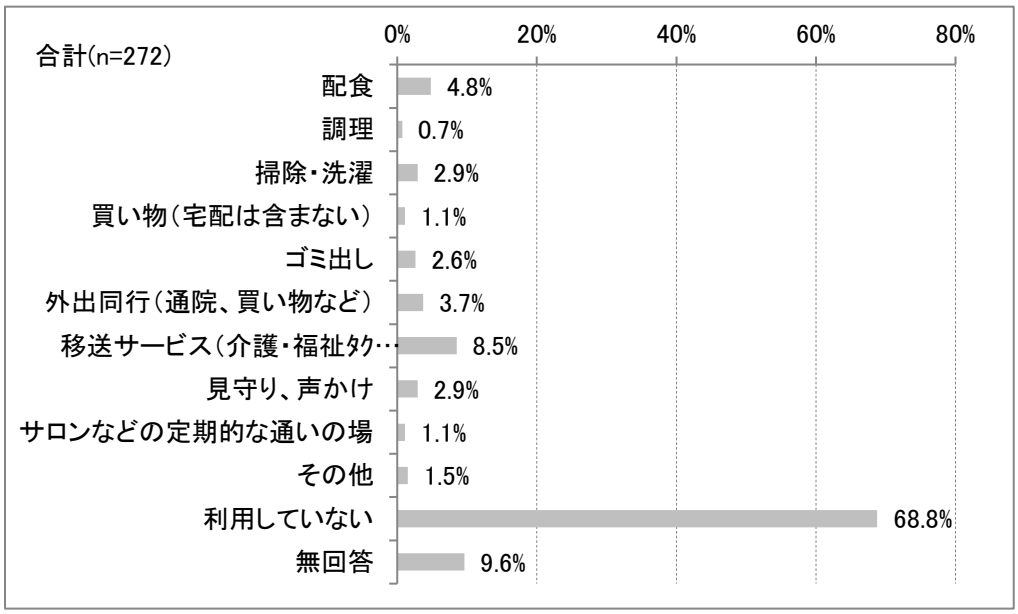
【留意事項】

○　ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。

【★保険外の支援･サービスの利用状況】

「利用していない」の割合が最も高く 68.8%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（8.5%）」、「配食（4.8%）」となっている。

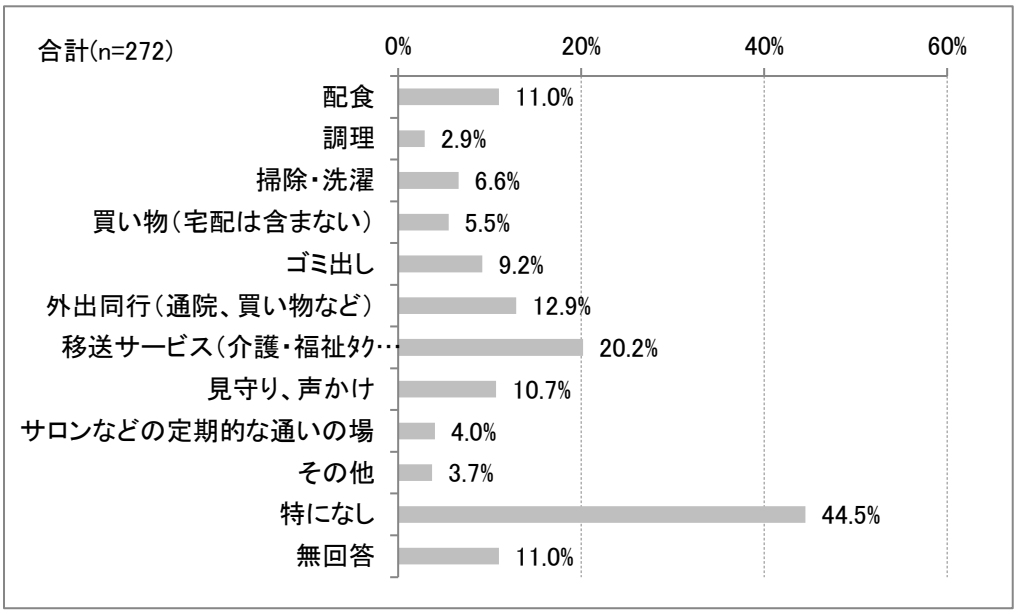
図表 3-1　★保険外の支援・サービスの利用状況



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「特になし」の割合が最も高く 44.5%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）（20.2%）」、「外出同行（通院、買い物など）（12.9%）」となっている。

図表 3-2　★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2)　世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

【着目すべきポイント】

○　世帯類型別に「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-3、図表 3-4）。

○　「保険外の支援・サービスの利用割合」については、世帯類型別の割合をアウトプット指標としてモニタリングしていくも考えられます。

○　また、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、世帯類型別に異なる傾向がみられた場合は、世帯類型に応じたアプローチを検討していくことが重要になると考えられます。

【留意事項】

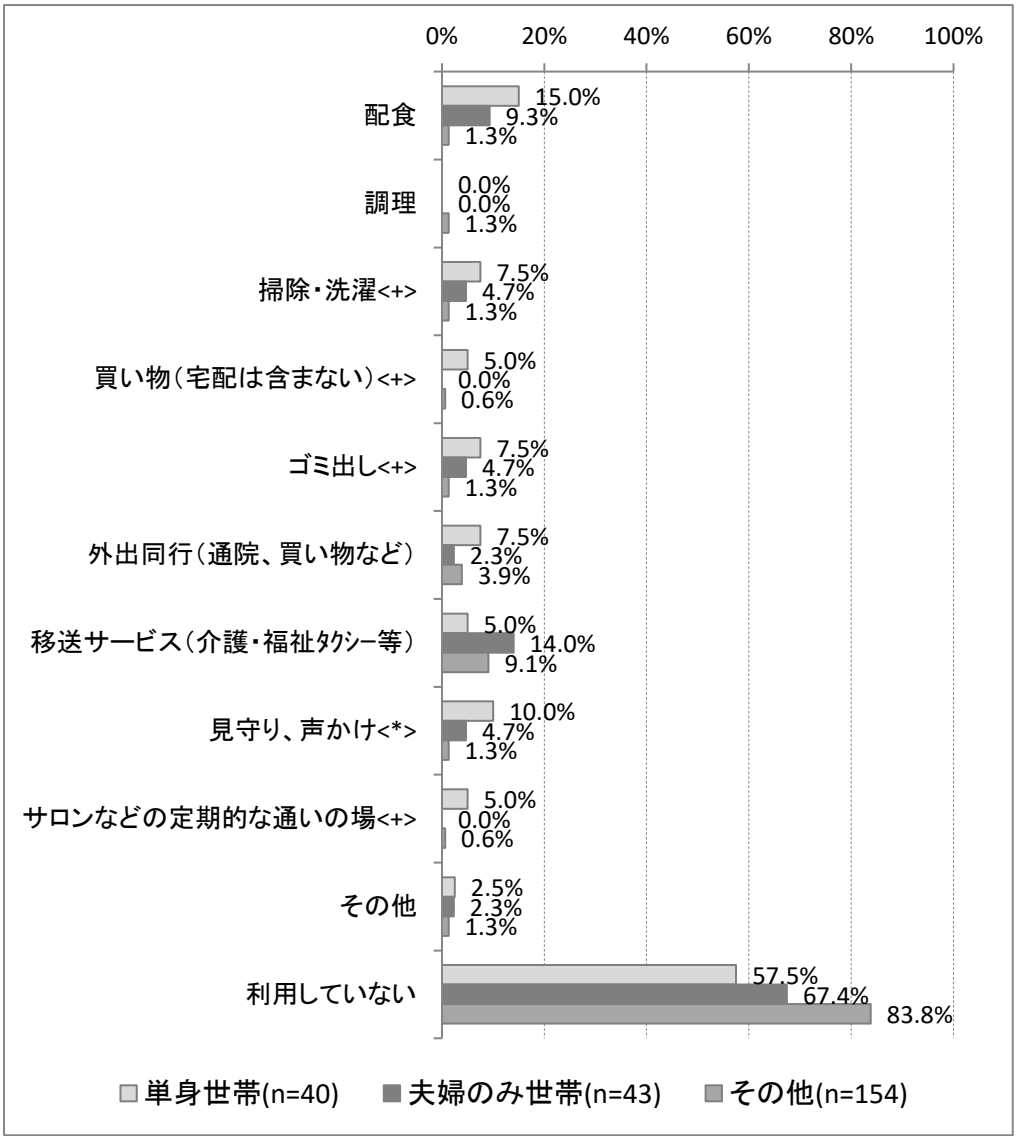
○　アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。

○　「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、特に「複数の支援・サービスを比較して、より優先順位の高い支援・サービスを明らかにする」といった視点でみることが重要です。

【世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が 57.5%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 15.0%、「見守り、声かけ」が 10.0%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 67.4%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 14.0%、「配食」が 9.3%となっている。「その他」では「利用していない」が 83.8%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 9.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が 3.9%となっている。

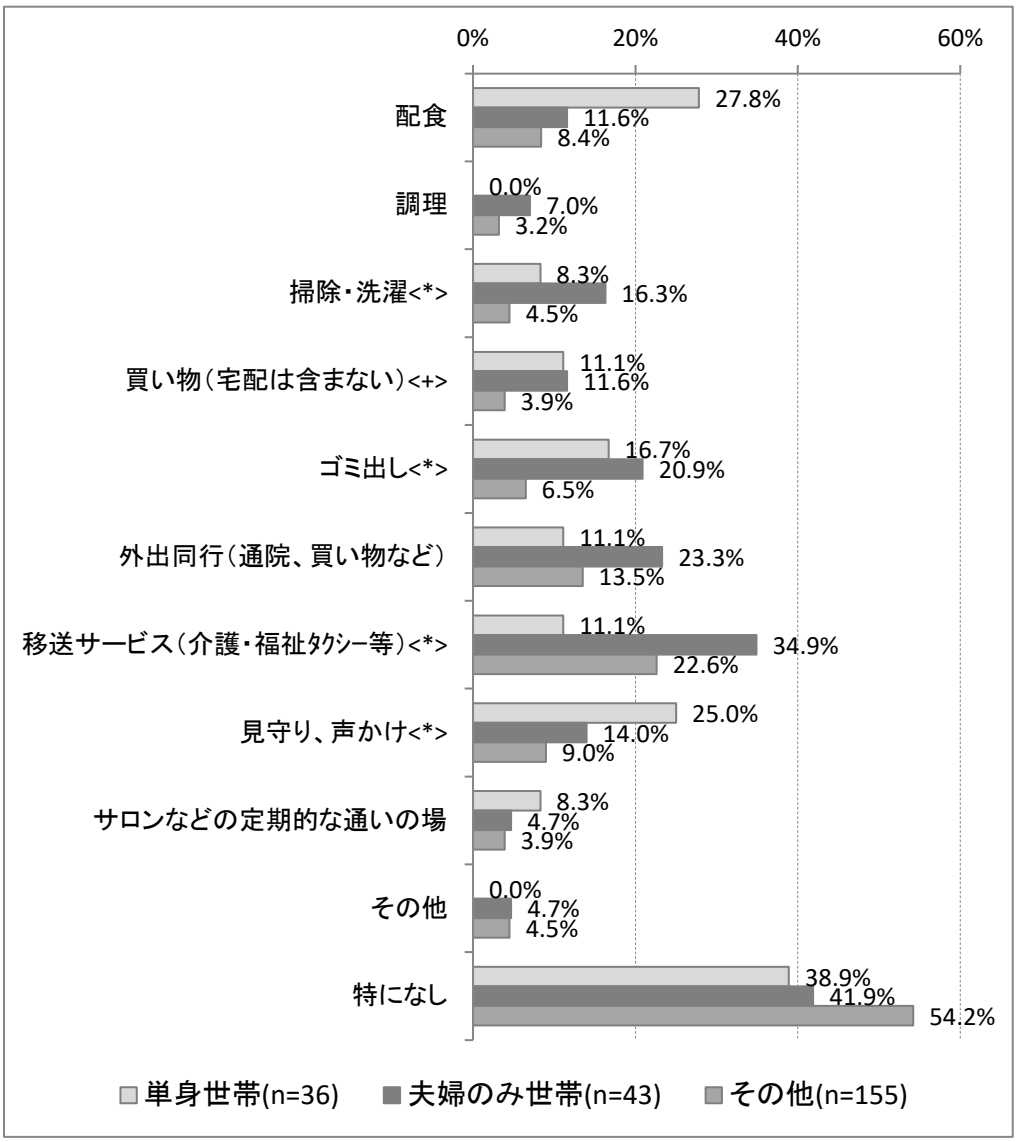
図表 3-3　世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを世帯類型別にみると、「単身世帯」では「特になし」が 38.9%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 27.8%、「見守り、声かけ」が 25.0%となっている。「夫婦のみ世帯」では「特になし」が 41.9%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 34.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が 23.3%となっている。「その他」では「特になし」が 54.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 22.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が 13.5%となっている。

図表 3-4　世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(3)　「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

【着目すべきポイント】

○　世帯類型別・要介護度別に「保険外の支援・サービスの利用状況」について、集計分析をしています（図表 3-5～図表 3-8）。

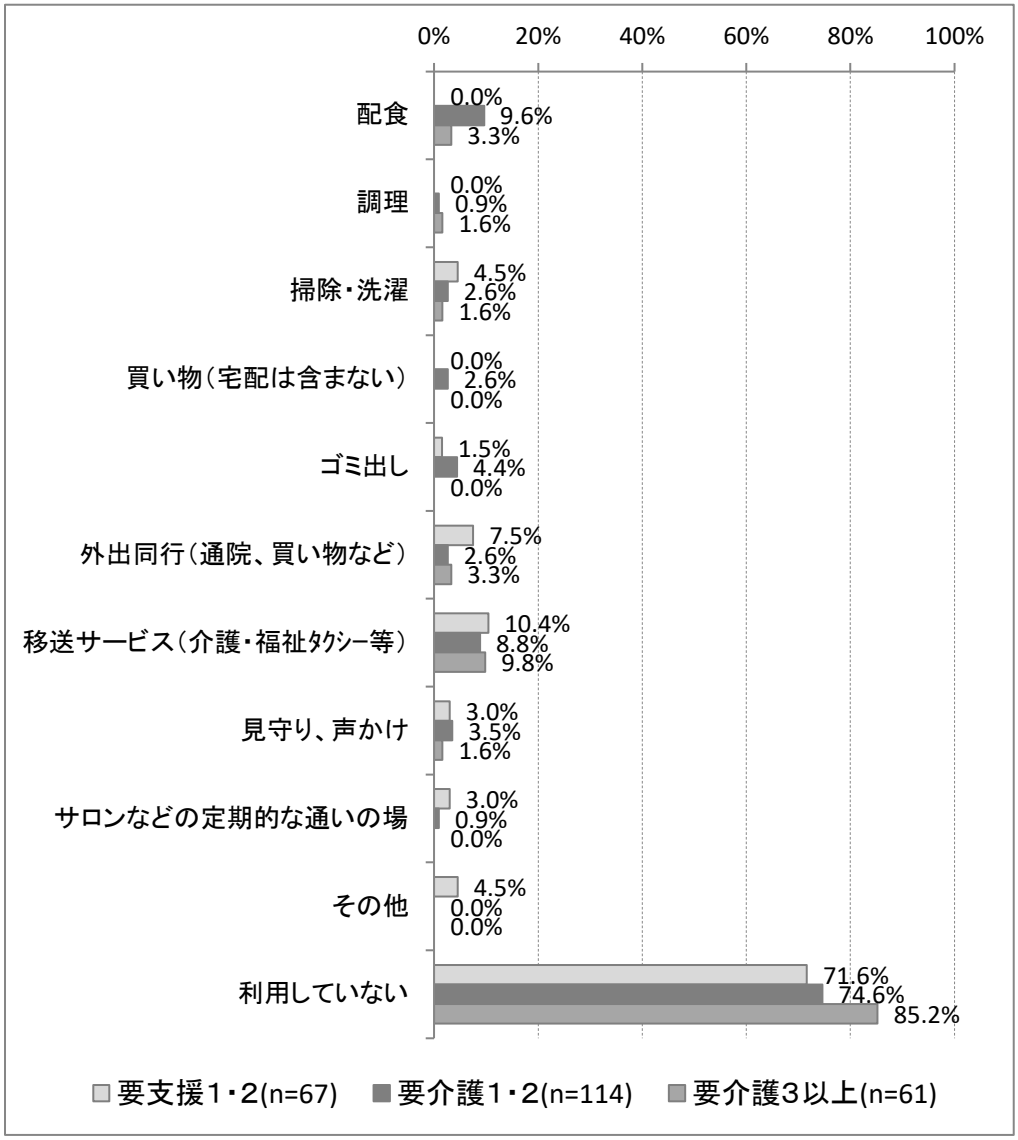
○　利用割合の低い世帯類型であっても、要介護度の重度化に伴い利用割合が増加している支援・サービスがあることも考えられます。

○　介護保険サービスと同様、重度化に伴い、どのような支援・サービスの利用割合が増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような支援・サービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 71.6%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 10.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が 7.5%となっている。「要介護１・２」では「利用していない」が 74.6%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 9.6%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 8.8%となっている。「要介護３以上」では「利用していない」が 85.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 9.8%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」が 3.3%となっている。

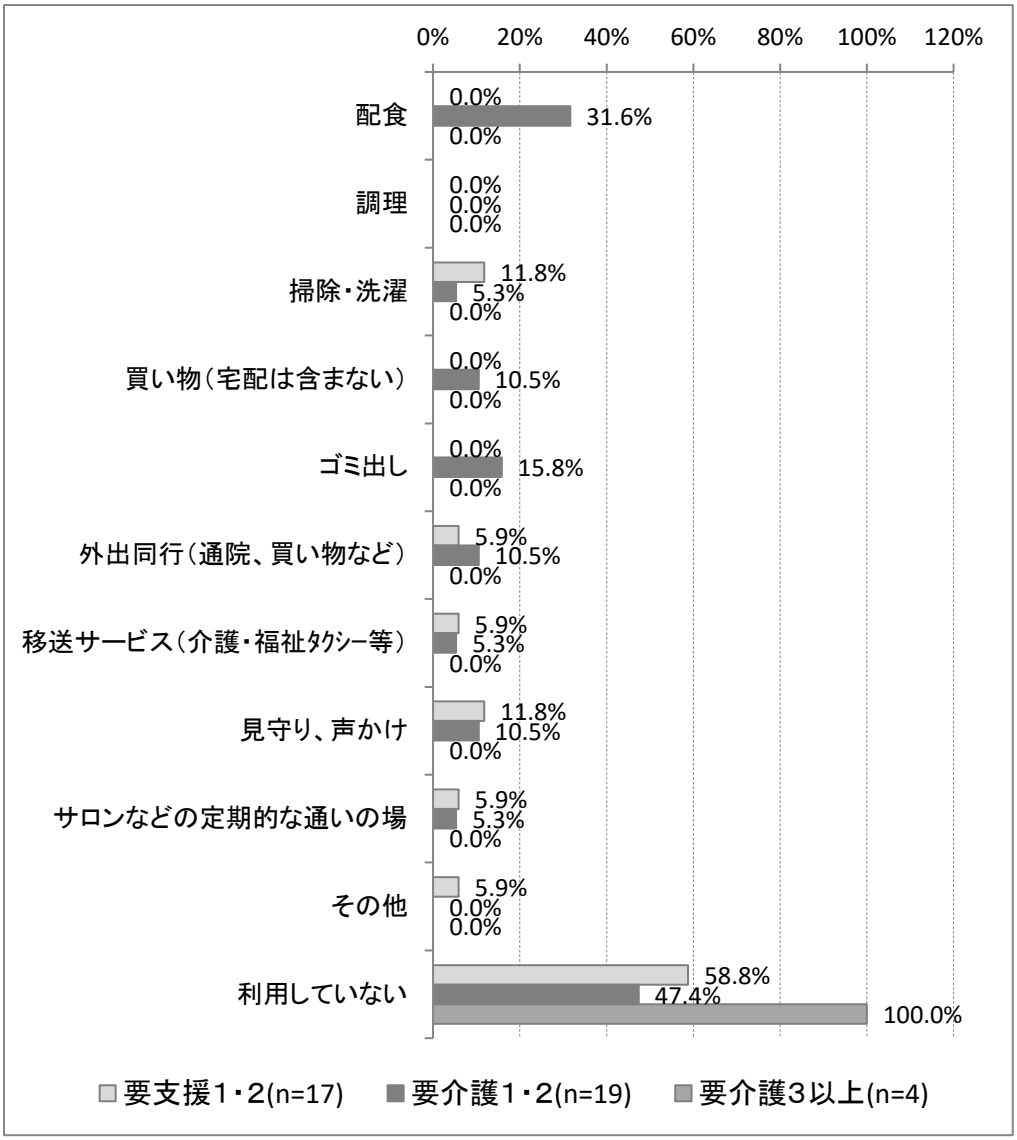
図表 3-5　要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 58.8%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」が 11.8%、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「その他」が 5.9%となっている。「要介護１・２」では「利用していない」が 47.4%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 31.6%、「ゴミ出し」が 15.8%となっている。「要介護３以上」では「利用していない」が 100.0%となっている。

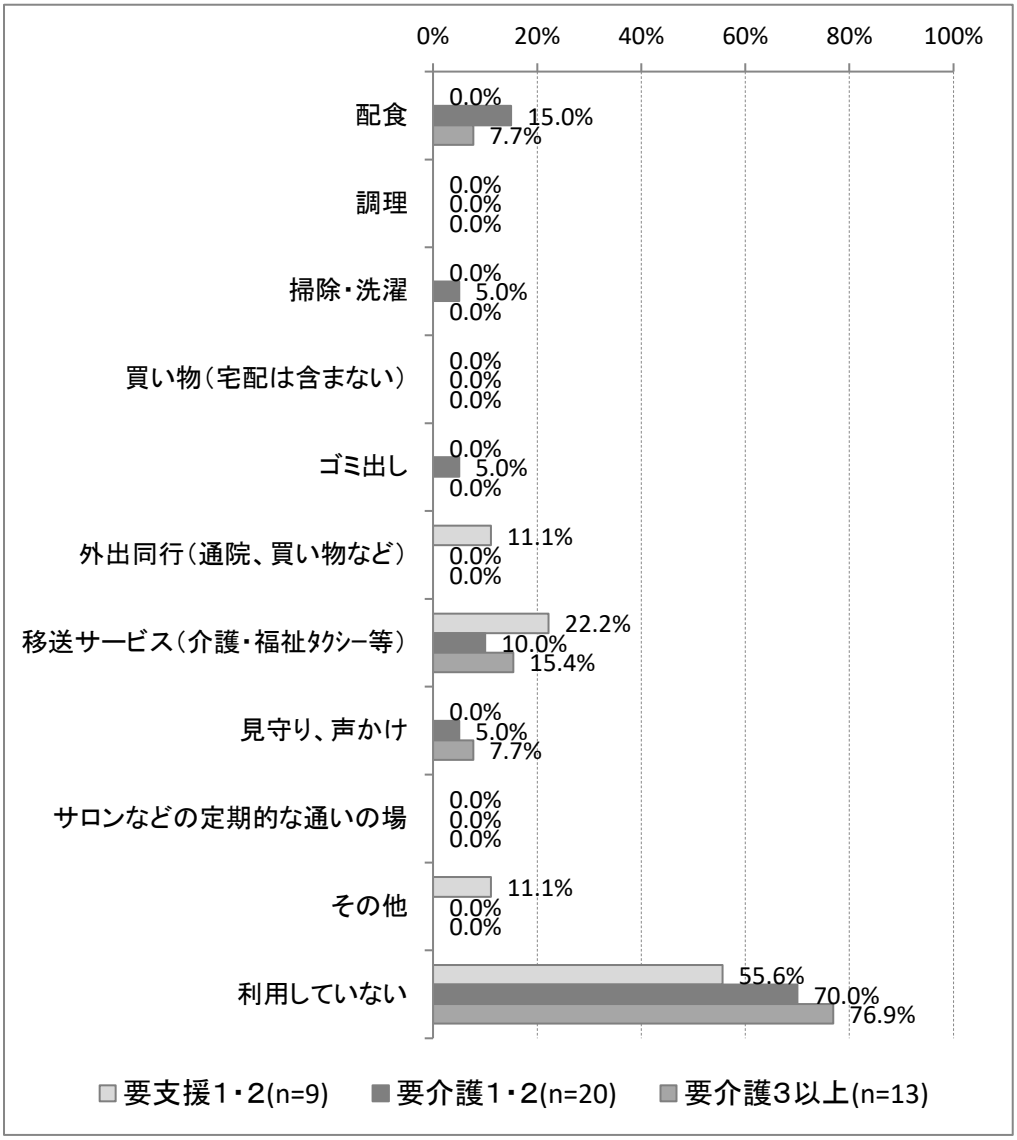
図表 3-6　要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 55.6%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 22.2%、「外出同行（通院、買い物など）」、「その他」が 11.1%となっている。「要介護１・２」では「利用していない」が 70.0%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 15.0%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 10.0%となっている。「要介護３以上」では「利用していない」が 76.9%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 15.4%、「配食」、「見守り、声かけ」が 7.7%となっている。

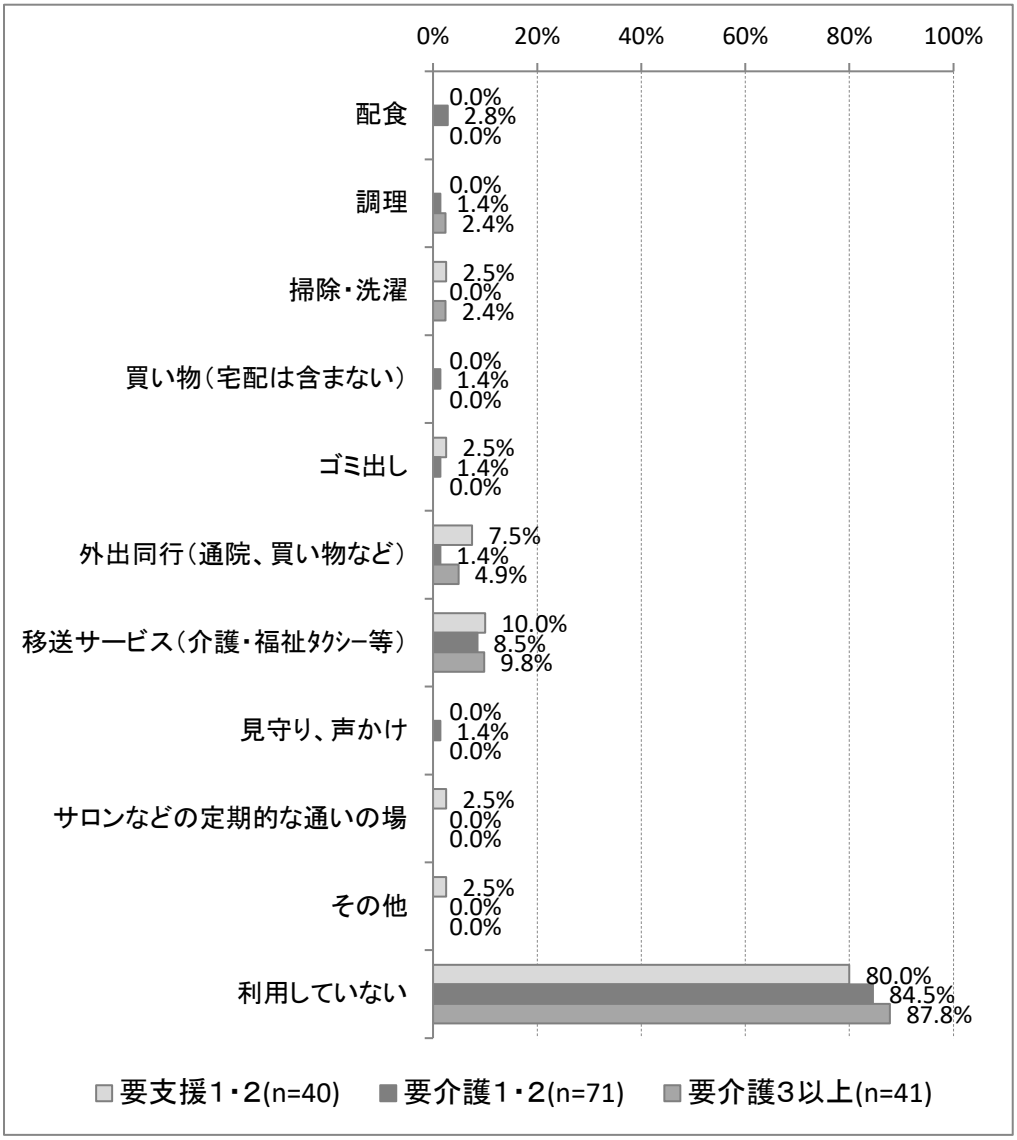
図表 3-7　要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「利用していない」が 80.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 10.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が 7.5%となっている。「要介護１・２」では「利用していない」が 84.5%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 8.5%、「配食」が 2.8%となっている。「要介護３以上」では「利用していない」が 87.8%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 9.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が 4.9%となっている。

図表 3-8　要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）



(4)　「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

【着目すべきポイント】

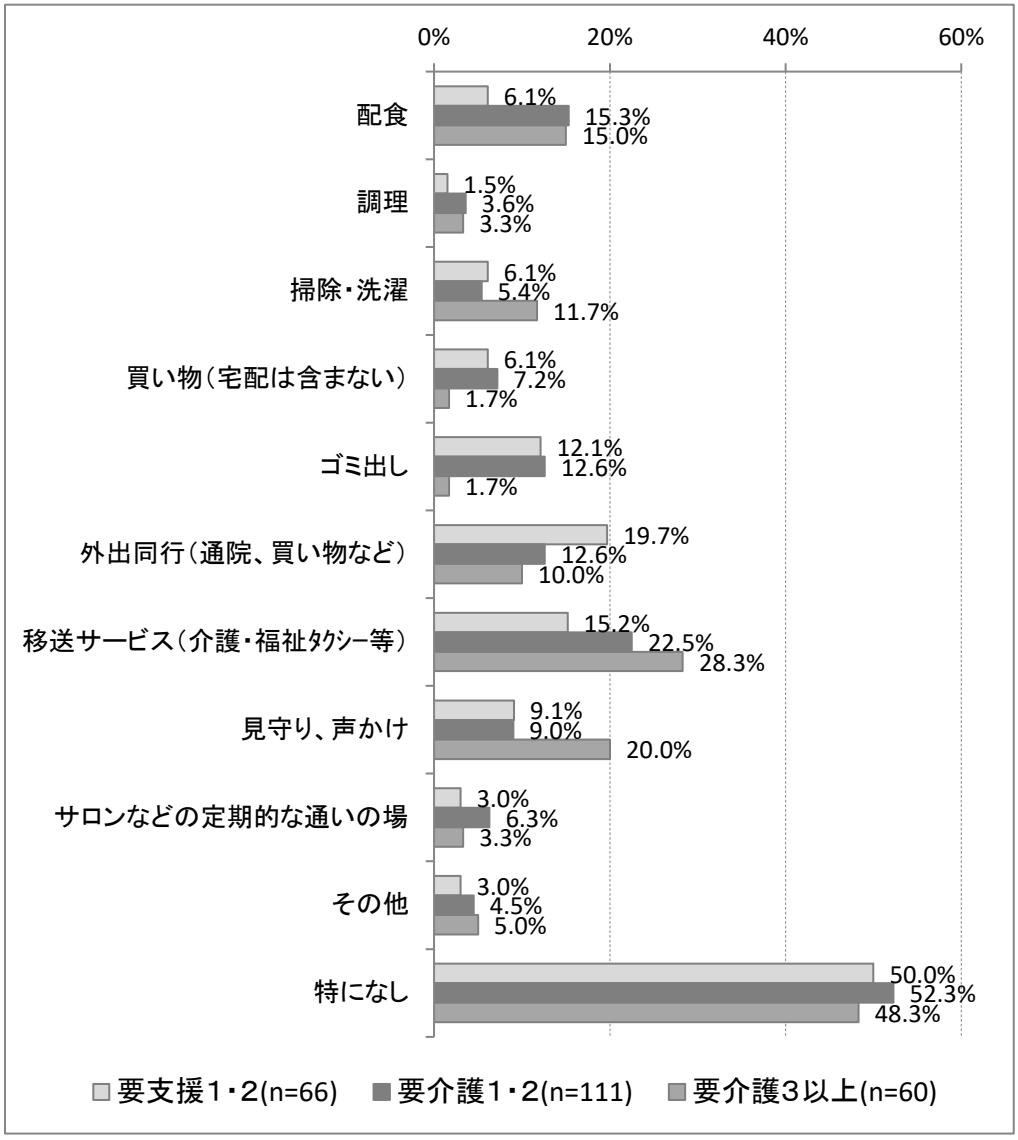
○　世帯類型別・要介護度別に「必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-9～図表 3-12）。

○　特に、各世帯類型の要介護度別のニーズに着目しながら、各地域の実情に応じた取組を推進していくことが必要です。

【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など)」が 19.7%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等)」が 15.2%となっている。「要介護１・２」では「特になし」が 52.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等)」が 22.5%、「配食」が 15.3%となっている。「要介護３以上」では「特になし」が 48.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等)」が 28.3%、「見守り、声かけ」が 20.0%となっている。

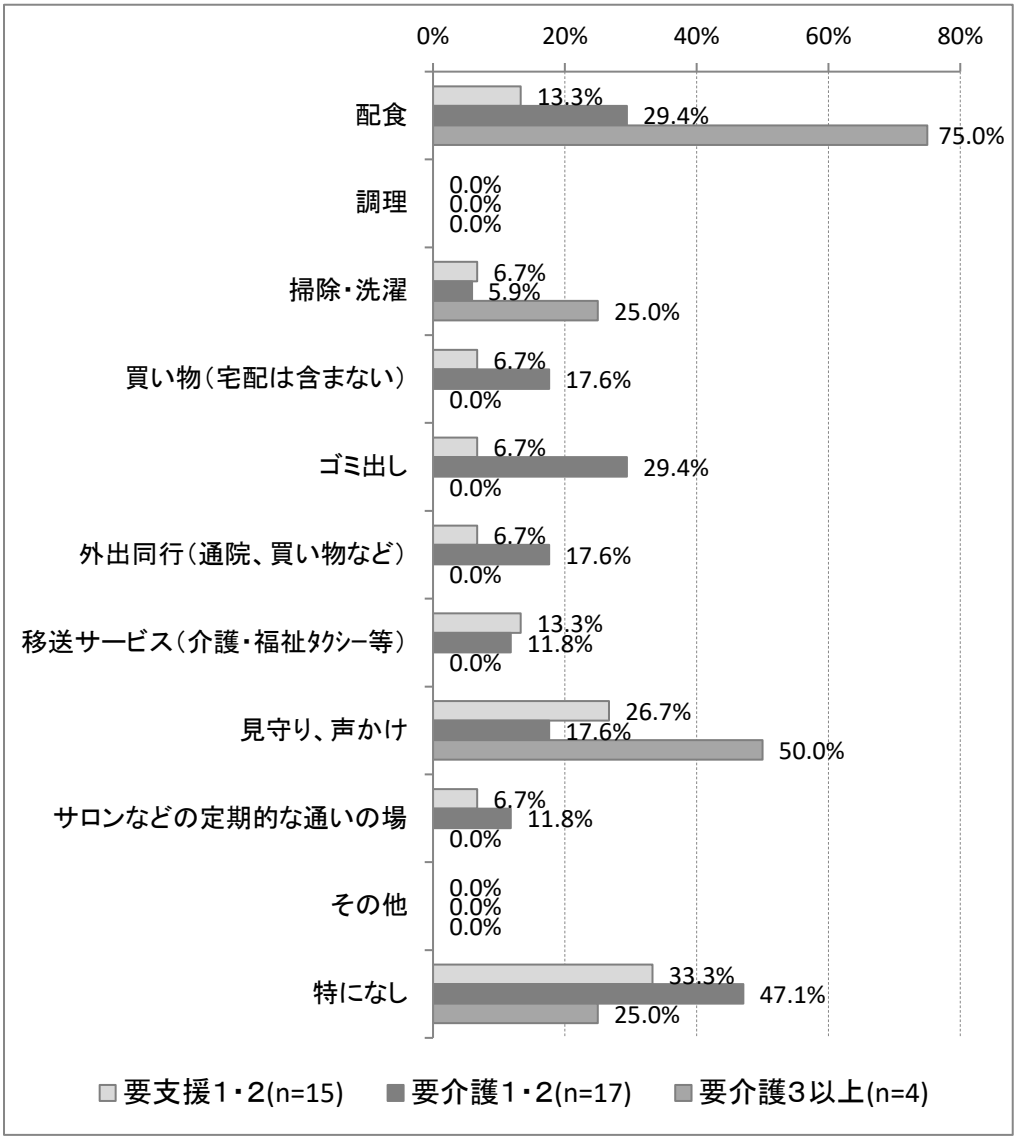
図表 3-9　要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 26.7%、「配食」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 13.3%となっている。「要介護１・２」では「特になし」が 47.1%ともっとも割合が高く、次いで「配食」、「ゴミ出し」が 29.4%、「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が 17.6%となっている。「要介護３以上」では「配食」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 50.0%、「掃除・洗濯」、「特になし」が 25.0%となっている。

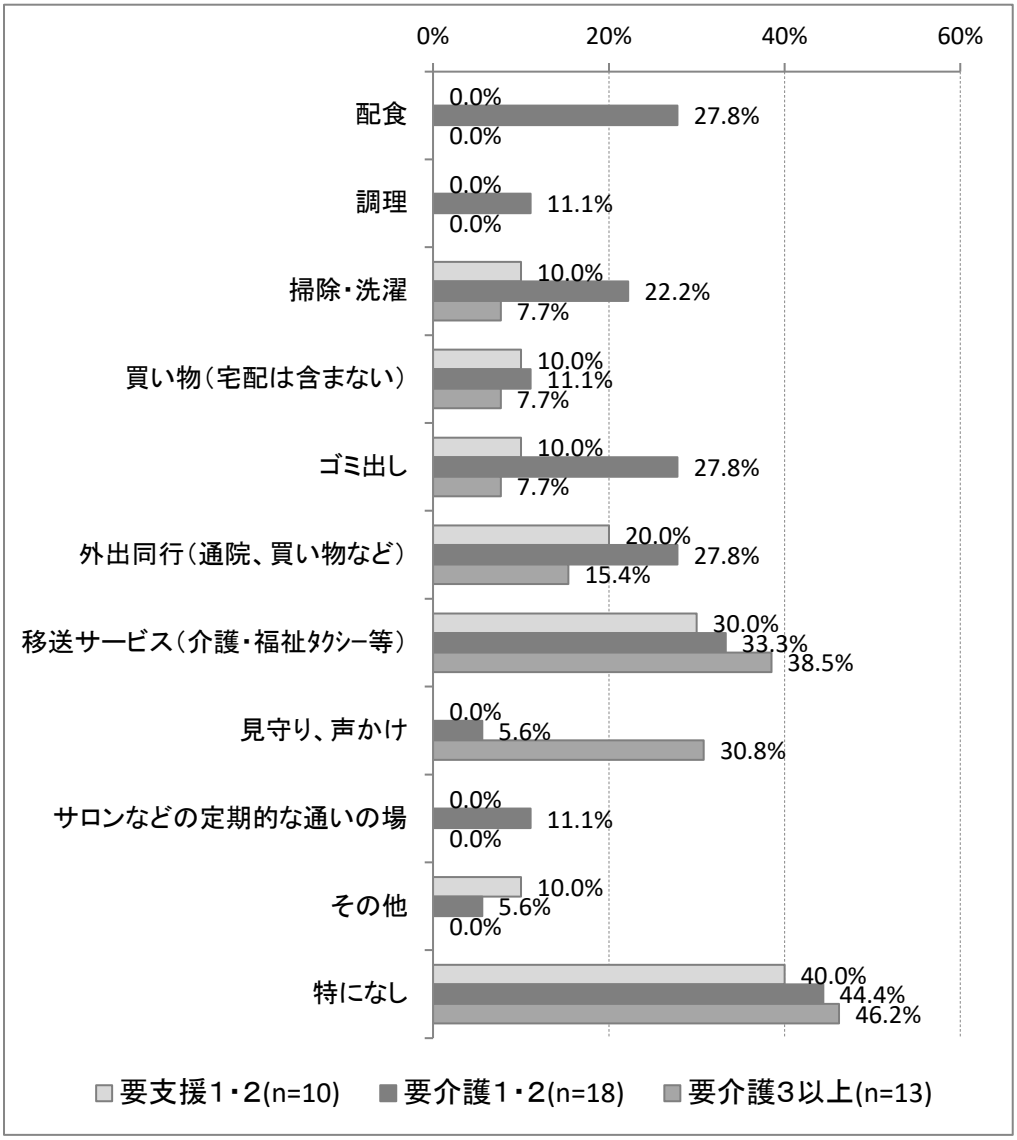
図表 3-10　要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 30.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が 20.0%となっている。「要介護１・２」では「特になし」が 44.4%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 33.3%、「配食」、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」が 27.8%となっている。「要介護３以上」では「特になし」が 46.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 38.5%、「見守り、声かけ」が 30.8%となっている。

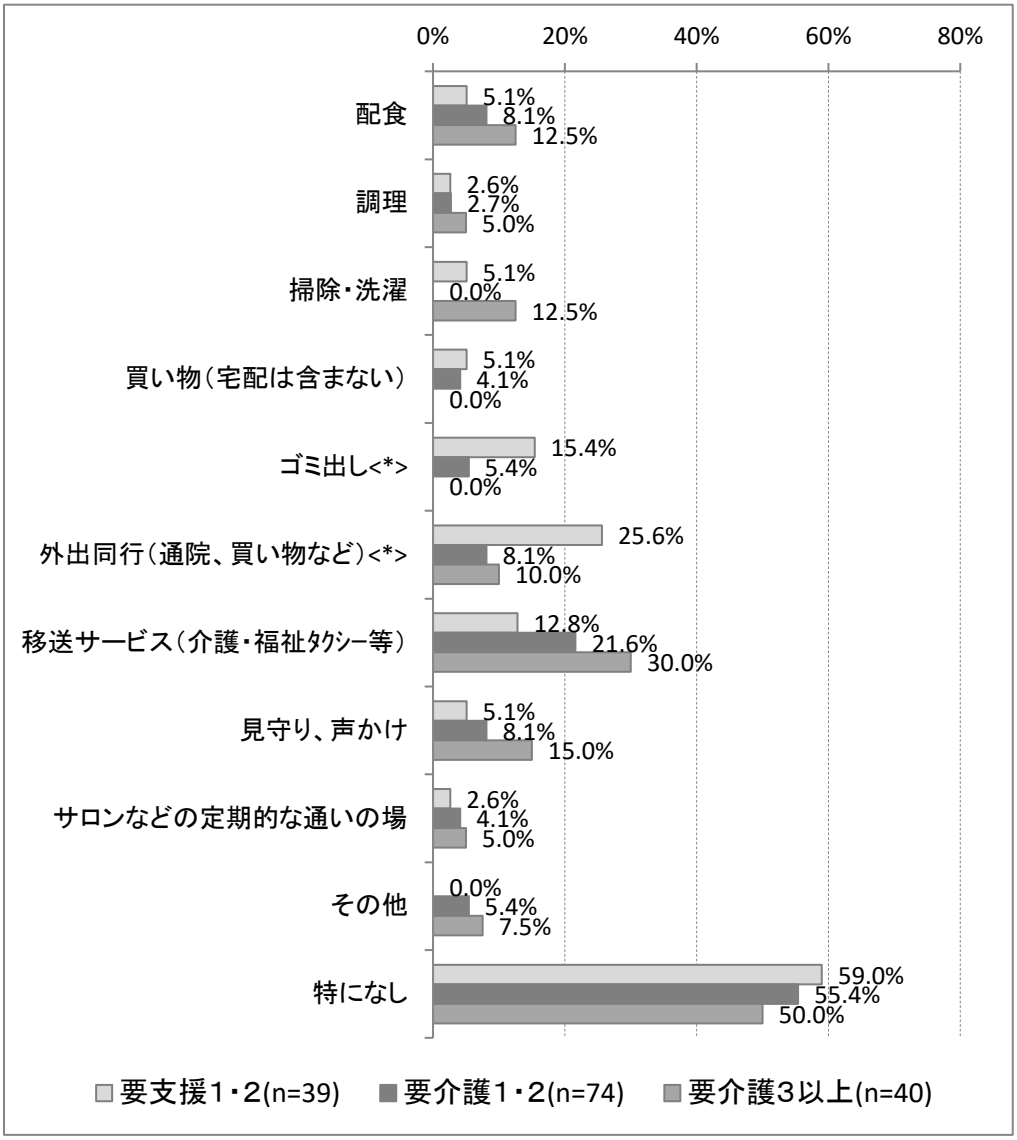
図表 3-11　要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「特になし」が 59.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 25.6%、「ゴミ出し」が 15.4%となっている。「要介護１・２」では「特になし」が 55.4%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 21.6%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が 8.1%となっている。「要介護３以上」では「特になし」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 30.0%、「見守り、声かけ」が 15.0%となっている。

図表 3-12　要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



4　将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

4.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。

○　具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。

○　将来の高齢世帯の世帯類型の構成は、地域ごとに異なりますので、それぞれ地域の実情に応じた支援・サービスの検討につなげていくことが重要となります。

4.2　集計結果と着目すべきポイント

(1)　基礎集計

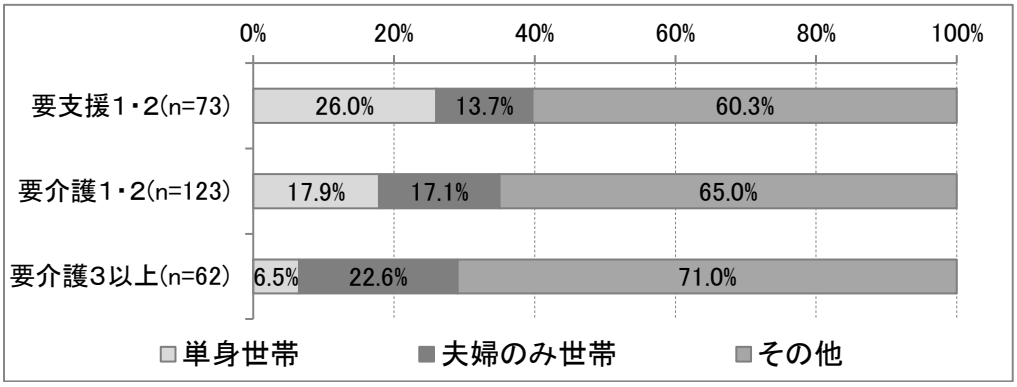
○　「要介護度別の世帯類型の割合」および「世帯類型別の要介護度の割合」を集計しています（図表 4-1、図表 4-2）。

○　要介護度の重度化に伴う、世帯類型の変化などを確認してください。

【要介護度別･世帯類型】

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「その他」が 60.3%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が 26.0%、「夫婦のみ世帯」が 13.7%となっている。「要介護１・２」では「その他」が 65.0%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が 17.9%、「夫婦のみ世帯」が 17.1%となっている。「要介護３以上」では「その他」が 71.0%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 22.6%、「単身世帯」が 6.5%となっている。

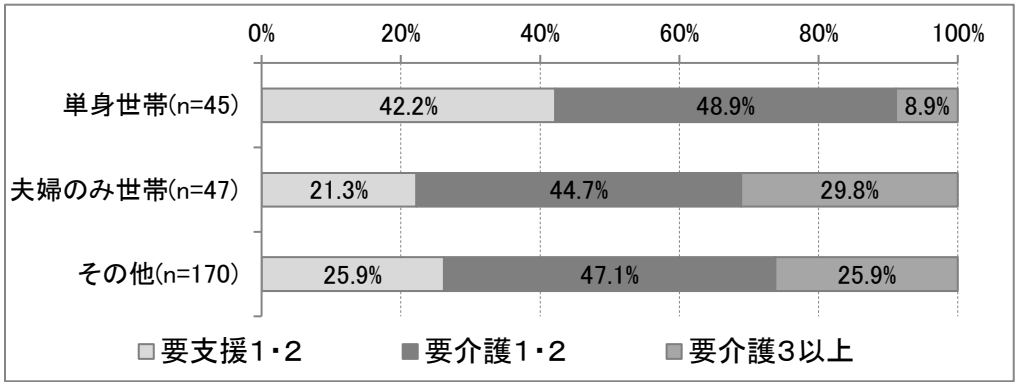
図表 4-1　要介護度別・世帯類型〈*〉



【世帯類型別･要介護度】

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護１・２」が 48.9%ともっとも割合が高く、次いで「要支援１・２」が 42.2%、「要介護３以上」が 8.9%となっている。「夫婦のみ世帯」では「要介護１・２」が 44.7%ともっとも割合が高く、次いで「要介護３以上」が 29.8%、「要支援１・２」が 21.3%となっている。「その他」では「要介護１・２」が 47.1%ともっとも割合が高く、次いで「要支援１・２」、「要介護３以上」が 25.9%となっている。

図表 4-2　世帯類型別・要介護度〈*〉



(2)　「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

【着目すべきポイント】

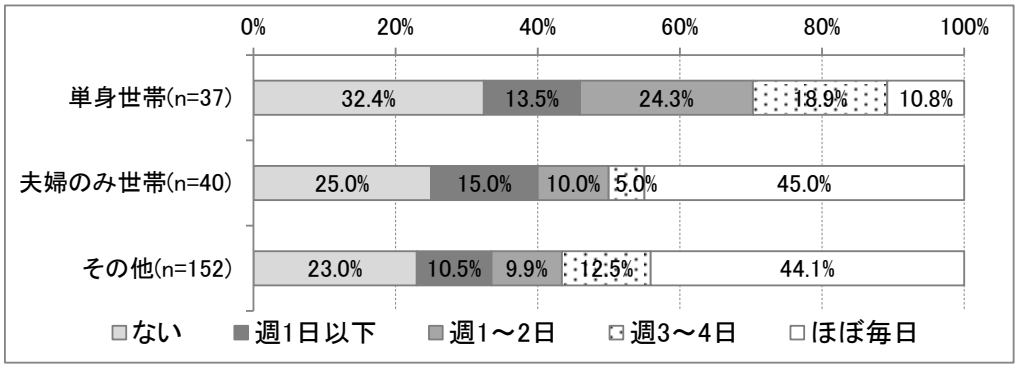
○　図表 4-3 では、「世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」の割合を集計しています。また、図表 4-4～図表 4-6 では、世帯類型別に「要介護度別」の「家族等による介護の頻度」を集計しています。

○　「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられます。中重度の単身世帯のうち、家族等の介護がない中で在宅生活を送っているケースがどの程度あるかなど、現状についてご確認ください。

【世帯類型別･家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が 32.4%ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 24.3%、「週 3～4 日」が 18.9%となっている。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が 45.0%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 25.0%、「週 1 日以下」が 15.0%となっている。「その他」では「ほぼ毎日」が 44.1%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 23.0%、「週 3～4 日」が 12.5%となっている。

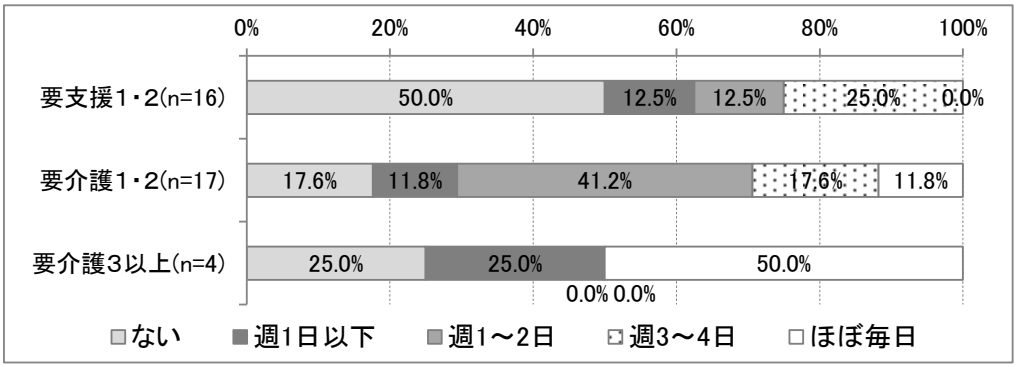
図表 4-3　世帯類型別・家族等による介護の頻度〈*〉



【要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「ない」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「週 3～4 日」が 25.0%、「週 1 日以下」、「週 1～2 日」が 12.5%となっている。「要介護１・２」では「週 1～2 日」が 41.2%ともっとも割合が高く、次いで「ない」、「週 3～4 日」が 17.6%、「週 1 日以下」、「ほぼ毎日」が 11.8%となっている。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「ない」、「週 1 日以下」が 25.0%となっている。

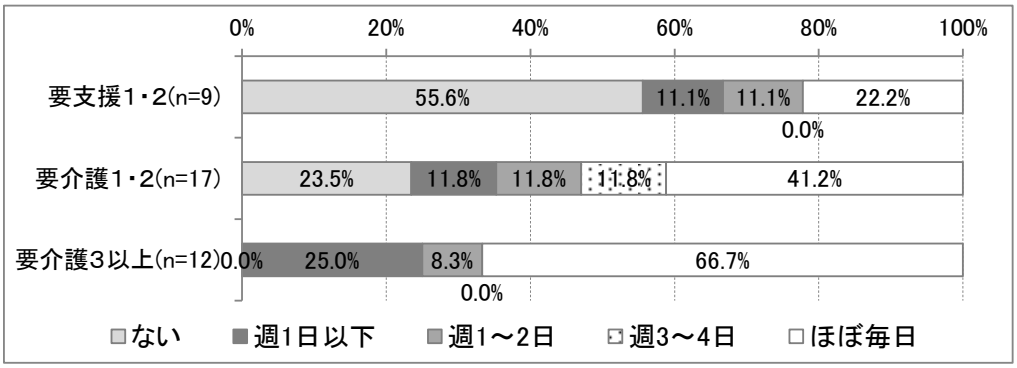
図表 4-4　要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）〈*〉



【要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「ない」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 22.2%、「週 1 日以下」、「週 1～2 日」が 11.1%となっている。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が 41.2%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 23.5%、「週 1 日以下」、「週 1～2 日」、「週 3～4 日」が 11.8%となっている。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「週 1 日以下」が 25.0%、「週 1～2 日」が 8.3%となっている。

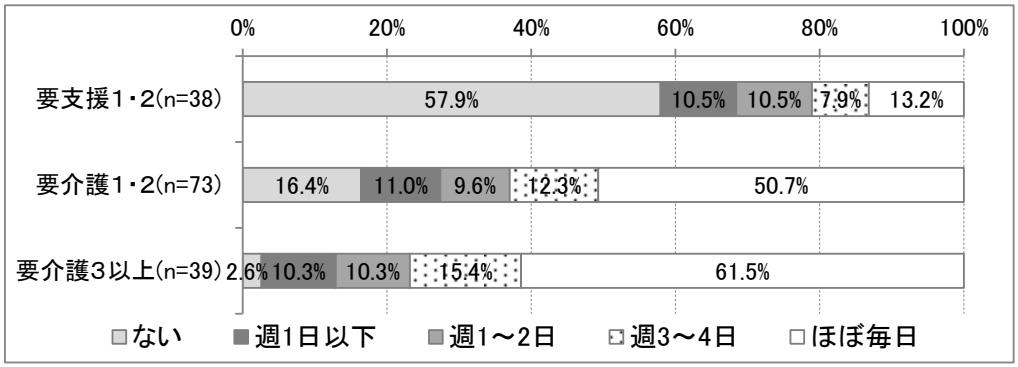
図表 4-5　要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「ない」が57.9%ともっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が13.2%、「週１日以下」、「週1～2日」が10.5%となっている。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が50.7%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が16.4%、「週3～4日」が12.3%となっている。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が61.5%ともっとも割合が高く、次いで「週3～4日」が15.4%、「週１日以下」、「週1～2日」が10.3%となっている。

図表 4-6　要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）〈***〉



(3)　「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

【着目すべきポイント】

○　要介護度別・認知症自立度別の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 4-7～図表 4-12）。

○　サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその２つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の３種類（未利用除く）に簡略化したものを使用しています。

○　重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを、世帯類型別に把握することができます。

○　また、世帯類型別の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

○　例えば、特に今後「要介護度が中重度の単身世帯」が増加すると見込まれる場合は、単身世帯の要介護者が要介護度の重度化に伴いどのようなサービス利用の組み合わせを増加させているかに着目し、推測することなどが考えられます。

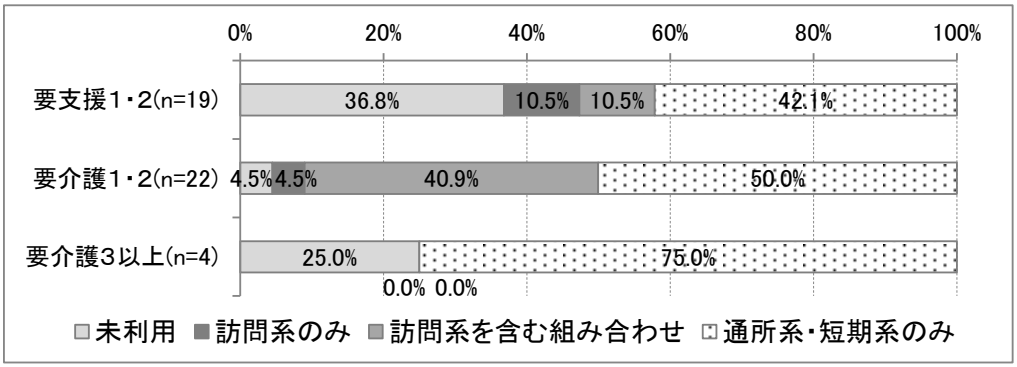
【留意事項】

○　ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系・短期系のみ」が 42.1%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 36.8%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 10.5%となっている。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 40.9%、「未利用」、「訪問系のみ」が 4.5%となっている。「要介護３以上」では「通所系・短期系のみ」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 25.0%となっている。

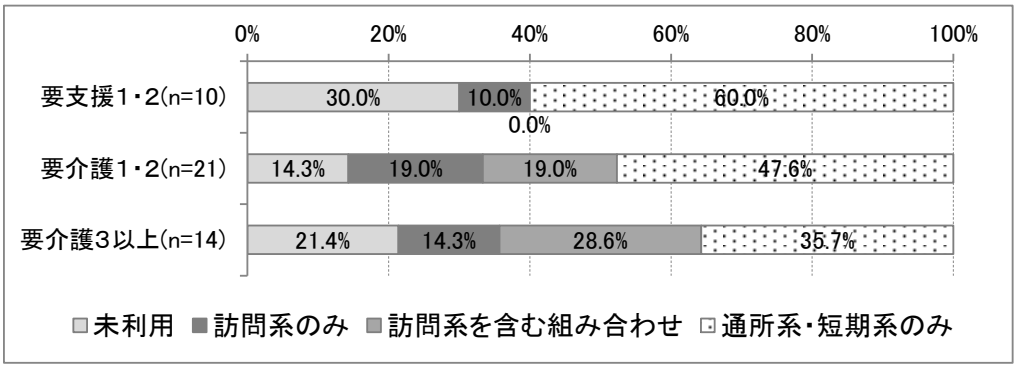
図表 4-7　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）〈+〉



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系・短期系のみ」が 60.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 30.0%、「訪問系のみ」が 10.0%となっている。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 47.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 19.0%、「未利用」が 14.3%となっている。「要介護３以上」では「通所系・短期系のみ」が 35.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 28.6%、「未利用」が 21.4%となっている。

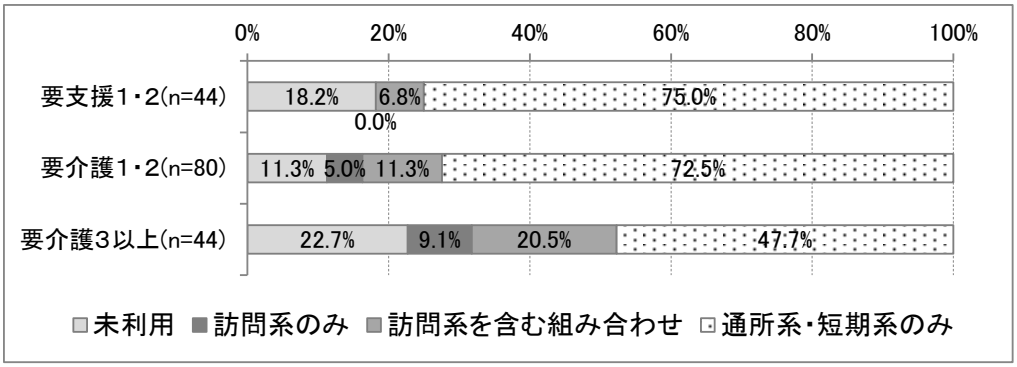
図表 4-8　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系・短期系のみ」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 18.2%、「訪問系を含む組み合わせ」が 6.8%となっている。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 72.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 11.3%、「訪問系のみ」が 5.0%となっている。「要介護３以上」では「通所系・短期系のみ」が 47.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 22.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 20.5%となっている。

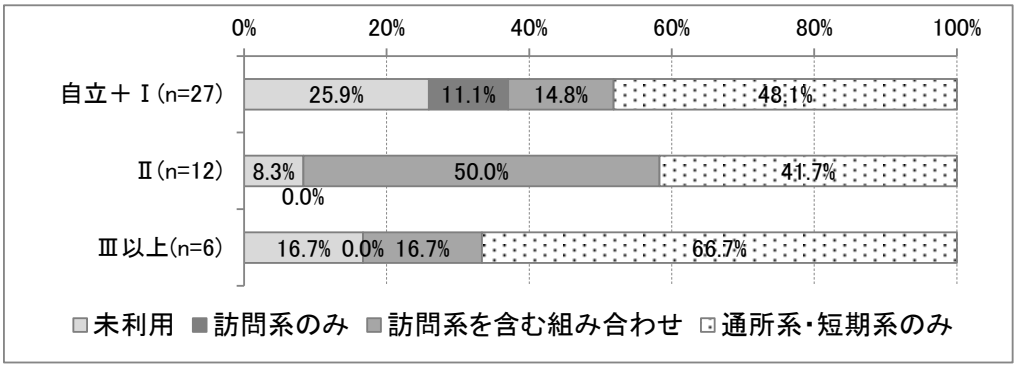
図表 4-9　要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）〈*〉



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が 48.1%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 25.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が 14.8%となっている。「Ⅱ」では「訪問系を含む組み合わせ」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が 41.7%、「未利用」が 8.3%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 16.7%となっている。

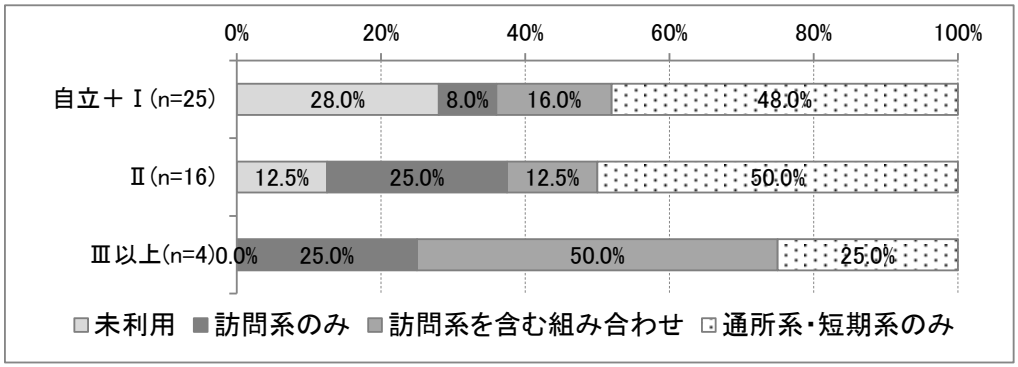
図表 4-10　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が 48.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 28.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が 16.0%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が 25.0%、「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が 12.5%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が 25.0%となっている。

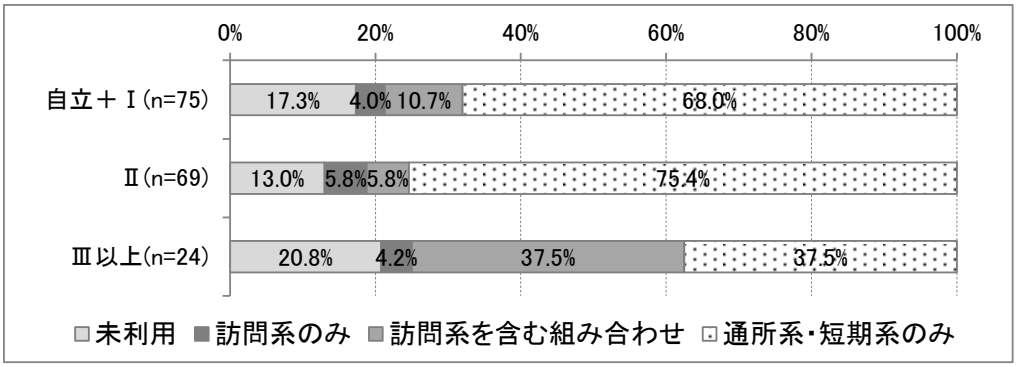
図表 4-11　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が 68.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 17.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が 10.7%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が 75.4%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 13.0%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が 5.8%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が 37.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 20.8%、「訪問系のみ」が 4.2%となっている。

図表 4-12　認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）〈**〉



(4)　「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

【着目すべきポイント】

○　ここでは、「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」について、集計分析をしています（図表 4-13～図表 4-19）。

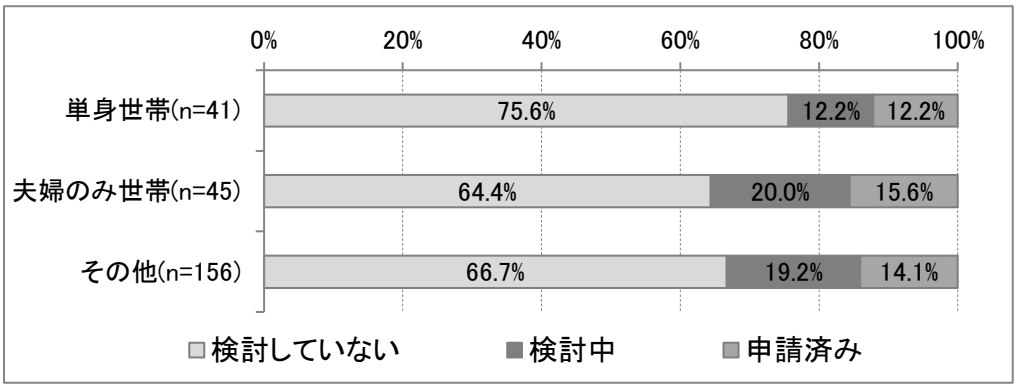
○　「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の１つです。

○　ここでは「世帯類型」ごとの特徴を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

【世帯類型別･施設等検討の状況（全要介護度）】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が 75.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が 12.2%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が 64.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 20.0%、「申請済み」が 15.6%となっている。「その他」では「検討していない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 19.2%、「申請済み」が 14.1%となっている。

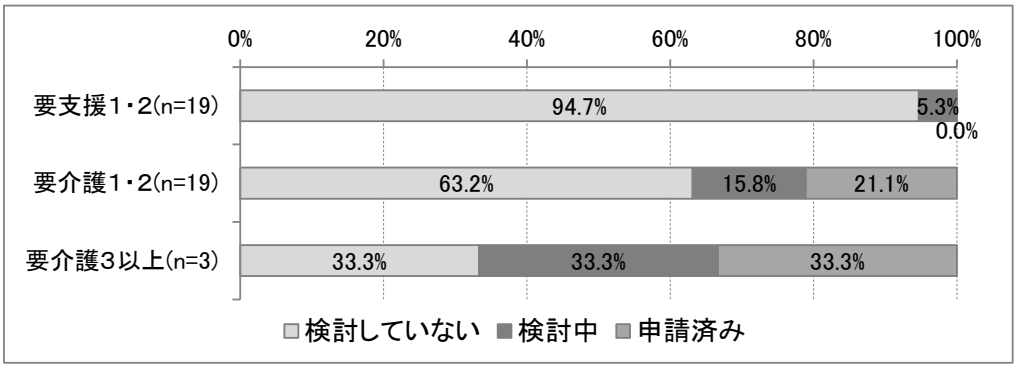
図表 4-13　世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 94.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 5.3%となっている。「要介護１・２」では「検討していない」が 63.2%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 21.1%、「検討中」が 15.8%となっている。「要介護３以上」では「検討していない」、「検討中」、「申請済み」が 33.3%となっている。

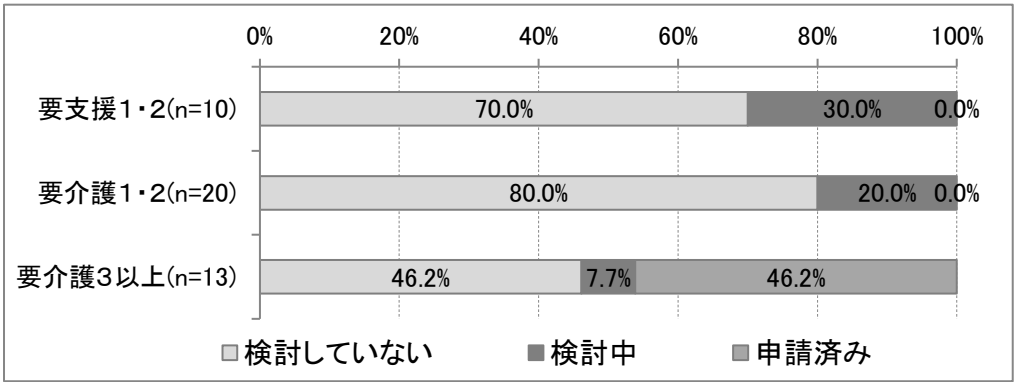
図表 4-14　要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）〈+〉



【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 70.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 30.0%となっている。「要介護１・２」では「検討していない」が 80.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 20.0%となっている。「要介護３以上」では「検討していない」、「申請済み」が 46.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 7.7%となっている。

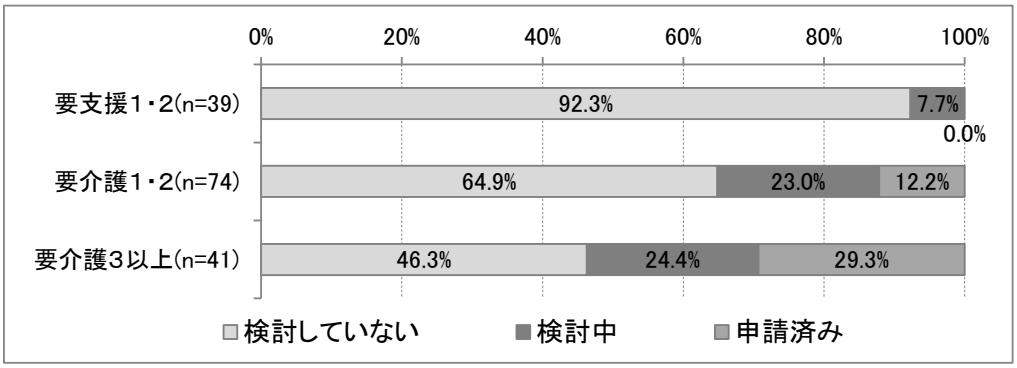
図表 4-15　要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）〈**〉



【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 92.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 7.7%となっている。「要介護１・２」では「検討していない」が 64.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 23.0%、「申請済み」が 12.2%となっている。「要介護３以上」では「検討していない」が 46.3%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 29.3%、「検討中」が 24.4%となっている。

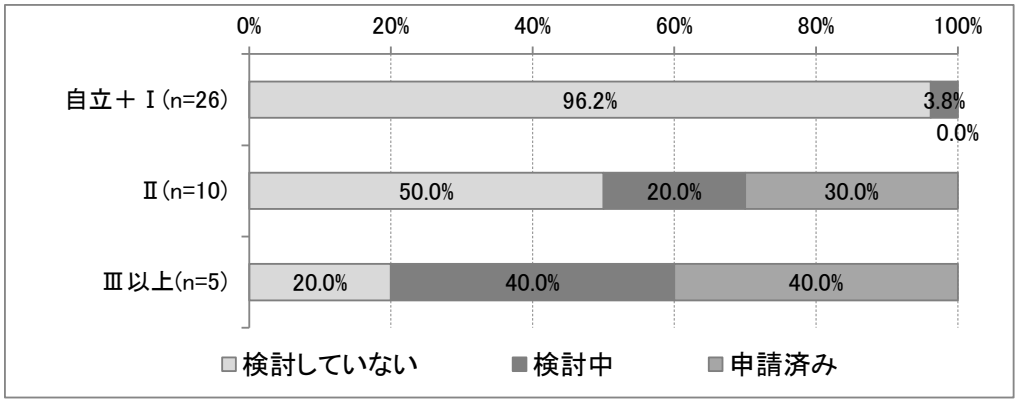
図表 4-16　要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）〈***〉



【認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 96.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 3.8%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が 30.0%、「検討中」が 20.0%となっている。「Ⅲ以上」では「検討中」、「申請済み」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が 20.0%となっている。

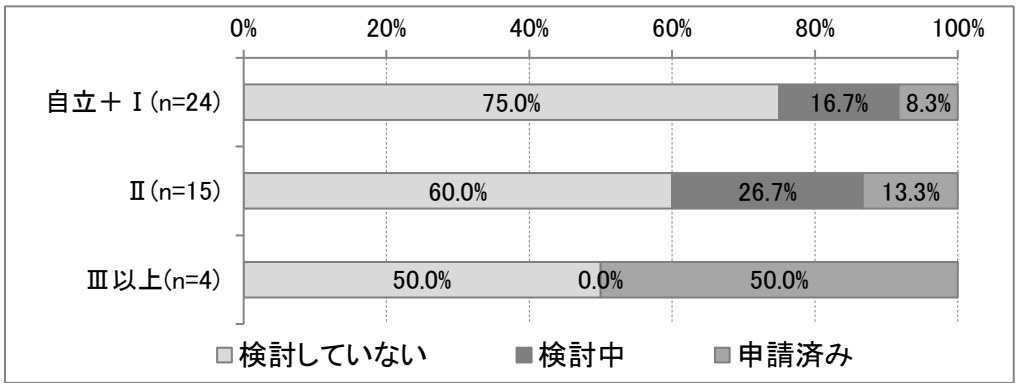
図表 4-17　認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）〈**〉



【認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 16.7%、「申請済み」が 8.3%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が 60.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 26.7%、「申請済み」が 13.3%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」、「申請済み」が 50.0%となっている。

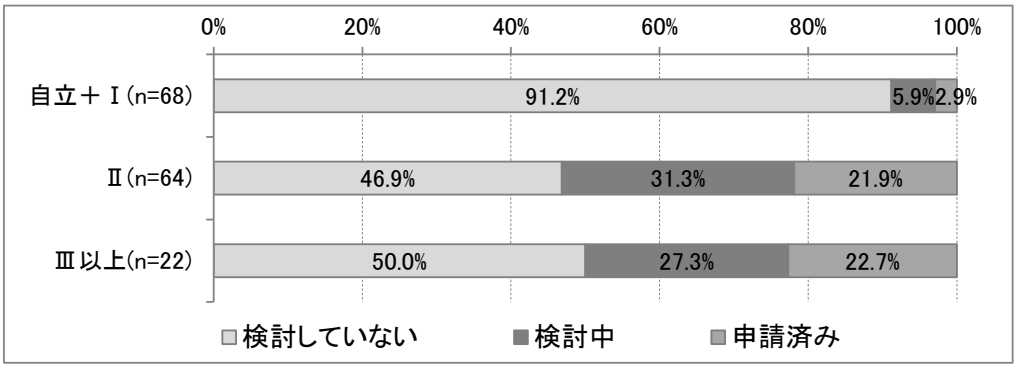
図表 4-18　認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「検討していない」が 91.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 5.9%、「申請済み」が 2.9%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が 46.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 31.3%、「申請済み」が 21.9%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 27.3%、「申請済み」が 22.7%となっている。

図表 4-19　認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）〈***〉



5　医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

5.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。

○　具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

5.2　集計結果と着目すべきポイント

(1)　基礎集計

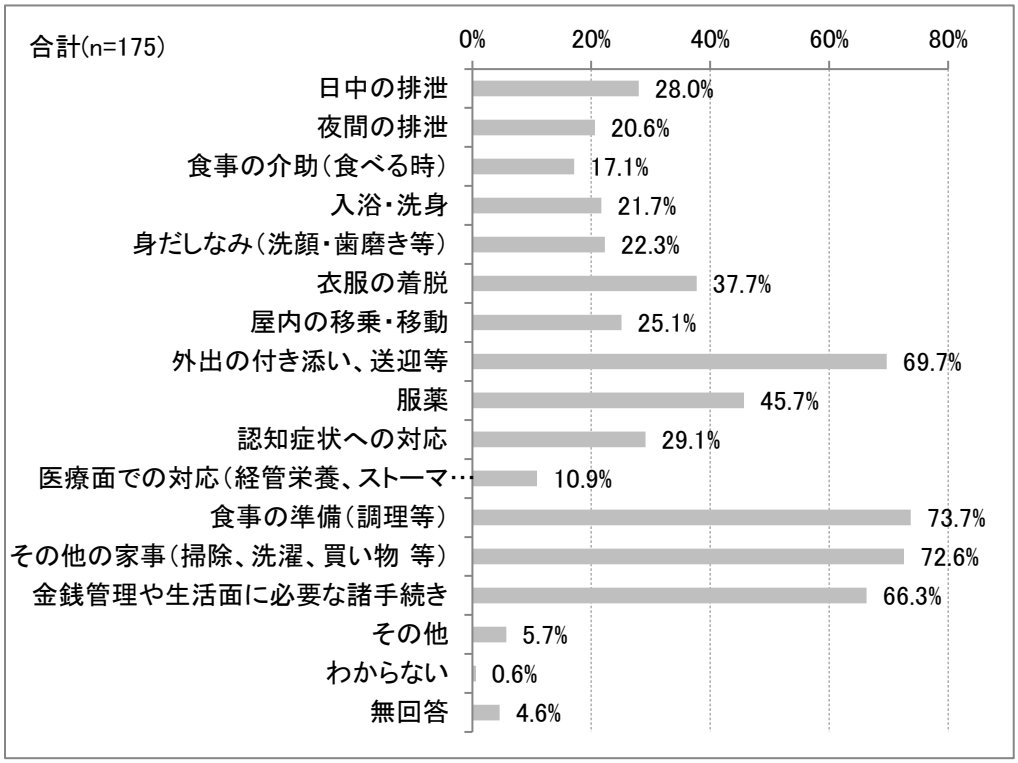
○　「主な介護者が行っている介護」について、要介護度別・世帯類型別の集計を行っています（図表 5-1～図表 5-3）。

○　ここでは、特に「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」に着目し、家族等の主な介護者が「医療面での対応」を行っている割合を把握することができます。

【★主な介護者が行っている介護】

「食事の準備（調理等）」の割合が最も高く 73.7%となっている。次いで、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）（72.6%）」、「外出の付き添い、送迎等（69.7%）」となっている。

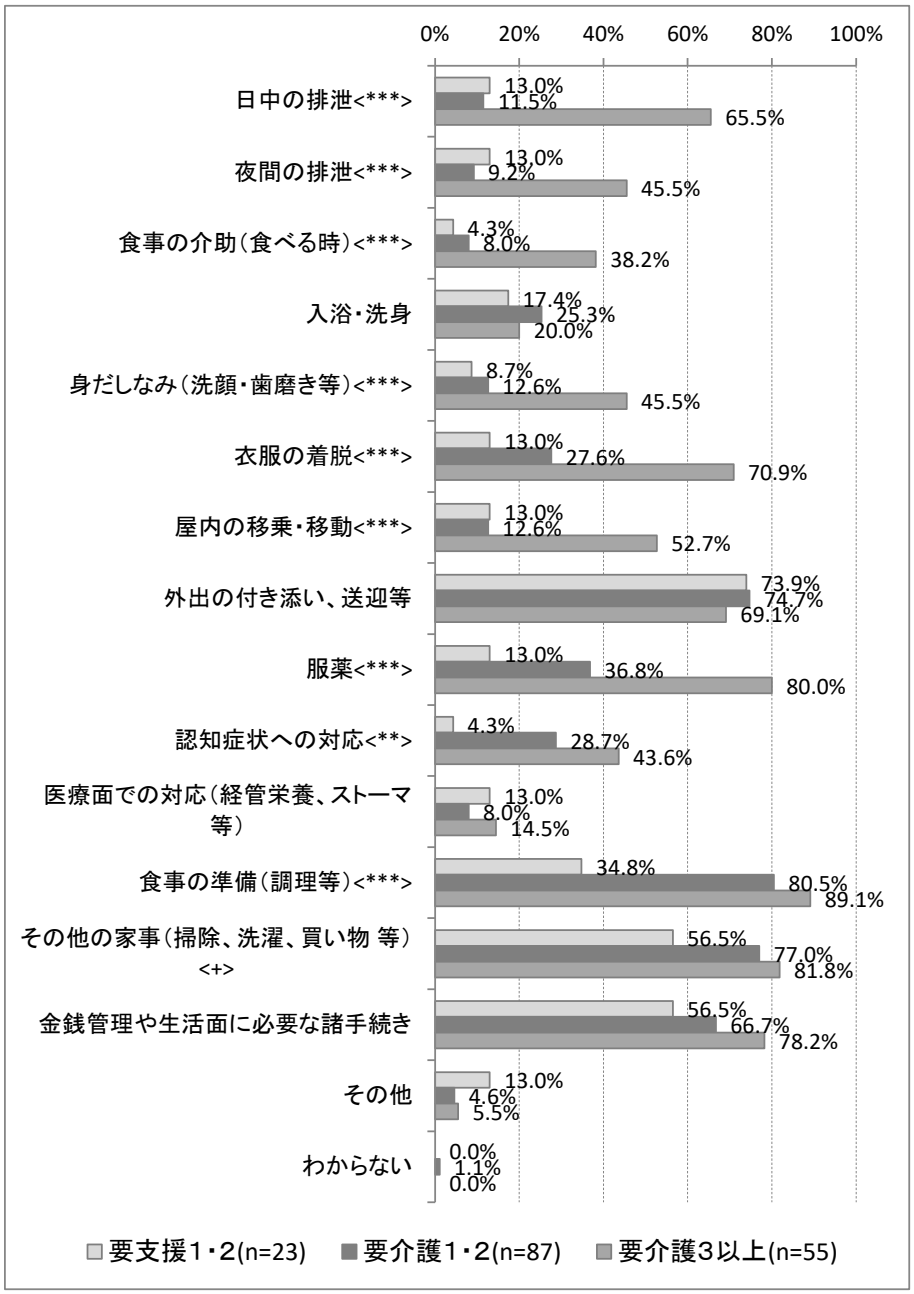
図表 5-1　★主な介護者が行っている介護



【要介護度別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「外出の付き添い、送迎等」が 73.9%ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 56.5%、「食事の準備（調理等)」が 34.8%となっている。「要介護１・２」では「食事の準備（調理等)」が 80.5%ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が 77.0%、「外出の付き添い、送迎等」が 74.7%となっている。「要介護３以上」では「食事の準備（調理等)」が 89.1%ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等)」が 81.8%、「服薬」が 80.0%となっている。

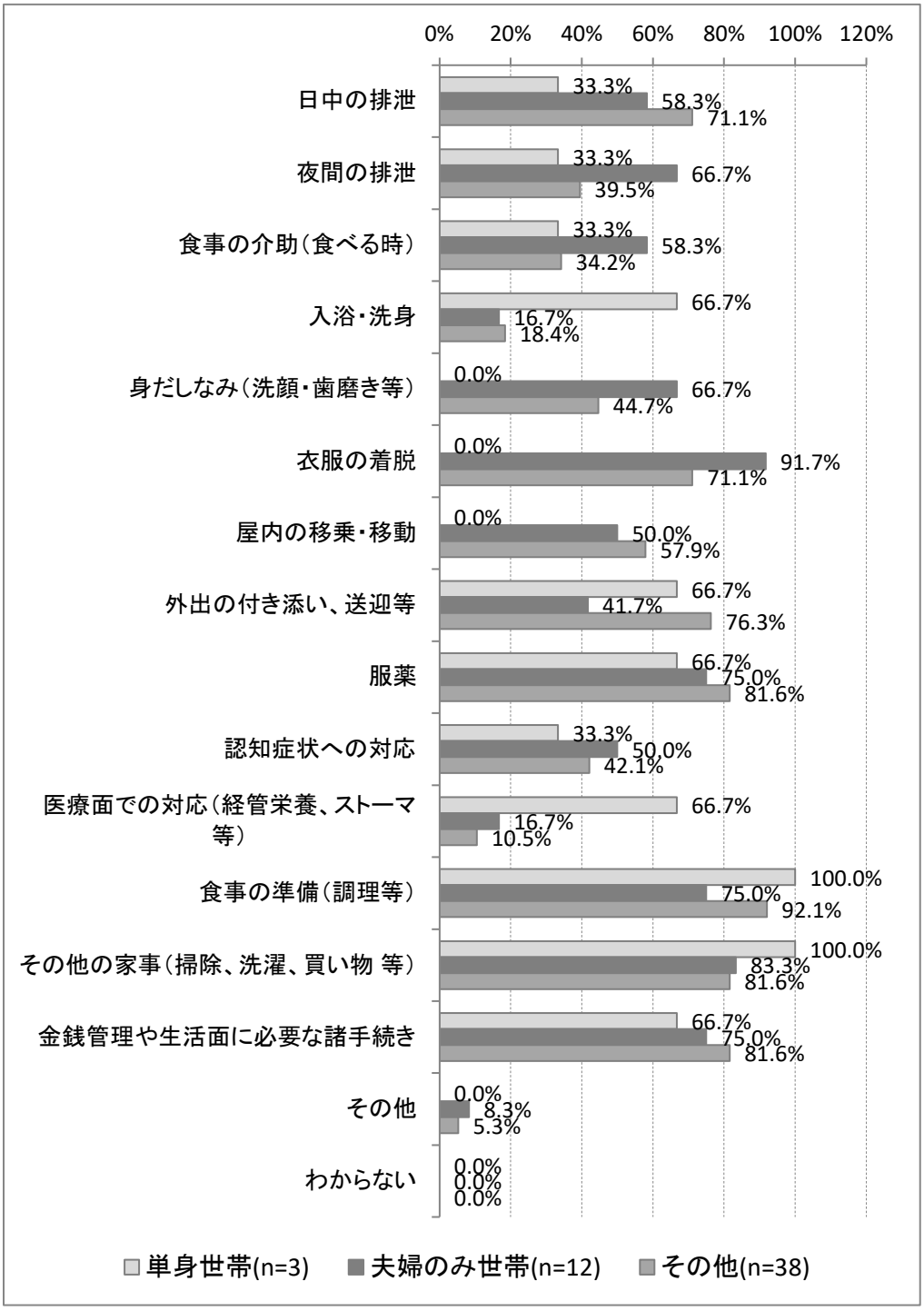
図表 5-2　要介護度別・★主な介護者が行っている介護



【世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護3以上）】

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 100.0%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 66.7%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「認知症状への対応」が 33.3%となっている。「夫婦のみ世帯」では「衣服の着脱」が 91.7%ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 83.3%、「服薬」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 75.0%となっている。「その他」では「食事の準備（調理等）」が 92.1%ともっとも割合が高く、次いで「服薬」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 81.6%、「外出の付き添い、送迎等」が 76.3%となっている。

図表 5-3　世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護３以上）



(2)　訪問診療の利用割合

【着目すべきポイント】

○　「訪問診療の利用の有無」について、世帯類型別・要介護度別の集計を行っています（図表 5-4～図表 5-6）。

○　特に、「要介護度別の訪問診療の利用割合」を「将来の要介護度別の在宅療養者数」に乗じることで、「将来の在宅における訪問診療の利用者数」の粗推計を行うことも可能です。

【留意事項】

○　ここでの「訪問診療」には、訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まれていません。

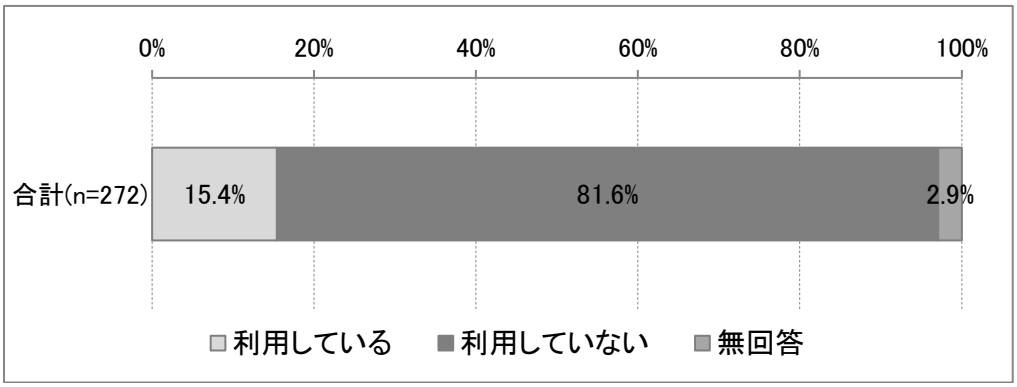
○　また、上述の「将来の在宅における訪問診療の利用者数」を推計方法は、現在の訪問診療の利用割合を前提としたものであり、地域の状況の変化によっては誤差が大きくなることが想定されます。粗推計のための手法である点については、注意が必要です。

○　必要に応じて、地域医療構想の検討における「2025 年の在宅医療等で対応が必要な医療需要」の需要量予測の結果等もご覧ください。

【★訪問診療の利用の有無】

「利用していない」が 81.6%、「利用している」が 15.4%となっている。

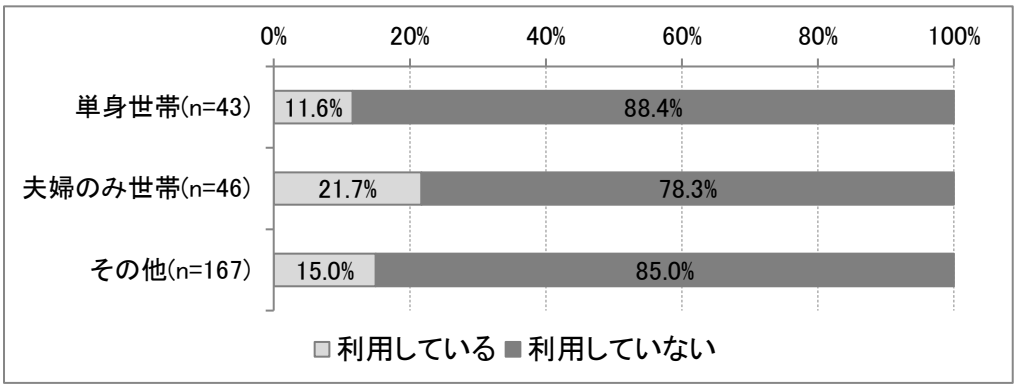
図表 5-4　★訪問診療の利用の有無



【世帯類型別･★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が88.4%、「利用している」が11.6%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が78.3%、「利用している」が21.7%となっている。「その他」では「利用していない」が85.0%、「利用している」が15.0%となっている。

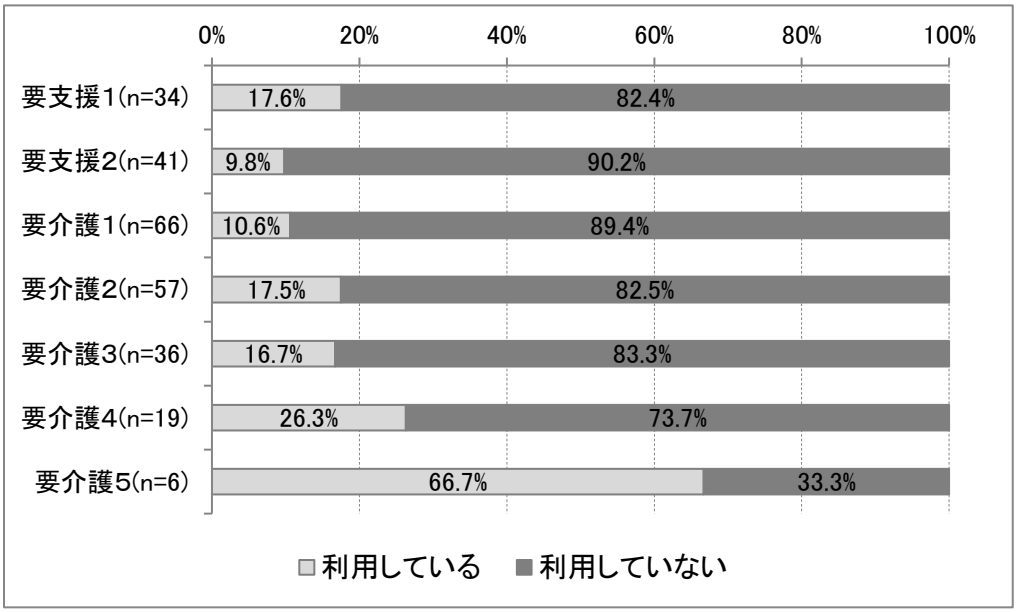
図表 5-5　世帯類型別・★訪問診療の利用割合



【要介護度別･★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援１」では「利用していない」が 82.4%、「利用している」が 17.6%となっている。「要支援２」では「利用していない」が 90.2%、「利用している」が 9.8%となっている。「要介護１」では「利用していない」が 89.4%、「利用している」が 10.6%となっている。「要介護２」では「利用していない」が 82.5%、「利用している」が 17.5%となっている。「要介護３」では「利用していない」が 83.3%、「利用している」が 16.7%となっている。「要介護４」では「利用していない」が 73.7%、「利用している」が 26.3%となっている。「要介護５」では「利用している」が 66.7%、「利用していない」が 33.3%となっている。

図表 5-6　要介護度別・★訪問診療の利用割合〈*〉



(3)　訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

【着目すべきポイント】

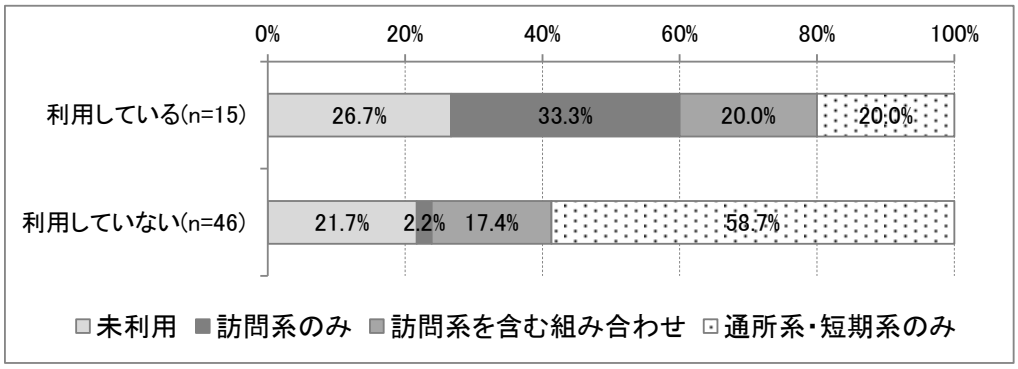
○　訪問診療の利用の有無別に、要介護３以上の「サービス利用の組み合わせ」を集計しています（図表 5-7）。

○　特に、今後在宅で療養生活を送る医療ニーズの高い中重度の要介護者の増加が見込まれる地域では、今後どのようなサービスに対する利用ニーズが高まるかを予測することにもつながります。

【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系のみ」が 33.3%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 26.7%、「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が 20.0%となっている。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が 58.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が 21.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が 17.4%となっている。

図表 5-7　★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護３以上）〈〉**



(4)　訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

【着目すべきポイント】

○　訪問診療の利用の有無別に、要介護３以上について、訪問系・通所系・短期系のそれぞれのサービス利用の有無を集計しています（図表 5-8～図表 5-10）。

○　地域によっては、例えば「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない場合に、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なることも想定されます。

【留意事項】

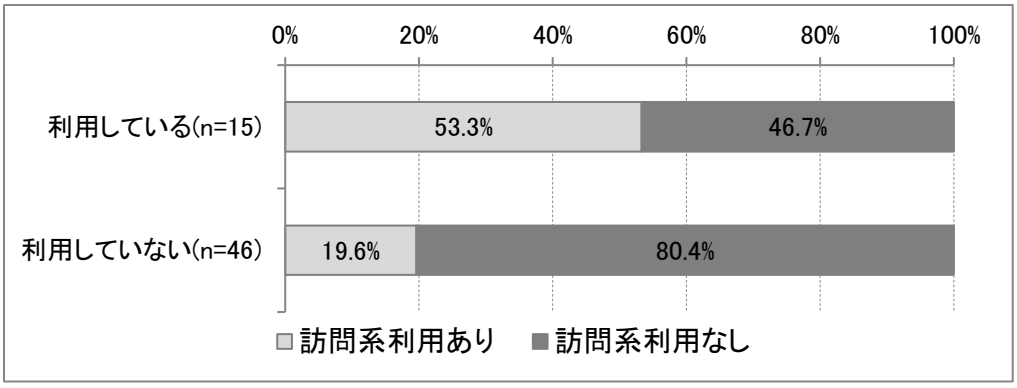
○　上記の例のように、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なる場合についても、必ずしも「「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない」ことに原因があるとは限りません。

○　集計分析結果の解釈は、地域の実情等に照らし合わせながら、専門職を含む関係者間での議論・考察を経て行うことが必要です。

【★訪問診療の利用の有無別･サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）】

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が 53.3%、「訪問系利用なし」が 46.7%となっている。「利用していない」では「訪問系利用なし」が 80.4%、「訪問系利用あり」が 19.6%となっている。

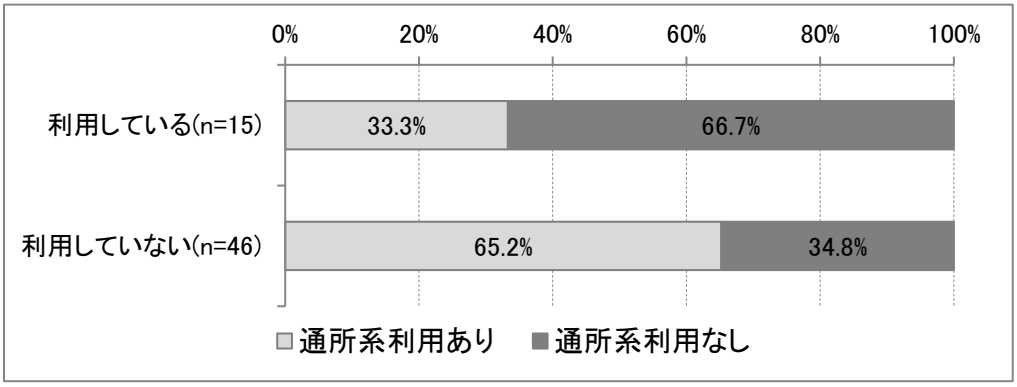
図表 5-8　★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護３以上）〈*〉



【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）】

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用なし」が 66.7%、「通所系利用あり」が 33.3%となっている。「利用していない」では「通所系利用あり」が 65.2%、「通所系利用なし」が 34.8%となっている。

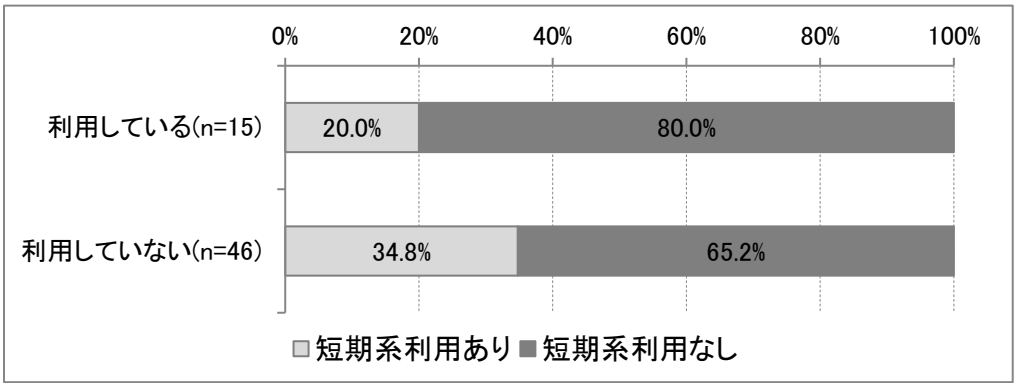
図表 5-9　★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護３以上）〈*〉



【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）】

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が 80.0%、「短期系利用あり」が 20.0%となっている。「利用していない」では「短期系利用なし」が 65.2%、「短期系利用あり」が 34.8%となっている。

図表 5-10　★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護３以上）



6　サービス未利用の理由など

6.1　集計・分析の狙い

○　ここでは、各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。

○　主要なデータは、テーマ１～テーマ５において整理をしていますが、ここで整理する集計結果も必要に応じてご活用ください。

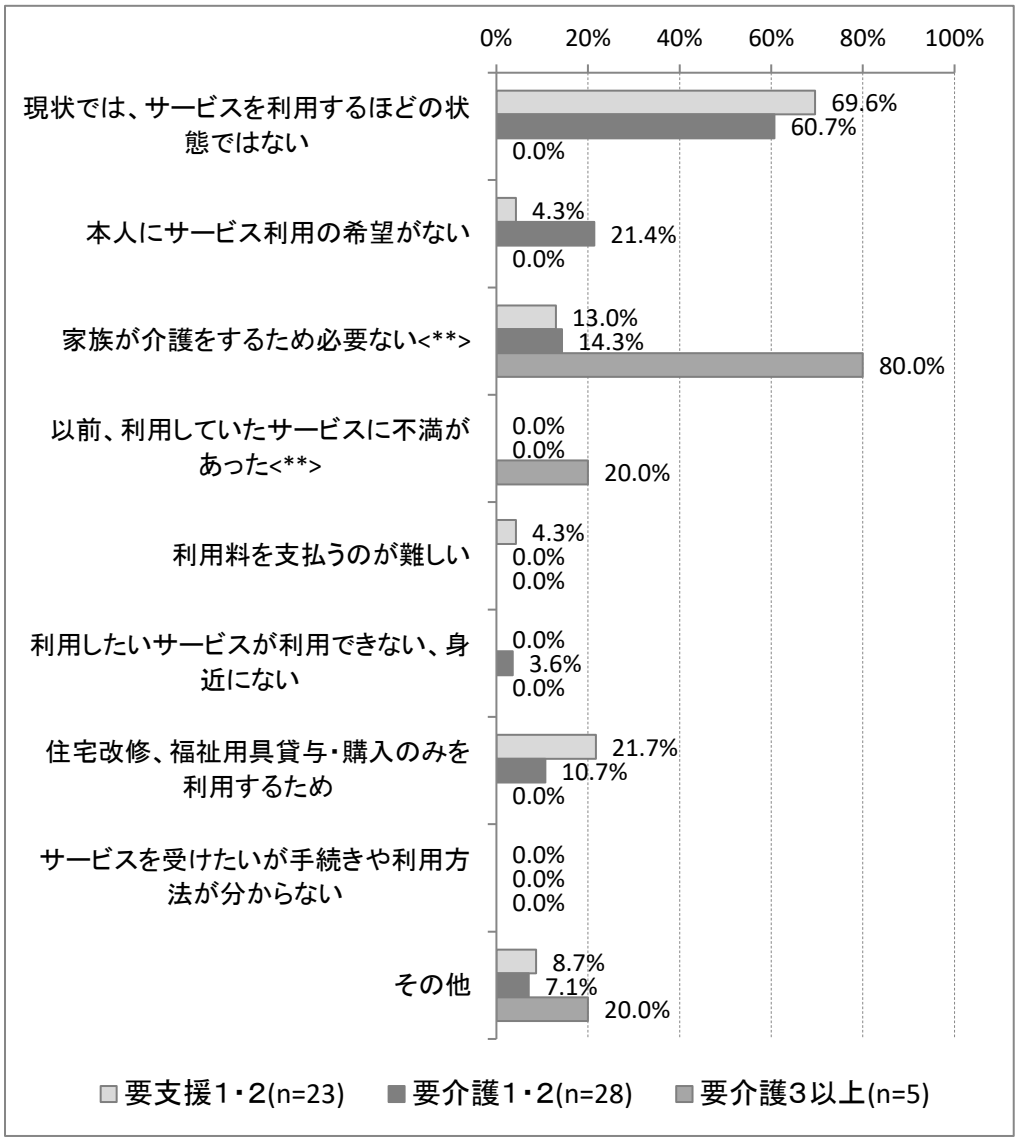
6.2　集計結果（参考）

(1)　要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【要介護度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 69.6%ともっとも割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 21.7%、「家族が介護をするため必要ない」が 13.0%となっている。「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 60.7%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 21.4%、「家族が介護をするため必要ない」が 14.3%となっている。「要介護３以上」では「家族が介護をするため必要ない」が 80.0%ともっとも割合が高く、次いで「以前、利用していたサービスに不満があった」、「その他」が 20.0%となっている。

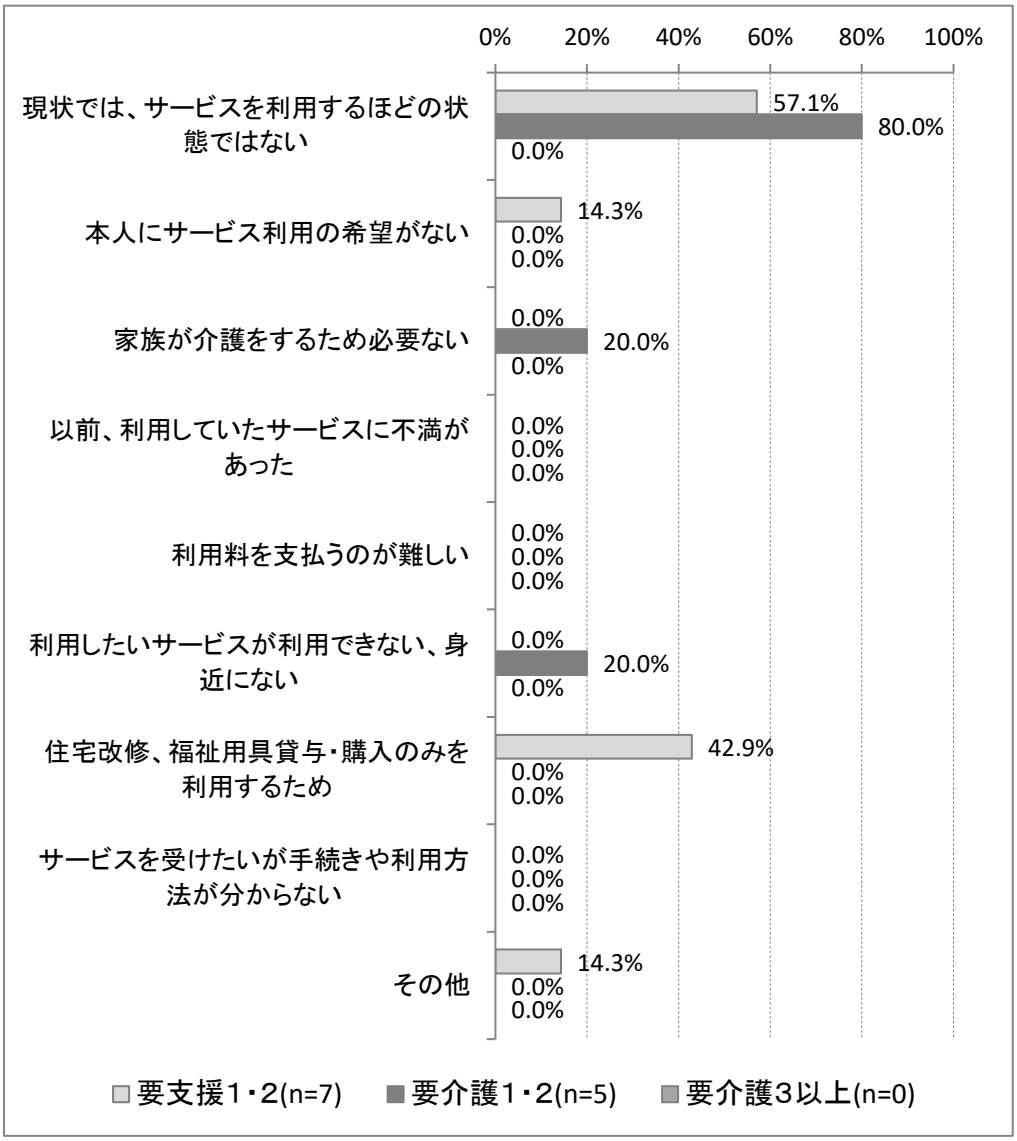
図表 6-1　要介護度別の★サービス未利用の理由



【要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 57.1%ともっとも割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 42.9%、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が 14.3%となっている。「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 80.0%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が 20.0%となっている。

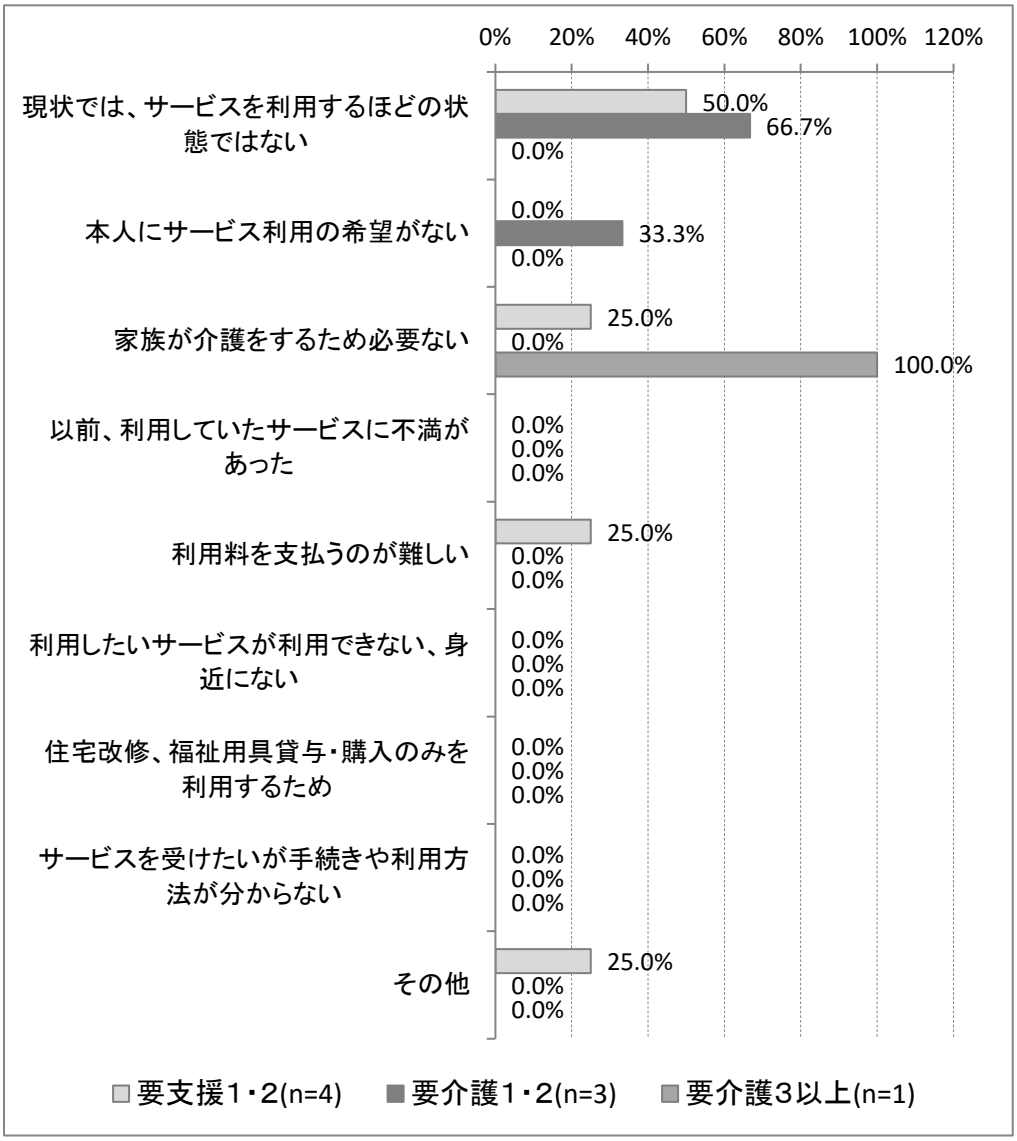
図表 6-2　要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



【要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」、「その他」が 25.0%となっている。「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 33.3%となっている。

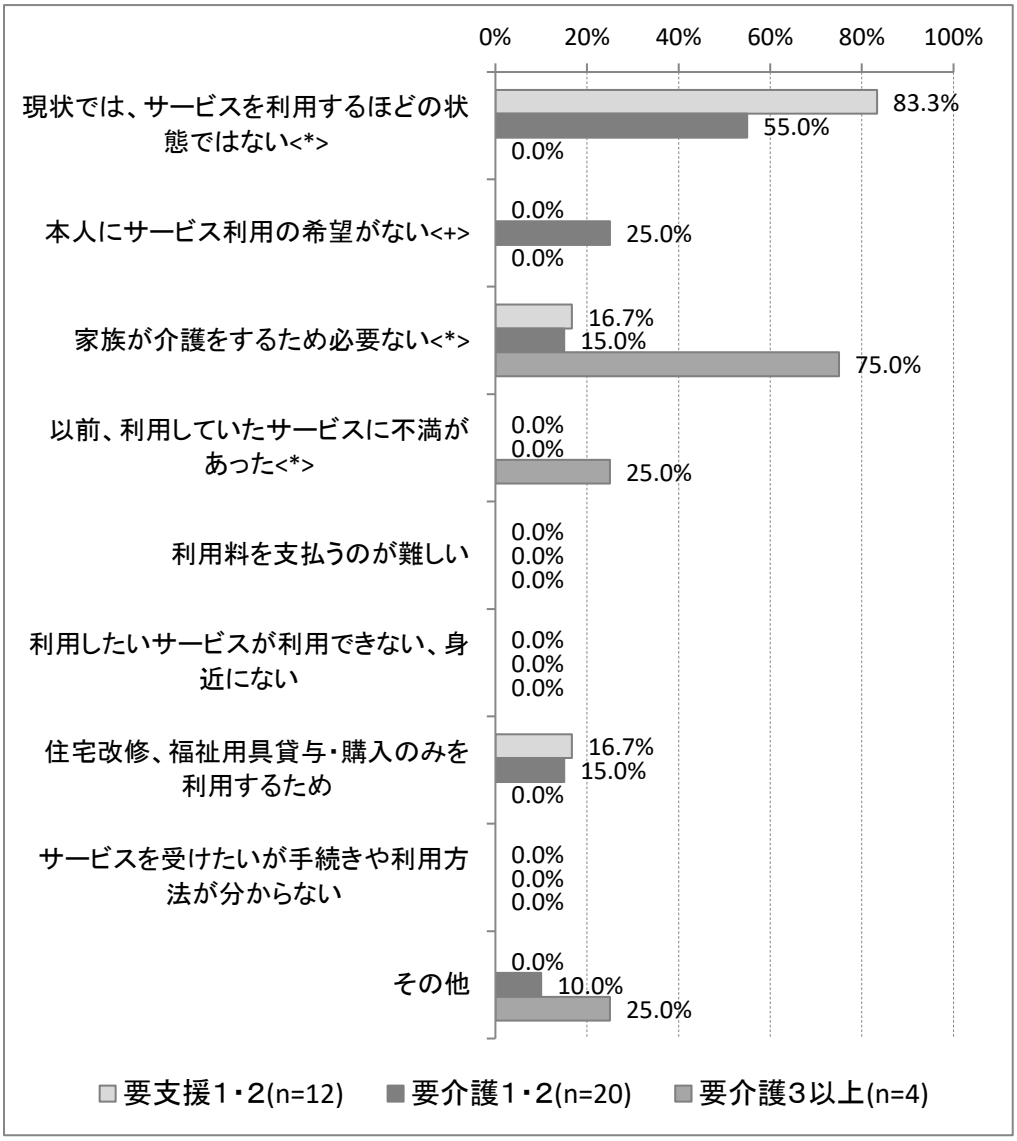
図表 6-3　要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



【要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 83.3%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 16.7%となっている。「要介護１・２」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 55.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 25.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 15.0%となっている。「要介護３以上」では「家族が介護をするため必要ない」が 75.0%ともっとも割合が高く、次いで「以前、利用していたサービスに不満があった」、「その他」が 25.0%となっている。

図表 6-4　要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

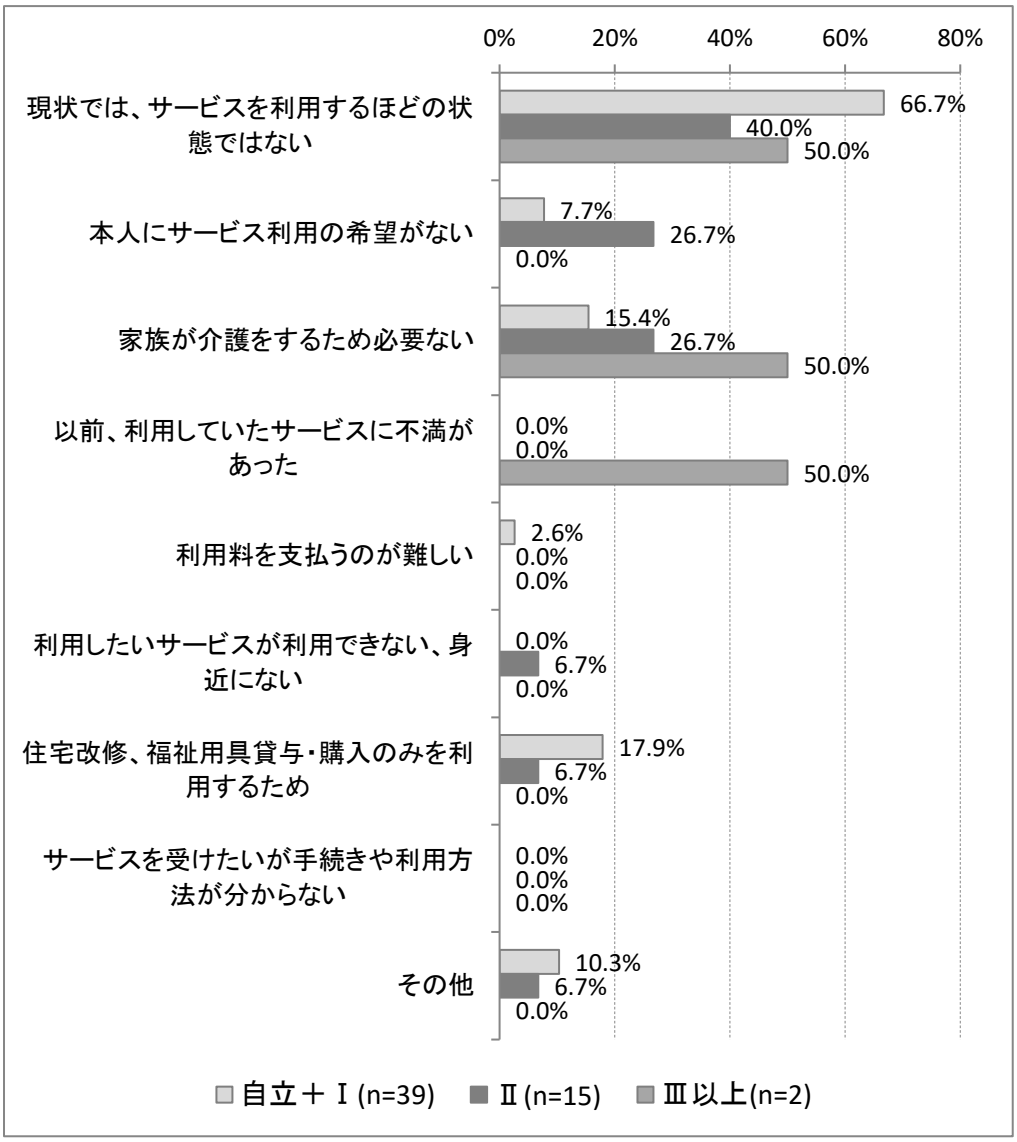


(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【認知症自立度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 17.9%、「家族が介護をするため必要ない」が 15.4%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 26.7%、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が 6.7%となっている。「Ⅲ以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」が 50.0%となっている。

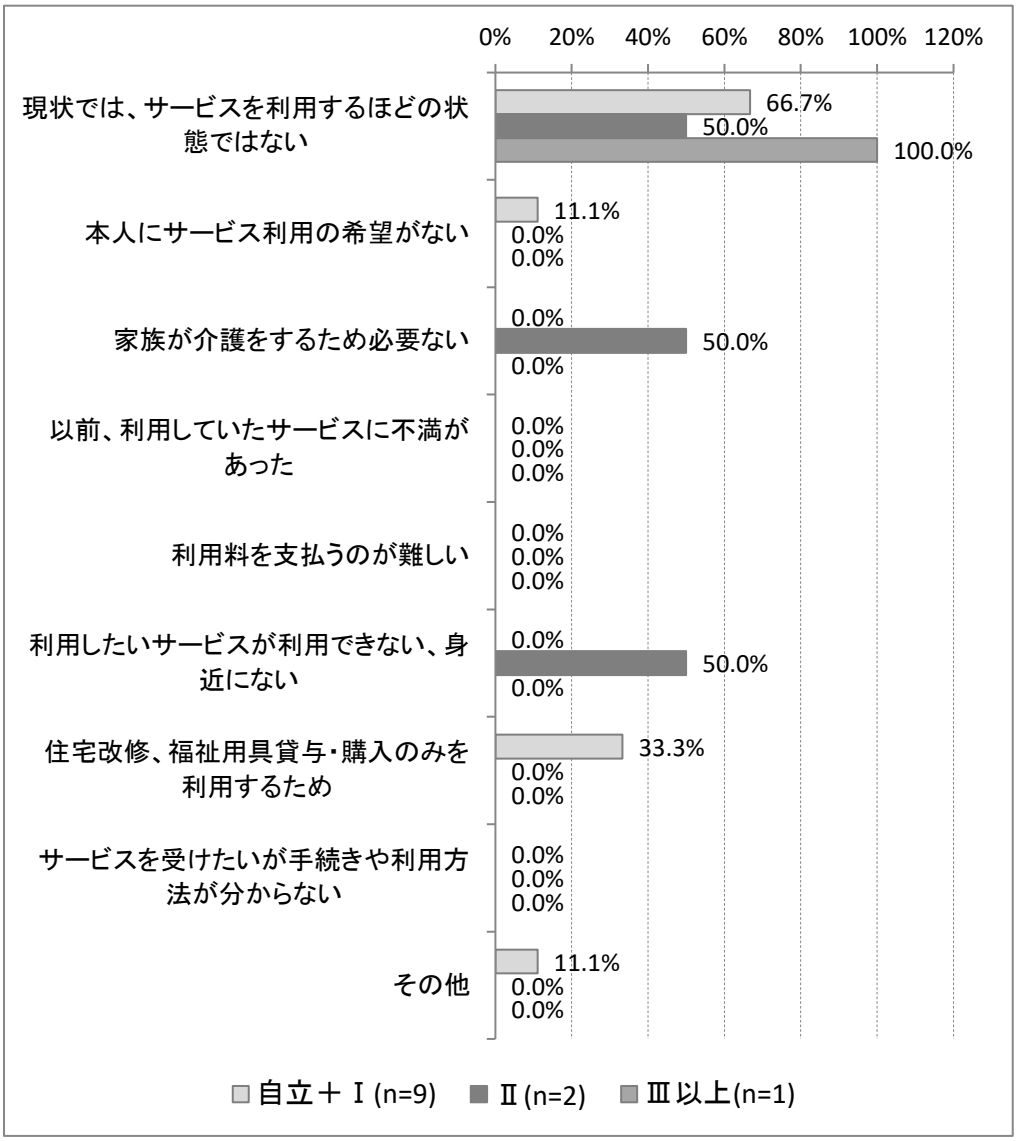
図表 6-5　認知症自立度別の★サービス未利用の理由



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 66.7%ともっとも割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 33.3%、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が 11.1%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が 50.0%となっている。

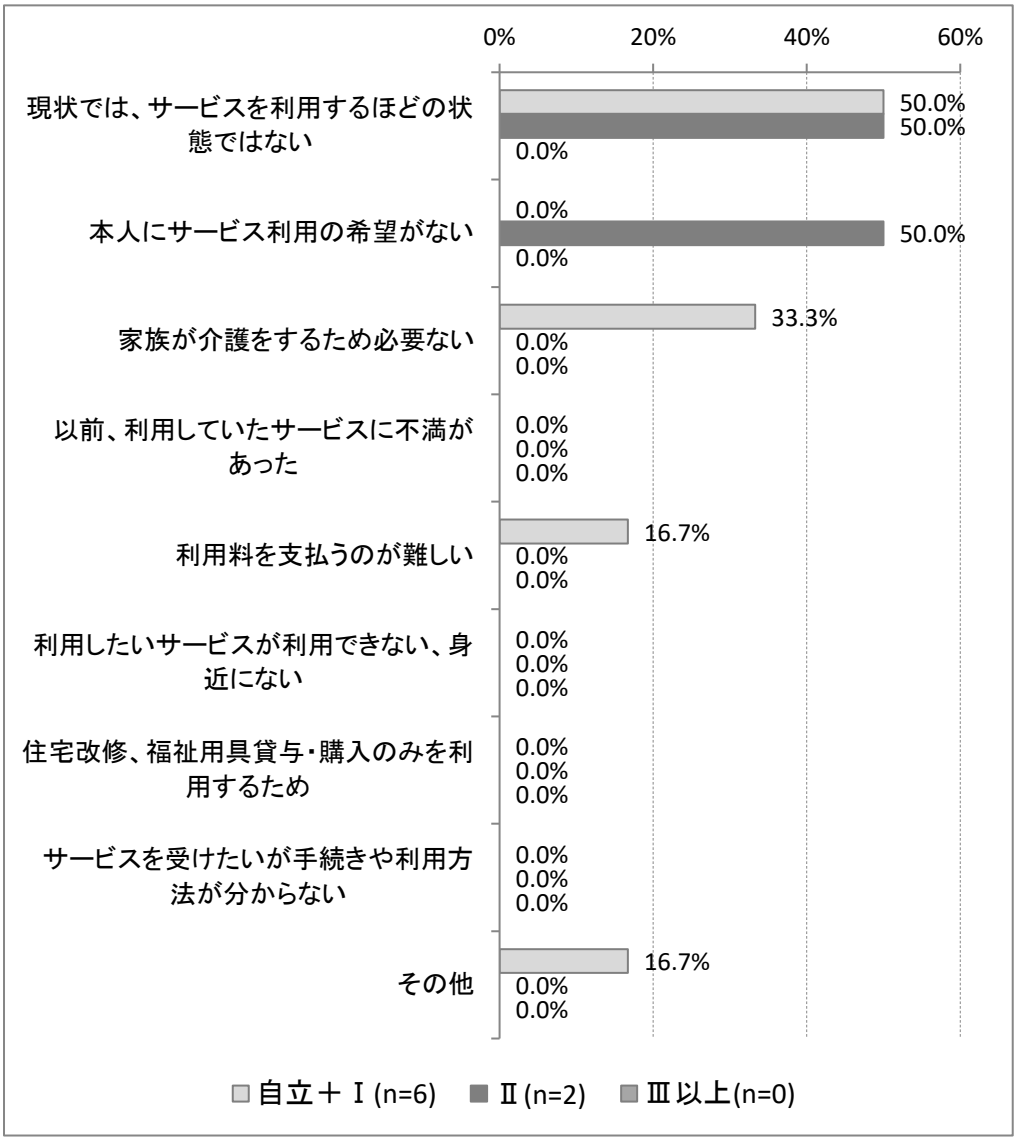
図表 6-6　認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 33.3%、「利用料を支払うのが難しい」、「その他」が 16.7%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が 50.0%となっている。

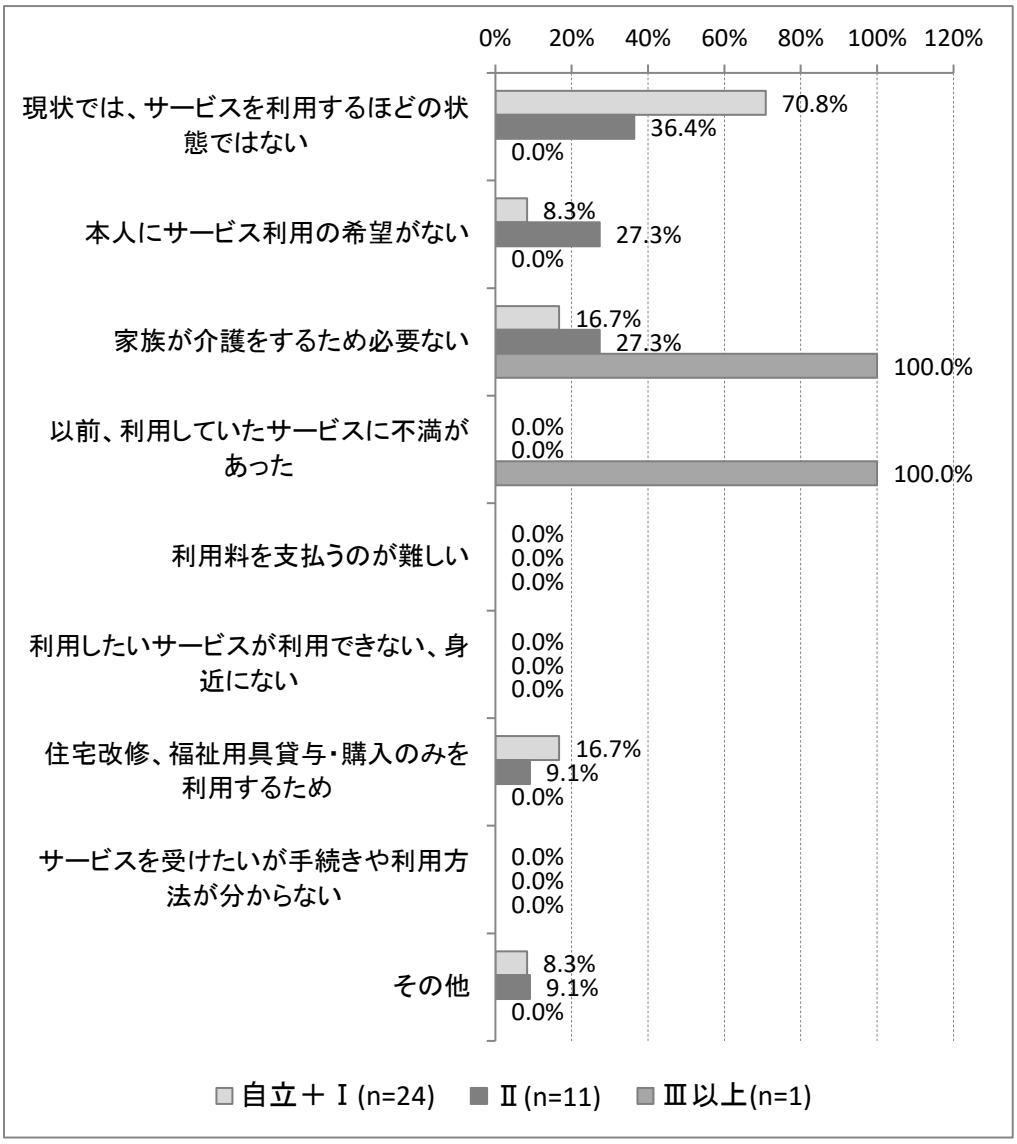
図表 6-7　認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 70.8%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 16.7%、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が 8.3%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 36.4%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が 27.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が 9.1%となっている。

図表 6-8　認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

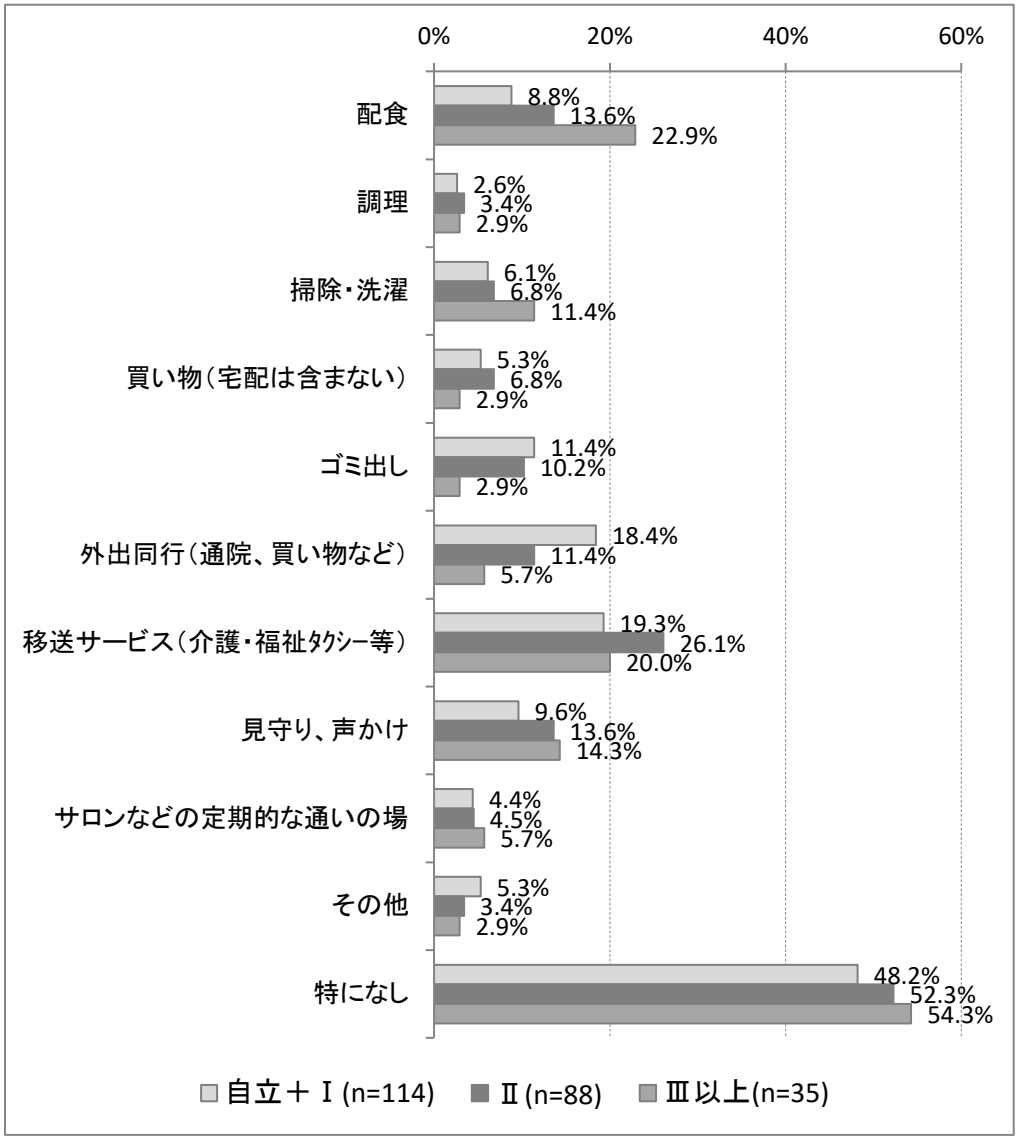


(3)　認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援･サービス】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が 48.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等)」が 19.3%、「外出同行（通院、買い物など)」が 18.4%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が 52.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等)」が 26.1%、「配食」、「見守り、声かけ」が 13.6%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が 54.3%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 22.9%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等)」が 20.0%となっている。

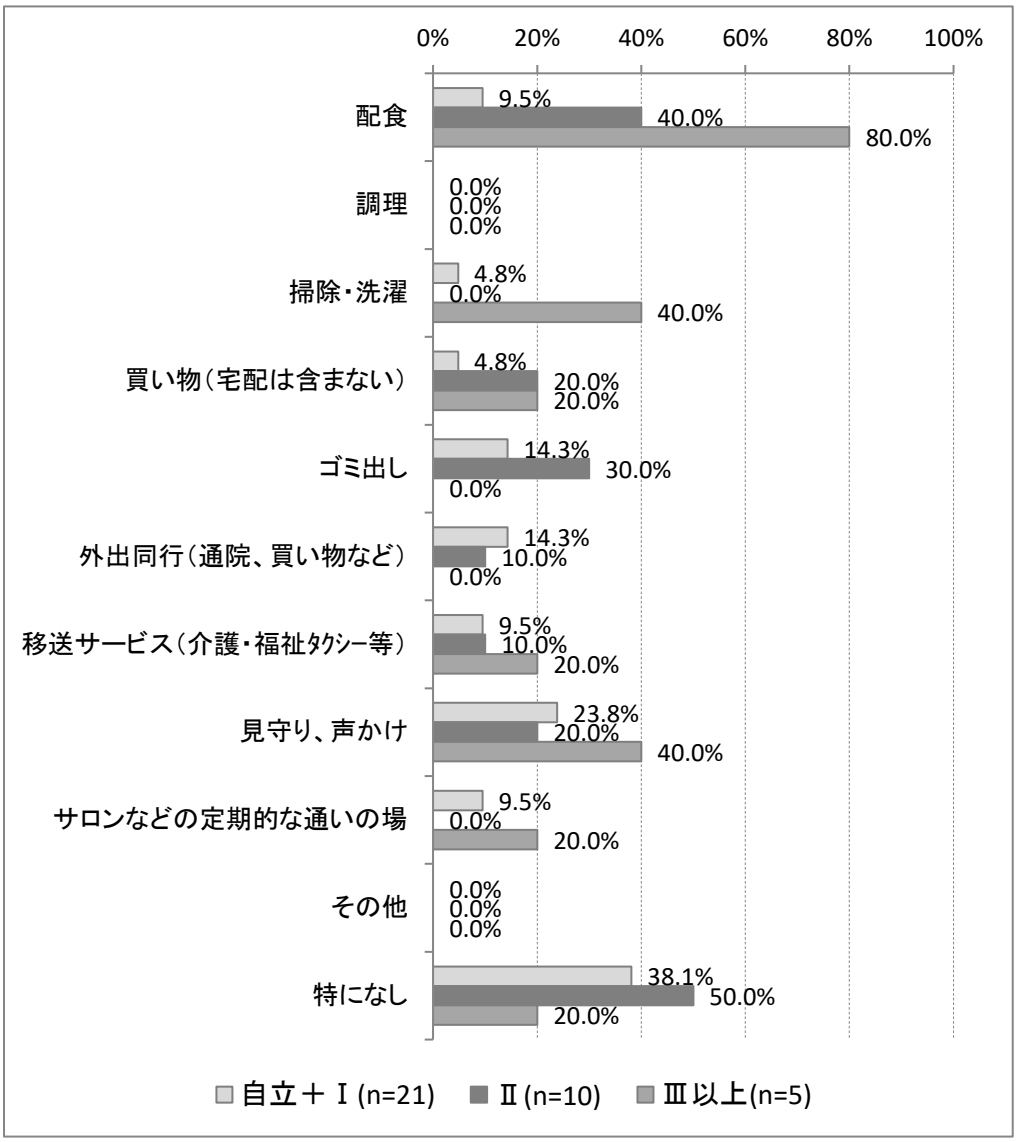
図表 6-9　認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が 38.1%ともっとも割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が 23.8%、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」が 14.3%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が 40.0%、「ゴミ出し」が 30.0%となっている。「Ⅲ以上」では「配食」が 80.0%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「見守り、声かけ」が 40.0%、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「特になし」が 20.0%となっている。

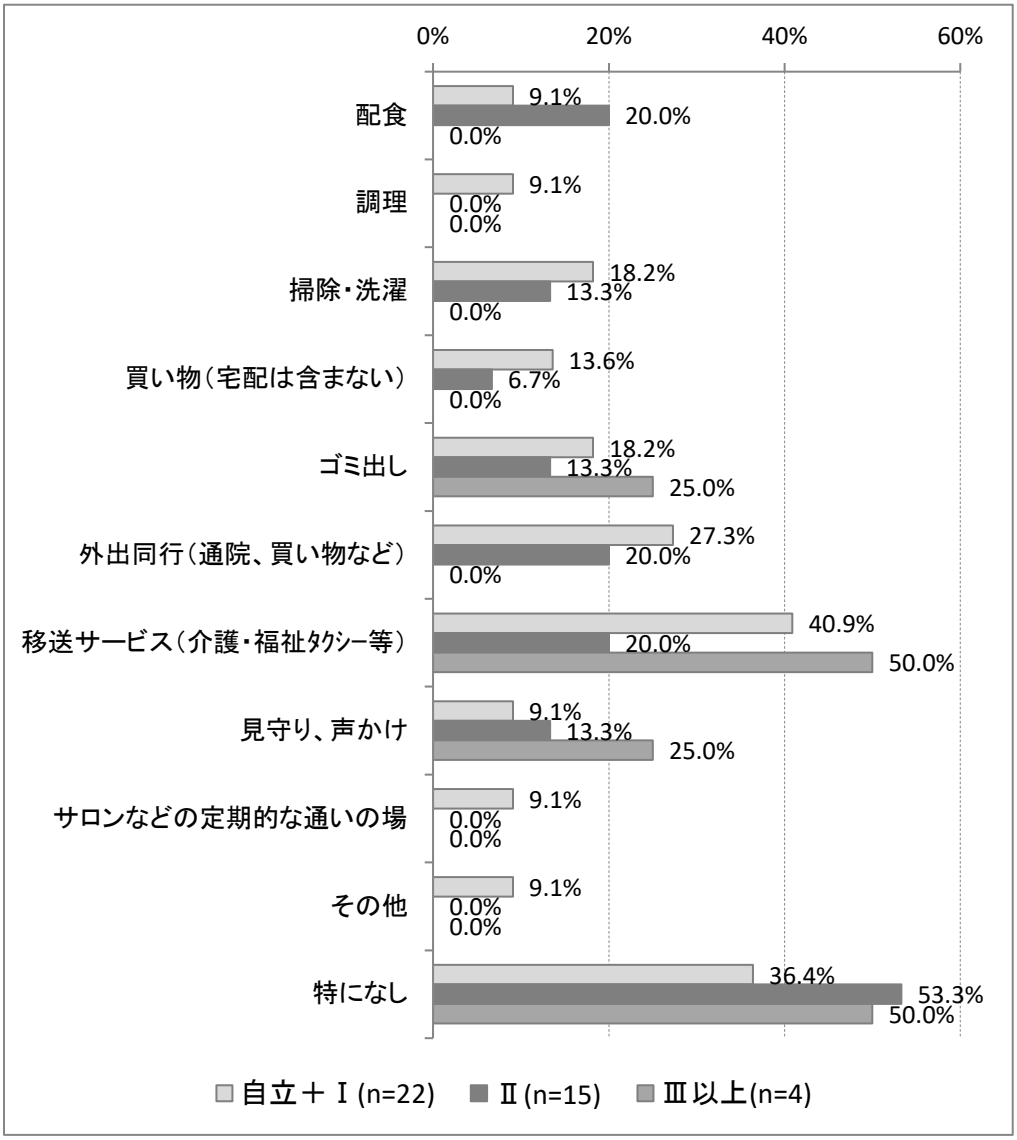
図表 6-10　認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 40.9%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が 36.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が 27.3%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が 53.3%ともっとも割合が高く、次いで「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 20.0%、「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」が 13.3%となっている。「Ⅲ以上」では「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」、「特になし」が 50.0%ともっとも割合が高く、次いで「ゴミ出し」、「見守り、声かけ」が 25.0%となっている。

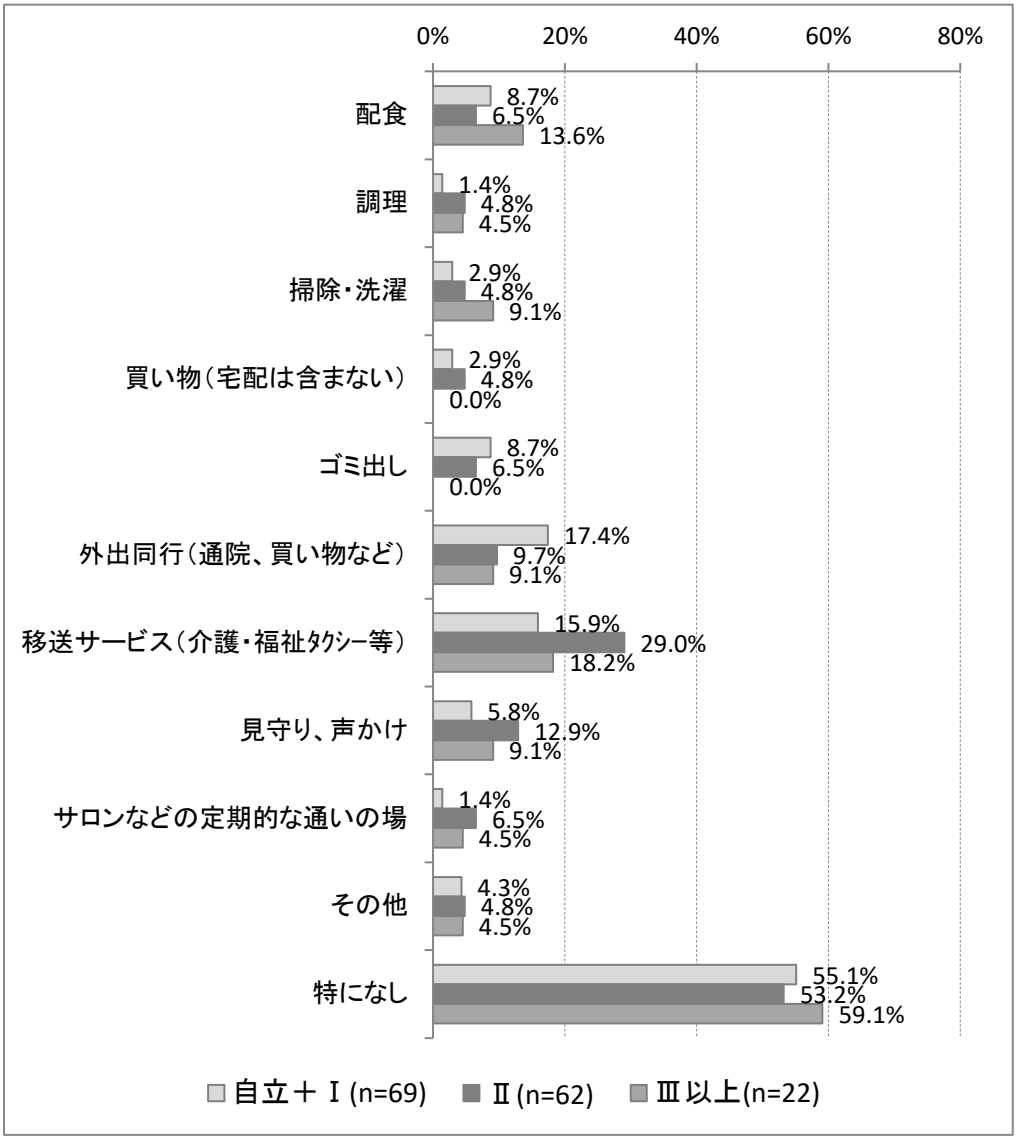
図表 6-11　認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が 55.1%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 17.4%、「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 15.9%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が 53.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 29.0%、「見守り、声かけ」が 12.9%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が 59.1%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）」が 18.2%、「配食」が 13.6%となっている。

図表 6-12　認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

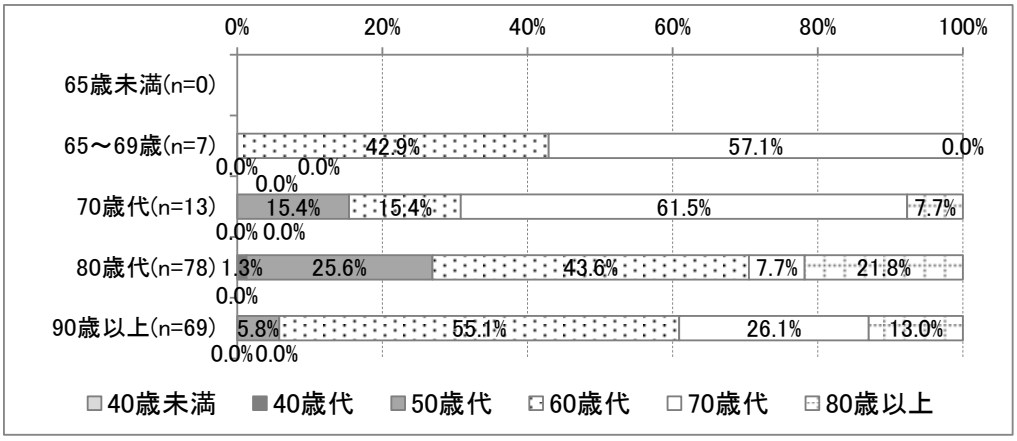


(4)　本人の年齢別・主な介護者の年齢

【本人の年齢別･主な介護者の年齢】

介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65～69 歳」では「70 歳代」が 57.1%ともっとも割合が高く、次いで「60 歳代」が 42.9%となっている。「70 歳代」では「70 歳代」が 61.5%ともっとも割合が高く、次いで「50 歳代」、「60 歳代」が 15.4%、「80 歳以上」が 7.7%となっている。「80 歳代」では「60 歳代」が 43.6%ともっとも割合が高く、次いで「50 歳代」が 25.6%、「80 歳以上」が 21.8%となっている。「90 歳以上」では「60 歳代」が 55.1%ともっとも割合が高く、次いで「70 歳代」が 26.1%、「80 歳以上」が 13.0%となっている。

図表 6-13　本人の年齢別・主な介護者の年齢<***>

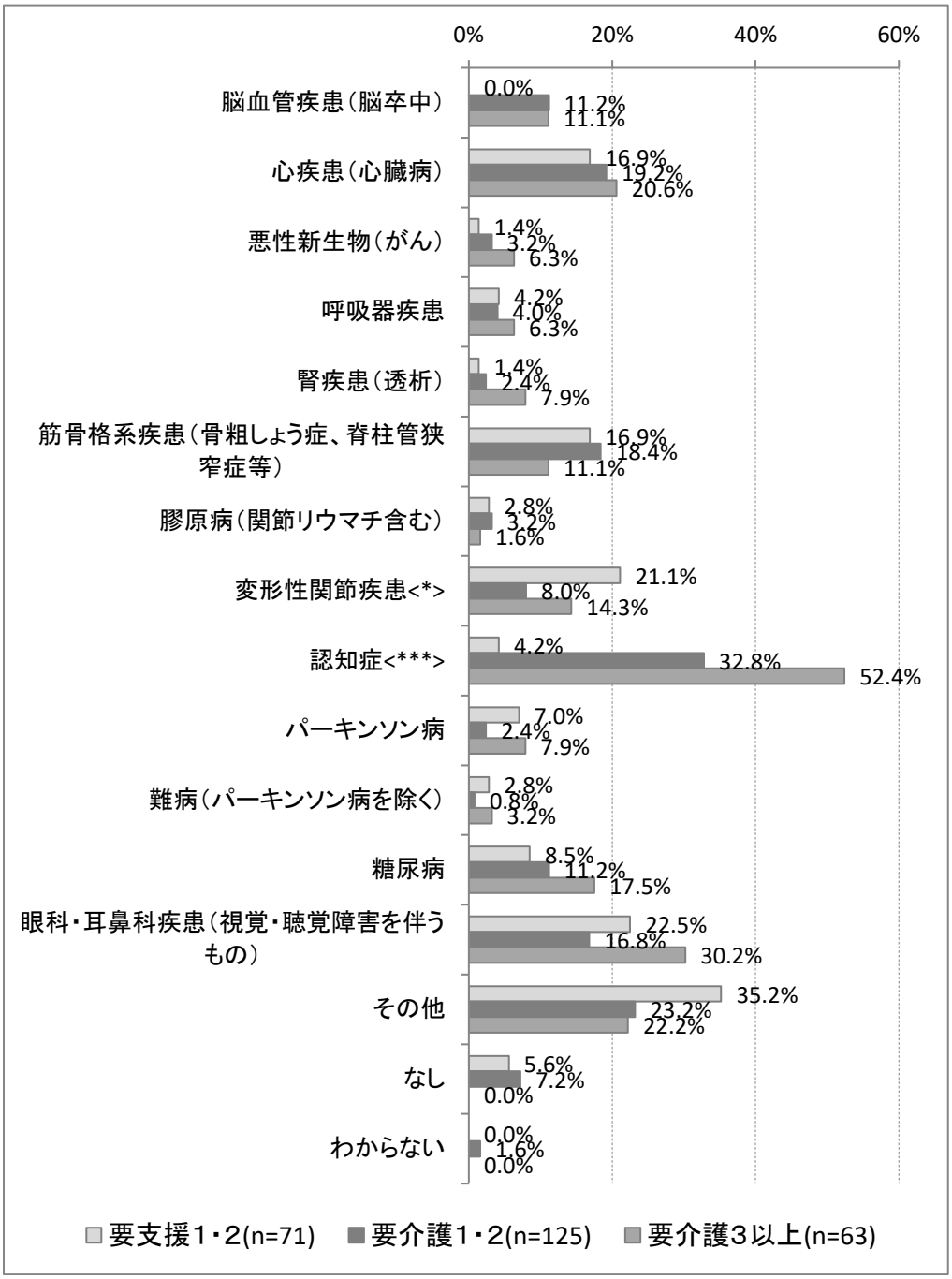


(5)　要介護度別の抱えている傷病

【要介護度別･★抱えている傷病】

抱えている傷病を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「その他」が 35.2%ともっとも割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの)」が 22.5%、「変形性関節疾患」が 21.1%となっている。「要介護１・２」では「認知症」が 32.8%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が 23.2%、「心疾患（心臓病)」が 19.2%となっている。「要介護３以上」では「認知症」が 52.4%ともっとも割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの)」が 30.2%、「その他」が 22.2%となっている。

図表 6-14　要介護度別・★抱えている傷病

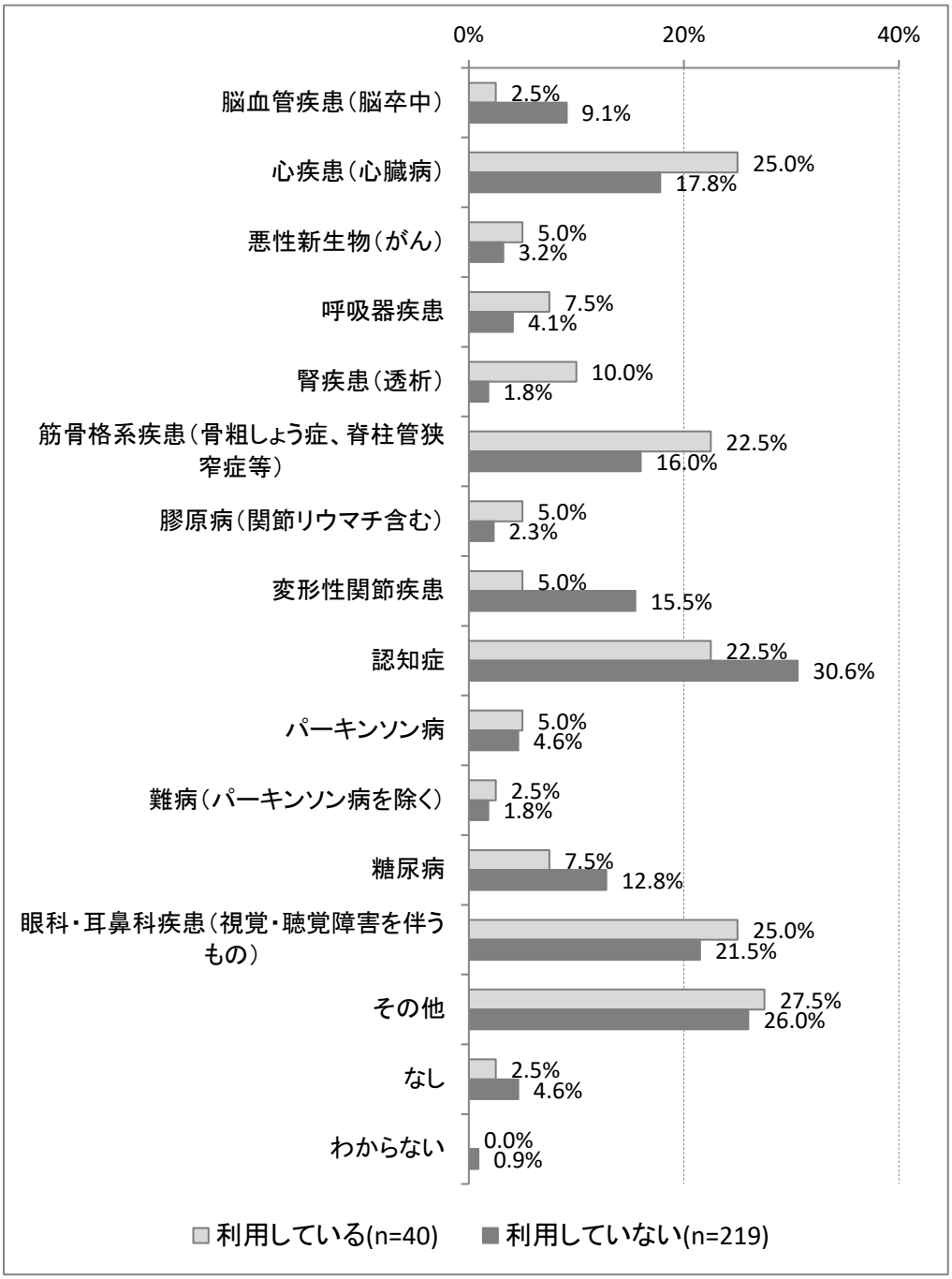


(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【★訪問診療の利用の有無別･★抱えている傷病】

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「その他」が27.5%ともっとも割合が高く、次いで「心疾患（心臓病)」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの)」が25.0%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」、「認知症」が22.5%となっている。「利用していない」では「認知症」が30.6%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が26.0%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの)」が21.5%となっている。

図表 6-15　★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病



第４章

指標による分析

1. 各指標の定義

各指標の定義は以下のとおりである。

「Ａ票」調査対象者本人への質問

① 要介護者サービス利用 QOL 得点
※ 計算方法：各項目の合計点*0.221 － 0.118 の各人の合計得点の平均点
※※計算の結果マイナスとなった値は、「0」へ変換する

設問項目	選択肢	点数
問 11(1) ご本人は日常生活において自分のことを、どのくらい自分で決められていますか。決めたことを他の人にやってもらう場合も含めてお答えください	1. 思い通り好きなように自分で決められている 2. おおむね自分で決められている 3. あまり自分で決められない 4. まったく自分で決められない	1: 1 2: 0.954 3: 0.089 4: 0
問 11(2) 身だしなみについて、ご本人の状況を表しているのはどれですか	1. 清潔で、思い通りの見苦しくない身だしなみができていると感じる 2. おおむね清潔で、見苦しくない身だしなみができていると感じる 3. あまり清潔ではない、または十分な身だしなみができていないと感じる 4. まったく清潔ではない、またはまったく身だしなみができていないと感じる	1: 0.734 2: 0.686 3: 0.236 4: 0.141
問 11(3) 飲食について、ご本人の状況を表しているのはどれですか	1. 十分な量や自分の食べたいものを、思い通りの時間にとれている 2. 不足ない量を、おおむね適切な時間にとれている 3. 量や時間が適切でないことがある 4. 十分な量をとれなかったり、適切な時間にとれないことがある。そのため、自分の健康に悪いと感じる	1: 0.875 2: 0.807 3: 0.247 4: 0.086
問 11(4) ご本人は虐待や転倒などのおそれがなく、どのくらい安心・安全だと感じていますか	1. 十分に安心・安全だと感じている 2. おおむね安心・安全だと感じているが、満足いくほどではない 3. あまり安心・安全ではないと感じている 4. まったく安心・安全ではないと感じている	1: 0.717 2: 0.385 3: 0.156 4: 0.089
問 11(5) ご本人が望む人とのつき合いについて、あなたの状況を表しているのはどれですか	1. 自分が望む人とのつき合いが、思い通りにできている 2. 人とのつき合いが、おおむねできている 3. 人とのつき合いはあるが、十分に満足いくほどではない 4. 人とのつき合いがほとんどなく、社会的に孤立していると感じる	1: 0.814 2: 0.759 3: 0.345 4: 0.033
問 11(6) ご本人は大切だと思うことや楽しんでいることをしながら、自分の時間を過ごせていますか。趣味、仕事、ボランティア、他者のケアなどを含めて考えて下さい	1. 思い通りに過ごせている 2. おおむね過ごせている 3. あまり過ごしていない 4. まったく過ごしていない	1: 1.018 2: 0.975 3: 0.218 4: 0.134
問 11(7) ご本人の家の中はどのくらい快適ですか	1. 思い通り快適である 2. おおむね快適である 3. あまり快適でない 4. まったく快適でない	1: 0.916 2: 0.825 3: 0.186 4: 0.052
問 11(9) ケアや支援のされ方について、ご本人はどのように感じていますか	1. ケアや支援のされ方により、今の自分をより良く思える 2. ケアや支援のされ方は、自分が自分をどう感じるかとは関係がない 3. ケアや支援のされ方により、気持ちが傷つくことがある 4. ケアや支援のされ方により、気持ちがひどく傷ついている	1: 0.704 2: 0.347 3: 0.059 4: 0

② 在宅生活の継続
※ 1項目中1項目該当

設問項目	選択肢（◎が該当選択肢）
問 20 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください	◎1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている

③ 要介護者日常生活 QOL 得点
※ 計算方法：各項目の各人の合計得点の平均点

設問項目	選択肢	点数
問 12 (1) 私はいつも頭を使うようにしている	1. とてもそう思う 2. そう思う 3. どちらでもない 4. 思わない 5. 全く思わない	1: 4 点 2: 3 点 3: 2 点 4: 1 点 5: 0 点
問 12 (2) 私は話をする人がいる		
問 12 (3) 私はたいていよく眠れる		
問 12 (4) 私は住んでいる場所が好きである		
問 12 (5) 私は活動的でいられる		
問 12 (6) 私は友人と時間を過ごす		
問 12 (7) 私はリラックスできる		
問 12 (8) 私は外出したい時にできる		
問 12 (9) 私は自分が役に立つと感じる		
問 12(10) 私は緊急時に連絡できる人がいる		

④ 趣味がある者の割合
※ 1～16 のいずれかを選択していたら「行っている」、17 該当は「行っていない」、の各割合

設問項目	選択肢	
問 16 ご本人（認定調査対象者）は、下記のような活動を行っていますか（複数選択可）	1. 散歩・ジョギング 2. 体操・ストレッチ 3. 園芸・庭いじり 4. テレビをみる 5. 読書・新聞を読む 6. ラジオをきく 7. カラオケ・歌を歌う 8. 音楽鑑賞 9. 絵画・絵手紙	10. 編み物・手芸・刺繍 11. カードゲーム 12. 囲碁・将棋・麻雀 13. 買い物 14. 外食 15. メール・インターネット 16. その他 17. 行っていない

⑤ 趣味や通いの場に参加している者の割合
※ 2～7 のいずれかを選択していたら「参加している」、1 該当は「参加していない」、の各割合

設問項目	選択肢
問 17 ご本人（認定調査対象者）は、下記のような地域の会・グループに参加していますか（複数選択可）	1. 参加している会 ・ グループはない 2. ボランティアのグループ 3. スポーツ関係のグループやクラブ 4. 趣味関係のグループ 5. 老人クラブ 6. 町内会・自治会 7. 介護予防・健康づくり、通いの場（サロン）

「B 票」主な介護者の方への質問

⑥　仕事を辞めた者の割合
※　1 項目中 1 項目該当

設問項目	選択肢（◎が該当選択肢）
問 2　ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）	◎1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） ◎2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない

⑦　介護者 QOL 得点
※　計算方法：7 項目の合計得点－ 0.069　各人の得点の平均点

設問項目	選択肢	点数
問 24(1) 主な介護者の方は大切だとおもうことや楽しんでいることをしながら、自分の時間を過ごせていますか。趣味、仕事、ボランティア、他者のケアなどを含めて考えてください。	1. 思い通りに過ごせている 2. おおむね過ごせている 3. あまり過ごしていない 4. まったく過ごしていない	1: 0.173 2: 0.166 3: 0.066 4: 0.028
問 24(2) 主な介護者の方は日常生活において自分のことを、どのくらい自分で決められていますか。	1. 思い通りに好きなように自分で決められる 2. おおむね自分で決められる 3. あまり自分で決められない 4. まったく自分で決められない	1: 0.147 2: 0.133 3: 0.032 4: 0.009
問 24(3) 毎日の生活の中で主な介護者の方が自分らしくいられる余裕について、状況を表しているのはどれですか。	1. 自分らしくいられる余裕が十分にある 2. 自分らしくいられる余裕が適度にある 3. 自分らしくいられる余裕が多少あるが、十分ではない 4. 自分らしくいられる余裕が少しもない	1: 0.205 2: 0.194 3: 0.063 4: 0.000
問 24(4) 主な介護者の方はどのくらい安全だと感じていますか。「安全だと感じている」とは、ケアしているときに、相手からの暴言・暴力や予期せぬけがなどの恐れがないと感じていることをいいます。	1. 自分の望むとおりに、安全だと感じている 2. 自分の望むほどではないが、おおむね安全だと感じている 3. 十分だというほどには安心・安全だと感じていない 4. まったく安全だと感じていない	1: 0.131 2: 0.111 3: 0.046 4: 0.012
問 24(5) 主な介護者の方が望む人とのつき合いについて、状況を表しているのはどれですか。	1. 自分が望む人とのつき合いが、思い通りにできている 2. 人とのつき合いが、おおむねできている 3. 人とのつき合いはあるが、十分に満足いくほどではない 4. 人とのつき合いがほとんどなく、社会的に孤立していると感じる	1: 0.121 2: 0.103 3: 0.076 4: 0.011
問 24(6) 主な介護者の方がケアしているときに、誰かに支えられたり、元気づけられたりしていると感じていますか。	1. 自分が望む支えがあると感じている 2. 支えが適度にあると感じている 3. 支えが多少あるが十分ではないと感じている 4. 支えが何もないと感じている	1: 0.130 2: 0.117 3: 0.064 4: 0.011
問 24(7) 十分睡眠をとったり、適切に食事をとったりなど、どのくらい自分を大切にしていますか。	1. 思い通りに、自分を大切にしている 2. おおむね自分を大切にしている 3. 時々、自分を大切にできていない 4. 自分をおろそかにしている	1: 0.163 2: 0.155 3: 0.049 4: 0.020

⑧　主観的幸福感割合
※　８点以上の者の割合

設問項目
問 17　主な介護者の方は、現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を０点としてご記入ください）

⑨　介護者日常生活 QOL 得点
※　精神的健康状態良好の者の割合
※　合計点が 13 点以上の割合

設問項目	選択肢	点数
問 22(1)明るく、楽しい気分で過ごした 問 22(2)落ち着いた、リラックスした気分で過ごした 問 22(3)意欲的で、活動的に過ごした 問 22(4)ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた 問 22(5)日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	1. まったくない 2. ほんのたまに 3. 半分以下の期間を 4. 半分以上の期間を 5. ほとんどいつも 6. いつも	1: 0 点 2: 1 点 3: 2 点 4: 3 点 5: 4 点 6: 5 点

⑩　介護者の支援ネットワーク保有者割合
※　１～10 のいずれかを選択していたら「いる」、11 該当は「いない」、の各割合

設問項目	選択肢	
問 23 主な介護者の方で何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか（複数選択可）	1. 同居家族 2. 別居の子ども 3. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 4. 近隣・友人 5. 自治会・町内会・老人クラブ	6. 社会福祉協議会・民生委員 7. ケアマネジャー 8. 医師・歯科医師・看護師 9. 地域包括支援センター・役所・役場 10. その他 11. ない

なお、「2.指標による分析」で用いるクロス集計（認知症自立度別）は保険者が保有する要介護認定データ（NCI251 データ）の「認知症高齢者の日常生活自立度」のデータを使用している。

2. 指標による分析

「Ａ票」調査対象者本人への質問

2.1　認知症自立度別における要介護者サービス利用 QOL 得点

2.1.1　集計・分析のねらい

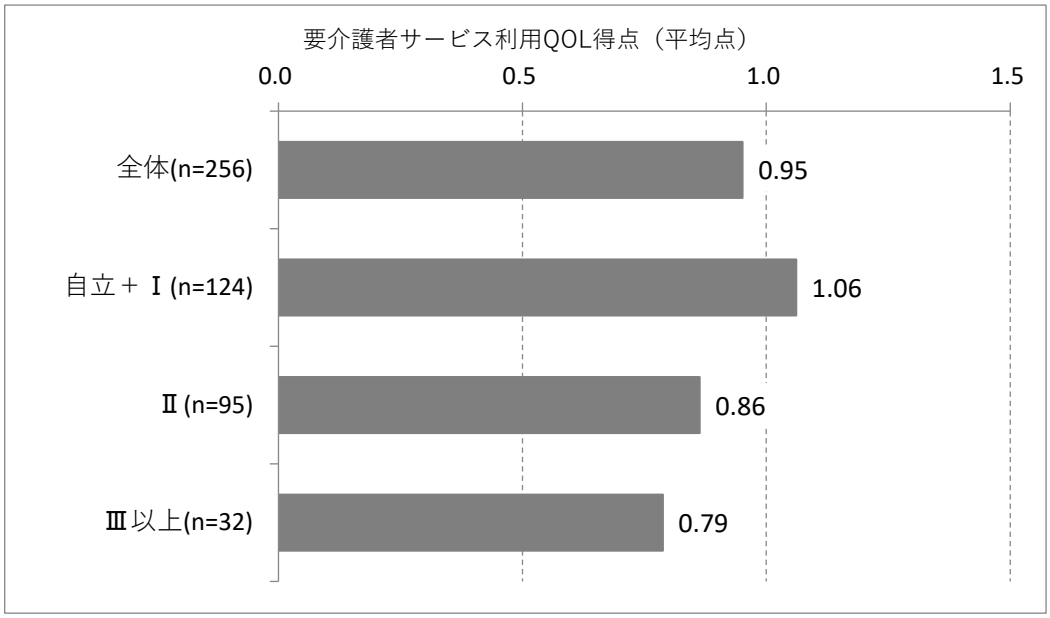
○　要介護状態にある高齢者の孤立は、本人の生活の質（QOL）の低下や心身機能の悪化につながる可能性があり、重要な社会的課題である。
本分析では、孤立の状況を多面的に把握するため、①余暇活動、②地域への参加、③他者との交流の 3 つの指標に着目し、それぞれについて活動への参加状況を集計した。

○　さらに、孤立の程度と生活自立度との関連を検討することを目的として、「認知症高齢者の日常生活自立度」別に、各指標の参加割合についてクロス集計を行った。
これにより、認知症の進行度に応じた孤立の特徴や傾向を明らかにし、今後の支援の在り方を検討するための基礎資料とすることをねらいとした。

2.1.2 集計結果と着目すべきポイント

○　要介護者サービス利用 QOL 得点の平均点をみると、全体では 0.95 点となっている。
認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」は 1.06 点、「Ⅱ」は 0.86 点、「Ⅲ以上」は 0.79 点となっている。（図表１）

図表１　要介護者サービス利用 QOL 得点（認知症自立度別）



2.2　認知症自立度別における在宅生活の継続

2.2.1　集計・分析のねらい

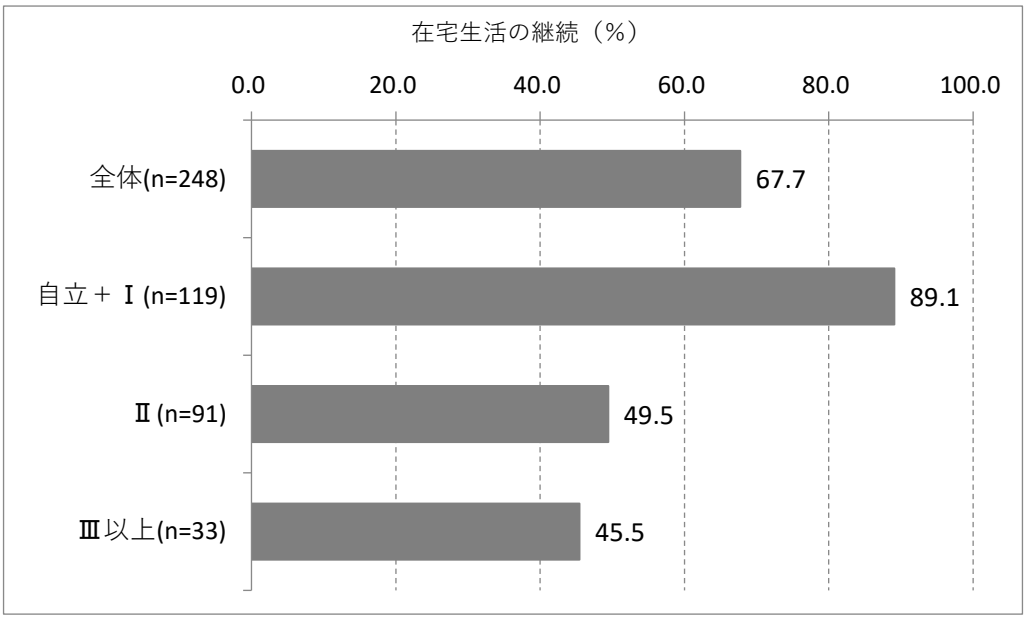
○　要介護高齢者にとって、住み慣れた地域・住居で在宅生活を継続できるかどうかは、生活の質や本人の意向を尊重した支援を考える上で重要な視点である。
本集計では、現時点における施設等への入所・入居の検討状況に着目し、在宅生活がどの程度維持されているかを把握することを目的とした。

○　具体的には、施設等への入所・入居について「検討していない」「検討している」「すでに申込みをしている」といった状況別に集計を行った。
これにより、認知症自立度別にみた在宅生活継続の実態を明らかにし、今後の支援体制や地域資源整備を検討するための基礎資料とすることをねらいとした。

2.2.2 集計結果と着目すべきポイント

○　在宅生活の継続の割合をみると、全体では 67.7％となっている。
認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」は 89.1％、「Ⅱ」は 49.5％、「Ⅲ以上」は 45.5％で、「自立＋Ⅰ」は高くなっている。（図表２）

図表２　在宅生活の継続（認知症自立度別）



2.3　認知症自立度別における要介護者日常生活 QOL 得点

2.3.1　集計・分析のねらい

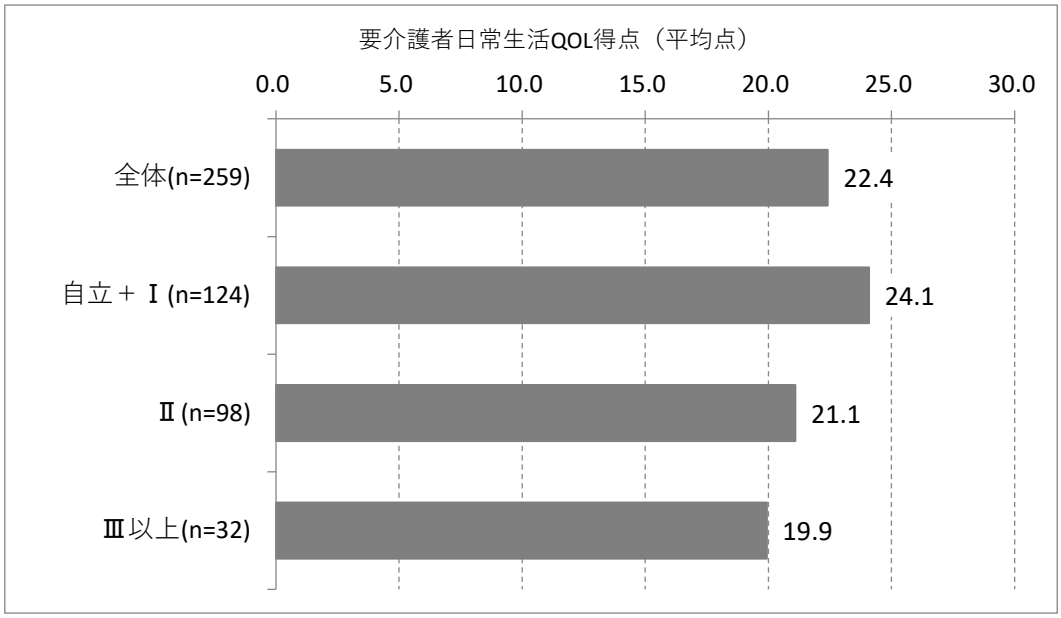
○　要介護状態にある高齢者の生活の質（QOL）は、身体的・精神的健康のみならず、社会的つながりや生活環境とも密接に関連している。
本分析では、要介護者の日常生活における主観的 QOL を把握することを目的として、日常生活 QOL に関する設問項目を用いた指標を作成し、集計を行った。

○　各設問について得点化を行い、個人ごとの合計得点の平均値を算出した。
これにより、認知症自立度別にみた要介護者の日常生活における QOL の傾向を明らかにし、支援の質の向上に向けた検討材料とすることをねらいとした。

2.3.2 集計結果と着目すべきポイント

○　要介護者日常生活 QOL 得点の平均点をみると、全体では 22.4 点となっている。
認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」は 24.1 点、「Ⅱ」は 21.1 点、「Ⅲ以上」は 19.9 点となっている。（図表３）

図表３　要介護者日常生活 QOL 得点（認知症自立度別）



2.4　認知症自立度別における趣味がある者の割合

2.4.1　集計・分析のねらい

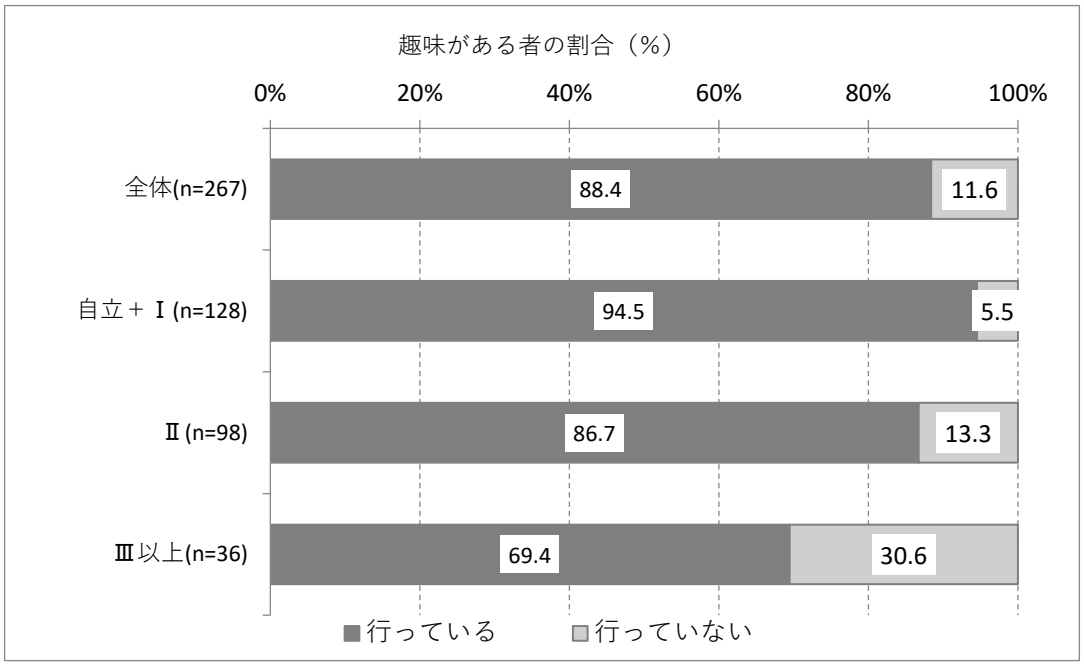
○　趣味や余暇活動への参加は、高齢者の心身機能の維持や社会的孤立の予防に寄与すると考えられている。
本集計では、要介護高齢者が日常生活の中で趣味・余暇活動にどの程度取り組んでいるかを把握することを目的とした。

○　具体的には、複数の活動項目のうち、いずれかを「行っている」と回答した者を「趣味がある者」と定義し、その割合を算出した。
これにより、認知症自立度別にみた趣味活動の実施状況を明らかにし、生活の充実度や社会参加との関連を検討するための基礎資料とすることをねらいとした。

2.4.2 集計結果と着目すべきポイント

○　趣味がある者の割合をみると、全体では「行っている」が 88.4%、「行っていない」が 11.6%となっている。
認知症自立度別にみると、「行っている」は「自立＋Ⅰ」が 94.5%、「Ⅱ」が 86.7%、「Ⅲ以上」が 69.4%で、「Ⅲ以上」は低くなっている。（図表４）

図表４　趣味がある者の割合（認知症自立度別）



2.5　認知症自立度別における趣味や通いの場に参加している者の割合

2.5.1　集計・分析のねらい

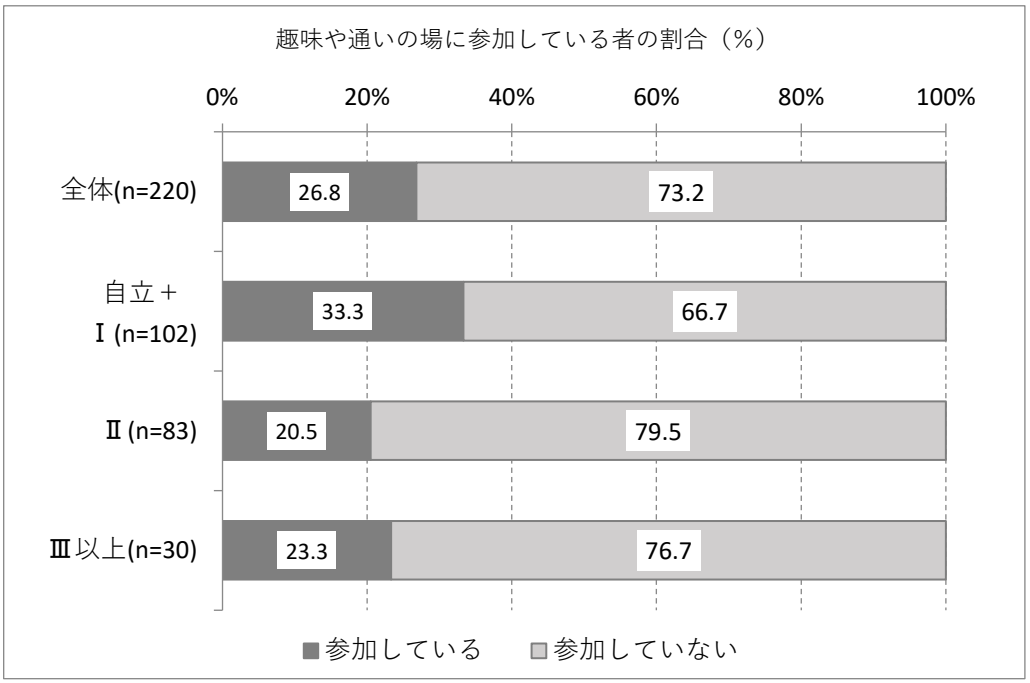
○　地域における会やグループ、通いの場への参加は、高齢者の社会的つながりを維持し、孤立の予防や心身機能の低下防止に資する重要な要素である。
本集計では、要介護高齢者が地域の会・グループや通いの場にどの程度参加しているかを把握することを目的とした。

○　具体的には、いずれかの活動に「参加している」と回答した者を「参加している者」、いずれの活動にも参加していない者を「参加していない者」と定義し、その割合を算出した。
これにより、認知症自立度別にみた地域活動・通いの場への参加状況を明らかにし、社会参加の促進や孤立予防に向けた支援の検討に資する基礎資料とすることをねらいとした。

2.5.2 集計結果と着目すべきポイント

○　趣味や通いの場に参加している者の割合をみると、全体では「参加している」が 26.8%、「参加していない」が 73.2%となっている。
認知症自立度別にみると、「参加している」は「自立＋Ⅰ」が 33.3%、「Ⅱ」が 20.5%、「Ⅲ以上」が 23.3%で、大きな差はみられない。（図表５）

図表５　趣味や通いの場に参加している者の割合（認知症自立度別）



「B 票」主な介護者の方への質問

2.6　仕事を辞めた者の割合

2.6.1　集計・分析のねらい

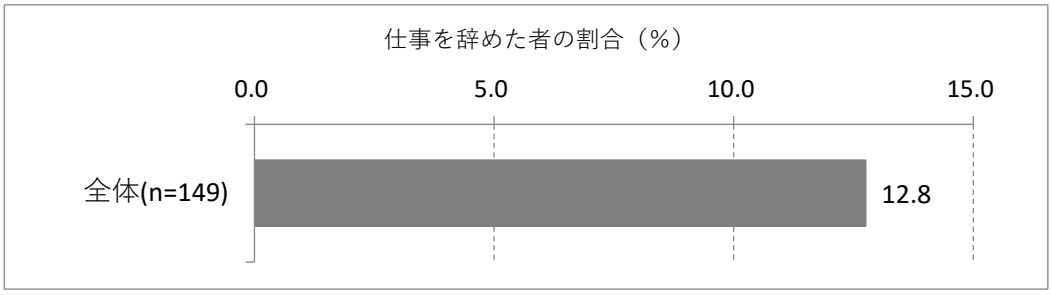
○　家族による介護は、就労状況や生活基盤に大きな影響を及ぼす場合がある。
本集計では、要介護者の介護を主な理由として、家族や親族が過去 1 年以内に仕事を辞めた状況について把握することを目的とした。

○　具体的には、主な介護者本人、または主な介護者以外の家族・親族が、介護を理由として仕事を辞めたかどうかに着目し、その割合を算出した。
これにより、介護が就労継続に及ぼす影響の実態を明らかにし、介護者支援や就労と介護の両立支援策を検討するための基礎資料とすることをねらいとした。

2.6.2 集計結果と着目すべきポイント

○　全体では、「仕事を辞めた者の割合」は 12.8%となっている。（図表６）

図表６　仕事を辞めた者の割合



2.7　認知症自立度別における介護者 QOL 得点

2.7.1　集計・分析のねらい

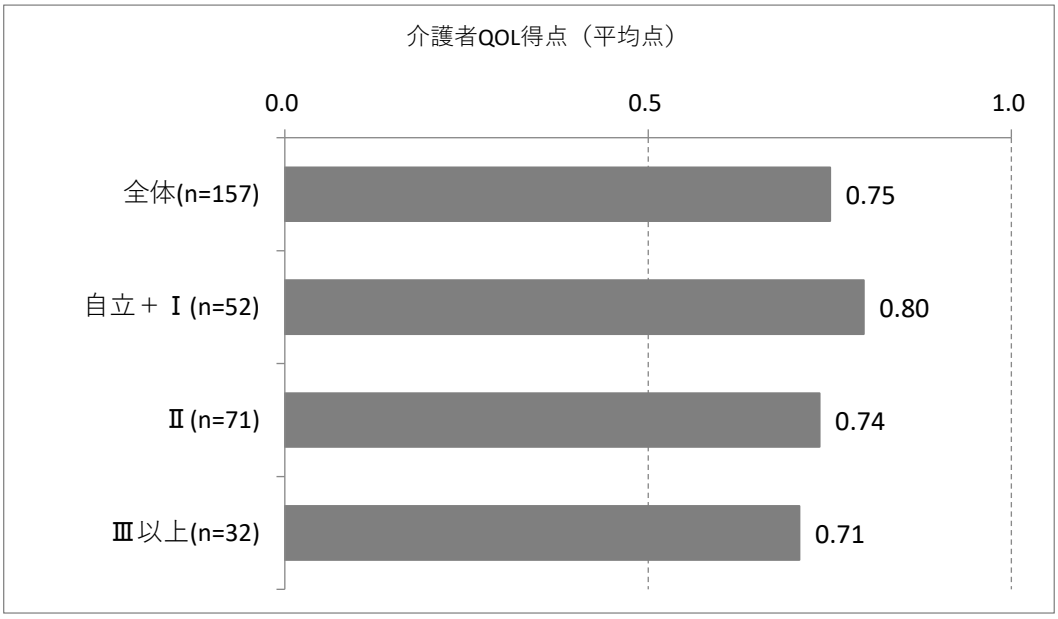
○　介護者の生活の質（QOL）は、介護の継続可能性や介護の質そのものにも影響を及ぼす重要な要素である。
本分析では、主な介護者の日常生活における主観的 QOL を把握することを目的として、介護者 QOL に関する設問項目を用いた指標を作成し、集計を行った。

○　各設問について得点化を行い、個人ごとの合計得点の平均値を算出した。
これにより、認知症自立度別にみた介護者の心身の状態や生活上の余裕、安全感、社会的つながり等の傾向を明らかにし、今後の介護者支援の充実に向けた検討に資する基礎資料とすることをねらいとした。

2.7.2 集計結果と着目すべきポイント

○　介護者 QOL 得点の平均点をみると、全体では 0.75 点となっている。
認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」は 0.80 点、「Ⅱ」は 0.74 点、「Ⅲ以上」は 0.71 点となっている。（図表７）

図表７　介護者 QOL 得点（認知症自立度別）



2.8　認知症自立度別における主観的幸福感割合

2.8.1　集計・分析のねらい

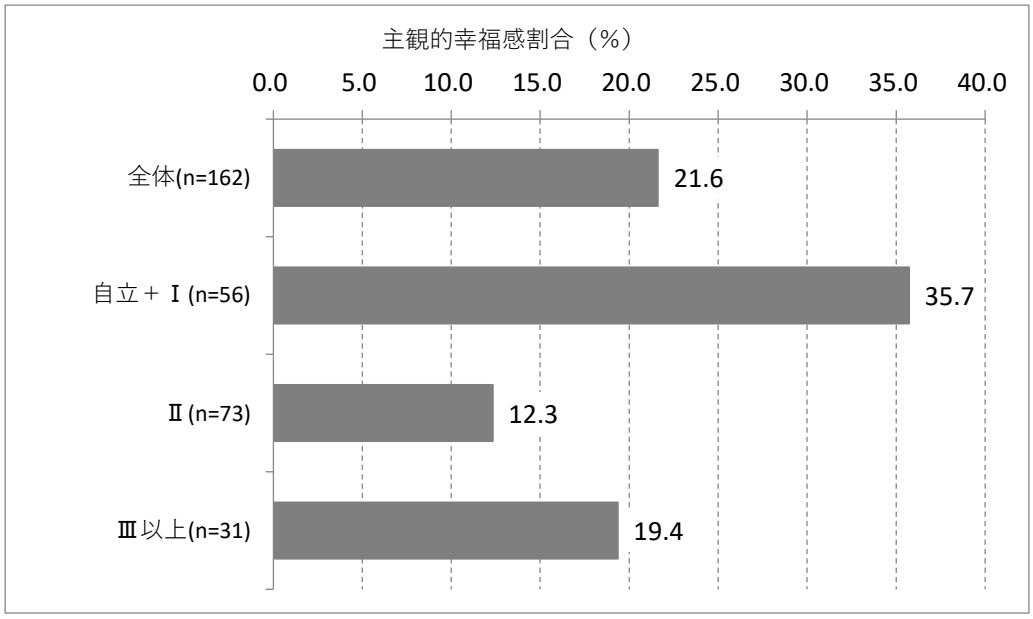
○　介護を担う家族の主観的な幸福感は、日常生活の満足度や心理的負担の程度を反映する重要な指標である。
本集計では、主な介護者が現在どの程度幸せであると感じているかについて把握することを目的とした。

○　具体的には、主観的幸福感を 0 点から 10 点までの尺度で評価し、一定以上の高い幸福感を有すると考えられる者の割合を算出した。
これにより、介護者の主観的な生活満足度の実態を明らかにし、介護者支援の必要性や支援の方向性を検討するための基礎資料とすることをねらいとした。

2.8.2 集計結果と着目すべきポイント

○　主観的幸福感割合をみると、全体では 21.6%が一定以上の高い幸福感ありと答えている。
認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」は 35.7%、「Ⅱ」は 12.3%、「Ⅲ以上」は 19.4%で、「自立＋Ⅰ」は高くなっている。（図表８）

図表８　主観的幸福感割合（認知症自立度別）



2.9　認知症自立度別における介護者日常生活 QOL 得点

2.9.1　集計・分析のねらい

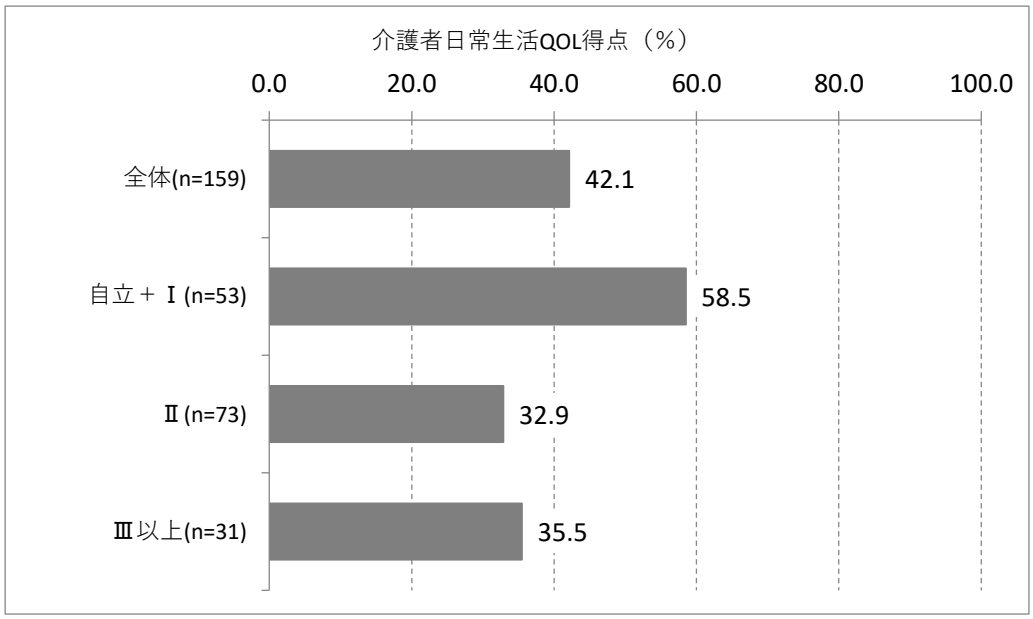
○　介護者の日常生活における精神的健康状態は、介護の継続や生活全体の安定性に深く関係している。
本分析では、介護者の日常生活における精神的健康状態を把握することを目的として、日常生活 QOL に関する設問項目を用いた指標を作成し、集計を行った。

○　各設問について得点化を行い、合計得点が一定水準以上の者を精神的健康状態が比較的良好な者と定義し、その割合を算出した。
これにより、介護者の心理的な安定度や生活上の充実感の実態を明らかにし、介護者のメンタルヘルス支援を含む包括的な支援策の検討に資することをねらいとした。

2.9.2 集計結果と着目すべきポイント

○　介護者日常生活 QOL 得点をみると、全体では 42.1%が比較的良好となっている。
認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」は 58.5%、「Ⅱ」は 32.9%、「Ⅲ以上」は 35.5%で、「自立＋Ⅰ」は高くなっている。（図表９）

図表９　介護者日常生活 QOL 得点（認知症自立度別）



2.10　介護者の支援ネットワーク保有者割合

2.10.1　集計・分析のねらい

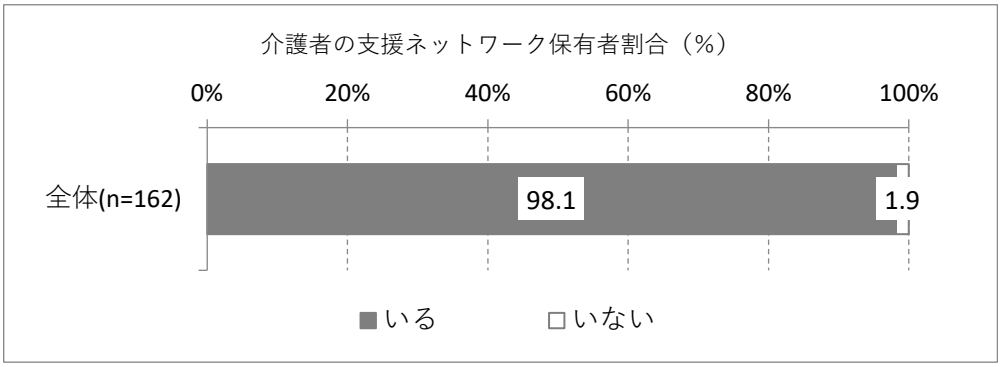
○　介護に関する悩みや困りごとを相談できる相手の存在は、介護者の心理的負担を軽減し、孤立を防ぐ上で重要な役割を果たす。
本集計では、主な介護者が介護に関する困りごとについて相談できる支援ネットワークを有しているかを把握することを目的とした。

○　具体的には、家族、親族、近隣住民、地域組織、専門職等のいずれかを相談先として挙げている者を「支援ネットワークを有する者」と定義し、その割合を算出した。
これにより、介護者がどの程度社会的・専門的な支援につながっているかを明らかにし、孤立防止や支援体制の充実に向けた検討の基礎資料とすることをねらいとした。

2.10.2 集計結果と着目すべきポイント

○　全体では、「介護者の支援ネットワーク保有者割合」は 98.1%となっている。（図表 10）

図表 10　介護者の支援ネットワーク保有者割合



第５章

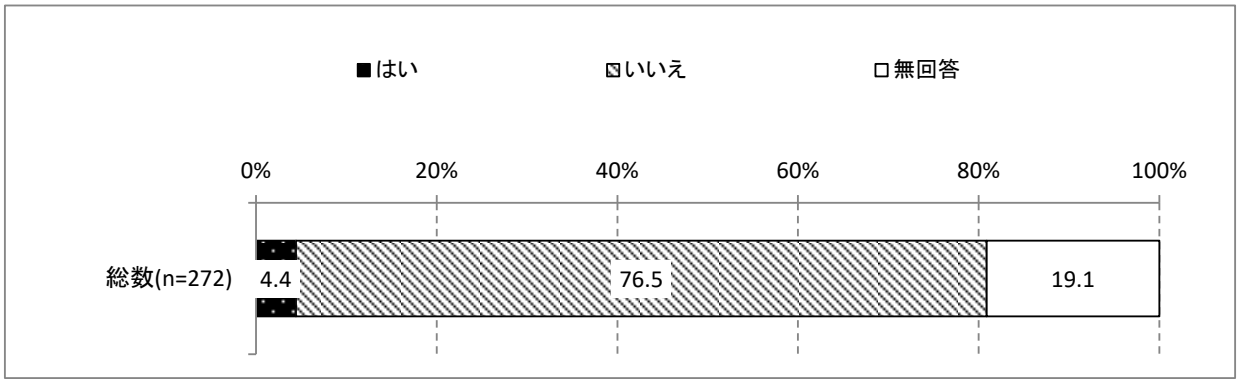
保険者独自項目の調査結果

５．保険者独自項目の調査結果

多可町独自の調査項目についての結果は以下のとおりである。

Ａ票　続き　　調査対象者様ご本人について、再度お伺いします
【問１】熱中症の経験についてお伺いします。
１）ご本人（認定調査対象者）はこの一年、熱中症(暑さによる頭痛、吐き気、だるさ、発熱、意識障害等)を経験しましたか

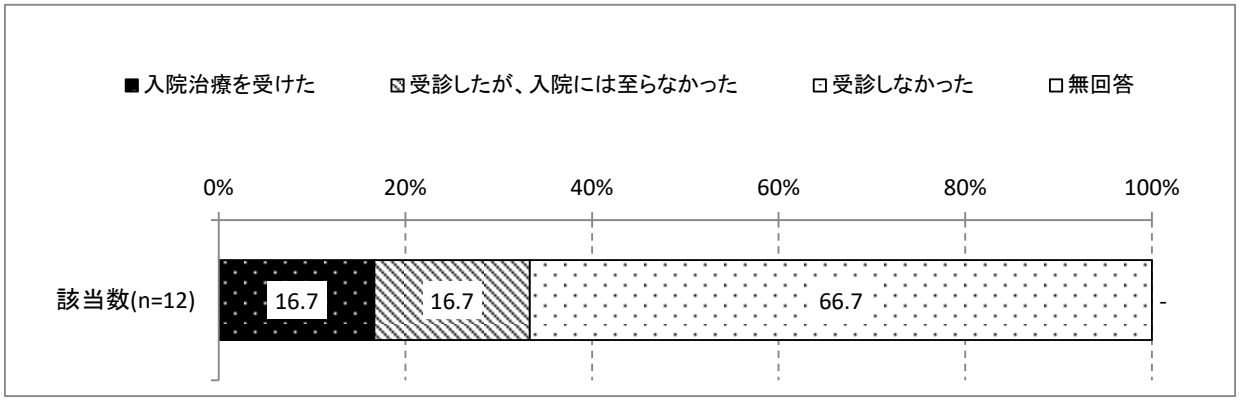
この一年に熱中症を経験したか聞いたところ、「はい」は 4.4%、「いいえ」は 76.5%となっている。



図Ａ-１　この一年に熱中症を経験したか

【問１】
２）「１.はい」と答えた方にお聞きします。その際、ご本人は医療機関を受診しましたか（熱中症を複数回経験した人は、最も症状が重かったときのことを思い出して、回答してください）

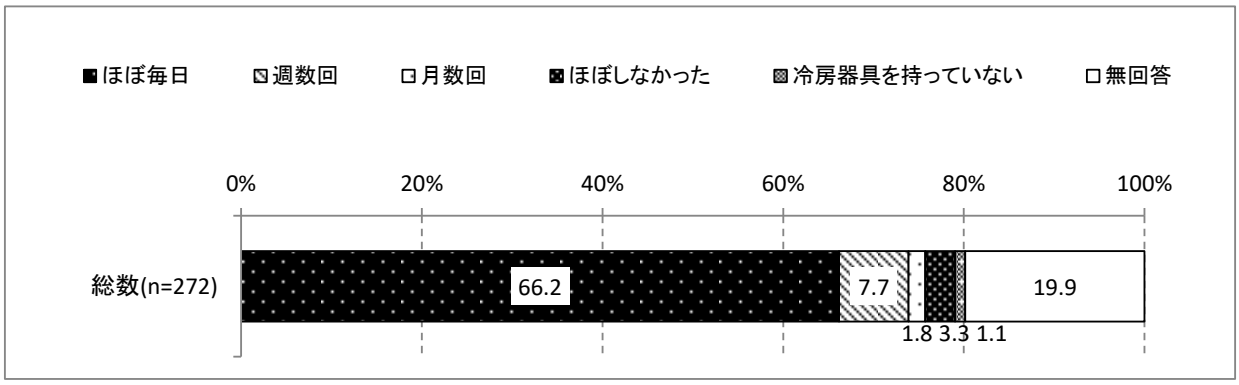
この一年、熱中症を経験したと答えた人（12 人）に、その際、医療機関を受診したか聞いたところ、「入院治療を受けた」は 16.7%、「受診したが、入院には至らなかった」は 16.7%、「受診しなかった」は 66.7%となっている。



図Ａ-２　熱中症を経験した際に医療機関を受診したか

【問２】この一年間、暑さが厳しい時期を、ご本人がどのように過ごしたか教えてください。
１）エアコンなどの冷房器具で部屋を涼しくした

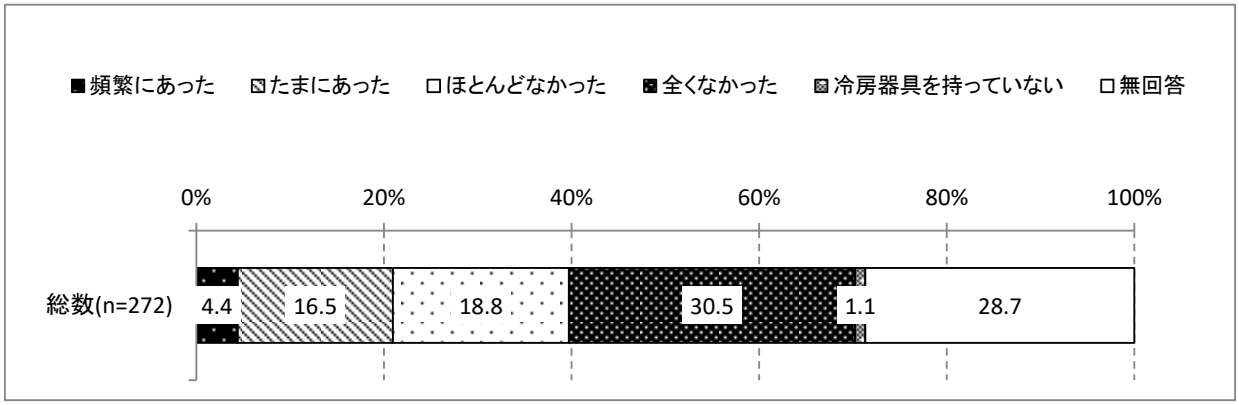
この一年間の暑さが厳しい時期に、エアコンなどの冷房器具で部屋を涼しくした頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」は 66.2%、「週数回」は 7.7%、「月数回」は 1.8%、「ほぼしなかった」は 3.3%、「冷房器具を持っていない」は 1.1%となっている。



図Ａ-３　冷房器具で部屋を涼しくした頻度

【問２】
２）エアコンなどの冷房器具を使用したかったが、光熱費や燃料代を節約するために、使用せずに過ごした

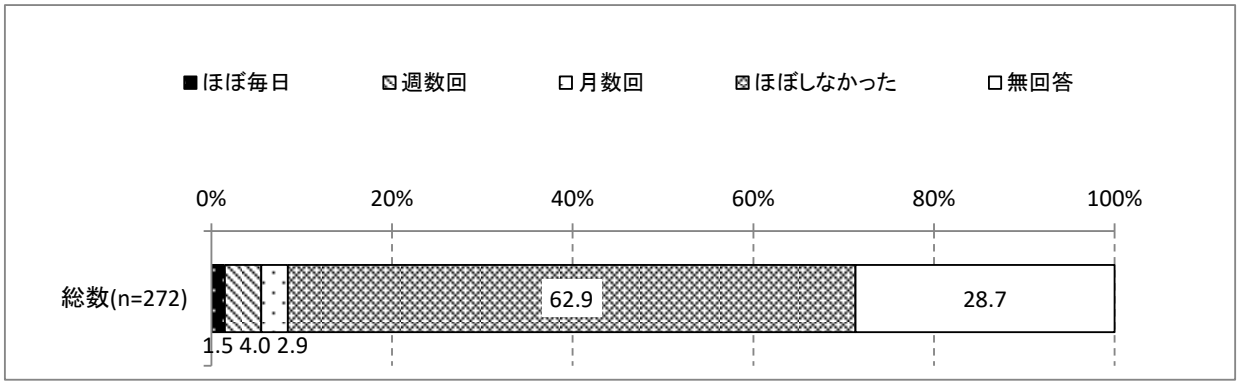
この一年間の暑さが厳しい時期に、エアコンなどの冷房器具を使用したかったが、光熱費や燃料代を節約するために、使用せずに過ごした頻度を聞いたところ、「頻繁にあった」は 4.4%、「たまにあった」は 16.5%、「ほとんどなかった」は 18.8%、「全くなかった」は 30.5%、「冷房器具を持っていない」は 1.1%となっている。



図Ａ-４　節約のために冷房器具を使わなかった頻度

【問２】
３）冷房のきいた公共施設や商業施設（公民館や図書館、映画館やショッピングセンターなど）で過ごした

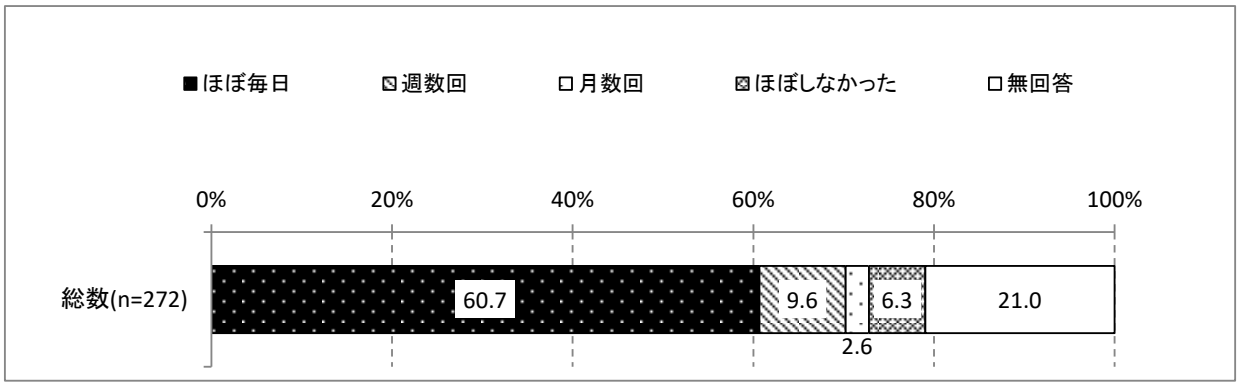
この一年間の暑さが厳しい時期に、冷房のきいた公共施設や商業施設（公民館や図書館、映画館やショッピングセンターなど）で過ごした頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」は 1.5%、「週数回」は 4.0%、「月数回」は 2.9%、「ほぼしなかった」は 62.9%となっている。



図Ａ-５　冷房のきいた公共施設・商業施設で過ごした頻度

【問２】
４）のどの乾きを感じなくても、こまめに水分・スポーツドリンクなどを飲んだ

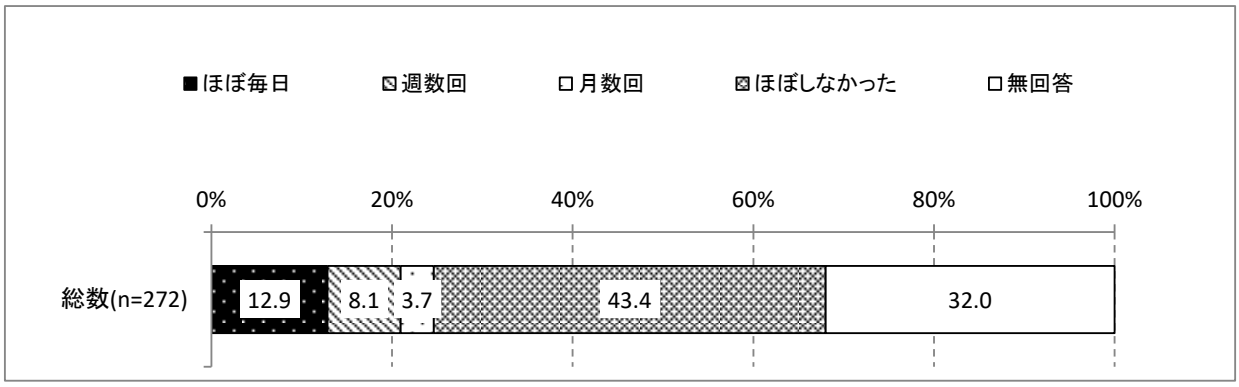
この一年間の暑さが厳しい時期に、のどの乾きを感じなくても、こまめに水分・スポーツドリンクなどを飲んだ頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」は 60.7%、「週数回」は 9.6%、「月数回」は 2.6%、「ほぼしなかった」は 6.3%となっている。



図Ａ-６　のどの乾きを感じなくても水分をとった頻度

【問２】
５）日中（午前９時～午後３時）の外出を避けた

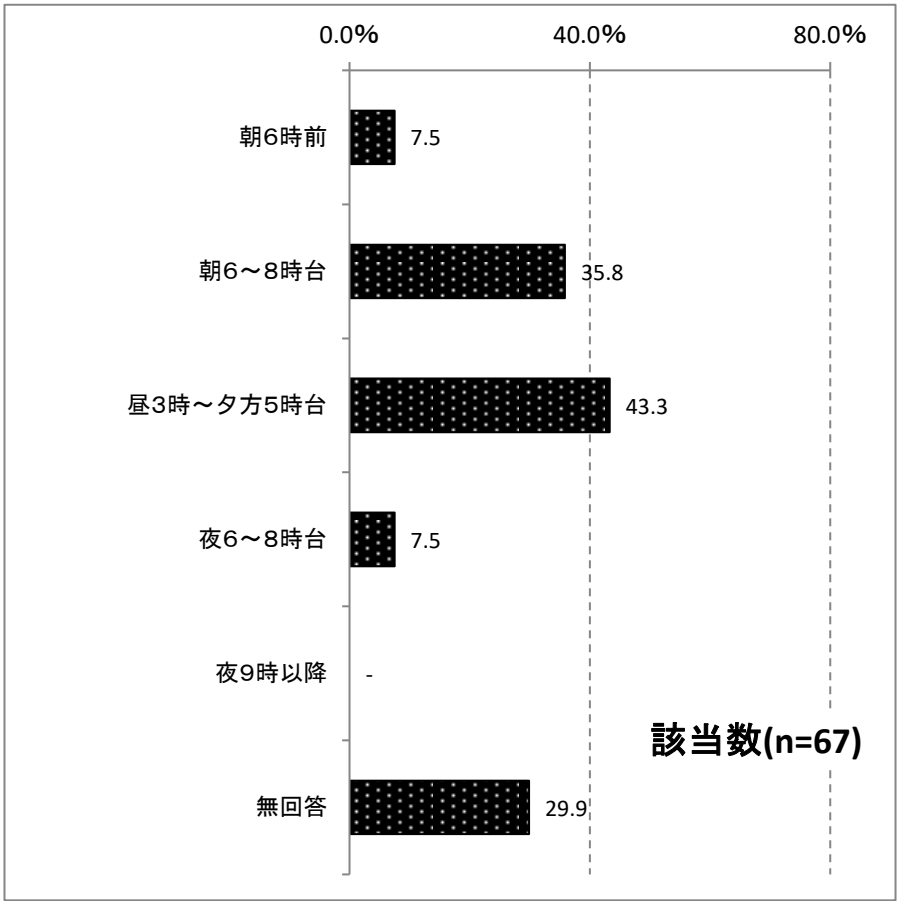
この一年間の暑さが厳しい時期に、日中（午前９時～午後３時）の外出を避けた頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」は 12.9%、「週数回」は 8.1%、「月数回」は 3.7%、「ほぼしなかった」は 43.4%となっている。



図Ａ-７　日中の外出を避けた頻度

【問２】
５)SQ 日中外出する代わりに、よく外出した時間帯を教えてください(あてはまるものすべてに○)

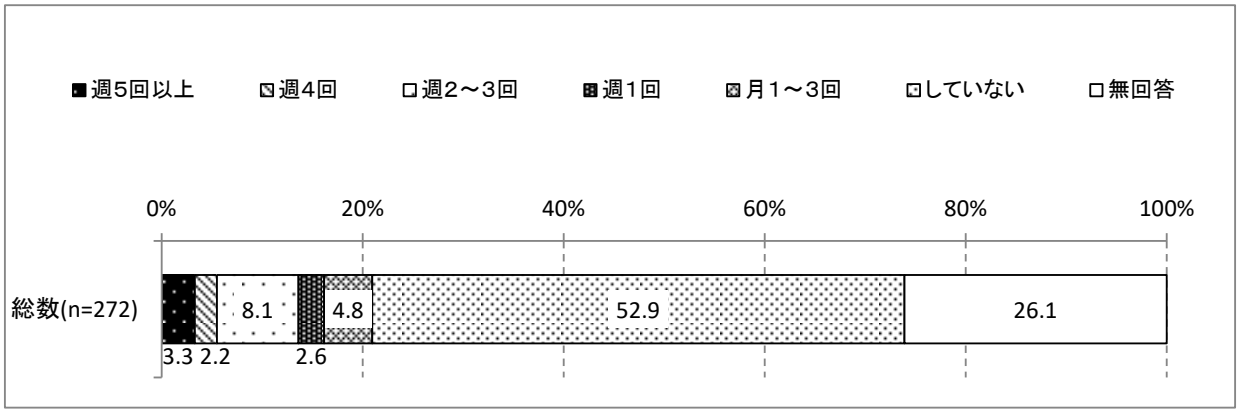
この一年間の暑さが厳しい時期に、日中の外出を避けたと答えた人（67 人）に、日中外出する代わりに、よく外出した時間帯を挙げてもらったところ、「昼３時～夕方５時台」(43.3%)、「朝６～８時台」(35.8%)、「夜６～８時台」(7.5%)、「朝６時前」(7.5%) などが挙げられた。



図Ａ-８　よく外出した時間帯

【問２】
６）屋外で連続 30 分以上過ごした（エアコンがついている車やバス、電車に乗っている時間は含みません）

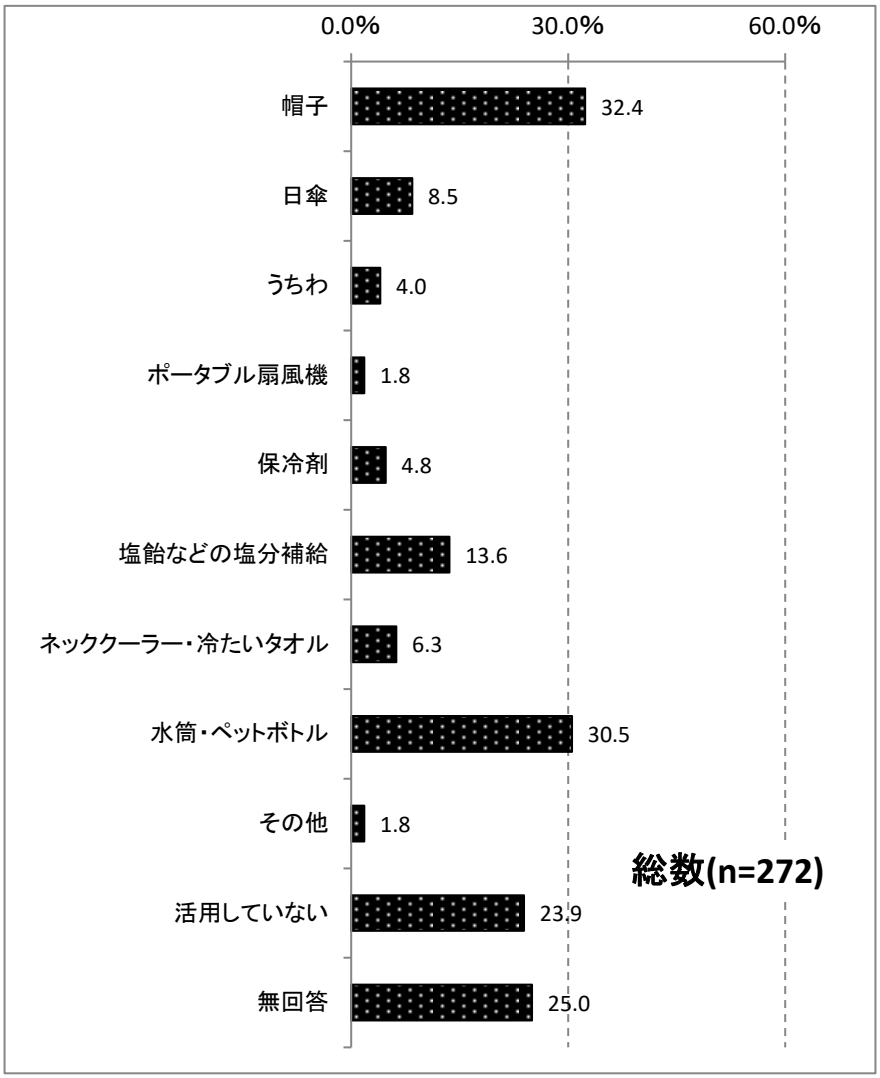
この一年間の暑さが厳しい時期に、屋外で連続 30 分以上過ごした頻度を聞いたところ、「週５回以上」は 3.3%、「週４回」は 2.2%、「週２～３回」は 8.1%、「週１回」は 2.6%、「月１～３回」は 4.8%、「していない」は 52.9%となっている。



図Ａ-９　屋外で 30 分以上過ごした頻度

【問２】
７）外出時に、熱中症対策グッズを活用した（活用しているものすべてに○）

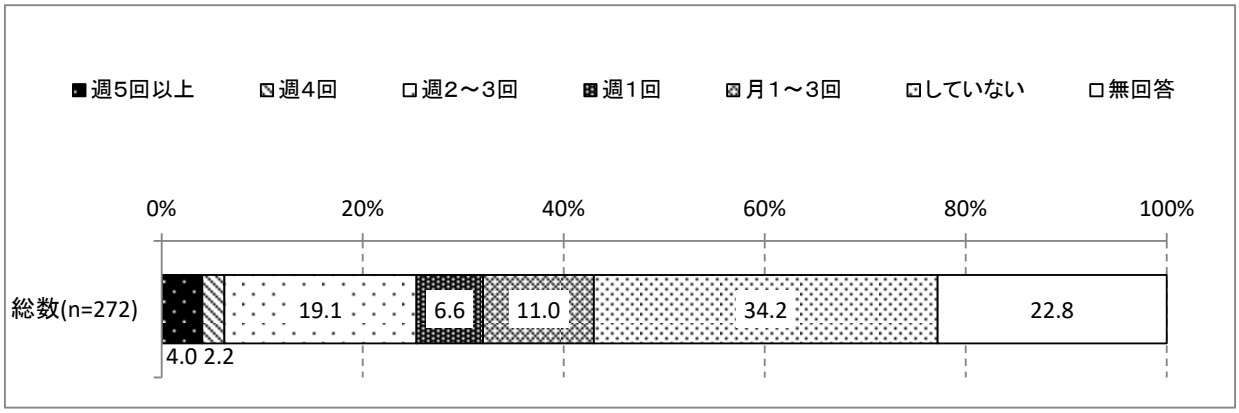
この一年間の暑さが厳しい時期の外出時に､活用した熱中症対策グッズを挙げてもらったところ、「帽子」(32.4%)､「水筒・ペットボトル」(30.5%)､「塩飴などの塩分補給」(13.6%) などが挙げられた。なお、「活用していない」は 23.9%となっている。



図Ａ-10　外出時に活用した熱中症対策グッズ

【問２】
８）暑さが厳しい時期の外出の頻度（畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含む）を教えてください

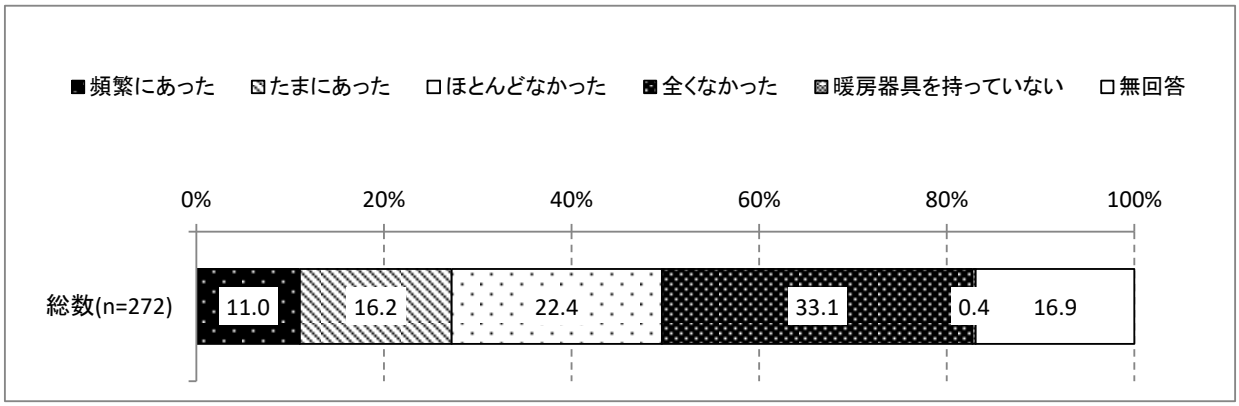
この一年間の暑さが厳しい時期の外出の頻度を聞いたところ、「週５回以上」は 4.0%、「週４回」は 2.2%、「週２～３回」は 19.1%、「週１回」は 6.6%、「月１～３回」は 11.0%、「していない」は 34.2%となっている。



図Ａ-11　暑さが厳しい時期の外出の頻度

【問３】この一年間、冬の寒さが厳しい時期を、ご本人がどのように過ごしたか教えてください。
１）エアコンなどの暖房器具を使用したかったが、光熱費や燃料代を節約するために、使用せずに過ごした

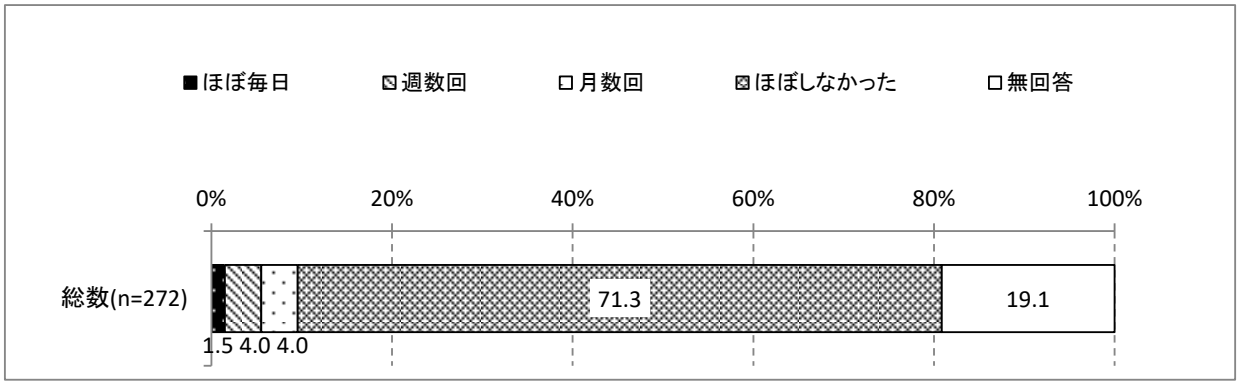
この一年間の冬の寒さが厳しい時期に、エアコンなどの暖房器具を使用したかったが、光熱費や燃料代を節約するために、使用せずに過ごした頻度を聞いたところ、「頻繁にあった」は 11.0%、「たまにあった」は 16.2%、「ほとんどなかった」は 22.4%、「全くなかった」は 33.1%、「暖房器具を持っていない」は 0.4%となっている。



図Ａ-12　節約のために暖房器具を使わなかった頻度

【問３】
２）暖房のきいた公共施設や商業施設（公民館や図書館、映画館やショッピングセンターなど）で過ごした

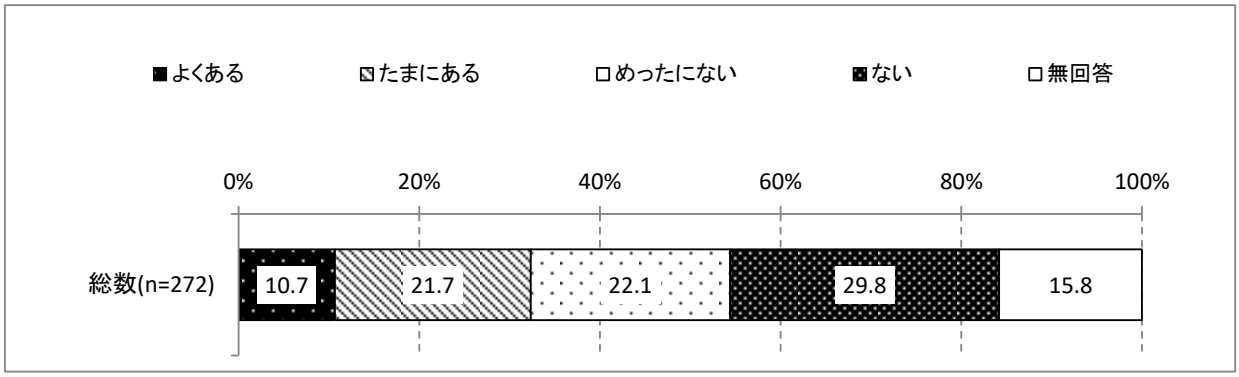
この一年間の冬の寒さが厳しい時期に、暖房のきいた公共施設や商業施設（公民館や図書館、映画館やショッピングセンターなど）で過ごした頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」は 1.5%、「週数回」は 4.0%、「月数回」は 4.0%、「ほぼしなかった」は 71.3%となっている。



図Ａ-13　暖房のきいた公共施設・商業施設で過ごした頻度

【問４】お住まいでの生活の中で、ご本人が次のように感じることはありますか。
１）居間で、冬、暖房が効かずに寒いと感じること

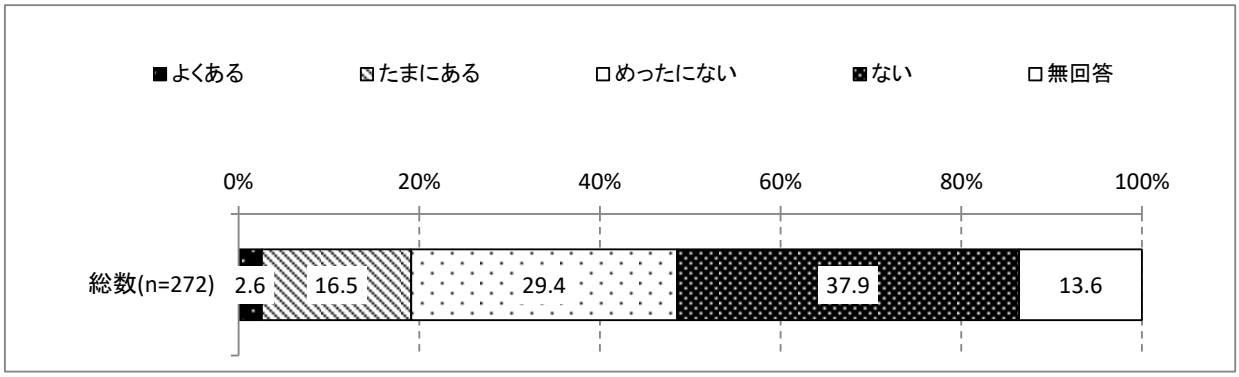
冬に居間で暖房が効かずに寒いと感じることがあるか聞いたところ、「よくある」は 10.7%、「たまにある」は 21.7%、「めったにない」は 22.1%、「ない」は 29.8%となっている。



図Ａ-14　冬に居間で寒いと感じることがあるか

【問４】
２）寝室で、冬、寒くて眠れないこと

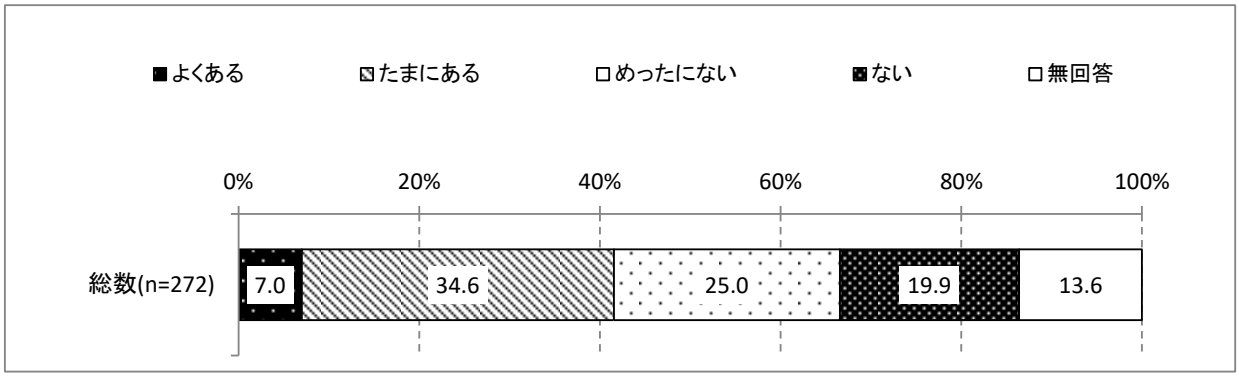
冬に寝室が寒くて眠れないことがあるか聞いたところ、「よくある」は 2.6%、「たまにある」は 16.5%、「めったにない」は 29.4%、「ない」は 37.9%となっている。



図Ａ-15　冬に寝室が寒くて眠れないことがあるか

【問４】
３）寝室で、冬、起きた時に鼻やのどが乾燥すること

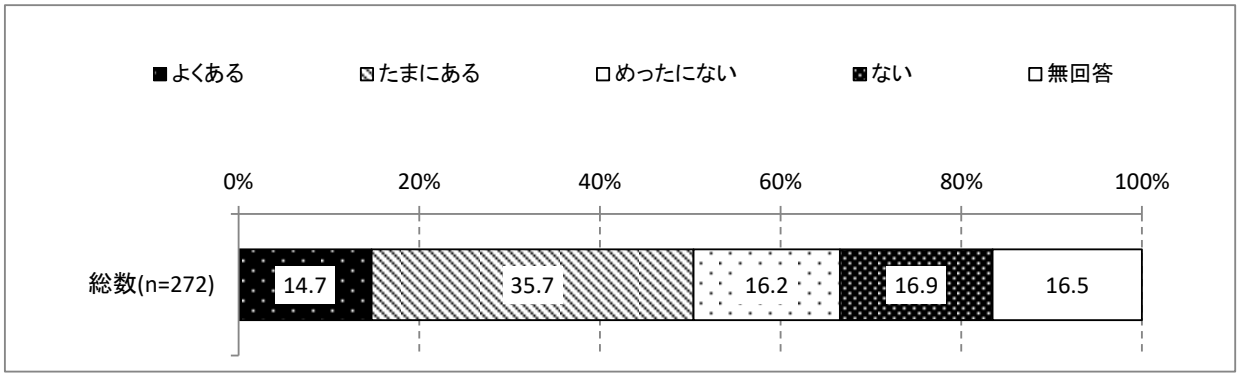
冬の寝室で起きた時に鼻やのどが乾燥することがあるか聞いたところ、「よくある」は 7.0%、「たまにある」は 34.6%、「めったにない」は 25.0%、「ない」は 19.9%となっている。



図Ａ-16　冬の寝室で鼻やのどが乾燥することがあるか

【問４】
４）脱衣所で、冬、寒いと感じること

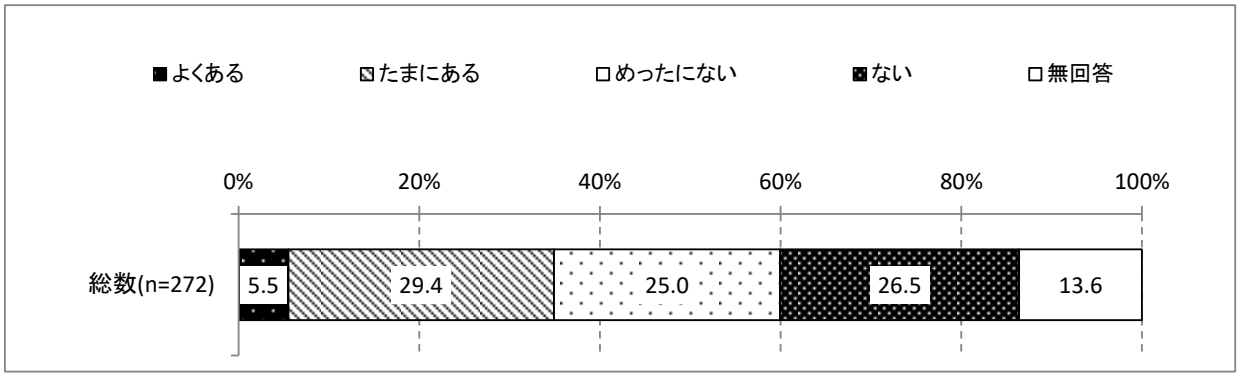
冬に脱衣所で寒いと感じることがあるか聞いたところ、「よくある」は 14.7%、「たまにある」は 35.7%、「めったにない」は 16.2%、「ない」は 16.9%となっている。



図Ａ−17　冬に脱衣所で寒いと感じることがあるか

【問４】
５）居間で、夏、冷房が効かずに暑いと感じること

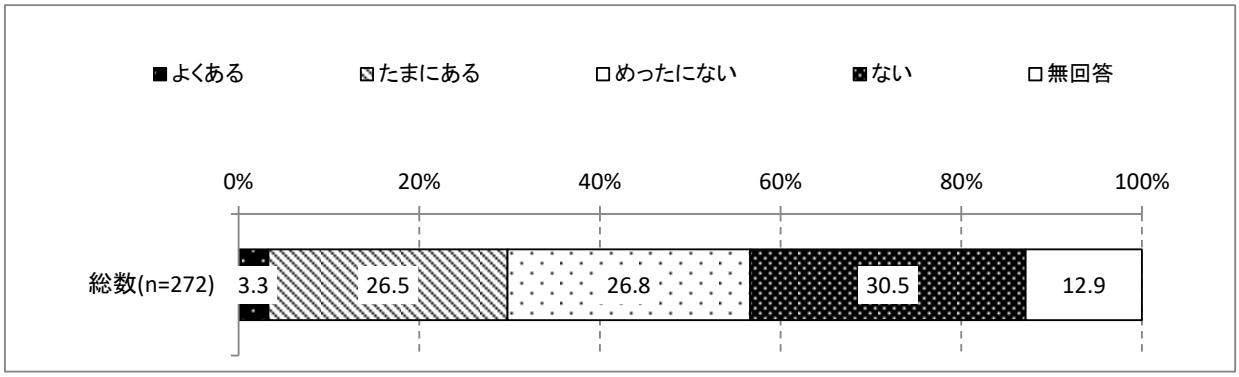
夏に居間で冷房が効かずに暑いと感じることがあるか聞いたところ、「よくある」は 5.5%、「たまにある」は 29.4%、「めったにない」は 25.0%、「ない」は 26.5%となっている。



図Ａ-18　夏に居間で暑いと感じることがあるか

【問４】
６）寝室で、夏、暑くて眠れないこと

夏に寝室が暑くて眠れないと感じることがあるか聞いたところ、「よくある」は 3.3%、「たまにある」は 26.5%、「めったにない」は 26.8%、「ない」は 30.5%となっている。



図Ａ-19　夏に寝室が暑くて眠れないことがあるか

（資　料）　基礎集計表

在宅ケアとくらしの調査（多可町）　(N,%)

日本老学的評価研究（ＪＡＧＥＳ）による追加質問

Ａ票

調査対象者様ご本人についてお伺いします

本調査の回答データについて、個人情報を匿名化し学術研究に使用してもよろしいですか

	総数	はい（研究利用してよい）	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	230 84.6	11 4.0	31 11.4

問４　ご本人（認定調査対象者）と同居されている方はどなたですか（複数選択可）

	総数	いない	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	45 16.5	102 37.5	107 39.3	51 18.8	92 33.8	56 20.6	2 0.7	10 3.7	5 1.8	470 172.8

問５　ご本人（認定調査対象者）の婚姻状態は、次のうちどれにあてはまりますか（１つ選択）

	総数	配偶者がいる（内縁を含む）	死別	離別	未婚	その他	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	106 39.0	144 52.9	6 2.2	3 1.1	3 1.1	10 3.7

問６　ご本人（認定調査対象者）が受けられた学校教育は何年間でしたか（１つ選択）

	総数	６年未満	６～９年	10～12年	13年以上	その他	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	10 3.7	146 53.7	72 26.5	31 11.4	2 0.7	11 4.0

問７　問３で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の１年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）（１つ選択）

	総数	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	10 3.7	29 10.7	16 5.9	36 13.2	23 8.5	15 5.5	26 9.6	23 8.5	7 2.6	11 4.0

問７　問３で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の１年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）（１つ選択）

	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000～1200万円未満	1200万円以上	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	13 4.8	7 2.6	4 1.5	3 1.1	10 3.7	39 14.3

問８　ご本人（認定調査対象者）の現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）

〔身長〕

	総数	140cm未満	140cm～144cm	145cm～149cm	150cm～154cm	155cm～159cm	160cm～164cm	165cm～169cm	170cm～174cm	175cm～179cm	180cm以上
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	12 4.4	38 14.0	48 17.6	73 26.8	32 11.8	26 9.6	17 6.3	6 2.2	1 0.4	2 0.7

問８　ご本人（認定調査対象者）の現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）

〔身長〕

	無回答	平均（cm）
＊＊【　総　　数　】＊＊	17 6.3	38534 151.1

(N,%)

問８　ご本人（認定調査対象者）の現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）
〔体重〕

	総数	40kg未満	40kg～44kg	45kg～49kg	50kg～54kg	55kg～59kg	60kg～64kg	65kg～69kg	70kg～74kg	75kg～79kg	80kg～84kg
＊＊【　総　　数　】＊＊	272	30	43	58	46	33	26	12	3	1	4
	100.0	11.0	15.8	21.3	16.9	12.1	9.6	4.4	1.1	0.4	1.5

問８　ご本人（認定調査対象者）の現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）
〔体重〕

	85kg～89kg	90kg～94kg	95kg～99kg	100kg以上	無回答	平均（kg）
＊＊【　総　　数　】＊＊	－	1	－	－	15	12870
	－	0.4	－	－	5.5	50.1

問１１　以下の設問について、今のご本人（認定調査対象者）の気持ちに最も近いものを選んでください。

１）ご本人は日常生活において自分のことを、どのくらい自分で決められていますか。決めたことを他の人にやってもらう場合も含めてお答えください（１つ選択）

	総数	思い通り自分で決められている	おおむね自分で決められている	あまり自分で決められない	まったく自分で決められない	無回答	決められている（計）	決められない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272	48	134	59	25	6	182	84
	100.0	17.6	49.3	21.7	9.2	2.2	66.9	30.9

２）身だしなみについて、ご本人の状況を表しているのはどれですか（１つ選択）

	総数	清潔で思い通りの身だしなみ	おおむね清潔で見苦しくない	あまり清潔ではないまたは不十分	全く清潔でない・全くできてない	無回答	清潔（計）	清潔でない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272	51	171	38	3	9	222	41
	100.0	18.8	62.9	14.0	1.1	3.3	81.6	15.1

３）飲食について、ご本人の状況を表しているのはどれですか（１つ選択）

	総数	十分な量を思い通りの時間にとれる	不足ない量を適切な時間にとれてる	量や時間が適切でないことがある	量が不十分・適切な時間にとれない	無回答	とれている（計）	とれていない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272	77	146	35	4	10	223	39
	100.0	28.3	53.7	12.9	1.5	3.7	82.0	14.3

４）ご本人は虐待や転倒などのおそれがなく、どのくらい安心・安全だと感じていますか（１つ選択）

	総数	十分に安心・安全だと感じている	おおむね安心・安全だと感じている	あまり安心・安全ではないと感じる	全く安心・安全ではないと感じてる	無回答	安心・安全だと感じている（計）	安心・安全だと感じていない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272	62	111	71	15	13	173	86
	100.0	22.8	40.8	26.1	5.5	4.8	63.6	31.6

５）ご本人が望む人とのつき合いについて、あなたの状況を表しているのはどれですか（１つ選択）

	総数	思い通りにできている	おおむねできている	十分に満足いくほどではない	社会的に孤立していると感じる	無回答	人付き合いがある（計）	人付き合いがない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272	29	107	100	27	9	136	127
	100.0	10.7	39.3	36.8	9.9	3.3	50.0	46.7

６）ご本人は大切だと思うことや楽しんでいることをしながら、自分の時間を過ごせていますか。趣味、仕事、ボランティア、他者のケアなどを含めて考えてください（１つ選択）

	総数	思い通りに過ごせている	おおむね過ごせている	あまり過ごしていない	まったく過ごしていない	無回答	過ごせている（計）	過ごしていない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272	34	129	71	27	11	163	98
	100.0	12.5	47.4	26.1	9.9	4.0	59.9	36.0

(N,%)

７）ご本人の家の中はどのくらい快適ですか（１つ選択）

	総数	思い通り快適である	おおむね快適である	あまり快適でない	まったく快適でない	無回答	快適である（計）	快適でない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	47 17.3	172 63.2	41 15.1	3 1.1	9 3.3	219 80.5	44 16.2

８）ケアや支援を受けることを、ご本人はどのように感じていますか（１つ選択）

	総数	今の自分をより良く思える	自分が自分をどう感じるか関係ない	気持ちが傷つくことがある	気持ちがひどく傷ついている	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	147 54.0	98 36.0	16 5.9	－ －	11 4.0

９）ケアや支援のされ方について、ご本人はどのように感じていますか（１つ選択）

	総数	今の自分をより良く思える	自分が自分をどう感じるか関係ない	気持ちが傷つくことがある	気持ちがひどく傷ついている	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	118 43.4	107 39.3	17 6.3	2 0.7	28 10.3

問１２　ご本人（認定調査対象者）の日常生活の気持ちに最も近い回答を選んでください。

１）私はいつも頭を使うようにしている

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	23 8.5	107 39.3	69 25.4	47 17.3	13 4.8	13 4.8	130 47.8	60 22.1

２）私は話をする人がいる

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	44 16.2	143 52.6	40 14.7	27 9.9	4 1.5	14 5.1	187 68.8	31 11.4

３）私はたいていよく眠れる

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	39 14.3	127 46.7	58 21.3	28 10.3	6 2.2	14 5.1	166 61.0	34 12.5

４）私は住んでいる場所が好きである

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	59 21.7	150 55.1	39 14.3	12 4.4	2 0.7	10 3.7	209 76.8	14 5.1

５）私は活動的でいられる

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	11 4.0	38 14.0	90 33.1	88 32.4	31 11.4	14 5.1	49 18.0	119 43.8

(N,%)

６）私は友人と時間を過ごす

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	272 100.0	6 2.2	54 19.9	68 25.0	80 29.4	49 18.0	15 5.5	60 22.1	129 47.4

７）私はリラックスできる

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	272 100.0	19 7.0	115 42.3	95 34.9	26 9.6	2 0.7	15 5.5	134 49.3	28 10.3

８）私は外出したい時にできる

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	272 100.0	10 3.7	73 26.8	61 22.4	68 25.0	50 18.4	10 3.7	83 30.5	118 43.4

９）私は自分が役に立つと感じる

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	272 100.0	6 2.2	51 18.8	94 34.6	71 26.1	37 13.6	13 4.8	57 21.0	108 39.7

１０）私は緊急時に連絡できる人がいる

	総数	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	272 100.0	71 26.1	145 53.3	26 9.6	13 4.8	6 2.2	11 4.0	216 79.4	19 7.0

問１３　ご本人（認定調査対象者）の外出する頻度はどのくらいですか（畑や隣近所へ行く、買い物、通院、デイケア・デイサービスなどを含む）（１つ選択）

	総数	週に４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	していない	無回答
＊＊【 総 数 】＊＊	272 100.0	74 27.2	122 44.9	32 11.8	18 6.6	5 1.8	12 4.4	9 3.3

問１４　ご本人（認定調査対象者）が、外出する時に利用している交通手段はどれですか（複数選択可）

	総数	なし	自動車（人に乗せてもらう）	電車	バス	病院・施設のバス	タクシー	介護タクシー	その他	無回答	回答計
＊＊【 総 数 】＊＊	272 100.0	6 2.2	202 74.3	－ －	5 1.8	74 27.2	24 8.8	11 4.0	29 10.7	7 2.6	358 131.6

問１５　ご本人（認定調査対象者）が、友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（１つ選択）

	総数	週に４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	していない	無回答
＊＊【 総 数 】＊＊	272 100.0	27 9.9	61 22.4	40 14.7	39 14.3	36 13.2	59 21.7	10 3.7

(N,%)

問１６　ご本人（認定調査対象者）は、下記のような活動を行っていますか（複数選択可）

	総数	散歩・ジョギング	体操・ストレッチ	園芸・庭いじり	テレビをみる	読書・新聞を読む	ラジオをきく	カラオケ・歌を歌う	音楽鑑賞	絵画・絵手紙	編み物・手芸・刺繍
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	49 18.0	52 19.1	49 18.0	189 69.5	101 37.1	23 8.5	24 8.8	9 3.3	11 4.0	17 6.3

問１６　ご本人（認定調査対象者）は、下記のような活動を行っていますか（複数選択可）

	カードゲーム	囲碁・将棋・麻雀	買い物	外食	メール・インターネット	その他	行っていない	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	3 1.1	3 1.1	61 22.4	38 14.0	19 7.0	16 5.9	31 11.4	5 1.8	700 257.4

問１７　ご本人（認定調査対象者）は、下記のような地域の会・グループに参加していますか（複数選択可）

	総数	参加している会・グループはない	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	老人クラブ	町内会・自治会	介護予防・健康づくり、通いの場	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	161 59.2	3 1.1	3 1.1	13 4.8	28 10.3	5 1.8	29 10.7	52 19.1	294 108.1

問１８　ご本人（認定調査対象者）のことについてお伺いします（それぞれ１つ選択）

１）友だちの家を訪ねることはありますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	67 24.6	194 71.3	11 4.0

２）この１ヶ月間に、友人・知人と会いましたか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	169 62.1	94 34.6	9 3.3

３）家族や友だちの相談にのることはありますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	101 37.1	159 58.5	12 4.4

４）心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	144 52.9	110 40.4	18 6.6

５）家族・親族以外に日常生活で困ったときに頼れる人はいますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	140 51.5	120 44.1	12 4.4

(N,%)

６）介護に関する悩みや困りごとについて、地域包括支援センターに相談したことがありますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	100 36.8	162 59.6	10 3.7

７）自分で食事の用意ができますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	90 33.1	173 63.6	9 3.3

８）自分で請求書の支払いができますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	100 36.8	165 60.7	7 2.6

９）自分で預貯金の出し入れができますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	79 29.0	183 67.3	10 3.7

１０）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	94 34.6	170 62.5	8 2.9

１１）本や雑誌を読んでいますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	121 44.5	145 53.3	6 2.2

１２）病人を見舞うことができますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	77 28.3	185 68.0	10 3.7

１３）バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	40 14.7	226 83.1	6 2.2

(N,%)

１４）この１年間にインフルエンザワクチンは接種しましたか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	198 72.8	66 24.3	8 2.9

１５）この１年間に予定していなかった緊急入院はありましたか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	63 23.2	202 74.3	7 2.6

１６）突然の入院費などの支払いに備え、口座情報やクレジットカードなどの情報を整理していますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	130 47.8	131 48.2	11 4.0

１７）入院生活に必要なもの（衣類、日用品など）を普段から準備していますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	103 37.9	162 59.6	7 2.6

１８）自宅の管理やペットの世話など、入院中のサポートを頼める人はいますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	203 74.6	56 20.6	13 4.8

問１９　ご本人（認定調査対象者）がお住まいの地域についてお伺いします。

１）地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとすると思いますか。

	総数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	39 14.3	71 26.1	87 32.0	32 11.8	16 5.9	27 9.9	110 40.4	48 17.6

２）ご本人は、地域の人々から大切にされ、地域の一員となっていると感じますか。

	総数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	25 9.2	74 27.2	93 34.2	41 15.1	18 6.6	21 7.7	99 36.4	59 21.7

３）ご本人が日常生活や健康のために必要なことは、行政や民間のサービスによって、概ね提供されていますか。

	総数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う（計）	思わない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	55 20.2	106 39.0	54 19.9	29 10.7	8 2.9	20 7.4	161 59.2	37 13.6

(N,%)

問２０　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（１つ選択）

	総数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしてる	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	168 61.8	46 16.9	34 12.5	24 8.8

問２３　ご本人（認定調査対象者）の居宅に訪問で来られている医療従事者について教えてください（複数選択可）

	該当数	いない	医師	歯科医師・歯科衛生士	看護師	薬剤師	管理栄養士	リハビリ専門職（理学療法士等）	言語聴覚士	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	198 100.0	146 73.7	10 5.1	1 0.5	21 10.6	－ －	－ －	13 6.6	－ －	16 8.1	207 104.5

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問２５　ご本人（認定調査対象者）が、人生の最終段階で受けたい、もしくは受けたくない医療・ケアについて、ご家族等や医療・介護従事者と詳しく話し合っていますか。（１つ選択）

	総数	詳しく話し合っている	一応話し合っている	考えたことある話し合ったことない	考えたことも話し合ったこともない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	14 5.1	83 30.5	112 41.2	37 13.6	26 9.6

問２６　問２５で「１．詳しく話し合っている」「２．一応話し合っている」と回答した方にお伺いします。

１）どなたと話し合いましたか（複数選択可）

	該当数	家族・親族	友人・知人	医療・介護従事者	その他	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	97 100.0	88 90.7	2 2.1	20 20.6	2 2.1	2 2.1	114 117.5

２）話し合った内容を医療・介護従事者と共有していますか（１つ選択）

	該当数	共有している	共有していない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	97 100.0	61 62.9	30 30.9	6 6.2

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問２７　葬儀や遺産整理・相続など、ご本人（認定調査対象者）が亡くなられた後のことについて、ご本人は、ご家族などの身近な方と話し合いや準備を進めていますか（１つ選択）

	総数	必要な手続き・契約等を進めている	計画を立てておりこれから進める	話し合ったが具体的な計画は未決定	話し合ってないがこれから話し合う	話し合うつもりはない	わからない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	8 2.9	16 5.9	83 30.5	74 27.2	13 4.8	63 23.2	15 5.5

※以降の該当数確認のため表示

問３０　ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（１つ選択）

	総数	ない	週に１日よりも少ない	週に１～２日ある	週に３～４日ある	ほぼ毎日ある	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	272 100.0	59 21.7	28 10.3	28 10.3	28 10.3	91 33.5	38 14.0

(N,%)

Ｂ票

主な介護者の方についてお伺いします

問１　現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか（複数選択可）

	該当数	調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	その他	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	28 16.0	139 79.4	11 6.3	2 1.1	4 2.3	184 105.1

問６　主な介護者の方が受けられた学校教育は何年間でしたか（１つ選択）

	該当数	６年未満	６～９年	10～12年	13年以上	その他	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	－ －	19 10.9	72 41.1	76 43.4	1 0.6	7 4.0

問７　現在、高校生以下の子育てや他の方の介護をしていますか。子育てについては、末子についてお答えください（複数選択可）

	該当数	していない	未就学児の育児をしている	小学生の子育てをしている	中学生・高校生の子育てをしている	他にも介護をしている	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	151 86.3	5 2.9	1 0.6	4 2.3	7 4.0	7 4.0	175 100.0

問８　主な介護者の方は、自身を含めて何人で暮らしていますか

	該当数	１人	２人	３人	４人	５人	６人	７人	８人	９人	10人以上
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	2 1.1	57 32.6	47 26.9	37 21.1	11 6.3	4 2.3	4 2.3	1 0.6	－ －	－ －

問８　主な介護者の方は、自身を含めて何人で暮らしていますか

	無回答	平均（人）
＊＊【　総　　数　】＊＊	12 6.9	520 3.2

問９　問８で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の１年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）（１つ選択）

	該当数	200万円未満	200～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000万円以上	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	20 11.4	56 32.0	28 16.0	27 15.4	6 3.4	15 8.6	23 13.1

問１０　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（１つ選択）

	該当数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	苦しい（計）	ゆとりがある（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	25 14.3	42 24.0	89 50.9	9 5.1	3 1.7	7 4.0	67 38.3	12 6.9

問１１　主な介護者の方の介護状況ついてお伺いします

１）主な介護者の方が介護を始めてどれくらい経ちますか（１つ選択）

	該当数	６ヶ月未満	６ヶ月～１年未満	１～５年未満	５～10年未満	10年以上	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	2 1.1	9 5.1	82 46.9	49 28.0	24 13.7	9 5.1

２）主な介護者の方の平均的な介護頻度はどのくらいですか（１つ選択）

	該当数	ほぼ毎日	週２～４日	週１日	月に１～３日以下	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	100 57.1	41 23.4	9 5.1	17 9.7	8 4.6

３）一日の介護時間はどれくらいですか（１つ選択）

	該当数	ほとんど終日	半日程度	２～３時間程度	必要な時に手を貸す程度	その他	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	23 13.1	28 16.0	30 17.1	78 44.6	9 5.1	7 4.0

４）主な介護者の方は、ご本人（認定調査対象者）と、同居していますか（１つ選択）

	該当数	同居している	同居していない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	133 76.0	31 17.7	11 6.3

５）ご本人（認定調査対象者）のお宅から主な介護者宅まで、どのくらいの時間がかかりますか（片道での移動時間をお答えください）

	該当数	20分未満	20～40分未満	40～60分未満	60～120分未満	120分以上	無回答	平均（分）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	7 4.0	10 5.7	2 1.1	4 2.3	7 4.0	145 82.9	1762 58.7

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問１２　主な介護者の方は、「介護者の会」に参加していますか（１つ選択）

	該当数	定期的に参加している	過去に参加したことがある	参加したことがない	わからない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	2 1.1	1 0.6	156 89.1	9 5.1	7 4.0

問１３　主な介護者の方は、「介護教室」に参加していますか（１つ選択）

	該当数	定期的に参加している	過去に参加したことがある	参加したことがない	わからない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	1 0.6	5 2.9	150 85.7	12 6.9	7 4.0

問１４　主な介護者の方の現在の健康状態はいかがですか（１つ選択）

	該当数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	よい（計）	よくない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	9 5.1	116 66.3	44 25.1	1 0.6	5 2.9	125 71.4	45 25.7

問１７　主な介護者の方は、現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点としてご回答ください）

	該当数	０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	1 0.6	6 3.4	9 5.1	19 10.9	10 5.7	39 22.3	19 10.9	24 13.7	22 12.6	2 1.1

問１７　主な介護者の方は、現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点としてご回答ください）

	10点	無回答	平均（点）
＊＊【　総　　数　】＊＊	11 6.3	13 7.4	902 5.6

問１８　主な介護者の方の人生に対する考え方についてうかがいます。それぞれ１～７までのうち、主な介護者の方の感じ方をもっともよくあらわしている数字に１つ◯をつけてください

１）私は、日常生じる困難や問題の解決策を見つけることができる

	該当数	1 よくあてはまる	2	3	4	5	6	7 まったくあてはまらない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	11 6.3	27 15.4	41 23.4	39 22.3	23 13.1	5 2.9	7 4.0	22 12.6

２）私は、人生で生じる困難や問題のいくつかは、向き合い、取り組む価値があると思う

	該当数	1 よくあてはまる	2	3	4	5	6	7 まったくあてはまらない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	10 5.7	27 15.4	37 21.1	43 24.6	22 12.6	5 2.9	8 4.6	23 13.1

３）私は、日常生じる困難や問題を理解したり予測したりできる

	該当数	1 よくあてはまる	2	3	4	5	6	7 まったくあてはまらない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	9 5.1	26 14.9	46 26.3	33 18.9	20 11.4	10 5.7	7 4.0	24 13.7

問１９　これまでに、ご本人（認定調査対象者）や家族の方と、災害時の避難方法や避難場所、緊急時の対策について話し合われたことがありますか（１つ選択）

	該当数	はい	いいえ	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	60 34.3	104 59.4	11 6.3

問２０　ご本人（認定調査対象者）の災害等の緊急時に対する準備・対策は、どの程度できていますか（１つ選択）

	該当数	十分に準備できている	どちらかといえば準備できている	どちらともいえない	あまり準備できていない	全く準備できていない	無回答	準備できている（計）	準備できていない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	1 0.6	24 13.7	53 30.3	52 29.7	36 20.6	9 5.1	25 14.3	88 50.3

問２１　主な介護者の方の状況について教えてください（それぞれ１つ選択）

１）介護を始めてから、自分の予定や計画が減った

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	4 2.3	20 11.4	46 26.3	73 41.7	21 12.0	11 6.3	24 13.7	94 53.7

２）介護のせいで、自分がくつろぐ暇がない

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	7 4.0	29 16.6	72 41.1	43 24.6	12 6.9	12 6.9	36 20.6	55 31.4

(N,%)

３）率先して介護をしたいと願っている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	12 6.9	37 21.1	74 42.3	29 16.6	6 3.4	17 9.7	49 28.0	35 20.0

４）介護することで、自分も幸せになることができる

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	13 7.4	36 20.6	76 43.4	31 17.7	4 2.3	15 8.6	49 28.0	35 20.0

５）他の家族（兄弟姉妹、子どもたち）は、自分ひとりに介護をさせている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	18 10.3	49 28.0	63 36.0	21 12.0	7 4.0	17 9.7	67 38.3	28 16.0

６）誰もが私だけに介護を押し付けている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	24 13.7	60 34.3	54 30.9	18 10.3	5 2.9	14 8.0	84 48.0	23 13.1

７）介護を始めてから、自分の健康状態が悪くなった

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	16 9.1	56 32.0	62 35.4	27 15.4	－ －	14 8.0	72 41.1	27 15.4

８）介護を始めてからは、いつも疲れている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	8 4.6	43 24.6	67 38.3	33 18.9	11 6.3	13 7.4	51 29.1	44 25.1

９）介護により、金銭的負担を強いられている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	18 10.3	48 27.4	53 30.3	37 21.1	6 3.4	13 7.4	66 37.7	43 24.6

１０）介護のための費用を払うことが難しい

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない（計）	思う（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	19 10.9	54 30.9	68 38.9	16 9.1	4 2.3	14 8.0	73 41.7	20 11.4

(N,%)

問２２　最近２週間の主な介護者の方の状態に最も近いものに○をつけてください（それぞれ１つ選択）

１）明るく、楽しい気分で過ごした

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	6 3.4	44 25.1	36 20.6	46 26.3	23 13.1	4 2.3	16 9.1

２）落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	10 5.7	42 24.0	38 21.7	42 24.0	23 13.1	3 1.7	17 9.7

３）意欲的で、活動的に過ごした

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	19 10.9	39 22.3	37 21.1	41 23.4	17 9.7	3 1.7	19 10.9

４）ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	12 6.9	40 22.9	41 23.4	33 18.9	29 16.6	4 2.3	16 9.1

５）日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	17 9.7	43 24.6	43 24.6	30 17.1	20 11.4	6 3.4	16 9.1

問２３　主な介護者の方で何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか（複数選択可）

	該当数	同居家族	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣・友人	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	85 48.6	55 31.4	76 43.4	32 18.3	3 1.7	14 8.0	111 63.4	22 12.6	21 12.0	－ －

問２３　主な介護者の方で何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか（複数選択可）

	ない	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	3 1.7	13 7.4	435 248.6

問２４　以下の設問について、主な介護者の方の気持ちに最も近いものを選んでください（それぞれ１つ選択）

１）主な介護者の方は大切だとおもうことや楽しんでいることをしながら、自分の時間を過ごせていますか。趣味、仕事、ボランティア、他者のケアなどを含めて考えてください

	該当数	思い通りに過ごせている	おおむね過ごせている	あまり過ごしていない	まったく過ごしていない	無回答	過ごせている（計）	過ごしていない（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	9 5.1	93 53.1	57 32.6	5 2.9	11 6.3	102 58.3	62 35.4

(N,%)

２）主な介護者の方は日常生活において自分のことを、どのくらい自分で決められていますか

	該当数	思い通り自分で決められている	おおむね自分で決められる	あまり自分で決められない	まったく自分で決められない	無回答	決められている（計）	決められない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	175 100.0	31 17.7	115 65.7	13 7.4	7 4.0	9 5.1	146 83.4	20 11.4

３）毎日の生活の中で主な介護者の方が自分らしくいられる余裕について、状況を表しているのはどれですか

	該当数	余裕が十分にある	余裕が適度にある	余裕が多少あるが、十分ではない	余裕が少しもない	無回答	余裕がある（計）	余裕がない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	175 100.0	13 7.4	82 46.9	59 33.7	9 5.1	12 6.9	95 54.3	68 38.9

４）主な介護者の方はどのくらい安全だと感じていますか。「安全だと感じている」とは、ケアしているときに、相手からの暴言・暴力や予期せぬけがなどの恐れがないと感じていることをいいます

	該当数	望むとおりに、安全だと感じている	おおむね安全だと感じている	十分には安心・安全だと感じてない	まったく安全だと感じていない	無回答	安心・安全だと感じている（計）	安心・安全だと感じていない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	175 100.0	56 32.0	84 48.0	16 9.1	5 2.9	14 8.0	140 80.0	21 12.0

５）主な介護者の方が望む人とのつき合いについて、状況を表しているのはどれですか

	該当数	思い通りにできている	おおむねできている	十分に満足いくほどではない	社会的に孤立していると感じる	無回答	人付き合いがある（計）	人付き合いがない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	175 100.0	21 12.0	86 49.1	51 29.1	6 3.4	11 6.3	107 61.1	57 32.6

６）主な介護者の方がケアしているときに、誰かに支えられたり、元気づけられたりしていると感じていますか

	該当数	自分が望む支えがあると感じている	支えが適度にあると感じている	多少あるが十分ではないと感じてる	支えが何もないと感じている	無回答	支えがある（計）	支えがない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	175 100.0	16 9.1	99 56.6	37 21.1	10 5.7	13 7.4	115 65.7	47 26.9

７）十分睡眠をとったり、適切に食事をとったりなど、どのくらい自分を大切にしていますか

	該当数	思い通りに、自分を大切にしている	おおむね自分を大切にしている	時々、自分を大切にできていない	自分をおろそかにしている	無回答	大切にしている（計）	大切にできていない（計）
＊＊【 総 数 】＊＊	175 100.0	21 12.0	107 61.1	28 16.0	8 4.6	11 6.3	128 73.1	36 20.6

※以降の該当数確認のため表示

問２５　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（１つ選択）

	該当数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	介護者に確認しないとわからない	無回答
＊＊【 総 数 】＊＊	175 100.0	31 17.7	49 28.0	80 45.7	3 1.7	12 6.9

問２６　問２５で「１．フルタイムで働いている」「２．パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします

１）主な介護者の方の業種は何ですか（１つ選択）

	該当数	専門・技術職	管理職	事務	販売・営業	サービス業	保安職	農業漁業	運輸・通信	生産工程・労務	その他
＊＊【 総 数 】＊＊	80 100.0	14 17.5	3 3.8	11 13.8	3 3.8	16 20.0	－ －	1 1.3	－ －	9 11.3	22 27.5

(N,%)

問２６　問２５で「１．フルタイムで働いている」「２．パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします

１）主な介護者の方の業種は何ですか（１つ選択）

	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	1 1.3

２）主な介護者の方が勤めている会社・組織全体には、何人ぐらいが働いていますか（１つ選択）

	該当数	１～９人	10～49人	50～499人	500～4999人	5000～9999人	１万人以上	わからない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	80 100.0	25 31.3	24 30.0	23 28.8	5 6.3	－ －	2 2.5	1 1.3	－ －

３）１週間の平均労働時間をお答えください

	該当数	10時間未満	10～20時間未満	20～30時間未満	30～40時間未満	40～50時間未満	50時間以上	無回答	平均（時間）
＊＊【　総　　数　】＊＊	80 100.0	6 7.5	16 20.0	14 17.5	14 17.5	19 23.8	6 7.5	5 6.3	2154 28.7

５）主な介護者の方が現在利用している勤務先の支援・制度はありますか（複数選択可）

	該当数	介護休暇	介護休業	所定労働時間の短縮	残業時間免除（所定外労働の制限）	深夜勤務の免除	働く場の多様化（在宅勤務など）	相談窓口・相談担当者への相談	その他	なし	介護者に確認しないとわからない
＊＊【　総　　数　】＊＊	80 100.0	13 16.3	5 6.3	12 15.0	4 5.0	1 1.3	4 5.0	2 2.5	10 12.5	36 45.0	3 3.8

５）主な介護者の方が現在利用している勤務先の支援・制度はありますか（複数選択可）

	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	4 5.0	94 117.5

７）主な介護者の方は、仕事と介護の両立についてどこかに相談していますか（複数選択可）

	該当数	家族・親類	友人	職場	地域包括支援センター・役所・役場	自治会・町内会	社会福祉協議会・民生委員	介護者の会	ケアマネジャー	その他	誰にも相談していない
＊＊【　総　　数　】＊＊	80 100.0	40 50.0	8 10.0	9 11.3	3 3.8	－ －	3 3.8	－ －	15 18.8	1 1.3	29 36.3

７）主な介護者の方は、仕事と介護の両立についてどこかに相談していますか（複数選択可）

	介護者に確認しないとわからない	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	－ －	3 3.8	111 138.8

８）主な介護者の方は、どのような支援・サービスがあれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（複数選択可）

	該当数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	訪問介護（ホームヘルプサービス）
＊＊【　総　　数　】＊＊	80 100.0	15 18.8	4 5.0	6 7.5	3 3.8	4 5.0	12 15.0	16 20.0	7 8.8	3 3.8	9 11.3

(N,%)

８）主な介護者の方は、どのような支援・サービスがあれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（複数選択可）

	通所介護（デイサービス）	ショートステイ	その他	特になし	介護者に確認しないとわからない	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	34 42.5	36 45.0	6 7.5	12 15.0	－ －	4 5.0	171 213.8

問２７　問２５で「３．働いていない」と回答した方にお伺いします。

１）主な介護者の方は、どのような支援や条件が整えば働くことを考えますか（複数選択可）

	該当数	体力的・精神的負担の軽い仕事	給与が高い等経済的条件のよい仕事	能力を活かせるやりがいのある仕事	勤務時間・場所を柔軟に選べる仕事	介護が終わること	突発的な状況にも対応しやすい職場	希望する介護サービスが利用できる	両立に関するｻﾎﾟｰﾄ体制の充実	その他	就職は考えていない
＊＊【　総　　数　】＊＊	80 100.0	14 17.5	1 1.3	3 3.8	15 18.8	15 18.8	8 10.0	3 3.8	6 7.5	10 12.5	39 48.8

問２７　問２５で「３．働いていない」と回答した方にお伺いします。

１）主な介護者の方は、どのような支援や条件が整えば働くことを考えますか（複数選択可）

	介護者に確認しないとわからない	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	－ －	3 3.8	117 146.3

２）主な介護者の方は、今後も介護を続けていけそうですか（１つ選択）

	該当数	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	介護者に確認しないとわからない	無回答	続けていける（計）	難しい（計）
＊＊【　総　　数　】＊＊	80 100.0	11 13.8	56 70.0	7 8.8	2 2.5	－ －	4 5.0	67 83.8	9 11.3

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問２８　主な介護者の方は、介護を主な理由として、仕事を辞めたことがありますか。

	該当数	ある	ない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	175 100.0	37 21.1	112 64.0	26 14.9

問２９　問２８で「１」と回答した方にお伺いします。

１）主な介護者の方が、介護を主な理由に仕事を辞めたのは、もっとも直近で約何年前ですか。約６ヶ月前の場合には、０．５年前とお答えください

	該当数	１年未満	１～２年未満	２～３年未満	３～５年未満	５～10年未満	10年以上	無回答	平均（年）
＊＊【　総　　数　】＊＊	37 100.0	3 8.1	7 18.9	5 13.5	2 5.4	6 16.2	10 27.0	4 10.8	184 5.6

２）主な介護者の方が仕事を辞めた理由にあてはまるものを全て選んでください。複数の離職経験がある場合は直近の離職について教えてください（複数選択可）

	該当数	自分以外に担える家族がいなかった	心身の負担や健康問題が生じた	利用できる介護サービスが不足	職場の理解や協力が得られなかった	両立を支援する制度がなかった	自分が主となり介護を担いたかった	家庭内で自分が担うべきだと思った	要介護者本人から強く望まれた	その他	介護者に確認しないとわからない
＊＊【　総　　数　】＊＊	37 100.0	22 59.5	9 24.3	2 5.4	3 8.1	6 16.2	4 10.8	18 48.6	1 2.7	5 13.5	1 2.7

２）主な介護者の方が仕事を辞めた理由にあてはまるものを全て選んでください。複数の離職経験がある場合は直近の離職について教えてください（複数選択可）

	無回答	回答計
＊＊【　総　　数　】＊＊	－ －	71 191.9

(N,%)

３）２）で選択した理由のうち、最もあてはまる番号を１つだけご記入ください

	該当数	自分以外に担える家族がいなかった	心身の負担や健康問題が生じた	利用できる介護サービスが不足	職場の理解や協力が得られなかった	両立を支援する制度がなかった	自分が主となり介護を担いたかった	家庭内で自分が担うべきだと思った	要介護者本人から強く望まれた	その他	介護者に確認しないとわからない
＊＊【　総　　数　】＊＊	37 100.0	16 43.2	3 8.1	－ －	2 5.4	－ －	1 2.7	5 13.5	－ －	3 8.1	－ －

３）２）で選択した理由のうち、最もあてはまる番号を１つだけご記入ください

	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	7 18.9

４）主な介護者の方は、望まない離職でしたか（１つ選択）

	該当数	全くそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	非常にそう思う	介護者に確認しないとわからない	無回答
＊＊【　総　　数　】＊＊	37 100.0	3 8.1	14 37.8	9 24.3	6 16.2	1 2.7	4 10.8